

文 学 部

履 修 要 項

昭 和 63 年 度

駒 澤 大 學

# 学 年 暦

## 前 期

- 4月 8日(金) 入学式
- 9日(土) } 新生オリエンテーション
- 14日(木) }
- 9日(土) } 在校生身分証明登録
- 20日(水) }
- 11日(月) } 在校生成績発表
- 12日(火) }
- 11日(月) } 体育実技Ⅱ受講届(種目選択届)
- 12日(火) } 受付(学部2年次生)
- 13日(水) }
- 21日(木) } 在校生成績質疑応答
- 15日(金) 前期授業開始
- 22日(金) } 履修届受付(学部・短大)
- 27日(水) } (学部により受付日が異なる)
- 5月 9日(月) } 春季健康診断(卒業年次生対象)
- 13日(金) }
- 25日(水) } 卒業論文論題受付(仏教・文学部の4年次生)(締切日は正午まで)
- 6月10日(金) }
- 7月 6日(水) } 外国語指定届受付(仏教・文(除英米文)・法学部・短大國文・英文の1年次生および経済学部の2年次生)
- 12日(火) }
- 14日(木) } 中間試験(授業平常どおり)
- 20日(水) }
- 20日(水) 前期授業最終日
- 21日(木) } 前期終了科目定期試験
- 22日(金) }
- 23日(土) 夏季休暇第1日(9月14日まで)
- 23日(土) } 体育実技Ⅱ集中授業コース
- 27日(水) } (学部2年次生)
- 26日(火) 前期終了科目定期試験欠試届(追試験申込)受付締切

## 後 期

- 9月 7日(水) } 補講期間
- 14日(水) }
- 16日(金) 後期授業開始
- 17日(土) } 前期終了科目定期試験成績発表(質疑応答)および再試験申込受付
- 19日(月) }

- 26日(月) } 前期終了科目追・再試験
- 10月 1日(土) } (授業平常どおり)
- 3日(月) }
- 6日(木) } 秋季健康診断(卒業年次生以外対象)
- 4日(火) } 専攻コース指定届受付
- 5日(水) } (歴史・社会学科の1年次生)
- 15日(土) 第106回開校記念日(全学休業)
- 11月 9日(水) } 転部・転科願書受付
- 11日(金) }
- 25日(金) 転部・転科試験
- 12月 1日(木) } 卒業論文受付(仏教・文学部の4年次生)(締切日は正午まで)
- 10日(土) }
- 5日(月) } 編・再入学願書受付
- 9日(金) }
- 19日(月) 冬季休暇第1日(1月7日まで)
- 19日(月) } 体育実技Ⅱ集中授業コース
- 23日(金) } (学部2年次生)
- 20日(火) 編・再入学試験

## 昭和64年

- 1月 9日(月) 後期授業再開
- 14日(土) 後期授業最終日
- 17日(火) } 定期試験(専門・基礎・教職科目)
- 27日(金) }
- 28日(土) } 定期試験(一般・外国語・保健体育科目)
- 2月 6日(月) }
- 7日(火) 定期試験欠試届受付締切(学部4年次生・短大生)
- 7日(火) 定期試験欠試届(追試験申込)受付締切(学部1~3年次生)
- 7日(火) 卒業論文口頭試問(仏教・文学部の4年次生)
- 16日(木) } 体育実技Ⅱシーズン・コース(スキー)
- 20日(月) } (学部2年次生)
- 17日(金) } 成績発表(質疑応答)および追・再試験申込受付(学部4年次生・短大生)
- 18日(土) }
- 24日(金) } 追・再試験(学部4年次生・短大生)
- 3月 2日(木) } および追試験(学部1~3年次生)
- 20日(月) 卒業者名簿発表
- 25日(土) 卒業式

# 目 次

I	単位制と学年制	
1.	単位制と学年制	(1)
2.	授業科目の単位計算	(1)
3.	授業科目の区分	(1)
II	卒業に必要な単位数と卒業論文	
1.	卒業に必要な単位数	(2)
2.	卒業論文	(13)
3.	学 士 号	(13)
III	授業科目の履修方法	
1.	一般教育科目の履修方法	(14)
2.	外国語科目の履修方法	(16)
3.	保健体育科目の履修方法	(19)
4.	基礎教育科目の履修方法	(20)
5.	専門教育科目の履修方法	(20)
6.	他学部科目の履修方法	(40)
7.	随意科目の履修方法	(42)
8.	再履修科目の履修方法	(42)
	※「日本語」・「日本事情」科目の履修方法	(42)
	※ 授業科目のコード番号について	(43)
IV	履修科目の登録（履修届）とその作成順序	
1.	履修科目の登録	(44)
2.	履修届記入上の注意	(45)
3.	履修届（時間割）の作成順序	(46)
V	試験および成績評価	
1.	定期試験	(48)
2.	中間試験	(48)
3.	追・再試験	(48)
4.	受験心得	(49)
5.	成績評価・単位認定	(49)
6.	試験時間	(49)

VI	進級について	(50)
VII	クラス制およびクラス主任	(51)
VIII	教職課程・資格講座	(51)
IX	事務取扱いについて	
	1. 成績発表・成績証明書	(52)
	2. 授業時間	(52)
	3. 事務室の事務受付時間	(52)
	4. 休 講	(52)
	5. 掲 示	(52)
	6. 問い合わせ	(52)
X	学籍について	
	1. 修業年限と在学年数	(53)
	2. 休 学	(53)
	3. 復 学	(53)
	4. 退 学	(54)
	5. 除 籍	(54)
	6. 懲 戒	(54)
	7. 編入学(学士入学)	(54)
	8. 再入学	(54)
	9. 転部・転科	(54)
	10. 留 学	(55)
	11. 学生氏名・保証人	(55)
	12. 学生番号	(55)
XI	既修得単位の認定について	(56)
XII	届書・願書について	(57)
XIII	各種証明書取扱い窓口	(58)
	試験実施規程(抜粋)	(59)
	進級規程	(61)
	講義内容	(63)

# I 単位制と学年制

## 1. 単位制と学年制

授業科目の履修は「大学設置基準」に基づく単位制によって行う。単位制とは、各入学年度によって定められた一定の基準に従って授業科目を履修し、試験に合格することによってその授業科目に与えられている単位を修得していく制度である。卒業所要単位を修得するまでの在学年数は4年以上（7年を超えてはならない）である。

また、単位の修得を体系的かつ合理的に進めるために、各年次において必修すべき科目と選択すべき科目が配当されている。

## 2. 授業科目の単位計算

授業科目の単位数は次のような基準によって定められている。

1単位とは1科目につき45時間を通じて行う学修活動のことである。この45時間の学修活動は教室内における授業時間と教室外で学生各自が自主的に行う自習時間からなっていて、授業時間と自習時間の割合は、授業科目によって異なっている。

## 3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

1. 一般教育科目（人文分野・社会分野・自然分野）
2. 外国語科目（第1外国語・第2外国語）
3. 保健体育科目（講義・実技）
4. 基礎教育科目（必修科目）
5. 専門教育科目（必修科目・選択科目）
6. 他学部科目（選択科目）
7. 随 意 科 目（卒業に必要な単位に含まれない科目）

(a) 必 修 科 目……必ず履修しなければならない科目

(b) 選択必修科目……数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目

(c) 選 択 科 目……自由に選び履修できる科目

## Ⅱ 卒業に必要な単位数と卒業論文

### 1. 卒業に必要な単位数

#### 国文学科

##### A. 60年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	28	128以上
	社会分野	2	8		
	自然分野	1	4		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	12	36	72	
	選択		28		
	卒業論文(必修)		8		

##### B. 59年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	28	128以上
	社会分野	2	8		
	自然分野	1	4		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	12	36	72	
	選択		28		
	卒業論文(必修)		8		

## 英米文学科

### A. 60年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	28	130以上
	社会分野	2	8		
	自然分野	1	4		
外国語科目	第1外国語	5	10	14	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		5	12	12	
専門教育科目	必修	7	28	72	
	選択		36		
	卒業論文(必修)		8		

### B. 58・59年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	28	130以上
	社会分野	2	8		
	自然分野	1	4		
外国語科目	第1外国語	5	10	14	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		5	12	12	
専門教育科目	必修	7	28	72	
	選択		36		
	卒業論文(必修)		8		

# 英米文学科

## C. 57年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	4	16	28	} 130以上
	社 会 分 野	2	8		
	自 然 分 野	1	4		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	5	10	14	
	第 2 外 国 語	2	4		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目	育 科 目	5	12	12	
専 門 教 育 科 目	必 修	6	24	72	
	選 択		40		
	卒 業 論 文 (必 修)		8		



## 地理学科

### A. 60年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	128以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		2	8	8	
専門教育科目	必修	6	16	72	
	選択		48		
	卒業論文(必修)		8		

### B. 59年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	128以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		2	8	8	
専門教育科目	必修	6	16	72	
	選択		48		
	卒業論文(必修)		8		

## 歴史学科

〔日本史専攻・東洋史専攻・西洋史専攻〕

### A. 60年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 128以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	8	32	72	
	選択		32		
	卒業論文(必修)		8		

### B. 59年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 128以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	8	32	72	
	選択		32		
	卒業論文(必修)		8		

〔考古学専攻〕

A. 62年度以降入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	4	16	36	} 128以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専 門 教 育 科 目	必 修	10	38	72	
	選 択		26		
	卒 業 論 文 (必 修)		8		

B. 60・61年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	4	16	36	} 128以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専 門 教 育 科 目	必 修	8	32	72	
	選 択		32		
	卒 業 論 文 (必 修)		8		

〔考古学専攻〕

C. 59年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	4	16	36	} 128以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専 門 教 育 科 目	必 修	8	32	72	
	選 択		32		
	卒 業 論 文 (必 修)		8		

# 社会学科

## 〔社会学コース〕

### A. 60年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	132以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	12	48	72	
	選択		16		
	卒業論文(必修)		8		

### B. 59年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	132以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	12	48	72	
	選択		16		
	卒業論文(必修)		8		

〔社会福祉コース〕

A. 63年度以降入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	3	12	32	} 132以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専 門 教 育 科 目	必 修	13	48	72	
	選 択		16		
	卒 業 論 文 (必 修)		8		

B. 60～62年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	3	12	32	} 132以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専 門 教 育 科 目	必 修	12	48	72	
	選 択		16		
	卒 業 論 文 (必 修)		8		

〔社会福祉コース〕

C. 59年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	3	12	32	} 132以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専 門 教 育 科 目	必 修	12	48	72	
	選 択		16		
	卒 業 論 文 (必 修)		8		

[心理学コース]

A. 60年度以降入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	3	12	32	} 132以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専 門 教 育 科 目	必 修	8	28	72	
	選 択		36		
	卒 業 論 文 (必 修)		8		

B. 59年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	3	12	32	} 132以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		3	12	12	
専 門 教 育 科 目	必 修	8	28	72	
	選 択		36		
	卒 業 論 文 (必 修)		8		



## 2. 卒業論文

卒業論文は、あらかじめ自己の研究目標に基づき、2年次以降その研究目標に関連する科目を履修し、4年次で提出しなければならない。

提出された卒業論文（1部）は審査の上、合格者には8単位を認定する。

### イ. 論題提出について

- (1) 論題は所定の用紙「卒業論文論題届」に楷書で正確に記入の上、指導教授の承認印を受けて提出すること。
- (2) 提出された論題の変更は原則として認めない。

論題提出期間 5月25日（水）～6月10日（金）正午まで（教務部⑥番窓口）

### ロ. 論文作成について

- (1) 論文作成にあたっては常に指導教授に相談して、その指導を受けなければならない。
- (2) 論文は提出した論題により作成すること。
- (3) 論文は所定用紙（大学売店にて販売）を使用すること。
- (4) 論文は楷書でていねいに書くこと。
- (5) 論文の枚数・表紙・体裁等については別に指示する。

### ハ. 論文提出について

- (1) 論文は論題受付印のある「卒業論文審査願」とともに提出すること。
- (2) 論文は誤字・脱字・内容等について再点検し、提出すること。

論文提出期間 12月1日（木）～10日（土）正午まで（教務部⑥番窓口）

〔提出期間に遅れたとき、または授業料その他の学費を納入していない場合は受理しない。〕

### ニ. 論文審査について

論文は指導教授によって審査・口頭試問を行い可否を判定する。

口頭試問日 2月7日（火）

## 3. 学 士 号

大学に4年以上（7年を超えてはならない）在学し、卒業に必要な単位を修得した者には卒業証書を授与し、次の学士の称号が与えられる。

国文学科	} ……………文学士
英米文学科	
文学部 地理学科	
歴史学科	
社会学科	

### Ⅲ 授業科目の履修方法

※ 北海道教養部では、授業科目等に多少の変更を生ずる場合がある。

#### 授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、教授会の定めるところに従い各学年に配当する。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が指定された科目は、本人の学生番号のクラスで履修すること。(再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこの限りではない。)
- ハ. 各学年に配当された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低および最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修することはできない。

#### 1. 一般教育科目の履修方法

- イ. 一般教育科目は1年次および2年次の2年間に人文分野・社会分野・自然分野の各分野から各学科の定められた科目数・単位数を履修しなければならない。
- ロ. 各学科「宗教学Ⅰ」を1年次、「宗教学Ⅱ」を2年次の必修科目とする。
- ハ. 各学科2年次までに所定の科目数・単位数を修得していなければならない。

一般教育科目の卒業所要単位数

学科	分野	人文分野	社会分野	自然分野	計
国文学科		16 (4)	8 (2)	4 (1)	28 (7)
英米文学科		16 (4)	8 (2)	4 (1)	28 (7)
地理学科		12 (3)	12 (3)	8 (2)	32 (8)
歴史学科		16 (4)	12 (3)	8 (2)	36 (9)
社会学科		12 (3)	12 (3)	8 (2)	32 (8)

※ ( ) 内の数字は科目数

一般教育科目の授業科目

分野 学科	人 文 分 野			社 会 分 野				自 然 分 野				
	授 業 科 目	単 位	修 得 単 位	授 業 科 目	単 位	修 得 単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	修 得 単 位		
国 文 学 科	宗 教 学 I (1年次必修)	4	「宗教学I」 ・「宗教学 II」を含 めて4科目16 単位選択必 修	法 学 憲 法	4	2 科 目 8 単 位 選 択 必 修	教員免許状 を取得し ようとす るものは 「法学憲 法」を必 修とする 。	自然科学概論	4	1 科 目 4 単 位 選 択 必 修		
	宗 教 学 II (2年次必修)	4		〔日本国憲法〕 2単位を含 む(2年次)	経済学			4	心理学		4	
	哲 学	4		〔日本国憲法〕 2単位を含 む				社会学	4		人類学	4
	論 理 学	4						地理学	4			
	歴 史 学	4						社会学	4			
	芸術学(日本美術)	4						地理学	4			
芸術学(西洋美術)	4											
英 米 文 学 科	宗 教 学 I (1年次必修)	4	「宗教学I」 ・「宗教学 II」を含 めて4科目16 単位選択必 修	法 学 憲 法	4	2 科 目 8 単 位 選 択 必 修	教員免許状 を取得し ようとす るものは 「法学憲 法」を必 修とする 。	自然科学概論	4	1 科 目 4 単 位 選 択 必 修		
	宗 教 学 II (2年次必修)	4		〔日本国憲法〕 2単位を含 む	経済学			4	心理学		4	
	哲 学	4		〔日本国憲法〕 2単位を含 む				社会学	4		人類学	4
	論 理 学	4						地理学	4			
	歴 史 学	4						社会学	4			
	芸術学(日本美術)	4						地理学	4			
芸術学(西洋美術)	4											
地 理 学 科	宗 教 学 I (1年次必修)	4	「宗教学I」 ・「宗教学 II」を含 めて3科目12 単位選択必 修	法 学 憲 法	4	3 科 目 12 単 位 選 択 必 修	教員免許状 を取得し ようとす るものは 「法学憲 法」を必 修とする 。	数 学	4	2 科 目 8 単 位 選 択 必 修		
	宗 教 学 II (2年次必修)	4		〔日本国憲法〕 2単位を含 む	経済学			4	物理学		4	
	哲 学	4		〔日本国憲法〕 2単位を含 む				社会学	4		化学	4
	文 学	4						文化人類学	4		生物学	4
	芸術学(日本美術)	4						文化人類学	4			
	芸術学(西洋美術)	4										
歴 史 学 科	宗 教 学 I (1年次必修)	4	「宗教学I」 ・「宗教学 II」を含 めて4科目16 単位選択必 修	法 学 憲 法	4	3 科 目 12 単 位 選 択 必 修	教員免許状 を取得し ようとす るものは 「法学憲 法」を必 修とする 。	自然科学概論	4	2 科 目 8 単 位 選 択 必 修		
	宗 教 学 II (2年次必修)	4		〔日本国憲法〕 2単位を含 む	経済学			4	地 学		4	
	哲 学	4		〔日本国憲法〕 2単位を含 む				社会学	4		心理学	4
	論 理 学	4						地理学	4		人類学	4
	文 学	4						社会学	4			
	芸術学(日本美術)	4						地理学	4			
芸術学(西洋美術)	4											
社 会 学 科	宗 教 学 I (1年次必修)	4	「宗教学I」 ・「宗教学 II」を含 めて3科目12 単位選択必 修	法 学 憲 法	4	3 科 目 12 単 位 選 択 必 修	教員免許状 を取得し ようとす るものは 「法学憲 法」を必 修とする 。	自然科学概論	4	2 科 目 8 単 位 選 択 必 修		
	宗 教 学 II (2年次必修)	4		〔日本国憲法〕 2単位を含 む	政治学			4	生 物 学		4	
	論 理 学	4		〔日本国憲法〕 2単位を含 む				経済学	4		地 学	4
	文 学	4						地理学	4		人類学	4
	歴 史 学	4						政治学	4			
	芸術学(日本美術)	4						地理学	4			
芸術学(西洋美術)	4											

※「宗教学I」の授業は月曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照）で行う。

## 2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語の6カ国語が開講されている。これらのうち英語と入学手続の際に指定した外国語の2カ国語を履修することになり、その2カ国語を1年次および2年次（英米文学科は3年次）において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。

### 第1外国語

学 科 年 次	国文学科		英米文学科		地理学科		歴史学科		社会学科	
	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
1 年 次	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4
2 年 次	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4
3 年 次	—	—	1	2	—	—	—	—	—	—
計	4	8	5	10	4	8	4	8	4	8

### 第2外国語

学 科 年 次	国文学科		英米文学科		地理学科		歴史学科		社会学科	
	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
1 年 次	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4

### 1年次の履修

6カ国語のうち英語1G・1Rの2科目と入学手続の際に指定した外国語1G・1Rの2科目の計4科目8単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	履 修 科 目 数
英 語 1G	2		1G・1Rの2科目を必修とする。ただし1Gは「英会話I(定員40名)」または「英語LLI(定員30名)」に振り替えできる。(ただし英米文学科は「英会話I」に振り替えできない。)なお、振り替えを希望する者は、最初の授業に『単位履修届』用紙を持参し、担当教員の捺印を必ず受けること。
英 語 1R	2		
英 会 話 I	2		
英 語 L L I	2	視聴覚教材を使用した語学教育	
ド イ ツ 語 1G	2	文 法	5カ国語のうちから入学手続の際指定した1カ国語1G・1Rの2科目を必修とする。
ド イ ツ 語 1R	2	講 読	
フ ラ ン ス 語 1G	2	文 法	
フ ラ ン ス 語 1R	2	講 読	
中 国 語 1G	2	文 法	
中 国 語 1R	2	講 読	
ス ペ イ ン 語 1G	2	文 法	
ス ペ イ ン 語 1R	2	講 読	
ロ シ ア 語 1G	2	文 法	
ロ シ ア 語 1R	2	講 読	

#### ※ 英語科目内容

英語1G：意志表現と意志伝達の基礎を把握する。

英語1R：講読を通し、内容と文構造の基本を把握する。

#### ※ LL……ランゲージ・ラボラトリー

※「英語1R」の授業は月曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照）で行う。

## 2年次の履修

1年次で履修の2カ国語のうち、いずれかを第1外国語として2AⅠ・2AⅡの2科目4単位を必修とすること。ただし、英米文学科は英語を第1外国語とする。

授業科目	単位	科目内容	授業科目	単位	科目内容
英語 2AⅠ	2		中国語 2AⅠ	2	講読
英語 2AⅡ	2		中国語 2AⅡ	2	講読
ドイツ語 2AⅠ	2	講読	スペイン語 2AⅠ	2	講読
ドイツ語 2AⅡ	2	講読	スペイン語 2AⅡ	2	講読
フランス語 2AⅠ	2	講読	ロシア語 2AⅠ	2	講読
フランス語 2AⅡ	2	講読	ロシア語 2AⅡ	2	講読

### ※ 英語科目内容

英語 2AⅠ：講読を通し、はば広い教養を修得する。

英語 2AⅡ：意志表現と意志伝達の能力を発展させ、応用力を修得する。

## 3年次の履修（英米文学科のみ）

授業科目	単位	科目内容	履修科目数
英語 3A	2	講読	3Aを1科目必修

※ 「英語 3A」の授業は学生番号によりクラス編成されているので、各自の学生番号に該当するクラスで履修すること。ただし、所定のクラスで履修不可能な場合は、担当教員に申し出ること。

## 外国語科目履修上の注意

- イ. 外国語科目の組分けは、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号（下3ケタ）により該当するクラスを履修すること。
- ロ. 1年次の7月初旬、現在履修の外国語（英語と他の1カ国語）の中から2年次に履修する外国語（第1外国語）を指定し、登録すること。（ただし英米文学科は『英語』のため登録の必要がない。）  
なお、登録後の変更はできないので、十分考慮と上行うこと。  
また、登録をしない場合、外国語の履修ができなくなることもあるので、必ず行うこと。
- ハ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。
- ニ. 不合格科目の再履修については、別に定める。
- ホ. 2年次（英米文学科は3年次）までに所定の単位を修得していなければならない。

### 3. 保健体育科目の履修方法

カリキュラム改訂に伴い、昭和60年度以降入学生より新カリキュラムを適用する。なお、昭和59年度以前入学生は、旧カリキュラムが適用される。

#### A. 60年度以降入学生適用

保健体育科目は講義と実技に分かれ、講義は1年次に「保健体育理論」を1科目2単位、実技は1年次に「体育実技Ⅰ」を1科目1単位と2年次に「体育実技Ⅱ」を1科目1単位、計3科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	1年次前期または後期
実 技	体育実技Ⅰ	1	1年次通年
	体育実技Ⅱ	1	2年次前期または後期

イ. 講義・体育実技Ⅰの授業は月曜日に玉川校舎で行う。

ロ. 講義・体育実技Ⅰが1年次不合格となった者は2年次において「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

※ 体育実技Ⅰについての種目の説明等は、1年次生および「再履修クラス」を履修する者とも最初の授業に配布される『体育実技受講要領』を参照すること。

ハ. 体育実技Ⅱは次の授業形態のいずれかを履修し、単位を修得しなければならない。

A. 本校での前期または後期の体育実技Ⅱの授業

B. 前期（夏季休暇中）または後期（冬季休暇中）に実施される有料のシーズン・コースの授業

C. 前期（夏季休暇中）または後期（冬季休暇中）に実施される玉川校舎での集中授業

ニ. 体育実技Ⅱが2年次不合格となった者は3年次において体育実技Ⅱを再び履修し、単位を修得する。

※ 体育実技Ⅱについての種目の説明、シーズン・コースおよび集中授業等の申込み方法については、『体育実技受講要領』を参照すること。（受講要領配布については、掲示板参照。）

ホ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

#### B. 59年度以前入学生適用

保健体育科目は講義と実技に分かれ、1年次に2科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	前期または後期
実 技	体育実技	2	通 年

イ. 講義・実技とも1年次で不合格となった者は「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

ロ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

ハ. 講義・実技とも1年次生は玉川校舎で授業を行う。

※ 実技についての種目の説明等は、1年次生および「再履修クラス」を履修する者とも最初の授業に配布される『体育実技受講要領』を参照すること。

#### 4. 基礎教育科目（必修）の履修方法

専門教育の基礎となる授業科目で各年次別履修順序は、次表のとおりである。

年次	国文学科		英米文学科		地理学科		歴史学科		社会学科	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
1 年 次	基礎国語学	4	英文学概論または米文学概論	4	基礎自然地理学	4	基礎歴史学	4	社会学概論	4
	基礎国文学	4	基礎英語ⅠA	2	基礎人文地理学	4			社会福祉原論	4
	基礎中国文学	4	基礎英語ⅠB (会話)	2					心理学概論	4
2 年 次			基礎英語ⅡA	2						
			基礎英語ⅡB (会話)	2						

(注意) 「基礎自然地理学」は「基礎地学(自然地理学)」を、「基礎人文地理学」は「基礎地理学(人文地理学)」を、「社会福祉原論」は「社会福祉概論」を名称変更したものである。

#### 5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目とに分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。履修する授業科目の選択については、専門科目全般にわたって十分検討して履修すること。なお、一度単位を修得した授業科目については再度履修することはできない。

専門教育科目の卒業所要単位数

	国文学科	英米文学科		地理学科	歴史学科			社会学科			
		58年度以降入学生適用	57年度以前入学生適用		日本史 東洋史	考古学		社会学	社会福祉		心理学
						62年度以降入学生適用	61年度以前入学生適用		63年度以降入学生適用	62年度以前入学生適用	
必修科目	36 (12)	28 (7)	24 (6)	16 (6)	32 (8)	38 (10)	32 (8)	48 (12)	48 (13)	48 (12)	28 (8)
選択科目	28	36	40	48	32	26	32	16	16	16	36
卒業論文	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
計	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72

※ ( ) 内の数字は科目数



# 国文学科

## 必修科目(44単位)

1 年 次 必 修			4 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
国文学講読Ⅰ	2		国文学研究	4	
2 年 次 必 修			国文学史(上代)	4	1科目4単位選択必修 3年次で必修または選択として履修した科目以外を履修すること。
国語学概論	4		国文学史(中古)	4	
国文学概論	4		国文学史(中世)	4	
国文学講読Ⅱ	2		国文学史(近世)	4	
中国文学講読	2		国文学史(近代)	4	
3 年 次 必 修			国語学演習Ⅱ	2	1科目2単位選択必修 卒業論文に関連のある分野の演習を履修すること。
国文学史(上代)	4	1科目4単位 選択必修	国文学演習Ⅱ(上代)	2	
国文学史(中古)	4		国文学演習Ⅱ(中古)	2	
国文学史(中世)	4		国文学演習Ⅱ(中世)	2	
国文学史(近世)	4		国文学演習Ⅱ(近世)	2	
国文学史(近代)	4		国文学演習Ⅱ(近代)	2	
国語学研究	4		卒業論文	8	13頁参照
国文学講読Ⅲ	2				
国語学演習Ⅰ	2	1科目2単位選択必修 原則として卒業論文に関連のある分野の演習を履修すること。			
国文学演習Ⅰ(上代)	2				
国文学演習Ⅰ(中古)	2				
国文学演習Ⅰ(中世)	2				
国文学演習Ⅰ(近世)	2				
国文学演習Ⅰ(近代)	2				

(注意) 3年次で「国文学演習Ⅰ」を履修した者は原則として4年次も「国文学演習Ⅱ」を、また3年次で「国語学演習Ⅰ」を履修した者は4年次でも「国語学演習Ⅱ」を履修すること。

選 択 科 目 (28単位以上) (2年次以降の履修科目)

	授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
A 群	上 代 文 学	4		国 学 特 講 II	4	
	中 古 文 学	4		国 学 特 講 III	4	
	中 世 文 学	4		国 学 特 講 IV	4	
	近 世 文 学	4		国 学 史 (上 代)	4	選択科目として履修を希望する者は必修とした科目以外を3年次または4年次で履修すること。
	近 代 文 学	4		国 学 史 (中 古)	4	
	国 語 史	4	休 講 } 隔年開講	国 学 史 (中 世)	4	
	国 語 学 史	4		国 学 史 (近 世)	4	
	文 学 概 論	4		国 学 史 (近 代)	4	
	言 語 学 概 論	4		上 代 文 学 講 読	2	2年次生のみ履修すること。
	有 職 故 実	4	休 講	近 代 文 学 講 読	2	
		国 学 特 講 I	4			

	授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
B 群	中 国 文 学	4		日 本 文 化 史 I	4	休 講 } 隔年開講
	中 国 文 学 演 習	4		日 本 文 化 史 II	4	
	中 国 文 学 概 論	4		現 代 美 術	4	
	東 洋 思 想 研 究	4		書 道 実 習 I	4	
	英 米 文 化	4		書 道 実 習 II	4	
	仏 教 概 論	4		美 術 史 概 説	4	
	日 本 史 概 説 I	4	古 代 ・ 中 世	美 術 史	2	半 期 科 目
	日 本 史 概 説 II	4	近 世 ・ 近 代	書 道 史	2	半 期 科 目
	日 本 民 俗 学	4		編 集 実 務	2	半 期 科 目

(注意) 「国文学特講」のⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは、時代・履修順序等との関係はない。

「A群」より5科目以上、「B群」より2科目以上選び履修されたい。

# 英米文学科

## 必修科目

### A. 58年度以降入学生適用（36単位）

2年次必修			4年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
英語学概論	4		卒業論文	8	13頁参照
英作文Ⅰ	4		2年次・3年次必修		
3年次必修			英文学史Ⅰ	4	※ 2年次1科目 3年次1科目 計2科目8単位 選択必修
音声学	4		英文学史Ⅱ	4	
英語史	4		米文学史	4	
シェイクスピア	4				

※ 「英文学史Ⅰ」・「英文学史Ⅱ」・「米文学史」のうち2科目を選択必修とし、残りの1科目は専門  
選択科目として履修できない。

### B. 57年度以前入学生適用（32単位）

2年次必修			2年次または3年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
英語学概論	4		英文学史Ⅰ	4	1科目4単位 選択必修
3年次必修			英文学史Ⅱ	4	
音声学	4	旧「英語学研究」	米文学史	4	
英語史	4		3年次または4年次必修		
4年次必修			批評論研究	4	
卒業論文	8	13頁参照	シェイクスピア	4	

選 択 科 目

A. 58年度以降入学生適用（36単位以上）

B. 57年度以前入学生適用（40単位以上）

授 業 科 目	単 位	履 修 年 次	備 考	授 業 科 目	単 位	履 修 年 次	備 考
英 文 学 史 I	4	2・3・4	※イ 必修とした 科目以外をこ 履修すること。	英 文 学 演 習 I (中世)	4	3・4	
英 文 学 史 II	4	2・3・4		英 文 学 演 習 II (英文学16・17c.)	4	3・4	
米 文 学 史	4	2・3・4		英 文 学 演 習 IV (英文学18c.)	4	3・4	
英 文 学 特 講 I (英文学16・17c.)	4	3・4		英 文 学 演 習 V (詩19・20c.)	4	2・3・4	
英 文 学 特 講 II (英文学18c.)	4	3・4		英 文 学 演 習 VI (小説 I 19c.)	4	3・4	
英 文 学 特 講 III (詩19・20c.)	4	2・3・4		英 文 学 演 習 VII (小説 II 20c.)	4	2・3・4	
英 文 学 特 講 IV (小説 I 19c.)	4	2・3・4		英 文 学 演 習 VIII (批評19・20c.)	4	3・4	
英 文 学 特 講 V (小説 II 20c.)	4	2・3・4		米 文 学 演 習 I (詩)	4	2・3・4	
英 文 学 特 講 VI (批評19・20c.)	4	3・4		米 文 学 演 習 II (小説 I)	4	2・3・4	
米 文 学 特 講 I (詩)	4	2・3・4		米 文 学 演 習 III (小説 II)	4	3・4	
米 文 学 特 講 II (小説 I)	4	2・3・4		米 文 学 演 習 IV (小説 III)	4	2・3・4	
米 文 学 特 講 III (小説 II)	4	2・3・4		米 文 学 演 習 V (批評)	4	3・4	
米 文 学 特 講 IV (小説 III)	4	2・3・4		米 文 学 演 習 VI (小説 IV)	4	3・4	
米 文 学 特 講 V (批評)	4	3・4		英 米 演 劇 演 習	4	2・3・4	
英 米 演 劇 特 講	4	2・3・4		時 事 英 語	4	2・3・4	旧 英米時文研究
英 作 文 I	4	3・4	※ロ	商 業 英 語	4	3・4	
英 米 語 学 演 習 (言語学)	4	3・4	旧「英米語学演習(英語学)」	ラ テ ン 語 特 講	4	2・3・4	
英 米 語 学 演 習 (英語史)	4	3・4	休 講	英 米 文 化	4	2・3・4	
英 米 語 学 演 習 (英文法)	4	3・4		日 本 文 化 史 I	4	2・3・4	休 講 } 隔 年 開 講
英 米 語 学 演 習 (英作文 II)	4	3・4	※ハ	日 本 文 化 史 II	4	2・3・4	
英 米 語 学 演 習 (英会話)	2	3・4		現 代 美 術	4	2・3・4	

※イ. 57年度以前入学生適用

※ロ. 57年度以前入学生適用 旧「英米語学演習(英作文)」。

※ハ. 58年度以降入学生適用

(注意) 同一科目は再度履修しても単位にはならない。

◇ 演習科目の履修方法

I) 履修科目数

- イ. 2・3・4年次に演習1科目(4単位)ずつ、あわせて3科目(12単位)を極力履修すること。
- ロ. 2年次で履修できる演習科目は1科目とする。
- ハ. 3年次で履修できる演習科目は3科目以内とする。
- ニ. 4年次で履修できる演習科目は2科目以内とする。

II) 履修上の注意

- イ. 各種演習科目とも先着50名で締め切る。なお、教務部に『単位履修届』を提出する前に、受講希望の科目担当の先生に本人が直接届け出て『単位履修届』に捺印を受けること。
- ロ. 担当の先生に届け出る日・時・場所については、教務部の掲示板に掲示するので注意すること。
- ハ. 57年度以前入学生で(旧)「英米語学演習(英作文)」の履修希望者は、「英作文I」を履修すること。なお、その場合「英作文I」の4講座のうちいずれかひとつを選択し、担当の先生に本人が直接届け出て『単位履修届』に捺印を受けること。捺印の日時は、他の演習科目と同じとする。

地 理 学 科

必 修 科 目 (24単位)

2 年 次 必 修		3 年 次 必 修		4 年 次 必 修	
授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位
自然地理学実習 (地図学実習を含む)	2	地理学総論	4	地理学演習	4
人文地理学実習	2	野外巡検II	2	卒業論文 (13頁参照)	8
野外巡検I	2				

※ 「地理学総論」は「地理学研究法および地理学史」の名称変更。

(注意) 「地理学演習」および「野外巡検(I・II)」の履修にあたっては、地理学科研究室の指示に必ず従うこと。詳細は適時教務部および地理学教室の掲示板に掲示するので注意すること。

選択科目（48単位以上）

2 年 次 選 択			3 年 次 選 択		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
地 形 学 I	4		歴 史 地 理 学	4	
集 落 地 理 学	4		人 口 地 理 学	4	
郷 土 地 理 学	4		経 済 地 理 学 II	4	
経 済 地 理 学 I	4		原 書 講 読	4	
交 通 地 理 学	4		日 本 地 誌 II	4	
地 図 学	4		外 国 地 誌 II	4	
日 本 地 誌 I	4		地 理 学 特 講 I	2	半 期 科 目
外 国 地 誌 I	4		3 ・ 4 年 次 選 択		
3 年 次 選 択			文 化 地 理 学	4	
地 質 学	4		都 市 地 理 学	4	
地 球 物 理 学	4	休 講	計 量 地 理 学	4	
地 形 学 II	4		空 中 写 真 判 読 法 及 び 測 量 学	4	
気 候 学	4		日 本 地 誌 III	4	
土 壌 地 理 学	4		外 国 地 誌 III	4	
海 洋 学 及 び 陸 水 学	4		応 用 地 理 学 I	4	
環 境 地 理 学	4		応 用 地 理 学 II	4	

（注意） 上記のように学年次別に選択科目を分けているが、内容からみて上級学年が下級学年の科目を履修するのはさしつかえない。しかし、下級学年が上級学年の科目を履修することはできない。

◎ 測量士補資格について

地理学科の学生で、「地図学」・「空中写真判読法及び測量学」・「自然地理学実習」・「地理学演習」の単位を修得し、さらに「地形学（I・II）」・「地質学」・「地球物理学」・「応用地理学（I・II）」のうち2科目の単位を修得した者で、測量士補の資格を希望する者は、卒業後、大学が国土地理院長に測量士補の資格が得られるよう推薦する。

また、さらに卒業後1カ年以上測量に関する実務を経験し、その資格を証する書類を申請登録すれば、測量士の資格が得られる。

歴史学科（1年次の秋頃に各自専攻コースを届け出ること。）

必修科目

(1) 日本史専攻（40単位）

2・3・4年次必修			3年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
史学概論	4		演習Ⅰ（日本史）	4	演習Ⅰ(考古学)に振り替えることができる。
日本史学史	4		4年次必修		
日本史概説Ⅰ(古代・中世)	4		演習Ⅱ（日本史）	4	
日本史概説Ⅱ(近世・近代)	4		卒業論文	8	13頁参照
東洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4	2科目8単位 選択必修			
東洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4				
西洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4				
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4				
考古学概説Ⅰ(日本)	4				
考古学概説Ⅱ(外国)	4				

(2) 東洋史専攻（40単位）

2・3・4年次必修			3年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
史学概論	4		演習Ⅰ（東洋史）	4	演習Ⅰ(考古学)に振り替えることができる。
東洋史学史	4		4年次必修		
東洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4		演習Ⅱ（東洋史）	4	
東洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4		卒業論文	8	13頁参照
日本史概説Ⅰ(古代・中世)	4	2科目8単位 選択必修			
日本史概説Ⅱ(近世・近代)	4				
西洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4				
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4				
考古学概説Ⅰ(日本)	4				
考古学概説Ⅱ(外国)	4				

(3) 西洋史専攻 (40単位)

2・3・4年次必修			3年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
史学概論	4		演習Ⅰ(西洋史)	4	演習Ⅰ(考古学)に振り替え可能。
西洋史学史	4		4年次必修		
西洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4		演習Ⅱ(西洋史)	4	
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4		卒業論文	8	13頁参照
日本史概説Ⅰ(古代・中世)	4	2科目8単位 選択必修			
日本史概説Ⅱ(近世・近代)	4				
東洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4				
東洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4				
考古学概説Ⅰ(日本)	4				
考古学概説Ⅱ(外国)	4				

(4) 考古学専攻

A. 62年度以降入学生適用 (46単位)

2・3・4年次必修			2・3・4年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
史学概論	4		考古学実習(写真)	4	1科目4単位 選択必修
考古学史	4		考古学実習(測量)	4	
考古学概説Ⅰ(日本)	4		考古学実習(石器)	4	
考古学概説Ⅱ(外国)	4		考古学実習(土器)	4	
日本史概説Ⅰ(古代・中世)	4	2科目8単位 選択必修	3年次必修		
日本史概説Ⅱ(近世・近代)	4		考古発掘実習	2	
東洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4		演習Ⅰ(考古学)	4	他の専攻の演習Ⅰに振り替え可能。
東洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4		4年次必修		
西洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4		演習Ⅱ(考古学)	4	
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4		卒業論文	8	13頁参照



B. 61年度以前入学生適用（40単位）

2・3・4年次必修			3年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
史学概論	4		演習Ⅰ（考古学）	4	他の専攻の演習Ⅰに振り替えることができる。
考古学史	4		4年次必修		
考古学概説Ⅰ（日本）	4		演習Ⅱ（考古学）	4	
考古学概説Ⅱ（外国）	4		卒業論文	8	13頁参照
日本史概説Ⅰ（古代・中世）	4	2科目8単位 選択必修			
日本史概説Ⅱ（近世・近代）	4				
東洋史概説Ⅰ（古代・中世）	4				
東洋史概説Ⅱ（近世・近代）	4				
西洋史概説Ⅰ（古代・中世）	4				
西洋史概説Ⅱ（近世・近代）	4				

選 択 科 目（2年次以降の履修科目）

日本史専攻・東洋史専攻・西洋史専攻（32単位以上）

考古学専攻（62年度以降入学生適用，26単位以上）

（61年度以前入学生適用，32単位以上）

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
日 本 史 各 説 I	4	休 講	東洋史特講 I (古 代)	4	休 講 旧「東洋史特講 VII」
日 本 史 各 説 II	4		東洋史特講 II (古 代)	4	休 講
日 本 史 各 説 III	4		東洋史特講 III (古 代)	4	
日 本 史 各 説 IV	4		東洋史特講 IV (中 世)	4	休 講
東洋史各説 I (古 代)	4	旧「東洋史各説 II」	東洋史特講 V (中 世)	4	休 講
東洋史各説 II (古 代)	4	休 講	東洋史特講 VI (中 世)	4	旧「東洋史特講 III・VI」
東洋史各説 III (中 世)	4	旧「東洋史各説 I」	東洋史特講 VII (近 世)	4	休 講
東洋史各説 IV (中 世)	4	休 講	東洋史特講 VIII (近 世)	4	
東洋史各説 V (近 世)	4	旧「東洋史各説 III」	東洋史特講 IX (近 世)	4	休 講
東洋史各説 VI (近 世)	4	休 講	東洋史特講 X (近・現代)	4	
東洋史各説 VII (近・現代)	4		東洋史特講 XI (近・現代)	4	休 講 旧「東洋史特講 IV」
東洋史各説 VIII (周 辺 史)	4		東洋史特講 XII (近・現代)	4	旧「東洋史特講 II」
東洋史各説 IX (周 辺 史)	4	旧「東洋史各説 IV」	東洋史特講 XIII (周 辺 史)	4	旧「東洋史特講 V」
東洋史各説 X (周 辺 史)	4	旧「東洋史各説 II」	東洋史特講 XIV (周 辺 史)	4	旧「東洋史特講 I」
西 洋 史 各 説 I	4	休 講	東洋史特講 XV (周 辺 史)	4	
西 洋 史 各 説 II	4		西 洋 史 特 講 I	4	
西 洋 史 各 説 III	4	休 講	西 洋 史 特 講 II	4	
西 洋 史 各 説 IV	4		西 洋 史 特 講 III	4	休 講
考 古 学 各 説 I	4		西 洋 史 特 講 IV	4	休 講
考 古 学 各 説 II	4		西 洋 史 特 講 V	4	
考 古 学 各 説 III	4	休 講	西 洋 各 国 史 I	4	
考 古 学 各 説 IV	4	休 講	西 洋 各 国 史 II	4	
日本史特講 I (古 代)	4		西 洋 各 国 史 III	4	
日本史特講 II (中 世)	4		西 洋 各 国 史 IV	4	
日本史特講 III (中 世)	4		考 古 学 特 講 I	4	
日本史特講 IV (近 世)	4		考 古 学 特 講 II	4	休 講
日本史特講 V (近 世)	4		考 古 学 特 講 III	4	休 講 } 隔年開講
日本史特講 VI (近 代)	4		考 古 学 特 講 IV	4	
日本史特講 VII (近 代)	4		古 文 書 学	4	

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考	
古 文 書 講 読 I	4		人 文 地 理 学 概 説	4		
古 文 書 講 読 II	4		地 誌 学	4		
日 本 仏 教 史 I	4	休 講	哲 学 史	4		
日 本 仏 教 史 II	4		歴 史 哲 学	4		
日 本 仏 教 史 III	4	休 講	仏 教 美 術	4		
日 本 文 化 史 I	4	休 講 } 隔 年 開 講	西 域 美 術 史	4		
日 本 文 化 史 II	4		美 術 史 概 説	4		
西 洋 文 化 史 I	4		ラ テ ン 語 特 講	4		
西 洋 文 化 史 II	4		演 習 I	4	※イ ※ロ	
西 洋 文 化 史 III	4	休 講	演 習 II	4		
考 古 学 実 習 (写 真)	4	(注) ※イ	日 本 史 概 説 I (古 代・中 世)	4	(注)	
考 古 学 実 習 (測 量)	4		日 本 史 概 説 II (近 世・近 代)	4		
考 古 学 実 習 (石 器)	4		東 洋 史 概 説 I (古 代・中 世)	4		
考 古 学 実 習 (土 器)	4		東 洋 史 概 説 II (近 世・近 代)	4		
考 古 発 掘 実 習	2		西 洋 史 概 説 I (古 代・中 世)	4		
有 職 故 実	4	休 講	西 洋 史 概 説 II (近 世・近 代)	4		
中 国 歴 史 文 学	4		考 古 学 概 説 I (日 本)	4		
日 本 民 俗 学	4		考 古 学 概 説 II (外 国)	4		
歴 史 地 理 学	4					

※イ. 3年次の履修科目

※ロ. 4年次の履修科目

(注意) 選択科目として履修を希望する者は、必修科目として履修した科目以外を履修すること。

[名称変更科目]

新・旧科目とも同一科目です。旧名称科目の単位を既に修得している場合、新名称科目を履修することはできない。

新名称	旧名称	新名称	旧名称
東洋史特講Ⅰ(古 代)	東洋史特講Ⅶ(古 代 史)	東洋史各説Ⅰ(古 代)	東 洋 史 各 説 Ⅱ
東洋史特講Ⅵ(中 世)	東洋史特講Ⅲ(中 世 史) 東洋史特講Ⅵ(中 世 史)	東洋史各説Ⅲ(中 世)	東 洋 史 各 説 Ⅰ
東洋史特講Ⅺ(近・現代)	東洋史特講Ⅳ(近代・現代史)	東洋史各説Ⅴ(近 世)	東 洋 史 各 説 Ⅲ
東洋史特講Ⅻ(近・現代)	東洋史特講Ⅱ(近世・近代史)	東洋史各説Ⅸ(周辺史)	東 洋 史 各 説 Ⅳ
東洋史特講Ⅼ(周辺史)	東洋史特講Ⅴ(西・中央アジア史)	東洋史各説Ⅹ(周辺史)	東 洋 史 各 説 Ⅱ (59年度 光嶋担当分)
東洋史特講Ⅽ(周辺史)	東洋史特講Ⅰ(中国周辺史)	考古学実習(写 真)	考古学実習Ⅰ(写 真)
		考古学実習(測 量)	考古学実習Ⅲ(測 量)
		考古学実習(石 器)	考古学実習Ⅱ(記 録)
		考古学実習(土 器)	考古学実習Ⅳ(調 査)

社会学科（1年次の秋頃各自専攻コースを届け出ること。）

(1) 社会学コース

必修科目（56単位）

2年次必修			2・3・4年次必修			
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考	
社会統計学	4		マスコミュニケーション	4	5科目20単位 選択必修	
社会学史	4		産業社会学	4		
社会学方法論	4		都市社会学	4		
3年次必修			農村社会学	4		
社会調査	4		家族社会学	4		
社会調査実習	4		法社会学	4		
演習Ⅰ	4	社会	宗教社会学	4		
4年次必修			社会心理学	4		
演習Ⅱ	4	社会	社会病理学	4		
卒業論文	8	13頁参照	外書講読Ⅰ	4		
			外書講読Ⅱ	4		
			社会学特講Ⅰ	4		
			社会学特講Ⅱ	4		休講
			社会学特講Ⅲ	4		休講

(注意) 「演習」は3年次で履修した先生のものを、卒業論文の指導を受けることを前提に4年次も継続的に履修すること。

選択科目(16単位以上)(2年次以降の履修科目)

授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
マスコミュニケーション	4	(注)	図書館学Ⅱ	4	
産業社会学	4		社会福祉援助技術総論	4	旧「社会福祉方法 総論」
都市社会学	4		法学(福祉)	4	旧「社会福祉法制」
農村社会学	4		社会保障論	4	旧「社会保障概論」
家族社会学	4		老人福祉論	4	
法社会学	4		児童福祉論	4	
宗教社会学	4		地域福祉論	4	
社会心理学	4		基礎心理学Ⅰ	4	
社会病理学	4		産業心理学	4	
外書講読Ⅰ	4		グループ・ダイナミックス	4	
外書講読Ⅱ	4		民法	4	
社会学特講Ⅰ	4		労働法	4	
社会学特講Ⅱ	4		行政法	4	
社会学特講Ⅲ	4		経済原論	4	
社会学原論	4		社会学原論	4	
図書館学Ⅰ	4	図書館学Ⅰ	4		

(注意) 選択科目として履修を希望する者は、必修科目として履修した科目以外を履修すること。

[名称変更科目]

新・旧科目とも同一科目です。旧名称科目の単位を既に修得している場合、新名称科目を履修することはできない。

新名称	旧名称
社会福祉援助技術総論	社会福祉方法総論
法学(福祉)	社会福祉法制
社会保障論	社会保障概論

(2) 社会福祉コース

必修科目

A. 63年度以降入学生適用 (56単位)

2 年 次 必 修			2・3・4 年 次 必 修				
授 業 科 目	単 位	備 考	部 門	授 業 科 目	単 位	備 考	
社会福祉調査論	2		方法・ 援助技術部門	社会福祉援助技術各論ⅠA	4	※ } 3科目12単位 選択必修	
社会福祉援助技術総論	4	※		社会福祉援助技術各論ⅠB	4		※
社会福祉援助技術各論ⅡB	4	※		社会福祉援助技術各論ⅡA	4		※
法 学 (福 祉)	4	⊗		リハビリテーション論	4		
				社会福祉計画論	4		
				社会福祉運営論	4		
3 年 次 必 修			分 野 部 門	家 族 福 祉 論	4	※ } 3科目12単位 選択必修	
演 習 I	4	社会福祉		児 童 福 祉 論	4		⊗
社会福祉調査実習	2			障 害 者 福 祉 論	4		⊗
4 年 次 必 修				老 人 福 祉 論	4		⊗
演 習 II	4	社会福祉		地 域 福 祉 論	4		⊗
卒 業 論 文	8	13頁参照		公 的 扶 助 論	4		⊗
			医 療 福 祉 論	4			
			婦 人 福 祉 論	4			
			保 健 福 祉 論	4			

(注意) 「演習」は3年次で履修した先生のものを、卒業論文の指導を受けることを前提に4年次も継続的に履修すること。

【註】 イ. 本カリキュラムは『社会福祉士国家試験 (社会福祉士及び介護福祉士法)』と日本社会事業学校連盟専門職養成基準に基づいている。

ロ. ※印および⊗印は国家試験の受験資格取得に必要な指定科目であり、特に⊗印は指定科目のうちの基礎科目である。

なお、「社会福祉原論 (1年次の基礎教育科目)」も指定・基礎科目である。

ハ. 3年次選択科目の「社会福祉援助技術現場実習」および「社会福祉援助技術演習 (Ⅰ・Ⅱ)」は、教員1人あたりの担当学生数が20名以下と規定されている。

従って、履修希望者は予め担当教員の面接試験を受け、許可された者のみ履修することができる。

ニ. 「社会福祉援助技術実習」(2年次選択科目)および「社会福祉援助技術現場実習」(3年次選択科目)の履修時には、本学が定める実習費を別に納入しなければならない。

選択科目

A. 63年度以降入学生適用（16単位以上）

2 年 次 選 択			2・3・4 年 次 選 択			
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考	
社会福祉援助技術実習	2	※	社会 保 障 論	4	◎	
			社会福祉発達史	4		
3 年 次 選 択			社会福祉外書講読	4		
社会福祉援助技術現場実習	4	※	海外社会福祉論	4		
社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	※	社会 学（福祉）	4	◎	
社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	※	心 理 学（福祉）	4	◎	
			医 学 一 般	4	※	
2・3・4 年 次 選 択			介 護 概 論	4	※	
社会福祉援助技術各論ⅠA	4	※	} (注)	障 害 児 教 育 原 論	4	
社会福祉援助技術各論ⅠB	4	※		障 害 児 教 育 方 法 論	4	休 講
社会福祉援助技術各論ⅡA	4	※		障 害 児 病 理	4	休 講
リハビリテーション論	4			障 害 児 心 理	4	休 講
社会福祉計画論	4			家 族 社 会 学	4	
社会福祉運営論	4			法 社 会 学	4	
家族福祉論	4			産 業 社 会 学	4	
児童福祉論	4	◎		社 会 病 理 学	4	
障害者福祉論	4	◎		心 理 検 査 法	4	
老人福祉論	4	◎		グループ・ダイナミックス	4	
地域福祉論	4	◎		カ ウ ン セ リ ン グ	4	
公的扶助論	4	◎		精 神 医 学	4	
医療福祉論	4			精 神 病 理 学	4	休 講
婦人福祉論	4			図 書 館 学Ⅰ	4	
保健福祉論	4			図 書 館 学Ⅱ	4	
社会福祉学特講Ⅰ	4		社 会 政 策	4		
社会福祉学特講Ⅱ	4		行 政 法	4		
社会福祉学特講Ⅲ	4		労 働 法	4		
社会福祉学特講Ⅳ	4		民 法	4		
社会福祉学特講Ⅴ	4	休 講	経 済 原 論	4		

(注意) 選択科目として履修を希望する者は、必修科目として履修した科目以外を履修すること。

「社会福祉学特講Ⅰ～Ⅴ」の内容については、講義内容欄を参照のこと。

必修科目

B. 62年度以前入学生適用（56単位）

2 年 次 必 修			2・3・4 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
社 会 保 障 論	4	◎旧「社会保障概論」	公 的 扶 助 論	4	◎
法 学（福祉）	4	◎旧「社会福祉法制」	障 害 者 福 祉 論	4	◎旧「障害福祉論」
社会福祉援助技術総論	4	※旧「社会福祉方法総論」	老 人 福 祉 論	4	◎
			児 童 福 祉 論	4	◎
3 年 次 必 修			婦 人 福 祉 論	4	旧「母子福祉論」
社 会 福 祉 実 習 I	4	※	医 療 福 祉 論	4	旧「医療社会事業論」
演 習 I	4	社会福祉	地 域 福 祉 論	4	◎
			社 会 福 祉 発 達 史	4	旧「社会福祉事業発達史」
4 年 次 必 修			社 会 福 祉 運 営 論	4	旧「社会福祉管理運営論」
演 習 II	4	社会福祉	社 会 福 祉 外 書 講 読	4	旧「福祉外書講読」
卒 業 論 文	8	13頁参照	リハビリテーション論	4	
			社会福祉援助技術各論ⅡB	4	※旧「社会福祉調査論」

A群（3科目12単位選択必修）

B群（3科目12単位選択必修）

（注意）「演習」は3年次で履修した先生のものを、卒業論文の指導を受けることを前提に4年次も継続的に履修すること。

【註】 イ. 本カリキュラムは昭和63年度から実施される『社会福祉士国家試験（社会福祉士及び介護福祉士法）』と日本社会事業学校連盟専門職養成基準に基づき改定した。

ロ. 社会福祉士国家試験の受験資格取得希望学生は、指定科目をすべて履修できるよう特別の配慮がしてある。

ハ. ※印および◎印は国家試験の受験資格取得に必要な指定科目であり、特に◎印は指定科目のうちの基礎科目である。

なお、「社会福祉原論（1年次の基礎教育科目）」も指定・基礎科目である。

ニ. 選択科目の「社会福祉援助技術演習（Ⅰ・Ⅱ）」および「社会福祉援助技術現場実習」は、教員1人あたりの担当学生数が20名以下と規定されている。

従って、履修希望者は予め担当教員の面接試験を受け、許可された者のみ履修することができる。

〔名称変更科目〕旧名称科目の単位を既に修得している場合、新名称科目を履修することはできない。

新 名 称	旧 名 称	新 名 称	旧 名 称
社 会 福 祉 原 論	—社会福祉概論	婦 人 福 祉 論	—母子福祉論
法 学（福祉）	—社会福祉法制	社 会 保 障 論	—社会保障概論
社会福祉援助技術総論	—社会福祉方法総論	社 会 福 祉 発 達 史	—社会福祉事業発達史
社会福祉援助技術各論ⅠA	—ケースワーク論	社 会 福 祉 運 営 論	—社会福祉管理運営論
社会福祉援助技術各論ⅠB	—グループワーク論	社 会 福 祉 外 書 講 読	—福祉外書講読
障 害 者 福 祉 論	—障害福祉論	社会福祉援助技術現場実習	—社会福祉実習Ⅱ
医 療 福 祉 論	—医療社会事業論	社会福祉援助技術各論ⅡB	—社会福祉調査論



選択科目

B. 62年度以前入学生適用（16単位以上）

2・3・4年次選択			2・3・4年次選択		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
公的扶助論	4	※	介護概論	4	※
障害者福祉論	4	※ 旧「障害福祉論」	基礎心理学Ⅰ	4	昭和64年度より廃講
老人福祉論	4	※	基礎心理学Ⅱ	4	昭和64年度より廃講
児童福祉論	4	※	社会心理学	4	昭和64年度より廃講
婦人福祉論	4	旧「母子福祉論」	心理検査法	4	
医療福祉論	4	旧「医療社会事業論」	グループ・ダイナミックス	4	
地域福祉論	4	※	カウンセリング	4	
社会福祉発達史	4	旧「社会福祉事業発達史」	精神医学	4	
社会福祉運営論	4	旧「社会福祉管理運営論」	精神病理学	4	休講
社会福祉外書講読	4	旧「福祉外書講読」	宗教社会学	4	昭和64年度より廃講
リハビリテーション論	4		産業社会学	4	
社会福祉援助技術各論ⅡB	4	※ 旧「社会福祉調査論」	都市社会学	4	昭和64年度より廃講
社会福祉援助技術各論ⅠA	4	※ 旧「ケースワーク論」	農村社会学	4	昭和64年度より廃講
社会福祉援助技術各論ⅠB	4	※ 旧「グループワーク論」	家族社会学	4	
社会福祉援助技術各論ⅡA	4	※	法社会学	4	
海外社会福祉論	4		社会病理学	4	
社会福祉学特講Ⅰ	4		障害児教育原論	4	
社会福祉学特講Ⅱ	4		障害児教育方法論	4	休講
社会福祉学特講Ⅲ	4		障害児病理	4	休講
社会福祉学特講Ⅳ	4		障害児心理	4	休講
社会福祉学特講Ⅴ	4	休講	図書館学Ⅰ	4	
社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	※	図書館学Ⅱ	4	
社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	※	社会政策	4	
社会福祉計画論	4		青少年問題研究	4	昭和64年度より廃講
社会福祉調査論	2	新設科目	行政法	4	
社会福祉調査実習	2	休講	労働法	4	
家族福祉論	4		民法	4	
保健福祉論	4		経済原論	4	
社会学(福祉)	4	※			
心理学(福祉)	4	※	3・4年次選択		
医学一般	4	※	社会福祉援助技術現場実習	4	※ 旧「社会福祉実習Ⅱ」

(注意) 選択科目として履修を希望する者は、必修科目として履修した科目以外を履修すること。

(3) 心理学コース

必修科目(36単位)

2 年 次 必 修			3 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
心 理 学 史	4		心理学研究Ⅲ(実習)	2	1科目2単位 選択必修
心 理 統 計 学	4		心理学研究Ⅳ(実習)	2	
心理学実験(実習)	2		心理学研究Ⅴ(実習)	2	
基 礎 心 理 学 Ⅰ	4	1科目4単位 選択必修	心理学研究Ⅵ(実習)	2	1科目4単位選 択必修(2年次 で必修または選 択として履修し た科目以外を履 修すること。)
基 礎 心 理 学 Ⅱ	4		基 礎 心 理 学 Ⅰ	4	
基 礎 心 理 学 Ⅲ	4		基 礎 心 理 学 Ⅱ	4	
基 礎 心 理 学 Ⅳ	4		基 礎 心 理 学 Ⅲ	4	
基 礎 心 理 学 Ⅴ	4		基 礎 心 理 学 Ⅳ	4	
3 年 次 必 修			基 礎 心 理 学 Ⅴ	4	
心 理 学 研 究 法	4		4 年 次 必 修		
心理学研究Ⅰ(実習)	2		演 習	4	
心理学研究Ⅱ(実習)	2		卒 業 論 文	8	13頁参照

(注意) 「基礎心理学Ⅰ～Ⅴ」の内容については、講義内容欄を参照のこと。

選 択 科 目 (36単位以上) (2年次以降の履修科目)

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
基礎心理学Ⅰ	4	必修として履修した科目以外を履修すること。	心理学特講Ⅱ	4	
基礎心理学Ⅱ	4		心理学特講Ⅲ	4	
基礎心理学Ⅲ	4		精神医学	4	
基礎心理学Ⅳ	4		精神病理学	4	休講
基礎心理学Ⅴ	4		心身医学	4	休講
心理学研究Ⅰ(実習)	2	3・4年次選択3年次で必修とした科目以外を履修すること。	宗教社会学	4	
心理学研究Ⅱ(実習)	2		産業社会学	4	
心理学研究Ⅲ(実習)	2		家族社会学	4	
心理学研究Ⅳ(実習)	2		社会病理学	4	
心理学研究Ⅴ(実習)	2		マスコミュニケーション	4	
心理学研究Ⅵ(実習)	2		社会福祉援助技術総論	4	旧「社会福祉方法総論」
生理心理学	4		障害者福祉論	4	旧「障害福祉論」
児童心理学	4		老人福祉論	4	
産業心理学	4		児童福祉論	4	
グループ・ダイナミクス	4		民 法	4	
カウンセリング	4		経 済 原 論	4	
心理検査法	4		行 政 法	4	
禅心理学	4		労 働 法	4	
心理学特講Ⅰ	4				

(注意) 2年次における「基礎心理学Ⅰ～Ⅴ」の選択科目としての履修は、3科目以内とする。

〔名称変更科目〕

新・旧科目とも同一科目です。旧名称科目の単位を既に修得している場合、新名称科目を履修することはできない。

新 名 称

旧 名 称

社会福祉援助技術総論 —— 社会福祉方法総論

障害者福祉論 —— 障害福祉論

## 6. 他学部科目の履修方法

所属している学科以外の学科、もしくは他学部または短期大学の授業科目の履修を希望する学生は、次の要領で履修することができる。

なお、履修に際しては授業科目担当教員の受講許可を必要とする。

### イ. 履修科目

他学部・他学科または短期大学に開設されている授業科目のうち、他学部履修科目として公開された授業科目の中から所属学科が履修を認めた授業科目とする。(他学部履修科目一覧表 参照)

### ロ. 履修年次

3・4年次生を対象とし、授業科目開設学科の定める年次とする。

### ハ. 履修科目数

履修できる科目数は、卒業までに3科目12単位以内とする。

なお、その履修科目は所属学科の履修制限科目数に含める。

### ニ. 履修方法

- (1) 「履修要項」の講義内容を参考に、『他学部履修科目授業時間表』の中から履修科目を選択し、『他学部履修願』に必要事項を記入の上、最初の授業に出席し授業科目担当教員の受講許可を受ける。

なお、『他学部履修科目授業時間表』および『他学部履修願』用紙は、教務部窓口で配布する。

- (2) 『単位履修届』に履修科目（他学部履修科目を含む）その他必要事項を記入し、『他学部履修許可書』を添えて、所定の期日に提出すること。

### ホ. 履修登録上の注意

- (1) 所属学科の開設科目は、他学部科目として履修登録できない。
- (2) 他学部科目は、『他学部履修科目授業時間表』に記載の専用コード（005…）で登録すること。
- (3) 同一名称（開設学科が異なる）の授業科目は、1科目のみ履修することができる。

### ヘ. 再履修

他学部科目が不合格となり再度履修を希望する場合は、改めて前項の手続きを経なければならない。

なお、再履修の取扱いについては『再履修科目の履修方法』(P. 42)を参照のこと。

### ト. 単位認定

修得した単位は、所属学科の専門教育科目の選択科目の単位として認定し、卒業所要単位に算入することができる。

他学部履修科目一覧表

開設学科	授 業 科 目	単 位	履修年次	備 考	開設学科	授 業 科 目	単 位	履修年次	備 考
禅学 科	禅学特講Ⅰ	4	3・4		仏教 学 科	印度仏教史	4	3・4	
	禅学特講Ⅱ	4	3・4			中国仏教史	4	3・4	
	禅学特講Ⅲ	4	3・4			日本仏教史	4	3・4	
	禅学特講Ⅳ	4	3・4			日用経典	4	3・4	
	禅学思想史	4	3・4			仏教美術	4	3・4	歴史学科 除く
	哲学史	4	3・4	歴史学科 除く		現代哲学概説	4	3・4	

開講 学科	授 業 科 目	単 位	履 修 年 次	備 考	開講 学科	授 業 科 目	単 位	履 修 年 次	備 考	
国 文 学 科	上 代 文 学	4	3・4	国文学科 除く	商 学 科	財 務 会 計 論	4	3・4		
	中 世 文 学	4	3・4	国文学科 除く		管 理 会 計 論	4	3・4		
	近 世 文 学	4	3・4	国文学科 除く		会 計 監 査 論	4	3・4		
	近 代 文 学	4	3・4	国文学科 除く		商 業 政 策	4	3・4		
	中 国 文 学	4	3・4	国文・歴史学科 除く		貿 易 論	4	3・4		
英 米 文 学 科	英文学特講Ⅰ(英文学16・17c.)	4	3・4	英米文学科 除く	法 律 学 科	マ ー ケ テ ィ ン グ	4	3・4		
	英文学特講Ⅱ(英文学18c.)	4	3・4	英米文学科 除く		原 価 計 算 論	4	3・4		
	英文学特講Ⅲ(詩19・20c.)	4	3・4	英米文学科 除く		労 務 管 理 論	4	3・4		
	英文学特講Ⅳ(小説Ⅰ 19c.)	4	3・4	英米文学科 除く		行 政 法 Ⅱ	4	3・4		
	英文学特講Ⅴ(小説Ⅱ 20c.)	4	3・4	英米文学科 除く		民 法 Ⅳ(1)	4	3・4	社会学科 除く	
	英文学特講Ⅵ(批評19・20c.)	4	3・4	英米文学科 除く		民 法 Ⅳ(2)	4	4		
	英米演劇特講	4	3・4	英米文学科 除く		比 較 憲 法	4	3・4		
	米文学特講Ⅰ(詩)	4	3・4	英米文学科 除く		地 方 自 治 法	4	3・4		
	米文学特講Ⅲ(小説Ⅱ)	4	3・4	英米文学科 除く		経 済 法	4	3・4		
	時 事 英 語	4	3・4	英米文学科 除く		国 際 関 係 論	4	3・4		
地 理 学 科	地 質 学	4	3・4	地理学科 除く	政 治 学 科	西 洋 政 治 史	4	3・4		
	気 候 学	4	3・4	地理学科 除く		宣 伝 広 告 論	4	3・4		
	人 口 地 理 学	4	3・4	地理学科 除く		比 較 社 会 構 造 論	4	3・4		
	応 用 地 理 学 Ⅰ	4	3・4	地理学科 除く		経 営 学 史	4	3・4		
	都 市 地 理 学	4	3・4	地理学科 除く		国 際 経 営 論	4	3・4		
	文 化 地 理 学	4	3・4	地理学科 除く		経 営 統 計	4	3・4		
						保 險 経 営 論	4	3・4		
歴 史 学 科	日 本 仏 教 史 Ⅱ	4	3・4	歴史学科 除く	経 営 学 科	財 務 会 計 論	4	3・4		
	日 本 史 特 講 Ⅶ(近代)	4	3・4	歴史学科 除く		経 営 分 析 論	4	3・4		
	東 洋 史 特 講 Ⅹ(近・現代)	4	3・4	歴史学科 除く		税 務 会 計 論	4	3・4		
	西 洋 文 化 史 Ⅰ	4	3・4	歴史学科 除く		国 際 経 済 論	4	3・4		
	考 古 学 特 講 Ⅲ	4	3・4	歴史学科 除く (隔年開講)		商 業 史	4	3・4		
	歴 史 哲 学	4	3・4	歴史学科 除く		短 大 国 文 学 科	国 文 講 読 Ⅰ(上代)	2	3・4	国文学科 除く
	哲 学 史	4	3・4	歴史学科 除く			国 文 講 読 Ⅱ(中古)	2	3・4	国文学科 除く
	日 本 民 俗 学	4	3・4	歴史・国文学科 除く			国 文 講 読 Ⅲ(中世)	2	3・4	国文学科 除く
マ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	4	3・4	社会学科 除く	国 文 講 読 Ⅳ(近世)	2		3・4	国文学科 除く		
産 業 社 会 学	4	3・4	社会学科 除く	国 文 講 読 Ⅴ(近・現代)	2		3・4	国文学科 除く		
都 市 社 会 学	4	3・4	社会学科 除く	国 文 特 講 Ⅴ(近・現代)	4		3・4	国文学科 除く		
社 会 福 祉 発 達 史	4	3・4	社会学科 除く	短 大 英 文 学 科	英 文 タ イ プ ラ イ テ ィ ン グ Ⅱ		2	3・4	国文学科 除く	
ソ ビ エ ト 経 済 論	4	3・4			時 事 英 語		4	3・4	国文・英文学科 除く	
社 会 政 策	4	3・4	社会学科 除く		計 算 機 言 語 概 論	2	3・4	国文学科 除く		
国 民 所 得 論	4	3・4			臨 床 放 射 線 特 講 Ⅰ	2	3・4	国文学科 除く		
中 国 経 済 論	4	3・4			応 用 計 測 学	2	3・4	国文学科 除く		
ア ジ ア 経 済 論	4	3・4								
日 本 経 済 史	4	3・4								
中 小 企 業 論	4	3・4								

## 7. 随意科目の履修方法

随意科目は各学科とも2・3・4年次で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることはできない。

授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
宗教学特講Ⅰ	4		美術史概説	4	※ロ	ドイツ語FLL(初級)	2	
宗教学特講Ⅱ	4		東洋思想研究	4	※ハ	ドイツ語FLL(中級)	2	
宗教学特講Ⅲ	4		日本仏教史	4	※イ休講	フランス語FLL(初級)	2	
哲学特講Ⅰ	4		日本文化史Ⅰ	4	休講 隔年 開講 ※ニ	フランス語FLL(中級)	2	
哲学特講Ⅱ	4		日本文化史Ⅱ	4		中国語FLL(初級)	2	
哲学特講Ⅲ	4		英会話Ⅱ	2		中国語FLL(中級)	2	
宗教人類学	4		ドイツ語F	2		スペイン語FLL(初級)	2	
民間信仰論	4		フランス語F	2		スペイン語FLL(中級)	2	
日本宗教文化史	4		中国語F	2		ロシア語FLL(初級)	2	
民衆宗教成立史	4		スペイン語F	2		ロシア語FLL(中級)	2	
歴史哲学	4	※イ	ロシア語F	2		英語(海外演習)	2	※ホ
日本民俗学	4	※ロ	英語LLⅡ	2				

※イ. 歴史学科を除く。      ※ロ. 国文・歴史学科を除く。

※ハ. 国文学科を除く。      ※ニ. 国文・英米文・歴史学科を除く。

※ホ. 「英語(海外演習)」は、ハワイ大学およびカリフォルニア大学で行われる短期留学サマーセミナーで、1年次生より履修できる。なお、詳細については、講義内容(P.75)を参照のこと。

## 8. 再履修科目の履修方法

イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目(受験しなかった科目を含む)を翌年度に再度履修することをいう。この場合、授業科目名が同じであれば担当教員に変更があっても同一科目再履修となる。

ロ. 翌年度に再履修しないで翌々年度以降に履修する場合は、新履修とみなして履修しなければならない。(休学の場合も同様)

ハ. 再履修の授業科目は、新履修の授業科目と同時に届け出なければならない。

ニ. 外国語(英米文学科の3Aは除く)・体育実技Ⅰ(59年度以前入学生は体育実技)・保健体育理論および宗教学Ⅰを再履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」(本校で授業を行う)で履修すること。

ただし、原級者で同級学年の科目を再履修する場合は正規クラスで履修すること。

ホ. 1年次生は「再履修クラス」を履修することはできない。

### ※「日本語」・「日本事情」科目の履修方法(昭和63年度以降入学生適用)

『外国人留学生』・『海外帰国子女』学生対象の科目で、原則として1・2年次において履修すること。

○ 日本語科目は、各所属学科の定めるところにより第一外国語または第二外国語として履修すること。修得単位は、外国語科目の卒業所要単位に算入する。

○ 日本事情科目の修得単位は、8科目16単位を超えない範囲で一般教育科目の卒業所要単位に算入する。

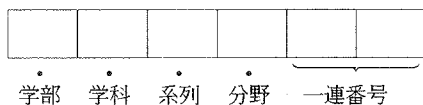
○ 62年度以前入学生で日本語・日本事情科目の履修を希望する学生、または63年度以降入学生で各所属学科の定める一般教育科目および外国語科目の代替できる単位の範囲を超えて履修した場合は、これを随意科目として単位認定する。

(注) 詳細は、『日本語・日本事情科目の履修要項』を参照すること。

※ 授業科目のコード番号について

科目コードは6桁の数字とし、その各位の数字に次の意味を持たせている。

イ. 科目コードの区分



ロ. 学部・学科番号は「学生番号 (P. 55参照)」での説明のとおりである。

ハ. 系列・分野区分

授業科目の区分	系列番号	分野番号
一般教育科目	0	
人文分野		1 (必修)・2 (選択)
社会分野		3
自然分野		4
基礎教育科目	1	2
外国語科目	2	
保健体育科目	4	
実        技		1
講        義		2
専門教育科目	5	
必修科目		1・2・3
選択科目		5・6・7・8
随意科目	7	
再履修科目	8	
課程・講座科目	9	
必修科目		1
選択科目		2
教科科目		3・4・5・6・7・8

## Ⅳ 履修科目の登録（履修届）とその作成順序

### 1. 履修科目の登録

毎学年次所属する学科，学年に開講されている授業科目の中から履修を希望する科目を授業時間表より選び，所定の『単位履修届』用紙に必要事項を記入し届け出ることにより，通年（または半期）授業を受けることができる。

I) 各年次において履修できる最高授業科目数（制限科目数）は次表のとおりとする。

年次	新履修科目数	課程・講座登録者科目数
1 年次	15 科目	——
2 年次	14 科目以内	17 科目以内
3 年次	14 科目以内	17 科目以内
4 年次	1 科目以上	

- イ. 2 年次生以上の再履修科目および体育実技Ⅱ，随意科目は，上記表の制限外とする。
- ロ. 4 年次生は最低 1 科目以上とし，最高制限を設けないが，卒業単位および授業出席に十分ゆとりのある履修をすること。
- ハ. 半期科目も 1 科目とする。

### II) 登録上の注意

- イ. 履修届は指定された日時に必ず本人が記入捺印し，学生証提示の上提出すること。（提出しない場合は，学業の意志のないものとして処理する。なお，指定日時に提出できないものは事前に教務部窓口相談すること。）
- ロ. 履修届の日時，場所等についての詳細は原則として新年度成績発表前に教務部掲示板に発表する。
- ハ. 所属する学科以外の授業科目は登録できない。ただし，他学部履修科目（P.40 参照）は，履修登録できる。

また，課程・講座等資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として登録できるが，その場合は教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。

- ニ. 履修登録をしない授業科目はたとえ聴講，受験しても単位は与えない。
- ホ. 授業科目の追加登録は一切認めない。
- ヘ. 『単位履修届』用紙の注意事項をよく読んで間違いのないように登録すること。



## 2. 履修届記入上の注意

授業時間表(例)

月 曜 日				
	授 業 科 目	科 目 コ ー ド	担 当	担 当 コ ー ド
一 時 限	ド イ ツ 語 1 G	212201	百 済	879
	~~~~~			
一 時 限	保 健 体 育 理 論 (前 期)	214201	長 濱	A10
	保 健 体 育 理 論 (後 期)			622
~~~~~				
三 時 限	宗 教 学 I	210101	平井(俊)	735
~~~~~				
四 時 限	論 理 学	210203	國 嶋	306
	~~~~~			
五 時 限	自 然 科 学 概 論	210401	宇和川	104
	~~~~~			

正しい記入例

曜 日	時 限	再 履	科 目 名	科 目 代 表 科 目 代 表 科 目 代 表 科 目 代 表	科 目 代 表 科 目 代 表 科 目 代 表 科 目 代 表	担 当	担 当 コ ー ド				
月     (1)	1		ド イ ツ 語 1 G	2	1	2	0	1	百 済	879	
	2		保 健 体 育 理 論 (前 期)	2	1	4	2	0	1	長 濱	A10
	3		宗 教 学 I	2	1	0	1	0	1	平井(俊)	735
	4	○	論 理 学	2	1	0	2	0	3	國 嶋	306
	5		自 然 科 学 概 論	2	1	0	4	0	1	宇和川	104

- イ. 楷書体で正確に記入すること。
- ロ. 記入の際は、必ず黒または青インクを使用し、捺印の上提出すること。
- ハ. 授業時間表のとおり記入すること。
- ニ. 半期終了の科目は欄の中央に点線を入れ、前期終了科目は上段・後期終了科目は下段に記入すること。
- ホ. 再履修科目がある場合は、再履欄に○印をつけること。
- ヘ. 履修届は電算機で処理しているため、下記の場合、登録が無効となるので注意すること。
  - (1) 科目名・科目コード、担当名・担当コードが一致しない場合
  - (2) 時限を誤って記入した場合
  - (3) 間違い易い数字で記入した場合(例 0と6, 1と7)
  - (4) その他、不明瞭に記入した場合
- ト. 体育実技の記入方法は、授業時間表に載っている科目コード・担当名・担当コードを正しく記入すること。
- チ. 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。
- リ. 履修届の本人控を正確に記入し、紛失しないように保管すること。

### 3. 履修届（時間割）の作成順序

履修要項・授業時間表により、各自がそれぞれの学年次の履修科目を決定する訳であるが、その場合必修科目、選択必修科目、選択科目の順序で決定すること。また、一般教育科目・外国語科目・保健体育科目および基礎教育科目は1・2年次で所定の単位を修得し、上級学年に進むに従い専門教育科目、課程・講座科目等を多く履修することが望ましい。

1年次生の場合、次表の順序で履修する科目を決定すると容易である。

#### 国文学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	基礎国語学，基礎国文学，基礎中国文学（必修）	3
5	専門教育科目	国文学講読Ⅰ（必修）	1
6	一般教育科目	人文分野 } 社会分野 } 開講科目の中から4科目選択必修 自然分野 } (不足単位は2年次で履修)	4
1年次履修制限科目数			15

#### 英米文学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	英または米文学概論，基礎英語ⅠA，ⅠB（必修）	3
5	一般教育科目	人文分野：開講科目の中から2科目を選択必修	2
		社会分野：開講科目の中から2科目を選択必修	2
		自然分野：開講科目の中から1科目を選択必修	1
1年次履修制限科目数			15

## 地理学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	基礎自然地理学，基礎人文地理学（必修）	2
5	一般教育科目	人文分野：開講科目の中から1科目を選択必修	1
		社会分野：開講科目の中から3科目を選択必修	3
		自然分野：開講科目の中から2科目を選択必修	2
1年次履修制限科目数			15

## 歴史学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	基礎歴史学（必修）	1
5	一般教育科目	人文分野：開講科目の中から2科目を選択必修	2
		社会分野：開講科目の中から3科目を選択必修	3
		自然分野：開講科目の中から2科目を選択必修	2
1年次履修制限科目数			15

## 社会学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	社会学概論，社会福祉原論，心理学概論（必修）	3
5	一般教育科目	人文分野 } 開講科目の中から5科目を選択必修 社会分野 } 自然分野 } （不足単位は2年次で履修）	5
1年次履修制限科目数			15

## V 試験および成績評価

### 1. 定期試験

- イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月に、後期および通年の授業科目の定期試験は1月から2月にかけて実施される。
- ロ. 正規の手続きを経て履修登録した授業科目のみ受験できる。
- ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、論題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上、表紙に科目名・担当教員名・論題・学科・学年・学生番号・氏名を明記し、読み易くとした上で提出すること。  
なお、指定された日時に遅れた場合は一切受理しない。
- ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の時限とし、時間および教場等については掲示で発表する。  
(注意) 試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験(同一科目を一括して行う試験)は平常時間割と曜日、時限とも変わるので試験時間および教場割等については掲示に十分注意すること。

### 2. 中間試験

授業科目担当教員が中間考査として任意に行う試験(レポート提出を含む)のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

### 3. 追・再試験

#### I) 追試験

- イ. 追試験は、やむを得ない理由があり定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその理由を記入し、自分の全ての試験終了後直ちに届け出ること。(締切日は掲示板参照)
- ロ. 追試験料は徴収しない。

#### II) 再試験

- 1・2・3年次生については、再試験は一切実施しない。  
卒業年次生に限り下記により実施する。
- イ. 卒業年次に履修登録した科目の定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。
- ロ. 受験料は1科目500円とする。

#### III) 体育・外国語科目・その他

- イ. 体育実技、演習、その他実験実習を伴う科目は追・再試験ともこれを行わない。
- ロ. 外国語科目についても追・再試験は行わない。ただし、定期試験を欠試した者は当該科目試験終了後直ちに担当教員に申し出て指導を受けること。

#### 4. 受験心得

- イ. 当該受験科目を履修登録していること。
- ロ. 指定された日・時・試験場（教場）で受験すること。
- ハ. 学生証を携帯していない学生は受験できない。
- ニ. 学生証は試験中、机上に提示しておくこと。
- ホ. 試験開始後30分を超えて遅刻した学生は受験できない。
- ヘ. 試験開始後30分を経過し、受験者名簿に氏名を記入するまで退場できない。
- ト. 学部・学科・学年・学生番号・氏名の記入はペンまたはボールペン書きとする。
- チ. 無記名の答案は無効となるので注意すること。
- リ. 配布された答案用紙は必ず提出し、試験場外へ持ち出してはならない。
- ヌ. 試験場（教場）においては、すべて試験監督員の指示に従うこと。
- ル. 試験場（教場）の秩序を乱したり、試験実施の妨げとなる行為をした場合は退場を命じる。
- ヲ. 試験において下記のような不正受験行為があった場合は、「不正受験行為者処分規程」により処分されるので注意すること。
  - (1) 代人として受験したり、または代人受験を依頼すること。
  - (2) 使用が許可されていないノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を使用すること。
  - (3) 所持品その他への事前の書き込みや机・壁等への書き込みを利用すること。
  - (4) 他人の答案をのぞき見て書き写したり、書き写しさせること。
  - (5) 私語及び動作・メモその他の方法で連絡をしたり、連絡を受けること。
  - (6) 試験中にノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を貸借すること。
  - (7) 答案用紙をすり替えたり、すり替えさせること。
  - (8) その他上記に類似する行為をすること。
- ワ. 学生証を忘れた場合は仮受験票により受験することができる。仮受験票の発行については、教務部窓口にて手続きをすること。

#### 5. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は、優（100点～80点）、良（79点～70点）、可（69点～60点）および不可（59点～0点）とし、優、良、可を合格、不可は不合格として発表する。  
なお、素点に関する問い合わせは一切受付ない。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し、合格の成績評価を得た授業科目については所定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験（4年次生のみ）の成績評価は良（70点）以下とする。

#### 6. 試験時間

定期試験実施時間（前期・後期とも）		追・再試験実施時間（前期）	追・再試験実施時間（後期）
1時限 9：30～10：30	4時限 14：30～15：30	1時限 16：10～17：00	1時限 9：30～10：20
2時限 11：00～12：00	5時限 15：50～16：50	2時限 17：10～18：00	2時限 10：50～11：40
3時限 13：00～14：00	6時限 17：10～18：10		3時限 13：00～13：50
			4時限 14：10～15：00
			5時限 15：20～16：10

試験実施規程（抜粋）が掲載されている（P.59）ので参照のこと。

## VI 進級について

上級学年に進級するためには、進級規程に定める各学年所定の単位を修得していなければならない。修得した単位数により進級および注意進級とし、基準単位数に達しない場合は原級留置とする。

○ 注意進級とは、進級の基準単位数に達していないが教育指導のうえ進級を認めるものである。

これによる進級者は、修得単位数が少ないために次年度に原級留置となったり、卒業が困難となる場合もあるので、十分反省して勉学に努める必要がある。

○ 修得単位数が注意進級の基準単位数に達しない場合は、原級とし、同一学年に留め置くものとする。

修得単位基準表（単位は卒業所要単位のうちとする。）

	1年次から2年次	2年次から3年次	3年次から4年次
進 級	30単位以上	60単位以上	90単位以上修得し、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目を全て修得していること。
注 意 進 級	29～20単位	59～50単位	90単位以上修得しているが、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目が1～12単位不足している場合。
原 級 留 置	19単位以下	49単位以下	89単位以下。または90単位以上修得しているが、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目が、13単位以上不足している場合。

進級規程が掲載されている（P.61）ので参照のこと。

## Ⅶ クラス制およびクラス主任

- イ. 学科の実情に応じて、1・2・3年次にクラス主任若干名をおいている。
- ロ. クラス主任は、学生の学習指導、生活相談等に当たっているから、これらのことについては遠慮なく相談されたい。

## Ⅷ 教職課程・資格講座

文学部で開講されている資格取得のための課程・講座は、次表のとおりである。

課程・講座名	開講年次	備 考
教 職 課 程	2年次より	教員資格取得のためのもので教職課程の所定単位を修得した者は、中学校1級・高等学校2級の各普通免許が取得できる。
学校図書館司書教諭講座	〃	学校教育を充実することを目的とする学校図書館の専門職としての資格。
博 物 館 学 講 座	〃	社会教育の場として博物館が十分に利用され、その目的、使命を達成するための学芸員の資格。
社会福祉主事 社会福祉士基礎 講座	〃	社会福祉を増進させるための機関等における専門職としての資格。(社会福祉士の基礎科目も修得可能)
社会教育主事講座	〃	社会教育活動を行う者に対し、求めに応じて専門的・技術的な助言と指導を与える教育専門職としての資格。

教職課程・資格講座の履修希望者は、1年次の秋(11月中旬)に実施するガイダンスに出席し、教職課程・資格講座の「履修要項」および「課程・講座受講登録カード」を受け取ること。(授業科目の講義内容は履修要項の講義内容を参照すること。)

なお、ガイダンスの日時等については、実施1カ月前より掲示板で、その旨指示する。

## IX 事務取扱いについて

### 1. 成績発表・成績証明書

- イ. 前期終了科目・後期および通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については、成績質疑応答期間内に教務部窓口にて相談すること。ただし、評価の質疑については直接担当教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を持参すること。
- ニ. 成績証明書は、卒業年次生以外は原則として発行しない。

### 2. 授 業 時 間

授業時間は、次表のとおりである。

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9:00~10:30	10:40~12:10	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40

### 3. 事務室の事務受付時間

- イ. 事務受付時間は、9時より16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出・成績発表・各申込等の受付は9時30分より16時までとする。

### 4. 休 講

- イ. 休講は担当教員より連絡があり次第、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。従って、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部⑦番窓口申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については午前7時現在、JR東京近郊区間（山手・中央・京浜東北）もしくは東急がストライキを行っている場合の授業は全面休講とする。

### 5. 掲 示

学生に対する公示・告示および学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示または、郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

### 6. 問い合わせ

事務室への電話による質問（行事予定、休講、授業、学籍、試験、成績、その他）は、間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要があるときは、必ず登校のうえ、掲示板を見るか、関係事務室窓口で問い合わせること。



## X 学籍について

### 1. 修業年限と在学年数

- イ. 修業年限とは、大学の教育課程修了に必要な期間のことをいう。(本大学の修業年限は4年)
- ロ. 在学年数とは、大学において学生の身分を有していられる期間のことで、本大学の在学年数は休学期間を除き7年と定めている。

### 2. 休 学

傷病その他の事由で引き続き2か月以上修学することができないときは、理由を付し、保証人連署のうえ願い出て休学の許可を得なければならない。

#### I) 休学の手続き

- イ. 休学願に添えて次の書類を提出すること。
  - (1) 傷病の場合は、医師の診断書
  - (2) 外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在留期間を証明する書類
  - (3) その他の理由の場合は、保証人連署の休学を必要とする理由書
- ロ. 休学の手続き期限は当該年度の11月30日までとする。
- ハ. 休学理由が休学許可日より2か月未満の期間内に消滅したときは、保証人連署の休学取り下げ願により休学を取り消すことがある。

#### II) 休学の期間

- イ. 休学の期間は1学年を区分とし、休学の許可を受けた日から当該年度の3月31日までとする。
- ロ. 引き続き休学を要する特別な事情があるときは、許可を得てさらに1年に限り休学することができる。
- ハ. 休学期間は通算4年を超えることはできない。
- ニ. 休学が許可された年度は在学年数に算入しない。

#### III) 休学する場合の学費

休学を願い出る者は当該期の学費を納入していること。

休学願提出日	学 費
4月1日～9月30日	前期分納入済のこと。(後期分免除)
10月1日～11月30日	前期分・後期分共納入のこと。

#### IV) 休学原級

休学を許可された者は、翌年度は現学年に原級留置とする。

### 3. 復 学

- イ. 休学した者が復学する場合は、前期学費を納入の上、保証人連署の復学願を4月10日までに提出し許可を得ること。
- ロ. 傷病で休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の証明書を添えること。

#### 4. 退 学

傷病その他やむを得ない事由で退学しようとする者は、所定の退学願を提出し許可を得ること。

イ. 退学願は、退学理由を付し保証人連署で願い出ること。

ロ. 退学願提出時に学生証を返却すること。

ハ. 退学年月日は次のとおりとする。

(1) 当該期学費納入者……退学願提出日

(2) 当該期学費未納者……学費納入済学期の最終日

#### 5. 除 籍

次の事項に該当する者はこれを除籍する。

イ. 在学年数を越えた者

ロ. 休学期間を越えた者

ハ. 学費の納付を怠り、督促を受けてもなお納入しない者

#### 6. 懲 戒

イ. 本大学の学則等に違反し、その他学生の本分に反する行為があった場合、情状により譴責、停学、退学の処分をする。

ロ. 退学処分は次の事項のいずれかに該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当の理由がなくて出席常でない者

(4) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

#### 7. 編 入 学 (学士入学)

本大学卒業生(卒業見込者)で卒業学部他学科または他学部学科の3年次または2年次に編入学を希望する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上入学を許可する。

イ. 3年次編入を出願していても、志望学科の単位認定の結果、2年次に入学を許可することがある。

ロ. 3年次または2年次に編入学を許可された者は、既にそれぞれ2年または1年の在学年数を経たものとする。

#### 8. 再 入 学

本大学を退学した者または除籍された者で、再入学を希望する者があるときは選考の上許可することがある。

イ. 入学後1年未満で退学した者または除籍された者は対象としない。

ロ. 退学または除籍後3年以内の者とする。(出願時を基準とする)

ハ. 再入学者の在学年数は、従前在学した年数と通算し7年以内とする。

#### 9. 転部・転科

本大学の学生で、同一学部他学科または他の学部学科に転科もしくは転部を希望する者があるときは、選考の上許可することがある。(学科により異なる)

転部・転科した者の在学年数は、転部・転科した年次にかかわらず、入学の時期から通算する。

## 10. 留 学

本大学の学生で、外国の大学または短期大学の授業科目の履修を希望する者があるときは、教授会の議を経てこれを許可することがある。

- イ. 履修した授業科目の修得単位については、本大学において修得したものとみなし、卒業所要単位に算入することができる。
- ロ. 留学期間は在学年数に算入する。

## 11. 学生氏名・保証人

- イ. 届け出の学生氏名は、戸籍抄本または外国人登録済証明書に記載されたとおりとする。
- ロ. 外国人登録済証明書に記載されている通称名の使用を希望する者は、願い出て許可を得ること。
- ハ. 通称名使用の許可を得た者は、本大学在学中一貫して通称名を使用することとし、本大学発行の証明書、成績表、各種名簿等はすべて通称名で表示する。
- ニ. 保証人は日本国内に在住する親権者もしくはそれに準ずる者で、独立の生計を営む成年者とし、在学中の一切の事項について保証する者とする。
- ホ. 学生・保証人の氏名住所等に変更があったときは、すみやかに所定の変更届を提出すること。

## 12. 学 生 番 号

- イ. 学生番号は在学中はもとより、卒業後も不変の本人固有番号となるので正確に覚えておくこと。
- ロ. 学生番号は6桁の数字からなっていて、その各位の数字に次の意味を持たせてある。

### 学生番号区分

⋮	⋮	⋮	└──────────┘		
学	学	人	一		
部	科	学	連		
		(西	番		
		暦	号		
		度			

### 学部・学科の番号

学 部 ・ 学 科 名	学部番号	学科番号
仏 教 学 部	1	
禅 学 科		1
仏 教 学 科		2
文 学 部	2	
国 文 学 科		1
英 米 文 学 科		2
地 理 学 科		3
歴 史 学 科		4
社 会 学 科		5
経 済 学 部	3	
経 済 学 科		1
商 学 科		2
法 学 部	4	
法 律 学 科		1
政 治 学 科		2
経 営 学 部	5	
経 営 学 科		1

(例) 1988年度入学・文学部国文学科 12番の場合

2	1	8	0	1	2
⋮	⋮	⋮	└──────────┘		
文学部	国文学科	一九八八年入学	12番		

## XI 既修得単位の認定について

### イ. 新たに第1年次に入学した者の既修得単位の認定

- (1) 他の大学または短期大学（外国の大学または短期大学を含む）を卒業または中途退学し、新たに本学の第1年次に入学した者については、学則第30条の2により、従前在学した大学等において既に修得した授業科目の単位のうち、一般教育科目、外国語科目および保健体育科目については、合計30単位を超えない範囲で本大学において修得した単位として認定することができる。
- (2) 既修得単位の認定を受けようとする者は、入学した年度の4月2日までに既修得単位認定申請書（所定様式）に成績（単位修得）証明書を添えて、教務部長に願い出なければならない。
- (3) 既修得単位の認定は、教務部長を経て当該教授会がこれを行う。

### ロ. 編入学者の単位認定

従前在学中に修得した授業科目の単位のうち、出願時に提出された成績（単位修得）証明書をもとに当該教授会で認定した授業科目の単位は、卒業所要単位の算入される。

### ハ. 再入学者の単位認定

従前在学中に修得した授業科目の単位については、再入学時に提出された成績（単位修得）証明書をもとに当該教授会でこれを認定する。

### ニ. 転部・転科者の単位認定

従前在学中に修得した授業科目の単位のうち、出願時に提出された成績（単位修得）証明書をもとに当該教授会で認定した授業科目の単位は、卒業所要単位の算入される。

この単位認定については、昭和62年度新生、編入学者、再入学者および転部・転科者から適用する。

## XII 届書・願書について

(教務部扱いのもの)

種 類	要 領 (必要書類)	本人印	保証人印	取扱窓口	
届	単 位 履 修 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・各年度に単位修得しようとする授業科目を指定期日に必ず届け出ること。</li> </ul>	要	不要	掲示
	欠 試 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・本人履修全科目の試験終了後直ちに届け出ること。(締切日は掲示参照)</li> </ul>	不要	不要	⑨
	卒業論文論題届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・掲示板にて指示。</li> </ul>	要	不要	⑥
	改 氏 名 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・戸籍抄本添付。</li> <li>・変更後1週間以内。</li> </ul>	要	不要	⑤
	本 籍 地 変 更 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・戸籍抄本添付。</li> <li>・変更後1週間以内。</li> </ul>	要	不要	
	保 証 人 変 更 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・在学誓書(保証書)添付。</li> <li>・変更後1週間以内。</li> </ul>	要	要	
	保証人住所変更届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・変更後1週間以内。</li> </ul>	要	不要	
	死 亡 届	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・死亡診断書添付。</li> </ul>	/	要	
願 書	休 学 願	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・傷病による場合は、医師の診断書添付。</li> <li>・外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在留期間を証明する書類。</li> <li>・その他の場合は、保証人連署の理由書。</li> </ul>	要	要	⑤
	復 学 願	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・傷病による休学をした場合は、医師の通学可能である証明書添付。</li> <li>・4月10日までに提出すること。</li> </ul>	要	要	
	退 学 願	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所定用紙あり。</li> <li>・学生証添付。</li> </ul>	要	要	

### XIII 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成績・卒業見込証明書（卒業年次生のみ）	教務部④番	1通 100円  (英文証明書) 1通 300円)
成績証明書		
卒業証明書		
学士証明書		
教員免許状取得見込証明書		
単位修得証明書 (教職, 司書教諭, 学芸員, 社会教育, 社会福祉)		
一般教養科目修了（見込）証明書		
その他の諸証明書		
人物考査書	就 職 部	
健康診断証明書	学 生 部 ③ 番	
在学証明書	学 生 部 ② 番	
学割		無 料
通学証明書		無 料

※ 経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付（郵送料も同様）の上、取扱い窓口に申し込むこと。発行は原則として3日後。

教務部取扱い証明書は、6月下旬から9月中旬までと3月は大変混雑するので、掲示に注意し、十分余裕をもって申し込むこと。

## 試験実施規程（抜粋）

（昭和59年7月13日制定）

### （目的）

第1条 この規程は、駒沢大学（以下「学部」という。）、駒沢短期大学（以下「短大」という。）、駒沢大学大学院（以下「大学院」という。）の各学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

### （試験の実施）

第2条 試験は、当該教授会の責任のもとに実施される。

### （試験の種類及び実施の時期）

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 定期試験 履修した授業科目修了の認定をするために前期あるいは後期の所定期間内に行われる試験をいう。
- (2) 追加試験（以下「追試験」という。） 病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について行う試験をいう。
- (3) 再試験 第1号の試験を受験し不合格となった者について、臨時に行う試験をいう。
- (4) 中間試験 第1号、第2号、第3号の試験とは別に平常の授業時間帯に授業科目担当教員が中間考査として行う試験をいう。

2. 試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、中間試験については、この限りではない。

3. 第1項第2号及び第3号に規定する追試験及び再試験は、次の各号の一に該当するときは、これを実施しない。

- (1) 学部1・2・3年次生の再試験
- (2) 学部外国語科目、体育実技、演習、その他実験実習をともなう授業科目の追試験及び再試験
- (3) 短大体育実技の追試験及び再試験

### （試験の方法）

第4条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担当教員の決定により、レポート提出をもってこれに代えることができる。

### （試験時間）

第5条 試験時間は、原則として第1部は60分、第2部は50分とする。ただし、追試験及び再試験については50分とする。

### （受験資格）

第6条 授業科目修了の認定にかかわる定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

- (1) 当該授業科目を履修登録していること。
- (2) 授業料その他の学費を納入していること。

2. 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、出席すべき時間数の3分の1以上欠席している者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。
3. 追試験を受験するためには、定期試験終了後速やかに当該授業科目の欠試験及び追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。
4. 再試験を受験するためには、所定の受験料を添えて再試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第7条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目試験の受験資格を失う。

- (1) 学生証を携帯していないとき。
- (2) 試験開始後30分を超えて遅刻したとき。
- (3) 試験監督員の指示に従わないとき。
- (4) 不正受験行為を指摘されたとき。

(受験心得)

第8条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効答案)

第9条 次の各号の一に該当する答案は、無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案
- (2) 不正受験行為により作成された答案
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案
- (4) 指定された時間、指定された場所に提出されない答案
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(成績評価及び単位認定)

第10条 試験の成績は、優(100点~80点)、良(79点~70点)、可(69点~60点)、不可(59点~0点)の4段階に分け、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、再試験の成績は、良(70点)、可、不可のいずれかとする。

2. 合格した授業科目については、所定の単位を修得したものと認める。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部(教務課、第二学事課)の所管とする。

附 則

この規程は、昭和59年7月13日から施行する。



## 進 級 規 程

(昭和51年4月1日制定)

昭和62年2月23日改正

### (目 的)

第1条 この規程は、駒沢大学学則第14条に基づき、学生が上級学年に進級するために必要な修得単位数の基準を定めることを目的とする。

### (進級基準単位数)

第2条 学生が上級学年に進級するときは、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得していなければならない。

- (1) 1年から2年に進級するときは、30単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年に進級するときは、60単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年に進級するときは、仏教学部、文学部、経済学部、経営学部、経済学部第2部、法学部第2部、経営学部第2部においては90単位以上、法学部においては99単位以上を修得していること。ただし、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の所要単位をすべて修得していなければならない。

### (注意進級基準単位数)

第3条 前条の規定にかかわらず、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得しているときは、本人に注意を喚起し、上級学年への進級を認めることができる。

- (1) 1年から2年への進級を認めるときは、20単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年への進級を認めるときは、経営学部及び経営学部第2部においては48単位以上、他の学部においては50単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年への進級を認めるときは、次に掲げる条件の一に該当していること。
  - ア. 仏教学部、文学部、法学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。
  - イ. 経済学部及び経済学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が16単位以下であること。
  - ウ. 法学部においては、99単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。
  - エ. 経営学部においては86単位以上、経営学部第2部においては84単位以上を修得し、かつ、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。

### (原 級)

第4条 修得単位数の合計が、注意進級基準単位数に達しない者は、原級に留め置くものとする。

### 附 則

#### 省 略



## 講義内容目次

一般教育科目(共通)	(66)
保健体育科目(共通)	(71)
随意科目(共通)	(72)
国文学科	(76)
英米文学科	(86)
地理学科	(95)
歴史学科	(104)
社会学科	(118)
他学部履修科目(共通)	(135)

[巻末]

教職および資格講座



一般教育科目(共通)

人文分野

宗教学 I (佐々木 宏幹) ……66

宗教学 I (洗 建) ……66

宗教学 I (山岡 隆晃) ……66

宗教学 I (脇本 平也) ……66

宗教学 I (再クラス) (岡部 和雄) ……66

宗教学 I (再クラス) (前期) (奈良 康明)  
(後期) (阿部 慈園) ……66

宗教学 II (青龍 宗二) ……66

宗教学 II (峰岸 孝哉) ……67

宗教学 II (河村 孝道) ……67

宗教学 II (若月 正吾) ……67

宗教学 II (石井 修道) ……67

哲学 (久保 陽一・中村 友太郎) ……67

論理学 (円谷 裕二・丸山 豊樹) ……67

歴史学 (廣瀬 良弘) ……67

文学 (田中 徳定) ……68

芸術学 (日本美術) (林 良一) ……68

芸術学 (西洋美術) (宮崎 克己) ……68

社会分野

法学憲法 (和知 恵一) ……68

法学憲法 (鶏徳 啓登) ……68

経済学 (荒木 勝啓) ……68

政治学 (小林 正敏) ……68

社会学 (橋爪 敏) ……69

文化人類学 (加藤 正春) ……69

地理学 (中俣 均) ……69

地理学 (矢野 陽子) ……69

自然分野

自然科学概論 (宇和川 正人) ……69

自然科学概論 (斎藤 浩三) ……69

数学 (斎藤 浩三) ……69

生物学 (清水 善和) ……70

生物学 (本間 暁) ……70

心理学 (横山 剛) ……70

心理学 (坂原 明) ……70

人類学 (斎藤 成也) ……70

地学 (中島 義一) ……70

化学 (高木 正博) ……70

物理学 (篠原 正雄) ……70

保健体育科目(共通)

保健体育理論 (三幣 晴三) ……71

保健体育理論 (村松 誠) ……71

保健体育理論 (森本 葵) ……71

保健体育理論 (再クラス) (三幣 晴三) ……71

保健体育理論 (再クラス) (森本 葵) ……71

随意科目(共通)

宗教学特講 I (松田 文雄) ……72

宗教学特講 II (脇本 平也) ……72

宗教学特講 III (洗 建) ……72

哲学特講 I (東洋) (篠原 壽雄) ……72

哲学特講 II (西洋) (國嶋 一則) ……72

哲学特講 III (西洋) (久保 陽一) ……72

宗教学人類学 (佐々木 宏幹) ……72

民間信仰論 (谷口 貢) ……73

日本宗教文化史 (脇本 平也) ……73

民衆宗教成立史 (洗 建) ……73

歴史哲学 (山下 太郎) ……73

美術史概説 (林 良一) ……73

東洋思想研究 (館野 正美) ……73

日本文化史 II (有元 修一) ……73

日本民俗学 (渡邊 欣雄) ……73

英会話 II (J. K. ウェルズ・J. G. ギャリソン・  
T. J. コーガン・P. A. ベンディネリ) ……73

英語 LL II (T. J. コーガン・大庭 直樹) ……74

ドイツ語 F (吾妻 雄次郎) ……74

ドイツ語 FLL (初級) (松本 洋子) ……74

ドイツ語 FLL (中級) (野島 利彰) ……74

フランス語 F (前田 祝一) ……74

フランス語 FLL (初級) (小玉 齊夫) ……74

フランス語 FLL (初級) (M. マルタン) ……74

フランス語 FLL (中級) (M. マルタン) ……74

中国語 F (釜屋 修) ……74

中国語 FLL (初級) (果 荃英) ……75

中国語 FLL (中級) (羅 濂明) ……75

スペイン語 F (前期) (細川 幸夫)  
(後期) (佐藤 玖美子) ……75

スペイン語 FLL (初級) (J. ナバロ) ……75

スペイン語 FLL (中級) (J. ナバロ) ……75

ロシア語 F (杉山 秀子) ……75

ロシア語 FLL (初級) (野村 タチアナ) ……75

ロシア語 FLL (中級) (野村 タチアナ) ……75

英語 (海外演習) ……75

# 一般教育科目（共通）

## 人文分野

### 宗教学Ⅰ

佐々木 宏 幹

講義はつぎのように展開される。(1)宗教は諸文化のなかでどのような位置を占め、また社会的にどのような役割を果たしているか、(2)宗教をめぐるどのような学説が唱えられたか、(3)世界にはどのような宗教形態があるか、(4)仏教はどのような特色をもつ宗教か、(5)日本の宗教と日本人との関係はどうなっているか。具体的な事例を挙げて考察する。

〔教科書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）  
¥2,000

### 宗教学Ⅰ

洗 建

宗教はあらゆる文化の基底をなしている。特定の信仰をもっていないくても、われわれはそのような宗教文化の中で生きている。宗教は文化において、社会において、人生において、どのように表われてくるのだろうか。身近な宗教現象を通じて、宗教の意義や役割を理解することを目指したい。

〔教科書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）  
¥2,000

### 宗教学Ⅰ

山岡 隆 晃

宗教は人類に普遍的な文化現象であるとの認識に立ち、宗教の社会的な意味や構造・機能について概観する。さらに、宗教文化の基層をなしているシャーマニズムなどの諸信仰や外来宗教としての仏教、及び両者の関係など、わが国における宗教現象の個別的問題についても考えてみたい。

〔教科書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）  
〔参考書〕 『シャーマニズム』（中公新書）  
『日本宗教』（大明堂）

### 宗教学Ⅰ

脇本 平也

人間生活のあるところには必ず何らかの形の宗教現象が見られる。これは古今東西を通じて変らぬ一つの事実である。それでは、宗教はいかにして始まったのか、その歴史はどのように展開したか、また宗教にはどのような種類のものがあるか、といった疑問が続いて出てくることになる。これらの疑問にできるだけ体系的に答える努力を試みたい。

〔教科書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）  
〔参考書〕 脇本平也『宗教を語る』（日新出版）

### 宗教学Ⅰ（再クラス）

岡部 和雄

前半では宗教とは何かという問題について、現代のアクチュアルなテーマをとりあげて具体的に考えていく。また後半では仏教の的をしぼり、その基本的輪郭を明らかにしようと思う。

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）  
『仏教の歩んだ道Ⅰ』（東京書籍）

### 宗教学Ⅰ（再クラス）

（前期）奈 良 康 明  
（後期）阿 部 慈 園

人間生活における宗教、仏教の意味、機能および構造を「宗教文化史」研究の枠組の中であきらかにしてゆきたい。出来るかぎり、現代の私たちの生活とのかかわりの中で諸テーマを考える。

〔教科書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）  
『仏教のおしえ』（東京書籍）

### 宗教学Ⅱ

青龍 宗二

この講座は「宗教学Ⅰ」のあとをうけて、「禅仏教」を取り扱う科目であるが、特に禅思想を中心として、我々自身の人間形成にどのような関わり合いをもっているかを考え、併せて日本文化と禅との関連をも言及してゆく。

## 宗 教 学 II

峰 岸 孝 哉

この宗教学IIは、宗教学Iを学んだ後を受けて、中国で成立し、大なる展開をとげた禅仏教の解説を内容としている。まずインド、中国、日本の禅仏教の歴史をたどり、その思想と行動の特色について考えてみる。とりわけ日本文化に与えた影響や、今日の意味については特に注意して考えたい。

〔教科書〕 山内舜雄編『宗教学II』（更生社）

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 II

河 村 孝 道

日常的立場と宗教的立場における視点の相違についての理解、禅仏教の立場の思想的理解、および宗教（禅）と人生との関わり合いと、そこからの種々の問題について考察する。

〔参考書〕 『宗教学II』（更生社）

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 II

若 月 正 吾

昭和の初期、和辻哲郎博士の『沙門道元』によって近代における道元禅師の日本精神史上の位置づけがなされ、続いて秋山範二氏の『道元の研究』さらには田辺元博士の『正法眼蔵哲学私観』の著書によって、道元禅師の研究は学界の注目するところとなった。

道元禅師の著『正法眼蔵』の研究は戦後ますます旺んになったが、その内容はまことに難解とされている。

『正法眼蔵随聞記』は禅師の弟子懐茸禅師が親しく随侍した間に、教えを聞くに随って書きとめたもので、正法眼蔵研究の手がかりとなる好個の書である。随聞記を講読することによって、道元禅師の思想ならびに禅とは何かということを探求してみたいと思う。

〔教科書〕 大久保道舟校註『正法眼蔵随聞記』

（山喜房佛書林）¥1,000

## 宗 教 学 II

石 井 修 道

駒沢大学で行われている宗教学IIとは、宗教学とは何か、仏教とは何かを学んだ宗教学Iの後を受けて、禅とは何かについて具体的に学ぶ課目である。インドからやって来たダルマを開祖とする禅は、何よりも実践を重ん

じているので、第一はその思想が生まれてくる背景は何かをまず学びたい。次にダルマ以降に発展する禅では、自己への問いかけを重要課題とするので、第二は禅でいう自己とは何かを問題にして行きたい。第三は禅の歴史の上にあられる個性的な禅者を通して、禅が何をめざしているかを考えたい。

〔教科書〕 山内舜雄編『宗教学II』（更生社）

¥1,950

## 哲 学

久 保 陽 一・中 村 友 太 郎

人間は生れつき、知識の営みをするように定められている。人間のもつどんな知識でも思想を表わし、人間はその思想によって生きている。しかしわれわれの日常生活では、自分がどのような思想によって生きているのか自覚がない。それは、伝統的思想に支配されているからである。われわれが「よりよく生きる」ことを願うならば、一定の目標を定めなければならない。そのためには自覚した思想をもたなければならない。哲学は、古代から現代に至るまでの自覚された思想を研究し、さらにそれを自らの生きるための思想とするものである。また大学における学問研究の基礎知識の獲得にも努める。

〔教科書〕 その都度指示する。

## 論 理 学

円 谷 裕 二・丸 山 豊 樹

論理学は、正しく思考するためには「いかに思考すべきか」を教える科学である。ここでいう思考は、推理という型の思考である。われわれは、学問する場合はほんのりのこと日常生活においても、たえず思考しているが、必ずしも正しく思考しているとはかぎらない。したがって、論理学によって正しく思考するための法則を学ばなければならない。さらに、現代の科学技術や電算機の基礎になっている論理法則の理解や習得に努める。

〔教科書〕 その都度指示する。

## 歴 史 学

廣 瀬 良 弘

文化の成立および展開、寺社が持った社会的な機能、社会慣習と法との関係など、日本の中・近世社会をさまざまな角度から分析することにより、歴史の流れを把握する力、すなわち、「歴史を見る目」が養われるようつとめたいと思う。

〔参考書〕 授業中に随時指示。

## 文 学

田 中 徳 定

文学は歴史的に表面に現れる部分だけでなく、むしろその裏にひそむ「人間」を描くことによって、その時代というものを逆に照射していると考えられることができる。そこで、歴史との関わりの中において、文学は何を描き出しているのかを、日本の文学を中心に考えていきたい。

## 芸 術 学 (日本美術)

林 良 一

日本美術の古代より近世までの様式的展開ならびに全般を通しての芸術的特色について講述する。なお、現地撮影の遺構および作品のカラーズライドにより、理解を深めるよう努める方針である。

## 芸 術 学 (西洋美術)

宮 崎 克 己

ヨーロッパのルネサンスから現代までの絵画を考える。各地域、各時代の代表的名作を選んで、掘り下げて論ずる。西洋の美術作品の基本的な見方を修得する事を目標とする。

受講者には、適宜、美術館、展覧会の見学、およびレポートの提出を要求する。

## 社 会 分 野

### 法 学 憲 法

和 知 恵 一

我々の日常生活は法と密接に関わり合っている。例えば、本屋さんで週刊紙を買う行為は、「売買契約」という民法555条以下の規定で律される。映画を見る・電車に乗るといった行為も同様に、すべて法的な側面を持っている。

天ぶらを揚げていて火事を出してしまうということがあるが(S.59年の東京都では6964件の火事のうち529件が天ぶら油による火災)、この火事を出したことで、どんな刑罰が科されるのか、また隣家を焼失させてしまった損害の賠償はどうすべきか?

こういった具体的事例を多数挙げて講義を進める。

〔教科書〕 小林・高橋・花井・和知著『事例法学入門』(東京教学社)

『ポケット六法』(有斐閣)

〔参考書〕 小林弘人他著『憲法27講』(創成社)

橋本辰夫編著『ケースメソッド現代法学入門』(圭文社)

## 法 学 憲 法

鷓 徳 啓 登

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学である。法に共通する根本的な理念は何か、法の目的は何かなど、法を研究する場合にどうしても解明しなければならない問題がある。

また憲法は、国家の基本法として他の諸々の法令の根幹をなすものであり、人権と統治機構よりなる。そして現代にいたっては、社会状況の変化に伴い新しい人権といわれるものの研究もなされている。

そこで、本講義では、これらのテーマを中心にまず一通り法学をやり、つぎに法の中でもその中枢をなす憲法の理念や原則などについて説明してゆきたいと思う。

〔教科書〕 『憲法27講』(創成社) ¥2,500

〔参考書〕 『事例法学入門』(東京教学社)  
¥1,700

『ケースメソッド現代法学入門』(圭文社) ¥1,800

## 経 済 学

荒 木 勝 啓

教養の経済学として最低限必要なマクロ経済理論を講義する。予定は次の通りである。

- |              |      |
|--------------|------|
| 1. 貨幣数量説     | } 前期 |
| 2. 国民所得決定の理論 |      |
| 3. 乗数理論      |      |
| 4. IS・LM分析   | } 後期 |
| 5. 経済政策の効果   |      |
| 6. 総需要・総供給分析 |      |

〔教科書〕 浅野・荒木・浅田『エコノミクス』

昭和63年4月刊行予定

## 政 治 学

小 林 正 敏

現代政治学の諸領域を、政治理論、政治集団、政治機構等にわたって系統的に論述する。特に社会学科の政治学であることを考慮して、政治社会学、政治心理学的な



視点をも重視したい。

〔教科書〕 高橋正則他著『現代日本の政治構造』  
(芦書房)

## 社会学

橋 爪 敏

社会学という学問の持つ研究対象や性格は、ほかの社会諸科学と比べた場合、あまり理解しやすいものとは言えない。それは、社会学のもつ一種独特の学問的性格や対象の設定に基づくものである。社会学は、名称の示すごとく、社会を研究対象とするものであるがそれを常に具体的、現実的な人と人との関係の現象、集団の現象に還元して考察、理解し、さらには理論に体系化する志向をもつ。そこで、この講義では、このような社会学独自の社会現象の見方、考え方、また基礎的な知識をテキストをもとに理解し、考えていくこととしたい。

〔教科書〕 安藤喜久雄ほか編『社会学概論』〔新版〕  
(学文社)

〔参考書〕 安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』  
(学文社)

## 文化人類学

加 藤 正 春

文化人類学の基礎的概念、方法、理論等を講義する。各地の民族の具体的な生活事実をできるだけ紹介しながら、人類文化の多様性と、この学問の基本的視点の理解に努める。日本の伝統的社会・文化の紹介もおこなう。

## 地理学

中 俣 均

高校時代の「地理」という教科のイメージを一新し、世の中の現象を「地理学的な」眼でながめることによって、社会や文化に対して新鮮な視野を開くことを目標としたい。テキスト等については、開講時に教室で指示する。

## 地理学

矢 野 陽 子

地球上最大の大陸と最大の大洋の間に位置する日本列島は、複雑な自然に富み、地震・火山噴火・集中豪雨・台風等多くの天災に見舞われながらも、今日の発展を日本国民にもたらしています。

本講では、この発展の母体である日本列島の自然と人間生活について地誌的立場から、日本全域を対象として地域の本質(地域特性)を明らかにしたいと思います。

〔教科書〕 『日本地誌』〔改訂増補版〕¥1,900  
地図帳使用。

## 自然分野

### 自然科学概論

宇和川 正 人

自然環境と資源の諸問題について解説する。あわせて、資源の開発と人類とのかかわりあいについて考察する。

〔参考書〕 その都度紹介する。

### 自然科学概論

斎 藤 浩 三

文明の進歩は、その時代の材料の発達に負うところが大きい。石器から金属利用への転換は社会構造を一変させ、製鉄技術の発達は近代文明を大きく促進、開花させた。現在は新産業革命の胎動期であり、新素材の開発によってコンピュータ、通信、宇宙など未知の分野が次々に解明されつつある。そこで、われわれの使っている材料資源を概観し、さらに高機能新素材と、これに支えられている先端技術の一端を展望する。

〔参考書〕 必要に応じ紹介する。

### 数 学

斎 藤 浩 三

科学、技術、産業、経済、社会などあらゆる分野において、膨大な量のデータが氾濫している。これらのデータを整理・集約し、図表化することによって、はじめて役に立つ情報となる。データの集計・整理、図表の作成、特性値、相関、分布などの基本事項を学び、微分・積分についても随時演習を行いながら平易に講義する。

〔参考書〕 必要に応じて紹介する。

## 生 物 学

清 水 善 和

生物学をその対象と研究手段で大別すると、①室内実験に基づく物質（特に遺伝子）や細胞を基礎にした分野と、②野外観察に基づく個体や種を基礎にした分野に分けられる。そこで本講義では前期に①の分野（細胞と代謝、発生、免疫、脳と神経、性と遺伝）を取り上げ、後期で②の分野（人類の起源、分類と系統、生態、生物地理、進化論）について解説する。

## 生 物 学

本 間 暁

進化、遺伝、生態・自然保護を3つの柱として、生物学の基本的知識を中心に、人間生活と関連した問題や最近話題になっている問題（遺伝子工学、ガン・免疫、環境問題 etc）をまじえ、わかりやすく解説する予定である。

〔参考書〕 小野幹雄ら著『BIOSCIENCE バイオサイエンス 生命の科学』（改訂版）（芦書房）¥2,200

## 心 理 学

横 山 剛

本講義は心理学の主要な領域と心理学の対象・方法について基礎的な知見を与える入門の講義である。内容としては、感覚や知覚、学習、記憶などの基礎の分野から情緒、知能、性格、異常などの応用・臨床的な分野などを解説する。いずれにせよ、学生諸子が己れの理解を深め、複雑な現代の社会現象を見ていく上の一助となれば幸いである。

〔教科書〕 中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）¥1,400

〔参考書〕 村山貞雄監修、霜山徳爾編『臨床心理学』（学術図書出版）

## 心 理 学

坂 原 明

心理学の各分野を概観し、その基礎的知識を解説すると共に、今日、社会において心理学が担っている問題について考えてゆきたい。また、日常生活において見られる人間の様々な行動を従来の研究成果をもとに解説し、心理学的なもの見方、考え方がどのようなものであるかを考えてゆきたい。講義では、随時供覧実験などを折

り込み心理学的研究の雰囲気も味わってもらいたいと思っている。

〔教科書〕 中村昭之監修『心理学概説』（八千代出版）

## 人 類 学

齋 藤 成 也

「人類の進化」を柱として、自然人類学を講義する。内容は、(1)生物の進化と進化論、(2)霊長類の博物誌、(3)遺伝子からみたヒトと類人猿の系統関係、(4)化石人類の系譜、(5)先史学と年代学、(6)人類集団の遺伝的近縁関係、(7)採集狩猟民の生態、(8)日本人の起源、等を予定している。

## 地 学

中 島 義 一

地学のはんいは広いが、陸水学・気候学・地形学の主要問題を講義する。地図帳（高校生の時に使用したものでよい）を忘れずに持ってくること。

## 化 学

高 木 正 博

まず、物質の本性について、原子の結びつきから解説する。つぎに、地球化学および環境汚染の視点から、化学物質と自然環境の関係や、人間とのかかわりあいについてのべる。

## 物 理 学

篠 原 正 雄

まず、物理学の出発点である力学の考え方を、「力」、「エネルギー」を中心に解説する。次に、「エネルギー」という概念を軸とする電磁気、光、熱、原子等の分野について、地学的な応用にもふれつつ概説する。最後に、宇宙物理学の成果にも触れたい。

〔参考書〕 『一般教育物理学』（東京教学社）

# 保健体育科目（共通）

## 保健体育理論

三 幣 晴 三

体育・スポーツに関する全般的知識，特に生涯体育，スポーツの文化的視点からの考察，人間の運動に関する実際の考察を中心とし，さらに現在および将来にむけての健康的内容を取りあつかう。

## 保健体育理論（再クラス）

三 幣 晴 三

体育・スポーツに関する全般的知識，特に生涯体育，スポーツの文化的視点からの考察，人間の運動に関する実際の考察を中心とし，さらに現在および将来にむけての健康的内容を取りあつかう。

## 保健体育理論

村 松 誠

健康とその意義について理解し，健康を阻害する因子を解明して，健康の保持増進の方策を学習する。さらに進んで健康のための体力づくりについても考えて行く。また，スポーツ・体育に関する基礎的，基本的な知識の習得と，現代における，スポーツ・体育の問題点について言及して行く。

## 保健体育理論（再クラス）

森 本 葵

### 体力づくり

- <若年層における体力づくりの必要性>
- <体力のメカニズム>
- <体力づくりの方法>
- <体力づくりにかかわる疲労の問題>
- <疲労の判定法>

### オリンピックゲーム

- <歴 史>
- <問題点>
- <その将来>

〔教科書〕 『保健体育理論』（科学書院）

〔参考書〕 『スポーツ・トレーナー教本』（日体協）

## 保健体育理論

森 本 葵

### 体力づくり

- <若年層における体力づくりの必要性>
- <体力のメカニズム>
- <体力づくりの方法>
- <体力づくりにかかわる疲労の問題>
- <疲労の判定法>

### オリンピックゲーム

- <歴 史>
- <問題点>
- <その将来>

〔教科書〕 『保健体育理論』（科学書院）

〔参考書〕 『スポーツ・トレーナー教本』（日体協）

## 随 意 科 目 ( 共 通 )

### 宗教学特講 I

松 田 文 雄

——宗教思想および用語の概説——、特に教職単位であることを考慮し、宗教思想の潮流、および宗教思想上の基本的用語を概説する。今年度は日本仏教を取り上げる。

〔参考書〕 随時指示する。

### 宗教学特講 II

脇 本 平 也

——宗教学説史——経験科学としての宗教学の成立と展開を、問題中心に学説史的にあとづけてみる。参考文献をその都度指示する。

### 宗教学特講 III

洗 建

現代社会における宗教の問題、とりわけ政教関係の問題をとりあげる。国家と宗教の関係を規定する法制度とその価値規範、更に底流をなす宗教文化との関係について考察する。

〔参考書〕 随時指示する。

### 哲学特講 I (東洋)

篠 原 壽 雄

中国の哲学・東洋思想を理解しようとする、儒教・仏教、そして道教の学習は欠かせない。そこで前期は老荘の学と道教を学びたい。後期には墨子の非命、非儒などの精神が韓非子にいかを受容されたかなどを中心に、先秦の人びとの心にあるものを探りたい。ついで荘子を学び、併せて中国禅思想を考究したい。

〔教科書〕 『莊子』〔内篇冊〕(中公文庫)

### 哲学特講 II (西洋)

國 嶋 一 則

人間は、何かを頼りとし支えとしなければ生きてゆけない。しかし日常、われわれは自己の人生の頼りとなり支えとなるものを自覚していない。それを自覚することは、自分がどのような生き方をしているのかを知ることである。つまり主義に拠り主張をもって生きることである。

歴史上の大きな主義を検討することによって、現代世界の有力な主義を明確にし、自己の持つべき主義を選択する手掛りとしてほしい。

〔参考書〕 その都度示す。

### 哲学特講 III (西洋)

久 保 陽 一

哲学はソクラテス以来「人間はいかに生きるべきか」を探究してきた。しかしこの問いは「世界において何が真に存在するものか」という存在への問い、或は形而上学の問題と切り離つることができない。形而上学は19世紀以後科学主義や無神論等によって批判されて久しい。しかし形而上学的な問いなしに、今日、人間の状況の理解や生き方が明確になったかどうかは疑わしい。そこで存在の探究を再検討する必要があると思われる。講義では、古代ギリシア哲学、キリスト教哲学、デカルト、ヘーゲル、ハイデッガー等の存在論を取り上げることにしてほしい。

〔教科書〕 『哲学理論の歴史』(公論社) ¥2,500

〔参考書〕 開講時に挙げる。

### 宗教人類学

佐々木 宏 幹

アニミズム、アニマティズム、シャーマニズム、妖術、邪術、死霊・祖霊崇拜など宗教的諸形態をめぐる理論や学説を紹介するとともに、これら諸形態が、日本を含むアジア各地の現代の文化・社会のなかでどのような位置と役割をもっているのかについて考察する。スライドを用い具体的に進める。

〔参考書〕 佐々木宏幹『シャーマニズム』(中央公論社) ¥520

## 民間信仰論

谷口 貢

地域社会信民のあいだに伝承されてきた神祭りをはじめ年中行事・通過儀礼など各地の具体的な事例を紹介しながら、民間信仰の構造と機能を明らかにし、日本人の伝統的な神観念や靈魂観についても考察を加える。

〔教科書〕 桜井徳太郎著『民間信仰と現代社会』

## 日本宗教文化史

脇本 平也

関連の文献を読む。出欠をとり、文献読解の分担を課する。

## 民衆宗教成立史

洗 建

現代における民衆宗教、すなわち新宗教をめぐる諸問題について考察し、主要な新宗教を紹介する。

〔参考書〕 堀 一郎編『日本の宗教』（大明堂）  
¥2,000

## 歴史哲学

山下 太郎

歴史哲学は、歴史研究における意義、方法、目的、原理等を探究するものであり、実証的な歴史学の基礎をさぐる学問である。本講義はおおむね次のテーマに従って行ない、歴史の認識および存在についての基本的理解をえさせることを意図する。

第1章 歴史認識の問題

(1)批判主義（カント） (2)新カント派（ヴィンデルバン  
ト） (3)生の哲学（デヒルタイ） (4)実存哲学

第2章 歴史法則の問題

(1)終末論的史観（キリスト教） (2)進化論的史観（ス  
ペンサー） (3)弁証法的史観（ヘーゲル、マルクス）  
(4)実存主義史観（ヤスパース）

## 美術史概説

林 良一

中国の南北朝より朝鮮の三国時代を経て、わが国の飛鳥期の仏教彫刻にいたる様式的展開について講述する。

各地の寺院遺跡や遺品などのカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

## 東洋思想研究

館野 正美

中国哲学の源流をなすと考えられる、中国古代の、いわゆる「諸子百家」の各学説を講義する。

諸子百家の中でも、特に、孔子・孟子・荀子らに代表される「儒家」、墨子の「墨家」、そして老子や荘子らの織りなす「道家」、以上三学派を中心に講じてゆきたい。

かくして、中国哲学の一典型を明らかにしたいと考えている。

〔参考書〕 授業中に紹介します。

## 日本文化史Ⅱ

有元 修一

日本文化の多様な流れを概観するとともにその特色をあきらかにする。本年は特に中世後半から近世を中心とする。

〔参考書〕 家永三郎著『日本文化史 第2版』  
（岩波新書）

## 日本民俗学

渡邊 欣雄

私の民俗学という視野から、民俗学を論じ民俗学の扱う題材について紹介する。本講義は決して日本民俗学の概論講義ではないから、注意を要する。対象とする文化は主として日本本土ではなく、沖縄・台湾・香港・マレーシア等の南方であり、題材は宴・風水・鬼魂観・社会関係に及ぶ。

〔教科書〕 とくに用いず。

〔参考書〕 渡邊欣雄著『沖縄の社会組織と世界観』  
（新泉社）¥8,000  
渡邊欣雄著『沖縄の祭礼』（第一書房）  
¥3,800

## 英会話Ⅱ

J.K. ウエルズ・J.G. ギャリソン  
T.J. コーガン・P.A. ベンディネリィ

全学で4クラスを設け、学部及び短大の2年次生以上を対象とします。

担当名及び曜日、時限、クラスは時間割表で確認し、詳しくは教場で教師の説明に従って下さい。

〔教科書〕 テキストは担当教師が教場にて指示。

## 英語 LL II

T. J. コーガン・大庭 直樹

英語LL Iのアドバンスト・コースとして全学で2クラスを設け、学部及び短大の2年次生以上を対象とします。1年次に英語LL Iを履修しなかった学生も参加し履修できるようにしてあります。

担当名及び曜日、時限、クラスは時間割表で確認して下さい。

〔教科書〕 テキストは担当教師が教場にて指示。

## ドイツ語 F

吾妻 雄次郎

主として一、二年次でドイツ語を履修した学生諸君を対象に、第二次大戦前後の短編小説を通して、ドイツの特異性の一端に触れ、同時にドイツ文法の更に包括的な習得につとめる。

〔教科書〕 プリントによる教材使用。

## ドイツ語 FLL (初級)

松本 洋子

ビデオテープ等の視聴覚教材を用いて、まず、生きたドイツ語に触れ、聴き取り能力をつけることをめざす。そして基本的な語彙や文型を身につけ、ドイツ語の基礎的な表現力を養成し、簡単な日常会話が出来るようにしたい。テキストは教室で適宜配布する。

## ドイツ語 FLL (中級)

野島 利彰

週一回という限られた時間内で、LLを通して語学を学ぶ方法としては基本的には多数の文章の記憶以外にはない。耳から音を聴き、記憶し、そしてそれを口から出す。こうした機械的な——時には無味乾燥な——練習の場としてこの授業を活用して行きたい。

なお受講者には前年度にFLL (初級)をとった者を望む。

〔教科書・参考書〕 教場で指示する。

## フランス語 F

前田 祝一

フランス語中級から上級の勉強をしようとする人たちのためのクラスです。対象は3、4年生ですが2年生以

下でも、続ける決意があればかまいません。テキストなどは教室で皆さんの希望をきいて決定します。

## フランス語 FLL (初級)

小玉 齊夫

ビデオ教材、カセットテープなどを用いて、視覚・聴覚を利用する授業を行っていきます。時間数が少ないのが残念ですが、一年間で、何とか、「初級」程度のフランス語が、話せ、聞きとれるようにします。文法は、話したり聞きとったりするためには、役に立たないわけではありませんが、それほど重要とは言いきれません。ふだんと同じような、つまり日本語を話したり聞いたりするのと同じつもりで、授業に(休まずに)出てきて、声を出していれば、しぜんに、フランス語の会話(=おしゃべり)の基礎がつくられていく、はずで。初心者でも参加できるような授業内容にするつもりです。

〔参考書〕 開講時に指示します。

## フランス語 FLL (初級)

M. マルタン

初心者のための実用的なフランス語会話です。やさしい聞きとり練習や文章パターンの習得を通じて、基礎的な会話に必要な表現能力を養成することを目的とします。テキストは教室で配布します。

〔教科書〕 『Avec Plaisir』 Emission 1 より。

## フランス語 FLL (中級)

M. マルタン

初級会話にやや慣れた学生のための実用会話。初級会話を簡単に復習したあと、下記の教科書を使って、少し高度な聞きとり、及び表現の練習をします。

〔教科書〕 『Entrée Libre 1』

## 中国語 F

釜屋 修

すでに習得した中国語能力をいかしてより高く、より正確な中国語への理解力を高めるための共学の場である。短篇小説、評論文を用いて文章解析力、朗読能力の向上に焦点をあてるとともに、簡単な日常会話力も身につけられるようにしたい。欠席しない人を求む。

〔教科書〕 開講後に受講生諸君の希望も聞き選定する。

〔参考書〕 その都度指示する。

## 中国語 FLL (初級)

果 荃 英

中国語初級を終えたものを主たる対象とし、正確な発音をマスターし、やさしい中国語の会話を習得することを目的とする。視聴覚教材を使用して楽しく授業を進めたいと思う。

〔教科書〕 教場にてプリントを配布する。

## 中国語 FLL (中級)

羅 漾 明

中国語FLL初級を終えたもの又は中国語を一年以上履修したものを対象とする。会話を中心として授業を進めます。

〔教科書〕 必要に応じて教場でプリントを配ります。

## スペイン語 F

(前期) 細 川 幸 夫  
(後期) 佐 藤 玖 美 子

今世紀スペインの有名な歴史家であり社会学者であるアメリコ・カストロの著者“イベロアメリカ”の講読を行う。学生諸君が1、2年で習得したスペイン語の知識の深化、発展をはかると共に、中南米諸国がたどってきた苦難、屈折の歴史を知り、中南米の現状に対する理解を深め、また検討を加えることを試みたい。

〔教科書〕 プリント

## スペイン語 FLL (初級)

J. ナ バ ロ

初心者を対象に、スライドやビデオを見ながら、やさしい日常会話を勉強します。正規授業のスペイン語を履習している学生の受講を望みます。

## スペイン語 FLL (中級)

J. ナ バ ロ

前年度LL初級を終えたもの、またはそれと同等の学力を身につけているものを対象に、ビデオを見ながら、日常会話を勉強します。

## ロシア語 F

杉 山 秀 子

本講座はロシア語初級課程を終えたものを主たる対象とする。ロシア語の読解力と表現力を身につけるための平易な読みもの——文学新聞の抜すい、諷刺漫画(クロコディル)、スポーツニクなどをさまざまな角度からとりあげていきたい。

〔教科書〕 プリントを教場で配布。

## ロシア語 FLL (初級)

野 村 タチアナ

テキストに従いやさしいロシア語の日常会話を学習する。正しいロシア語の発音やイントネーションを練習し簡単なロシア語の表現力を身につけることを目的とする。

〔教科書〕 教場にて指示。

## ロシア語 FLL (中級)

野 村 タチアナ

初級課程で得た知識を土台に更にロシア語独特な生の言いまわしや、日常会話の平均的速度になれてもらい、自由な発話への等一步となる様に心がけていきたい。

〔教科書〕 教場にて指示。

## 英 語 (海外演習)

この授業科目は、ハワイ大学・カリフォルニア大学における短期留学サマーセミナーでの、4週間・60時間における現地演習を中心として行われる、英語随意科目である。

受講対象学生は、1年次生から卒業年次生までとし、6月上旬から7月上旬にかけての事前指導・事前講習、7月中旬から8月中旬にかけての現地演習、9月下旬のテストを通じて単位(2単位)が認定される。

受講希望者は、5月上旬に実施される説明会に参加し、5月中旬に所定の手続きに従って申込みたい。受講の可否は、5月下旬に決定される。

# 国文学科

## 基礎教育科目

基礎国文学(田中 徳定)……………	77
基礎国文学(渡辺 守邦)……………	77
基礎国語学(若杉 哲男)……………	77
基礎中国文学(中村 璋八)……………	77

## 専門教育科目

国文学概論(水原 一)……………	77
国語学概論(木村 晟)……………	77
国文学講読Ⅰ(村上 光徳)……………	78
国文学講読Ⅱ(田中 徳定)……………	78
国文学講読Ⅲ(林 達也)……………	78
中国文学講読(篠原 壽雄)……………	78
国語学研究(木村 晟)……………	78
国語学研究(田中 章夫)……………	78
国文学史(上代)(遠藤 宏)……………	78
国文学史(中古)(高橋 文二)……………	78
国文学史(中世)(牧野 和夫)……………	78
国文学史(近世)(林 達也)……………	79
国文学史(近代)(畑 實)……………	79
国語学演習Ⅰ(木村 晟)……………	79
国文学演習Ⅰ(上代)(小野 寛)……………	79
国文学演習Ⅰ(中古)(高橋 文二)……………	79
国文学演習Ⅰ(中古)(田中 徳定)……………	79
国文学演習Ⅰ(中世)(村上 光徳)……………	79
国文学演習Ⅰ(近世)(林 達也)……………	79
国文学演習Ⅰ(近代)(片岡 懋)……………	79
国文学演習Ⅰ(近代)(高田 知波)……………	80
国文学演習Ⅰ(近代)(橋本 芳一郎)……………	80
国語学演習Ⅱ(木村 晟)……………	80
国文学演習Ⅱ(上代)(小野 寛)……………	80
国文学演習Ⅱ(中古)(高橋 文二)……………	80
国文学演習Ⅱ(中古)(廣島 まさる)……………	80
国文学演習Ⅱ(中世)(水原 一)……………	80
国文学演習Ⅱ(中世)(村上 光徳)……………	80
国文学演習Ⅱ(近世)(林 達也)……………	80
国文学演習Ⅱ(近世)(富士 昭雄)……………	81
国文学演習Ⅱ(近代)(片岡 懋)……………	81
国文学演習Ⅱ(近代)(高田 知波)……………	81
国文学演習Ⅱ(近代)(橋本 芳一郎)……………	81
国文学研究(片岡 懋)……………	81
国文学研究(畑 實)……………	81
国文学研究(村上 光徳)……………	81
文学概論(橋本 芳一郎)……………	81
国語学史(田中 章夫)……………	81

言語学概論(飯島 周)……………	81
上代文学講読(小野 寛)……………	82
近代文学講読(高田 知波)……………	82
上代文学(小野 寛)……………	82
中古文学(廣島 まさる)……………	82
中世文学(水原 一)……………	82
近世文学(渡辺 守邦)……………	82
近代文学(片岡 懋)……………	82
国文学特講Ⅰ(近藤 瑞男)……………	82
国文学特講Ⅱ(岩佐 美代子)……………	83
国文学特講Ⅲ(長谷川 政春)……………	83
国文学特講Ⅳ(高田 知波)……………	83
中国文学(中村 璋八)……………	83
中国文学演習(中村 璋八)……………	83
中国文学概論(篠原 壽雄)……………	83
仏教概論(山内 舜雄)……………	83
東洋思想研究(館野 正美)……………	83
日本史概説Ⅰ(古代・中世)(渡辺 直彦)……………	84
日本史概説Ⅱ(近世・近代)(木槻 哲夫)……………	84
日本文化史Ⅱ(有元 修一)……………	84
書道史(谷村 義雄)……………	84
書道実習Ⅰ(金子 卓義)……………	84
書道実習Ⅱ(金子 卓義)……………	84
美術史概説(林 良一)……………	84
美術史(谷村 義雄)……………	84
現代美術(宮崎 克己)……………	84
編集実務(宇賀田 達雄)……………	85
英米文化(金関 寿夫)……………	85
日本民俗学(渡邊 欣雄)……………	85



# 国 文 学 科

## 基礎教育科目

### 基礎国文学

田 中 徳 定

古典文学の代表的作品を読みながら、作品と時代との関わりを考え、何故その作品が生み出されてきたか、また、文学史の中においてどのような意味をもっているかを考えていく予定。

〔教科書〕 『資料日本文学史 上代・中古篇』  
(桜楓社) ¥1,600

### 基礎国文学

渡 辺 守 邦

日本古典・近代文学の関連を見わたし、或いは、比較検討しながら、諸問題(作品論・表現論・歴史状況との関係・文体・解釈・考証・伝本など)に対する基礎的学力の確立を目的とする。

〔教科書〕 プリントによる。

### 基礎国語学

若 杉 哲 男

直接は、文語を中心とする国文法への考察を目的とするが、それだけにとどまらず、広く言葉に関する諸問題も取上げて、国語への関心と知識を深めるようにしたい。

〔教科書〕 和田利政・森 昇一・岡崎正継著  
『国文法要説 文語篇』(桜楓社)  
¥1,400

### 基礎中国文学

中 村 璋 八

中国の先秦時代より唐・宋時代に至る散文・韻文、それに諸子百家を始めとする思想的な作品を歴史的な背景

を考えながら解説し、それによって中国古典の読解力を養い、また、漢字の構成、中国の風土や習慣なども説明し、それらの中国の文化が如何に日本に伝来し、日本の文化一般に影響を及ぼしたかも述べて行く。この講義によって中国古典・日本の漢詩文が抵抗なく読めるようにしたい。

〔教科書〕 『中国思想文学通史』(明治書院)  
¥1,500

## 専門教育科目

### 国文学概論

水 原 一

国文学の領域、種類、思想的・芸術的理念について講じ、研究課題・研究方法等について概観する。

〔教科書〕 吉田精一編『日本文学概説』(有精堂)  
¥1,800

### 国語学概論

木 村 晟

国語学は特殊言語学の一つである。従って一般言語学の研究成果が国語学の研究にも応用されることが当然あり得る。しかしながら、一方国語には他の諸言語に見られない多くの特徴がある。そのために国語学独自の研究分野や研究方法が存在することも事実である。——こういう観点から本年は国語学全般について講ずるとともに、文字論や文体論に重点を置く。

〔教科書〕 福島邦道著『国語学要論』(笠間書院)  
¥ 800

〔参考書〕 橋本進吉著『国語学概論』(岩波書店)  
時枝誠記著『国語学原論』(岩波書店)  
山田忠雄著『国語学概論』(日大通信教育部)

## 国文学講読Ⅰ

村上光徳

『平家物語』の代表的な句を選んで読み、本文を通して平家物語という作品を十分鑑賞する。そして軍記物語と呼ばれるジャンルの問題や平家物語の文学史的評価、または成立の問題、作者の問題、群がる諸異本の問題、つまり、語りもの・読みものなどの問題、今後の研究方向等さまざまな問題を取りあげて多方面から平家物語を研究してゆく。

〔教科書〕『平家物語抄』（桜楓社）

〔参考書〕『平家物語全注釈』（角川書店）

## 国文学講読Ⅱ

田中徳定

『源氏物語』の「桐壺」の巻を講読し、王朝文学世界のありようについて考える。

〔教科書〕『源氏物語（一）』（明治書院）

¥1,200

## 国文学講読Ⅲ

林達也

上田秋成の『雨月物語』を講読し、秋成文学の特質を考察する。

〔教科書〕水野稔『雨月物語』（明治書院）

## 中国文学講読

篠原壽雄

古典文学作品中のきわめて代表的なものを学習して、その精華を味読する。訓読法に精通することを主眼にしたが、韻文は中国音にて読むことにとめたい。

〔教科書〕『詩文精粹』（明治書店）¥1,100

〔参考書〕その都度紹介したい。

## 国語学研究

木村晟

文禄元年（1592）成立の『天草本伊曾保物語』を読解して、室町時代語の特徴を音韻・文字・語彙・語法の各方面から考察し、またその研究方法をも指導する。『日

葡辞書』『ロドリゲス日本大文典』『下学集』『節用集』の古辞書類は常に参照する。

〔教科書〕『天草版 伊曾保物語』（勉誠社）

¥1,500

〔参考書〕授業中に説明する。

## 国語学研究

田中章夫

現代日本語の背景としての江戸語の形成から、明治に至る近代日本語の成立過程を考察する。

〔教科書〕真田信治『標準語の成立事情』（PHP研究所刊）

## 国文学史（上代）

遠藤宏

文学の発生からの上代文学の流れを講述する。

〔教科書〕小野寛・金井清一編『年表資料 上代文学史』（笠間書院）

## 国文学史（中古）

高橋文二

単なる通史としてではなく、例えば自然観の推移・展相を辿ることによって王朝（平安）文学の流れの一端を明らかにしたい。『文華秀麗集』を始めとする漢詩集、『古今集』などの和歌集、さらには『蜻蛉日記』や『更級日記』や『源氏物語』などの女流作者たちの日記・物語を通して、王朝文学の流れの特質を考えたい。

〔教科書〕『風景と共感覚』（春秋社）

## 国文学史（中世）

牧野和夫

中世の文化は、誠に混沌として懐の深いものである。従って、中世の文学も又奥行きが深く、入り組んでいて、ある一人の人物や“場”を介することによって、全く無縁と考えられていた作品間相互に、思いもかけない緊密な交流が認められることも多い。そうした点について、諸資料に基づき、推量・臆測し、整然たる文学史の中に、「混沌」の息吹きを吹きこめれば、と考えている。

〔教科書〕『資料日本文学史 中世篇』（桜楓社）

¥1,600

## 国文学史(近世)

林 達 也

近世文学を、歴史状況との関連、表現論・文体論・作家論等にわたって検討する。本年は、近世初期の散文の状況について、中世との関わり、元禄期以後の可能性を視野に入れて考えていくことにする。教材は、教場において、その都度配布する。

〔参考書〕 原 道生・林 達也編『日本文芸史』  
〔第四巻 近世〕(河出書房)

## 国文学史(近代)

畑 實

近代文学の流れを講ずる。テキストは用いないが、必要に応じてプリントを配布する。

## 国語学演習 I

木 村 晟

室町期の国語資料である『かながき論語』を採り挙げ、室町時代の音韻・語彙・語法・仮名づかいの各方面から考察する。『日葡辞書』『下学集』『節用集』等の古辞書の類は常に参照する。

〔教科書〕 プリントを用意する。  
〔参考書〕 授業中に紹介する。

## 国文学演習 I (上代)

小 野 寛

『万葉集』から作品を選んで、各自一首ずつ担当し、本文の異同、諸注釈の検討、用語の調査研究など、徹底的に読み込んでゆく。今年度は巻一から歌を取り上げる。

〔教科書〕 鶴 久・森山 隆編『万葉集』(桜楓社)  
〔参考書〕 小野 寛校註『万葉集抄』(笠間書院)

## 国文学演習 I (中古)

高 橋 文 二

『源氏物語』の「胡蝶」の巻を読み、王朝文学世界の特質を考える。古注釈の検討、本文の異同の確認、用語の通時的・共時的調査などを演習に臨む基礎的な作業とする。作業は、時間をかけた、厳密なものでありたいので、それなりの覚悟をもって臨んでいただきたい。

〔教科書〕 『源氏物語(三)』〔校注古典叢書〕  
(明治書院) ¥1,500  
『こてふ』〔影印本〕(新典社)

## 国文学演習 I (中古)

田 中 徳 定

『伊勢物語』の影印本を用い、古註釈・現代の註釈書類の精査、用語調査等を行なうことにより、本文を深く読み込んでいくことを目的とする。

〔教科書〕 『伊勢物語』〔影印本〕(笠間書院)  
¥ 900

## 国文学演習 I (中世)

村 上 光 徳

『建礼門院右京大夫集』の研究。精読しとくに作者の真情流露した和歌に注意し、古代から中世へと移る社会転換の時代の中で平家公達との交際、源平対決、平家没落後の見聞など、さらに他の作品などの関連等について考察する。

〔教科書〕 久徳高文編『建礼門院右京大夫集』  
(桜楓社)

## 国文学演習 I (近世)

林 達 也

細川幽斎が折にふれて述べたことを、鳥丸光広が筆記した『耳底記』を読む。幽斎は、中世と近世が接するところに位置する歌人・古典学者であり、当代に大きな影響を及ぼしている。丁寧に読みとり、和歌及び歌壇の傾向だけでなく、この時代の考え方も見ていきたい。尚、教材は、版本をプリントしたものをを用いる。参考資料等もその都度指示する。前年度に引き続き部分からよみはじめる。

尚、月に一つずつ、指定した近世の作品を読んでもらい、そのレポートの提出を義務とする。

## 国文学演習 I (近代)

片 岡 懋

森鷗外(うたかたの記、文づかひ)、矢崎嵯峨の屋(庭のをしへ子)、国木田独歩(牛肉と馬鈴薯、正直者、女難、富岡先生)、田山花袋(重右衛門の最後、少女病、蒲団)、森鷗外(かのやうに、阿部一族、高瀬舟、寒山拾得)、夏目漱石(硝子戸の中)、志賀直哉(荒絹、正義派、クロードアスの日記、清兵衛と瓢箪、兎を盗む

話、赤西蠣太、山形)、内田百閒(花火、件、流木、道連、短夜、石畳、波止場、冥途、山高帽子)、堀辰雄(聖家族、風立ちぬ、菜穂子)、岡本かの子(老妓抄、東海道五十三次、鮎)などの作家、作品を中心に演習を行う。とりあえず鷗外の作品を準備すること。

### 国文学演習Ⅰ(近代)

高田知波

〈戦後前期の小説〉を演習テーマにする。敗戦から昭和30年代末までの約20年間に書かれた代表作・問題作を読んでいく。

〔教科書〕 教場で指示する。

### 国文学演習Ⅰ(近代)

橋本芳一郎

森鷗外・永井荷風・谷崎潤一郎の三作家の作品中から、発表者の希望する作品について演習として攻究し、近代文学の研究法を学ぶ。

〔教科書〕 各自手持ちのもの。(文庫本でも可)

〔参考書〕 その都度指示する。

### 国語学演習Ⅱ

木村 晟

鎌倉時代成立の『光明真言土沙勤信記』を解読して、音韻・表記・語彙・語法の各方面から考察する。併せて卒論指導も行なう。『名義抄』『色葉字類抄』『日葡辞書』等の古辞書は常に参照する。

〔教科書〕 プリントを用意する。

### 国文学演習Ⅱ(上代)

小野 寛

記・紀・万葉集など上代作品を徹底的によみ込んでゆく。とり上げる作品は、開講時に相談してきめる。並行して、各自が卒業論文に選んだテーマに関して研究発表し、みんなで考え、採り合いながら、それぞれの卒業論文への結実を図る。

### 国文学演習Ⅱ(中古)

高橋文二

『源氏物語』の「鈴虫」の巻を読み、王朝女流文学の特質を考える。卒論の指導もかねる。

〔教科書〕 『すずむし』〔影印本〕(新典社)

¥ 500

### 国文学演習Ⅱ(中古)

廣島まさる

影印本によって、変体がない読み方に馴れると共に、源氏物語の文章を精読して、文章表現、情調、人物描写などについて吟味する。なお古註釈の検討も行いたい。

〔教科書〕 源氏物語『落標』〔影印本〕(新典社)

¥ 800

『写本の読み方』(桜楓社) ¥680

### 国文学演習Ⅱ(中世)

水原 一

『古今著聞集』をテキストとして、中世の説話を多角的に考察し、その研究を相互に発表し批判し合う。併せて学術的調査の技術を身につけ、卒業論文作成の動力を養う。

〔教科書〕 西尾・小林編『古今著聞集』〔上・下〕(新潮社)

### 国文学演習Ⅱ(中世)

村上光徳

『保元物語』の研究。本文を忠実に読み、作品の文学史的位置や乱の原因となった時代背景、登場人物、等々について検討する。

〔教科書〕 影印本を用いる。

### 国文学演習Ⅱ(近世)

林 達也

近世文学の作品を読み、作品の読解方法を身につけることを目的とする。読む作品は、開講時に、学生と相談のうえ、きめる。

## 国文学演習Ⅱ（近世）

富士 昭雄

影印本による西鶴など近世文学の演習。併せて卒業論文の指導をする。

〔教科書〕 教場でプリントを配布する。

## 国文学研究

畑 實

白樺派の代表的作家、志賀直哉、武者小路実篤、有島武郎の三人をとりあげ、作家と作品、作品と時代との関係などを考察する。

## 国文学演習Ⅱ（近代）

片岡 懋

北村透谷、島崎藤村、内田魯庵、正岡子規、石川啄木、中野重治の評論を中心に演習を行い、卒業論文についても話し合う。

とりあえず、岩波文庫の勝本清一郎校訂『北村透谷選集』を用意しておくこと。

## 国文学研究

村上 光徳

平安朝末期から中世にかけて宮廷生活のなれ者として許された一女性の書『無名草子』を読む。特に源氏物語批評を中心に源氏物語と合わせて研究する。続いて清少納言・紫式部等中古の女流作家批評へ移る。中世初期の物語論等見ることができ有意義。

〔教科書〕 『昭和校注 無名草子』（武蔵野書院）

## 国文学演習Ⅱ（近代）

高田 知波

学生の卒業論文テーマと関連させながら日本の近代小説を対象にした演習を行う。

〔教科書〕 教場で指示する。

## 文学概論

橋本 芳一郎

世界文学の観点から、文学の本質・目的意識・要素・ジャンルなどについて重要な学説を紹介しながら概説し、併せて近代文芸思潮の概説も行う。

〔教科書〕 ノート使用。

〔参考書〕 その都度教示する。

## 国文学演習Ⅱ（近代）

橋本 芳一郎

日本近代文学のうち、学生が卒業論文に選んだ作家の主要作品を演習として攻究し、併せて卒業論文の執筆指導を行う。

〔教科書・参考書〕 その都度教示する。

## 国語学史

田中 章夫

主として、近代の国文学説の展開を、国文学事象の観察を通じて考察する。

〔参考書〕 松村 明編『日本文学大辞典』（明治書院）

北原保雄ほか『日本文学事典』（有精堂）

## 国文学研究

片岡 懋

夏目漱石の「倫敦塔」、「幻影の盾」、「薙露行」、「趣味の遺伝」など『滌虚集』所収の作品から、『三四郎』、『それから』、『門』に至る作品を通して、漱石の考え方の展開と時代とのかかわり方などについて考える。

## 言語学概論

飯島 周

言語研究の歴史、方法、分野について略述し、“ことばの仕組み”や“ことばのはたらき”について具体的な分析を試みる。日本語を主な対象とするが、初歩的な英文法の知識を持つことが望ましい。

〔教科書〕 特に指定しない。

〔参考書〕 V. マテジウス『機能言語学』（桐原書店）¥2,800

## 上代文学講読

小野 寛

上代は日本文学の草創期である。日本文学のすべての原点である。説話文学として『古事記』や『日本書紀』の神話・伝説がある。『古風土記』の地名起源説話などもおもしろい。『古事記』『日本書紀』にはまた、「うた」が多く含まれている。古代人たちが節をつけ、所作をつけ、楽器を伴奏にうたったものである。これを『記紀歌謡』という。そして「うた」はやがて書記されるようになり、記載文学としての「うた」の集である『万葉集』が登場する。これら上代文学の神髄に触れてみよう。

〔教科書〕 適宜指定し、あるいはプリントを使う。

## 近代文学講読

高田 知波

樋口一葉の代表作品のほとんどが「奇蹟の期間」と呼ばれる14ヶ月間に集中している。本講ではそのうちの『大つごもり』『十三夜』『たけくらべ』『にぎりえ』の4作品を一年間かけて精読する。幸田弘子による朗読テープも活用する予定である。

〔教科書〕 木村真佐幸『樋口一葉』（桜楓社）  
¥1,800

## 上代文学

小野 寛

『万葉集』をよむ。これは古代の日本人の心をよむことであり、古代の歴史をよむことである。『万葉集』をよむに当って、一首一首、諸本の本文の異同をたずね、その訓みを明らかにし、上代語およびその独自の語法をしらべ、作者の心をさぐり、その作品の背景となる歴史・風土・民俗などについても詳細にしらべながらよんでゆく。

〔教科書〕 小野 寛校注『万葉集抄』（笠間書院）  
〔参考書〕 金井清一・小野 寛編『年表資料 上代文学史』（笠間書院）

## 中古文学

廣島 まさる

影印本によって写本を読む力を養うと共に、中古語の理解を深めたい。なお『和泉式部集』にも触れて、作品の持つ文芸性を究明したい。

〔教科書〕 鈴木知太郎解説『影印本 和泉式部日記』（武蔵野書院）¥1,000

〔参考書〕 廣島まさる編『写本の読み方』（桜楓社）  
¥ 680

## 中世文学

水原 一

中世を代表する軍記物語の巨篇『太平記』を近世流布の版本の形（影印本）で読み、解釈・考証を通して、題材となった歴史事件や時代思潮・人物造型など種々の問題を考察する。

〔教科書〕 水原・長谷川編『版本太平記抄』（桜楓社）¥1,900

## 近世文学

渡辺 守邦

近世の小説を、『伊曾保物語』から始めて『梅暦』まで読む。数多くの作品に触れてみることにともな、近世小説史の流れをも追ってみたい。

## 近代文学

片岡 懋

近代文学作品に現われた家の問題について、いろいろな作家の作品を通して考えてゆく。

## 国文学特講 I

近藤 瑞男

人形浄瑠璃最盛期の傑作『仮名手本忠臣蔵』をとり上げる。本年は、その後半、有名なお軽・勘平の悲劇や大星由良之助（大石内蔵助）の「力茶屋」の遊びなど、後半部分を中心に考察する。ビデオを使用し、日本の古典芸能に対する理解を深めることもできるよう、配慮をするつもりである。

〔教科書〕 土田 衛『仮名手本忠臣蔵』（笠間書院）  
¥1,000

## 国文学特講Ⅱ

岩佐美代子

『千載和歌集』。中世最初の勅撰集であり、新古今集を生み出す基盤となったこの集を演習形式で読みたい。注釈書は無いに等しいので、自力による和歌読解の力を養い、多くの作品を読みなれる事を目的とする。

〔教科書〕 久保田淳校注『千載和歌集』（岩波文庫）  
¥ 550

## 国文学特講Ⅲ

長谷川政春

日本文学における〈境界〉からの発想をテーマに講ずる。具体的には歌における代作、屏風歌の構造、物語における語り手の位相や場面の特性、日記文学における虚構性などの問題を手掛りに、古代（奈良・平安時代）の文学における〈境界〉のもつ意味を考えてみる。併せてその深層にある思考法および思想にまで言及できれば、と思っている。

〔教科書〕 特定せず。必要に応じて講義の中で指示する。

〔参考書〕 適宜、講義の中で指示する。

## 国文学特講Ⅳ

高田知波

テーマは〈一人称小説の構造〉。

「語っている私」と「語られている私」、および「語っている時間」と「語られている時間」との距離の問題に注目しながら、日本近代文学の具体的な作品に即して考えていく。

〔教科書〕 教場で指示する。

## 中国文学

中村璋八

中国の民族思想の中心的な陰陽五行説を集大成した五行大義を平易な解説をしながら、演習方式で読んで行く。この陰陽五行説は、儒教や道教など中国の文化の中で重要な位置を占めているだけでなく、日本にも夙に伝来し、奈良朝から江戸期に至るまでの陰陽道・仏教・神道・国文学・年間行事、民間信仰など多くの方面に大きな影響を及ぼし、現代においても暦・習俗の中に受け継がれている。そこで、国文学や日本史・東洋史を専攻する人々には欠かせない内容を含むものと思う。是非熟読されたい。

〔教科書〕 『五行大義校註』（汲古書院）¥3,000

## 中国文学演習

中村璋八

中国の風土の中から自然に発生した漢民族の智恵の結晶でもある易の書は、その後、儒家の根本経典、五経の第一に位置付けられ、「易経」として重要視され、長い時代、多くの人々に読まれた。この易は、占卜の書であると共に中国人の世界観、人生観をも記したものであり、中国の思想、宗教、文学にも大きな影響を及ぼしている。それだけでなく、日本の文学、宗教、習俗、建築など広い範囲に、その影響が見られる。この「易経」を南宋の朱子の註に拠って読んで行き、中国人の考え方を究めると共に中国古典、日本の漢詩文の読解力をも養って行きたい。

〔教科書〕 プリント

## 中国文学概論

篠原壽雄

中国文学全般にわたって概観できるようにつとめる。このために中国文学の歴史研究を中心にして、その時代相と文人と、その文学作品を学ぶ。なお、日本文学との関連作品なども併せ講じたい。

〔教科書〕 吉川幸次郎『中国文学史』（岩波書店）  
¥1,600

## 仏教概論

山内舜雄

先づ仏陀観・仏身論の発達・形成という仏教の基本構造を詳説し、次いで各宗の教義を、概ね歴史的展開に沿って詳述する。すべてノート講義とし、教科書を使用しない。

## 東洋思想研究

館野正美

中国哲学の源流をなすと考えられる、中国古代の、いわゆる「諸子百家」の各学説を講義する。

諸子百家の中でも、特に、孔子・孟子・荀子らに代表される「儒家」、墨子の「墨家」、そして老子や荘子らの織りなす「道家」、以上三学派を中心に講じてゆきたい。

かくして、中国哲学の一典型を明らかにしたいと考えている。

〔参考書〕 授業中に紹介します。

## 日本史概説 I (古代・中世)

渡辺直彦

平安時代の諸様相について概観する。

〔教科書〕 『日本の歴史5 王朝の貴族』〔中公文庫〕(中央公論社) ¥640

## 日本史概説 II (近世・近代)

木槻哲夫

近世・近代にわたる日本社会の発展を概観しつつ、研究史にもふれ、併せて、新たな研究視角・問題点の発見に資するよう努めたい。

〔参考書〕 『地方史研究必携』(岩波書店)  
¥4,800

## 日本文化史 II

有元修一

日本文化の多様な流れを概観するとともにその特色をあきらかにする。本年は特に中世後半から近世を中心とする。

〔参考書〕 家永三郎著『日本文化史 第2版』  
(岩波新書)

## 書道史

谷村義雄

文字の発生から書体の変遷、書風の変化、書法の成立の過程を、まず中国に於ける書の歴史を辿り、また日本での独自の展開を概観する。本学では書道科の教職課程として開講しているので、書道史を中心に講義する。従って美術史も内容は書道史の延長とする。

〔参考書〕 神田喜一郎『中国書道史』(岩波書店)  
¥5,800  
『書の歴史』(二玄社) ¥1,800

## 書道実習 I

金子卓義

書の歴史を探りながら、古典の臨書を学び、表現技術の習得と、書の理解を深める。前半(9月頃まで)は楷、行、草の各体の古典を広く学び、後半は中国北魏時代の楷書『高貞碑』を細かに深く研究する。

〔教科書〕 『書道 I』〔高校用教科書〕(教育出版)

『高貞碑』〔書学名蹟選〕(日本書道資料刊)

## 書道実習 II

金子卓義

書の歴史を探りながら、古典の臨書を学び、表現技術の習得と、書の理解を深める。前半(9月頃まで)は楷、行、草の各体の古典を広く学び、後半は中国王羲之の行書『集字聖教序』を細かに深く研究する。

〔教科書〕 『書道 II』〔高校用教科書〕(教育出版)  
『集字聖教序』〔書学名蹟選〕(日本書道資料刊)

## 美術史概説

林良一

中国の南北朝より朝鮮の三国時代を経て、わが国の飛鳥期の仏教彫刻にいたる様式的展開について講述する。各地の寺院遺跡や遺品などのカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

## 美術史

谷村義雄

書道科の教職課程として開講する関係上、講義や内容は書の歴史とする。

〔参考書〕 『書の歴史』(二玄社) ¥1,800

## 現代美術

宮崎克己

19世紀、20世紀の西洋絵画について、様々な角度から考える。絵画の造形表現の問題(色彩、空間など)、表現内容の問題(象徴性、思想など)、社会的問題(展覧会の形式、ジャーナリズムとの関係など)等を、代表的作品を選んで具体的に論ずる。

受講者には適宜、美術館、展覧会の見学、およびレポートの提出を要求する。



## 編集実務

宇賀田 達 雄

編集者は何を考え、どのような仕事をしているのか。編集者が知っていなければならないことは何か。編集者に必要な技術とはどんなものか——この講義では、主として雑誌づくりのために必要な知識を中心に、編集の現場での仕事のやり方を、できるだけ実技を通して伝えようと思う。将来マスコミ方面に進む人には当然必要な知識だが、情報化時代の今日、官庁でも企業でも団体でも広報誌、会報、カタログ、広告など、いろいろな形の印刷物を作る機会がふえているので、そういう場合にも対応できるように、編集の実務に必要なことをまとめてみたい。

〔参考書〕 『編集校正便覧』（印刷学会出版部）  
¥ 250

## 英米文化

金 関 寿 夫

アメリカの文化を主として美術と文学との相関々係を中心に歴史的に考察、そのアメリカ的性格をさぐる。また音楽、演劇、映画にも言及することもある。（スライド使用）

〔参考書〕 教場で示す。

## 日本民俗学

渡 邊 欣 雄

私の民俗学という視野から、民俗学を論じ民俗学の扱う題材について紹介する。本講義は決して日本民俗学の概論講義ではないから、注意を要する。対象とする文化は主として日本本土ではなく、沖縄・台湾・香港・マレーシア等の南方であり、題材は宴・風水・鬼魂観・社会関係に及ぶ。

〔教科書〕 とくに用いず。

〔参考書〕 渡邊欣雄著『沖縄の社会組織と世界観』（新泉社）¥8,000  
渡邊欣雄著『沖縄の祭礼』（第一書房）  
¥3,800

## 英米文学科

### 基礎教育科目

英文学概論(中岡 洋)……………	87
米文学概論(金関 寿夫)……………	87
基礎英語 I A(東 雄一郎)……………	87
基礎英語 I A(河崎 征俊)……………	87
基礎英語 I A(坂本 武)……………	87
基礎英語 I B(N. Readdy)……………	87
基礎英語 I B(A.G. Ryder)……………	88
基礎英語 I B(T.J. Wright)……………	88
基礎英語 II A(東 雄一郎)……………	88
基礎英語 II A(河崎 征俊)……………	88
基礎英語 II A(坂本 武)……………	88
基礎英語 II B(N. Readdy)……………	88
基礎英語 II B(A.G. Ryder)……………	88

### 専門教育科目

英語学概論(大沢 一雄)……………	89
英作文 I(東 雄一郎)……………	89
英作文 I(岡田 尚)……………	89
英作文 I(佐藤 千春)……………	89
英作文 I(坂本 武)……………	89
英文学史 I(河崎 征俊)……………	89
英文学史 II(中岡 洋)……………	89
米文学史(佐藤 千春)……………	89
英語史(岡田 尚)……………	90
音声学(坂本 武)……………	90
英米語学演習(英作文 II)	
(57年度以前入学生:批評論研究)	
(佐藤 千春)……………	90
英米語学演習(英作文 II)	
(57年度以前入学生:批評論研究)	
(坂本 武)……………	90
シェイクスピア(荒井 良雄)……………	90
英文学演習 I(中世)(河崎 征俊)……………	90
英文学演習 II(英文学16・17c.)	
(河崎 征俊)……………	90
英文学演習 IV(英文学18c.) (小林 亨)……………	90
英文学演習 V(詩19・20c.) (中岡 洋)……………	91
英文学演習 VI(小説 I 19c.) (中岡 洋)……………	91
英文学演習 VII(小説 II 20c.) (飯島 淳秀)……………	91
英文学演習 VIII(批評19・20c.) (東 雄一郎)……………	91
米文学演習 I(詩)(金関 寿夫)……………	91
米文学演習 II(小説 I)(岡崎 寿一郎)……………	91
米文学演習 III(小説 II)(佐藤 千春)……………	91
米文学演習 IV(小説 III)(田中 剛)……………	91

米文学演習 V(批評)(土岐 恒二)……………	92
米文学演習 VI(小説 IV)(寺門 泰彦)……………	92
英米演劇演習(荒井 良雄)……………	92
英文学特講 I(英文学16・17c.)	
(石原 孝哉)……………	92
英文学特講 II(英文学18c.) (小林 亨)……………	92
英文学特講 III(詩19・20c.) (河崎 征俊)……………	92
英文学特講 IV(小説 I 19c.) (中岡 洋)……………	92
英文学特講 V(小説 II 20c.) (飯島 淳秀)……………	92
英文学特講 VI(批評19・20c.) (丸小 哲雄)……………	92
米文学特講 I(詩)(東 雄一郎)……………	93
米文学特講 II(小説 I)(佐藤 吉介)……………	93
米文学特講 III(小説 II)(山縣 敏夫)……………	93
米文学特講 IV(小説 III)(田中 剛)……………	93
米文学特講 V(批評)(佐藤 吉介)……………	93
英米演劇特講(落合 和昭)……………	93
英米語学演習(言語学)(大沢 一雄)……………	93
英米語学演習(英文法)(岡田 尚)……………	93
英米語学演習(英会話)(W.D. Hubbard)……………	94
英米語学演習(英会話)(N. Readdy)……………	94
英米語学演習(英会話)(T.J. Wright)……………	94
英米文化(金関 寿夫)……………	94
時事英語(大沢 一雄)……………	94
商業英語(町井 靖)……………	94
ラテン語特講(前期)(野島 利彰)	
(後期)(佐藤 玖美子)……………	94
日本文化史 II(有元 修一)……………	94
現代美術(宮崎 克己)……………	94

# 英 米 文 学 科

## 基礎教育科目

### 英文学概論

中 岡 洋

Shakespeareを始めとして多くのすばらしい作家たちが作りあげる英文学の世界は深い魅力をたたえている。その魅力ある世界について基礎となる知識を講じていく。英文学を学ぶ喜びを味わい、学ぶ意欲を一層深めてもらいたい。

### 米文学概論

金 関 寿 夫

米文学鑑賞研究に必要な時代背景、思想、文学批評などを解説、アメリカ文学の特質を明らかにする。

〔補助教科書〕 志村・八木著『アメリカの文学』（南雲堂）

〔参考書〕 教場で示す。

### 基礎英語 I A

東 雄 一 郎

平易な英文を通じて英語力を高める。言うまでもなく予習は必須。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示します。

### 基礎英語 I A

河 崎 征 俊

英語の基礎力の向上をねらいとします。したがって、Reading, Translation, Hearing, Compositionなどを中心とした総合的学習を行ないます。予習・復習を欠かさないことが大切です。

〔教科書〕 教場で指示します。

〔参考書〕 未 定。

### 基礎英語 I A

坂 本 武

Tape使用を主体とする内容で、いわゆる「読んで訳して」ではない。毎時限「書取り」(Dictation)を実施し、いわゆるHearing (Understanding)の能力向上につとめたい。積極的に受講してほしい。出欠は重視する。

〔教科書〕 教場で指示する。

### 基礎英語 I B

N. Readdy

In the first semester, we will be using one of the textbooks in the English 900 Series. Emphasis will be placed on grammar, sentence structure, substitution drills and listening/comprehension skills. Group and individual participation is required.

In the second semester, we will be studying in preparation for the STEP Test level 3. Emphasis will be placed on pronunciation, intonation and individual speaking. The STEP Test is divided into two sections; listening and speaking. This class will concentrate on the speaking part only as listening skills should have improved after the first semester.

There will be two examinations during the school year and students are required to attend both to receive a grade.

Textbooks: 1st Semester. To be chosen later depending on the ability of the class as a whole.

2nd Semester. All materials will be supplied by the instructor

基礎英語 I B

A. G. Ryder

The primary aim of this course is to enable every student to make as much progress as possible in his/her ability to communicate effectively in English.

This implies not only ability to express one's meaning clearly in English, but also ability to understand native speakers of English. To achieve this aim, constant drill and exercises, both group and individual will be provided: in pronunciation, intonation, word-grouping, tempo and stress, and other factors.

The pace in all of my classes is fast and challenging with all of the students participating actively all of the time. Therefore, motivation is one of the prime requisites. ENGLISH will be the ONLY language spoken in the classroom.

Text to be announced later.

基礎英語 I B

T. J. Wright

This class will cover the four skills of the language comprehension. Students will be expected to try to understand and communicate in English. The class will be challenging and educational.

Textbooks to be announced.

基礎英語 II A

東 雄一郎

平易な英文を通じて英語力を高める。言うまでもなく予習は必須。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示します。

基礎英語 II A

河 崎 征 俊

英語の基礎力から応用力への向上をねらいとします。テープを使用しながら「書取り」(Dictation)を行ったり、高度な英文構造の把握や、内容及び思考を必要とするCompositionの演習を行ないます。予習・復習に

努めて、積極的な学習を心がけることが大切です。

〔教科書〕 教場にて指示します。

〔参考書〕 未 定。

基礎英語 II A

坂 本 武

英検一級合格を目標とする英語総合力の養成につとめる。随時Tapeの使用をもってその効果を挙げたい。出欠は重視する。

〔教科書〕 教場にて指示する。

基礎英語 II B

N. Readdy

Method and materials similar to that of 1st year students but on a more intermediate level.

〔教科書〕 See content for 1st year students.

基礎英語 II B

A. G. Ryder

The primary aim of this course is to enable every student to make as much progress as possible in his/her ability to communicate effectively in English. This implies not only ability to express one's meaning clearly in English, but also ability to understand native speakers of English. To achieve this aim, constant drill and exercises, both group and individual will be provided in pronunciation, intonation, word grouping, tempo and stress, and other factors.

The pace in all of my classes is fast and challenging with all of the students participating actively all of the time. Therefore, motivation is one of the prime requisites. ENGLISH will be the ONLY language spoken in the classroom.

Text to be announced later.

## 専門教育科目

### 英語学概論

大沢 一雄

英語学とはどういう学問であるか、一口にいえば、それは、英語という言語を研究の対象とする学問であるから、言語について研究する学問すなわち言語学の一部である。すなわち、英語学は英語という言語を研究する言語学なのである。「英語学」が英語でEnglish philologyとかEnglish linguisticsといわれるのは、そのことをよく示している。

ところで、言語学は、音声学、音韻論、文法論、語彙(い)論、意味論、語源論、文体論、辞書編纂論、言語史等の諸部門に分かれる。したがって、英語学の研究も、結局これらの部門のどれかについておこなわれることになるのであるが、そういう各論的な研究に入る前に、英語学という学問について、英語という言語について、一般的、総論的な知識をもつことも必要なことといわなければならない。「英語学概論」の講義は、英語学や英米文学を勉強しようという学生諸君のために、そのような概説的な知識を提供しようとするものである。

### 英作文 I

東 雄一郎

基本構文から応用へと、ある程度自己の感情、思想を自由に英語で表現できるようになるためのtrainingを行う。しかし、英作文はあくまでも four skills of English learning の一つであることを忘れずに。毎回、授業の始まりから20分間ほどの時間は、数問の小テストにあて、それを出席にかえる。授業に対する preparation は必要不可欠。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示します。

### 英作文 I

岡田 尚

英文を書くことによって、英語の総合力の増進をはかりたい。積極的に発表し質問をして活気のある授業にしてほしい。テキストは教室で指示する。

### 英作文 I

佐藤 千春

易しい英文の表現で、自分の考えを自由に書き記すことができるようになることを目指す。基礎力を十分に養ってもらいたい。テキスト、その他詳しい内容は授業開始の時に連絡する。

### 英作文 I

坂本 武

一般的散文、時事文および手紙文等について巾広く採りあげる積りである。積極的に受講してほしい。出欠は重視する。

〔教科書〕 教場にて指示する。

### 英文学史 I

河崎 征俊

古代から中世をへて、ルネサンス及び18世紀までの英文学史を、時代背景、文芸思潮、作家、作品などの説明を中心に講義します。

〔教科書〕 教場にて指示します。

〔参考書〕 未定。

### 英文学史 II

中岡 洋

英文学は世界に冠たる作品を数多く産み出してきた。Wordsworth, Scott, Austenらの時代以降それらの作品を年代順に跡づけ、現代に至る。不滅の作品群にふれる喜びを共に味わいたい。

### 米文学史

佐藤 千春

一般にアメリカの歴史は17c.から始まると言えるが、この地への植民がどんな夢を抱いてなされたものかという序論に始まり、ピューリタニズム、18c.の合理主義、やがてロマン主義へと、歴史は時代の動向と文芸思潮をからませながら進んで行く。この流れにそって、どのような作家が、どのような精神で、どのような作品を書きあげたのかを探ってみる。講義はできるだけ作家、作品

の羅列を避け、作家の中心思想、作品の主要テーマなどに焦点をしばり分析と解説を行いつつ、これを味わってみたい。

〔教科書〕 井上謙治編『アメリカ文学史入門』  
(創元社)

## 英語史

岡田 尚

今日の英語に親しんでいる人には他国語のような感じのする古英語の時代から、一千余年の間に、英語がどのように変化してきたか、その主要な流れを概観する。

〔教科書〕 教室で指示する。

## 音声学

坂本 武

「調音声学」の概要について、英語を主体とした流れの中で学習することが本講義の内容である。今更発音の修正など…と思わず、英米文学科生として必須の科目であると考え、第一歩から徹底的に取り組んでほしい。英語の母音、子音からはじめて、各論に至るまでの知識を得てほしいのである。英語専攻の学生が、「nativesの言うことが判らない」では困るので、英音、米音の区別等についても詳しくふれる。出欠は重視すると同時に、年間数冊のノートおよびTapeの提出を求める。

〔教科書〕 教場にて指示する。

## 英米語学演習(英作文Ⅱ) (57年度以前入学生: 批評論研究)

佐藤 千春

すでに英作文Ⅰで十分な基礎力が身についたとの想定で、ここでは応用の段階に入ってみる。作文だけでなく、読むことも時に応じて行いたい。テキスト、その他詳しいことは授業開始の時に連絡する。

## 英米語学演習(英作文Ⅱ) (57年度以前入学生: 批評論研究)

坂本 武

英作文に関する作法、表現等については、既に英作文Ⅰにおいてそれらの基礎力は充分涵養済みと思われるので、この演習では、更に応用面、実用面についての実力を身につけるよう望んでやまない。

〔教科書〕 教場にて指示する。

## シェイクスピア

荒井 良雄

シェイクスピアの人生観と劇作術と言葉の魅力を、『十二夜』を中心に講義します。生涯と作品、批評史や上演史などにも言及しながら講義を進め、『十二夜』以外の喜劇や悲劇からも引用しますので、特にシェイクスピアに関心の深い学生は、全作品を一冊に収録したThe Alexander Text (Collins) を持つのが望ましいと思います。

〔教科書〕 『TWELFTH NIGHT』(“十二夜”)  
(日本放送出版協会)

## 英文学演習Ⅰ(中世)

河崎 征俊

Chaucerの*The Canterbury Tales* やLanglandの*Piers Plowman* 及びGawain-Poetの作品を読みます。中世英語の文法の習得から、中世後期の社会的背景・文化風土の認識をねらいとします。はじめは講義方式で進めますが、慣れてきたら各自に演習を課す予定です。

〔教科書〕 教場で指示します。

〔参考書〕 未定。

## 英文学演習Ⅱ(英文学16・17c.)

河崎 征俊

Shakespeareの*Sonnets*を読みます。作品はコピーにして渡しますので、予習を欠かさないこと。詩人の言葉のイメージを探知しながら、詩作品の読み方、とらえ方を演習の中で身につけてほしいです。

〔教科書〕 教場にてコピーを配布。

〔参考書〕 教場にて指示します。

## 英文学演習Ⅳ(英文学18c.)

小林 亨

18世紀イギリス小説家の奇才、Laurence Sterneの傑作*Tristram Shandy*を読む。難解であるが幸い注釈書が出ているので、小説の好きな受講者には楽しめると思う。

〔教科書〕 『小英文叢書』(研究社) ¥760

英文学演習V (詩19・20c.)

中岡 洋

英文学の華19, 20世紀の代表的詩人たちの作品を鑑賞する。

英文学演習VI (小説I 19c.)

中岡 洋

Charlotte Brontë 作 *Jane Eyre* (1847) について勉強する。

英文学演習VII (小説II 20c.)

飯島 淳秀

20世紀イギリス小説(中篇または短篇)をよむ。毎回必ず当ててやってもらうが、それもできるだけ頻繁に回るようにローテーションを組んでいく。前期と後期にそれぞれ課題レポート(即ち単位レポート)の提出が要求される。出席は重視される。テキストは最初のときに指示する。

英文学演習VIII (批評19・20c.)

東 雄一郎

批評は勿論扱う作品の味読を前提とする。この演習では原典の力・本体である作品と先ず取組むことを主軸とする。前期は主として詩作品を扱い、実践批評を試みる。後期は小説作品を扱うが、「意識の流れ」の技法が駆使されたものを読み、討論して行く。英文学演習の名称になってはいるが、近代・現代批評の観点からして、必ずしもイギリス文学に固執するものではない。あわせて、T.S. Eliotの評論にも触れたい。自分自身で取り上げる作品を熟読することが批評書に先行し、そこから作家と読者の自由にして親密な個人的関係・共同の精神活動が生じる。後期の小説作品は短編が主となろう。

米文学演習I (詩)

金関 寿夫

アメリカの現代詩をロバート・フロストからゲーリー・スナイダーまで、実作を精読しながらその発展を考察する。とくに時代意識との関連に注目する。

〔教科書〕 Pearson & Kanaseki 編  
*Sixteen Modern American Poets*  
(英宝社) ¥2,600

〔参考書〕 教場で示す。

米文学演習II (小説I)

岡崎 寿一郎

アメリカ現代小説についての講義を通して、文学が現代にもつ意味を探究する。

〔教科書・参考書〕 教場にて指示する。

米文学演習III (小説II)

佐藤 千春

アメリカ文学史上、1850年から1855年にいたる五年間は、“moment of adult health” と呼ばれる黄金時代であり、アメリカ文学が世界に誇る名作を続々と世に出した。「アメリカ・ルネッサンス」と呼ばれるのはこの時期のことである。ここでは、その代表的作家、エマソンをとりあげ、彼の格調高い文体に触れてみることにする。テキストその他に関しては、授業開始の時に連絡する。

米文学演習IV (小説III)

田中 剛

『白鯨』の作者、ハーマン・メルヴィルの短編小説『書記バートルビー』と中編小説『リリー・バッド』を取りあげ、彼の性質を考えつつ精読する。

〔教科書〕 Herman Melville: *Bartleby and Other Stories* (開文社)  
Herman Melville: *Billy Budd, Sailor* (北星堂)

### 米文学演習V (批評)

土岐恒二

近年, Ralph Waldo Emersonの再評価がしきりに行なわれているが, 主として彼の日記や書簡を通じて彼の批評の現代性を考えて行きたい。

〔教科書〕 *Selections from Ralph Waldo Emerson*, Edited by Stephen E. Whicher. Riverside Editions, Houghton Mifflin Company  
約¥1,530

### 米文学演習VI (小説IV)

寺門泰彦

現代アメリカ作家5人の短篇小説を講読する。

〔教科書〕 Malamud 他: *Best American short stories (II)* (太陽社)  
〔参考書〕 その都度, 紹介する。

### 英米演劇演習

荒井良雄

今年生誕百年を迎えるアメリカの代表的な劇作家で, ノーベル文学賞の受賞者でもあるユージン・オニールの出世作『地平線の彼方』と, その劇評を読みます。後期はイギリスの現代劇を一篇読みます。

〔教科書〕 『BEYOND THE HORIZON』  
("地平の彼方") (英宝社)

### 英文学特講I (英文学16・17c.)

石原孝哉

ルネッサンス期の英文学について講じる。中世のたそがれから近世の夜明けへの過渡期の文学を, 過去と未来の両方に開かれたものとしてとらえ, 文化のさまざまな方面から論じる。意欲的な学生の受講を望む。

〔教科書〕 『シェイクスピア喜劇とロマンスの発展』  
(三修社)

### 英文学特講II (英文学18c.)

小林亨

18世紀の主要な散文作家5, 6名を取り上げ, 絢爛と花開いたイギリス近代小説の特質を考察する。講義だけ

でなく出来る限り作品に接することをこの講座の特徴としたい。

〔教科書〕 教室にて指示する。

### 英文学特講III (詩19・20c.)

河崎征俊

19世紀のロマン派詩人について講義します。作品については, 時々コピーを渡します。

〔教科書〕 高野正夫著『感性の宴』(篠崎書林)  
¥2,800

〔参考書〕 未定。

### 英文学特講IV (小説I 19c.)

中岡洋

イギリス小説の代表的傑作 *Jane Eyre* や *Wuthering Heights* を残した Brontë sisters について, 彼女たちの文学史的位相を見定め, 彼女たちの生涯と芸術について詳述する。

〔教科書〕 中岡 洋著『エミリー・ブロンテ論』(国文社)

### 英文学特講V (小説II 20c.)

飯島淳秀

小説の問題を中心に現代英吉利文学の20世紀的諸相について講義をする予定。特定のテキストは用いない。参考文献はそのつど伝える。前期及び後期にそれぞれ課題レポート(即ち単位レポート)の提出が求められる。他に教場テストが行われるばあいもある。出席は重視される。

### 英文学特講VI (批評19・20c.)

丸小哲雄

なぜある文学テキストにこだわり, なぜそれが面白いのかという主観的現実から出発して, 批評文学は「文学とは何か」, 「批評とは何か」, 「人間とは何か」と問い続けつつ, その現実生きるために書かれる。しかるに, 文学の現実的な諸問題に対応するためのさまざまな文学理論と方法を総動員して, 批評文学の「楽市楽座」をひらきます。批評史にみられる批評的原理(現象学, 解釈学, ロシア・フォルマリスト, 新批評, 原型批評, 受容理論, 構造主義批評, ポスト構造主義批評, フェミニズム批評など)のそれぞれの視角と死角を検討して, 文学テキストに肉迫したい。



〔教科書〕 “A Reader’s Guide to Contemporary Literary Theory” by Raman Selden (The Harvester press, 1985)

〔参考書〕 適宜に指示します。

### 米文学特講Ⅰ (詩)

東 雄一郎

主として20世紀、現代のアメリカ詩を扱う。勿論、アメリカ詩の流れを考察する場合に不可欠な存在である詩人達、Edgar Allan Poe, Walt Whitman, Emily Dickinson 等も扱うことは言うまでもない。実際、個々の詩人の代表作品を味読、鑑賞しながら講義をすすめていく。また、Edward TaylorにみられるMetaphysical Poetryの特質に関しては、イギリスのJohn Donneの作品に触れることにもなる。清教徒主義の内向性と開拓者精神の外向性を常に遍在させ、American Renaissance, Realism, Chicago Renaissance, Harlem Renaissanceを展開させて行くアメリカの精神風土との関連の上から、ModernismとPost-Modernismを代表する詩人の個々の作品にあたるつもりである。

〔教科書〕 新倉俊一著『英詩の構造』(駿河台出版社)

〔参考書〕 開講時に指示します。

### 米文学特講Ⅱ (小説Ⅰ)

佐藤吉介

アメリカ文学——特に19世紀の作品、Mark Twain, Ambrose Bierce, Stephen Crane, Nathaniel Hawthorneなどを用いて英語文学の風土背景を講述する。

〔教科書〕 プリント

### 米文学特講Ⅲ (小説Ⅱ)

山 縣 敏 夫

アメリカにおける黒人文化の歴史的発展を考察し、現代黒人文学にいたるまでの社会的変遷と文学とのかわりあいについて研究する。

〔教科書〕 開講後指示する。

### 米文学特講Ⅳ (小説Ⅲ)

田 中 剛

J.F. クーパーからT. ドライサーに至るまでの十九世紀アメリカ小説を代表する作家の作品から約十篇を選び、原書からの抜粋(コピー)を読みつつ、解説する。

〔教科書〕 『The American Novels』(英潮社 新社)

### 米文学特講Ⅴ (批評)

佐藤吉介

アメリカ文学の作品を材料に使用して批評の方法—分析、文体論、表現論、時間論—を習得せしめるように講述する。最近の言語記号論も考察に入れてみたい。

〔教科書〕 プリント

### 英米演劇特講

落 合 和 昭

過去2年間にわたって、ギリシャ悲劇の時代から現代にいたるまでの劇場史を考察してきたが、今年度は、ギリシャ悲劇の時代から現代にいたるまでの思潮に重点をおいて講義を進める予定である。

また、講義用のテキストとしては図や写真が数多くのっているアメリカの大学生用のテキストを用いる。課題としては、英文のテキストを読んでもらい、レポートは一回に原稿用紙二枚程度のものを年間十回ほど提出してもらおう。

### 英米語学演習 (言語学)

大 沢 一 雄

Noam Chomskyの著書または論文を読む。テキストは教場で指示。

### 英米語学演習 (英文法)

岡 田 尚

生きた英文に接しながら、伝統的な文法の知識を確認するとともに、どのような文法がよいかを考えてみたい。

〔教科書〕 教室で指示する。

### 英米語学演習 (英会話)

W. D. Hubbard

Practical English conversation for third and fourth year students. A variety of dialogues, Short Plays and current topics will be used. Hearing and speaking Emphasized. Text will be decided at class time.

〔教科書〕 Not decided yet.

### 英米語学演習 (英会話)

N. Readdy

Method and materials similar to that of 1st year students but of a more advanced level.

〔教科書〕 See content for 1st year students.

### 英米語学演習 (英会話)

T. J. Wright

This will be an intensive conversation class. We will study skills in listening comprehension and speaking. Students will be required to SPEAK! in English. The class will be challenging-exciting and educational.

Textbooks to be announced.

### 英米文化

金 関 寿 夫

アメリカの文化を主として美術と文学との関連々係を中心に歴史的に考察, そのアメリカ的性格をさぐる。また音楽, 演劇, 映画にも言及することもある。(スライド使用)

〔参考書〕 教場で示す。

### 時事英語

大 沢 一 雄

時事英語の研究をおこなう。時事英語とは大まかにいうと, 新聞, テレビ, ラジオ等のmass mediaすなわちマスコミで用いられる英語である。

### 商業英語

町 井 靖

日本企業の国際的進出は, 海外での子会社, 合併会社の設立, 外国企業の買収等めざましいものがあるが, 「商業英語」では「商品の輸出入に関する英文の手紙」を勉強します。

取引先の発見, 見積り, 文渉, 注文, 船積み等, 貿易取引の流れに従って良く使用される基本的表現の修得に重点を置く。貿易の専門用語, テレックスも解説したい。

〔教科書〕 斎藤祥男『国際貿易英語通信』(梓出版社) ¥1,800  
他 プリント。

### ラテン語特講

(前期) 野 島 利 彰  
(後期) 佐 藤 玖 美 子

この講座は, 英米語をはじめとする現代ヨーロッパの言語のより良い理解者となるための, 古典ラテン語の基礎知識の習得, とくに文法規則を学び, 動詞, 名詞の変化に慣れることを目的としています。また平行して, やさしいラテン語で書かれた読物の講読も行いたいと思います。

〔教科書〕 『ラテン語入門』(駿河台出版社)

### 日本文化史 II

有 元 修 一

日本文化の多様な流れを概観するとともにその特色をあきらかにする。本年は特に中世後半から近世を中心とする。

〔参考書〕 家永三郎著『日本文化史 第2版』(岩波新書)

### 現代美術

宮 崎 克 己

19世紀, 20世紀の西洋絵画について, 様々な角度から考える。絵画の造形表現の問題(色彩, 空間など), 表現内容の問題(象徴性, 思想など), 社会的問題(展覧会の形式, ジャーナリズムとの関係など)等を, 代表的作品を選んで具体的に論ずる。

受講者には適宜, 美術館, 展覧会の見学, およびレポートの提出を要求する。

## 地理学科

### 基礎教育科目

基礎人文地理学(今朝洞 重美).....	96
基礎人文地理学(長野 寛).....	96
基礎自然地理学(長沼 信夫).....	96
基礎自然地理学(早船 元峰).....	96

### 専門教育科目

人文地理学実習(今朝洞 重美).....	96
人文地理学実習(茭口 善美).....	96
人文地理学実習(桜井 正信).....	96
人文地理学実習(土谷 敏治).....	96
人文地理学実習(再クラス)(長野 寛).....	97
自然地理学実習(小池 一之).....	97
自然地理学実習(高木 正博).....	97
自然地理学実習(前期)(中村 和郎)	
(後期)(長沼 信夫).....	97
自然地理学実習(早船 元峰).....	97
自然地理学実習(再クラス)(長沼 信夫).....	97
野外巡検Ⅰ(今朝洞 重美).....	97
野外巡検Ⅰ(小池 一之).....	98
野外巡検Ⅰ(茭口 善美).....	98
野外巡検Ⅰ(高木 正博).....	98
野外巡検Ⅰ(西村 嘉助).....	98
日本地誌Ⅰ(今朝洞 重美).....	98
外国地誌Ⅰ(茭口 善美).....	98
経済地理学Ⅰ(土谷 敏治).....	98
郷土地理学(長野 寛).....	98
集落地理学(小川 徹).....	98
地形学Ⅰ(西村 嘉助).....	98
地図学(高木 正博).....	99
交通地理学(生井澤 進).....	99
地理学総論(小川 徹).....	99
地理学総論(前期)(中村 和郎)	
(後期)(茭口 善美).....	99
地理学総論(西村 嘉助).....	99
野外巡検Ⅱ(小川 徹).....	99
野外巡検Ⅱ(桜井 正信).....	99
野外巡検Ⅱ(土谷 敏治).....	99
野外巡検Ⅱ(中村 和郎).....	99
野外巡検Ⅱ(長沼 信夫).....	99
野外巡検Ⅱ(長野 寛).....	100
野外巡検Ⅱ(早船 元峰).....	100
日本地誌Ⅱ(宮口 侗迪).....	100
外国地誌Ⅱ(内藤 正典).....	100
経済地理学Ⅱ(生井澤 進).....	100

地形学Ⅱ(今泉 俊文).....	100
歴史地理学(桜井 正信).....	100
人口地理学(土谷 敏治).....	100
原書講読(梅原 弘光).....	100
地質学(小池 一之).....	100
土壤地理学(前期)(長沼 信夫)	
(後期)(漆原 和子).....	101
気候学(前期)(中村 和郎)	
(後期)(小川 肇).....	101
海洋学及び陸水学(長沼 信夫).....	101
環境地理学(早船 元峰).....	101
日本地誌Ⅲ(中島 義一).....	101
外国地誌Ⅲ(梅原 弘光).....	101
都市地理学(今朝洞 重美).....	101
計量地理学(土谷 敏治).....	101
応用地理学Ⅰ(高木 正博).....	102
応用地理学Ⅱ(今野 修平).....	102
文化地理学(茭口 善美).....	102
空中写真判読法及び測量学(小池 一之).....	102
地理学特講Ⅰ(長野 寛).....	102
地理学演習(小川 徹).....	102
地理学演習(今朝洞 重美).....	102
地理学演習(小池 一之).....	102
地理学演習(茭口 善美).....	103
地理学演習(桜井 正信).....	103
地理学演習(高木 正博).....	103
地理学演習(土谷 敏治).....	103
地理学演習(中村 和郎).....	103
地理学演習(長沼 信夫).....	103
地理学演習(長野 寛).....	103
地理学演習(西村 嘉助).....	103
地理学演習(早船 元峰).....	103

# 地 理 学 科

## 基礎教育科目

### 基礎人文地理学

今朝洞 重 美

地理学的な「見方」「考え方」とはどのようなものであるか、について事例を中心に説明する。

### 基礎人文地理学

長 野 覚

世界的視野において、自然と人間活動の相関性を考えながら、多彩な人文現象の基礎知識を、系統地理的に講義する。テキストは下記のほか、適宜プリントで補足する。受講に際して地図帳の併用を心掛けること。

〔教科書〕 藤岡謙二郎著『五訂 人文地理学』（大明堂）

### 基礎自然地理学

長 沼 信 夫

本講義は地理学を専攻する学生諸君のために、自然的な立場から基礎的知識を提供しようとするものである。今年度も下記のテキストを使用し、第四紀時代の自然環境の変遷について講義する。

なお、参考書は適時講義中に紹介する予定である。

〔教科書〕 『自然環境の生い立ち』（朝倉書店）

¥2,200

### 基礎自然地理学

早 船 元 峰

地質年代では最も新しく、かつ、人間と密接なかかわりをもつ第四紀の自然環境について講義する。

## 専門教育科目

### 人文地理学実習

今朝洞 重 美

地形図、都市図を利用して土地利用、宗教、集落など人文地理学に関する実習を行う。

### 人文地理学実習

こも ぐち  
菱 口 善 美

この実習は、人文地理学の諸分野において用いられている技術的表現の理解、および基礎的諸作業の修得を目的としている。実際の授業内容は次の通りである。すなわち、(1)人文地理学にとって基礎的な統計図表に関する講義、(2)産業や人口に関する統計資料の収集、整理および図表化作業の修得、(3)地域を選定し、その地理学的説明のための図表およびレポートの作成、(4)一定地域の変化をテーマとして、種々の資料にもとづくレポートの作成。

### 人文地理学実習

桜 井 正 信

人文現象を総合学の立場で実習させていくが、とりわけ地図化することに重点を置く。必要参考文献は、そのつど指示し、実習の成果をあげるようにする。

### 人文地理学実習

土 谷 敏 治

人文地理学の研究に必要な資料の集取、既存の統計資料の整理・加工、統計処理、地図・図表の作成などの実習を行ない、基本的な能力を身につける。毎回学習した

内容について課題を与え、レポートを作成することを原則とする。コンピュータを使った実習も行なうので、受講者は講習会を受け、電子計算機室の利用者登録をしておくこと。

### 人文地理学実習（再クラス）

長野 覚

前期は地形図の読図に習熟するよう、土地利用図・地形段彩図・地形図模型などを作成し、人文現象と自然条件の相関性を考察する。後期は各自で収集した統計資料をもとにして、各種の統計地図類を作成することにより、主として人文現象の図化を習得する。

### 自然地理学実習

小池 一之

自然地理とくに地形学関係のデータ整理および野外調査方法などについて実習を行う。必要に応じパーソナル・コンピュータによるデータ整理についても紹介する。

実習内容（予定）

1. 地形図の読図，主題図の作成
2. 各種統計データの整理方法
3. 空中写真判読（含現地調査）
4. その他

### 自然地理学実習

高木 正博

自然地理学を研究するうえで必要となる基礎的な諸事項の修得を目的とし、その手段として各種の作業を実施してもらう。作業内容については、つぎのことがらを予定している。

1. 地形図，空中写真などを利用し，各種の主題図を作成する。
2. 各種計測器材を利用した野外調査や，統計資料の解析・図化など，授業の進捗状況に応じて指示する。
3. コンピュータを使用する予定なので，講習会を受け，電子計算機室の利用者登録をしておくこと。評価に際しては，提出物と出席の状況を重視する。

### 自然地理学実習

（前期）中村 和郎  
（後期）長沼 信夫

自然地理学の基礎的な実習を行う。次の内容を予定しているが、実施の順序は変更することがある。

1. 計測（野外および机上で各種の計測を行う）

2. 統計処理（各種データの整理方法を学ぶ）
3. 地図化（主題図を作成する）
4. 読図（地図の読図を行う）
5. 空中写真判読（空中写真から必要な情報を読む）
6. 地上写真撮影（地理的事象を写真で表現する）

### 自然地理学実習

早船 元峰

地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心にを行う。

前期

○図上作業（切峰面図・起伏量図・帯状平行投影地形断面図等の作成）

○資料の収集・整理・分析の方法

○調査器械・器具の使用法

後期（班別）

○粒度分析

○空中写真判読（土地利用図・地形学図・標定図作成）

○水調査（湖水・河川水・地下水の水温，水質等）

○微地形・表層地質調査（元荒川・古利根川流域）

### 自然地理学実習（再クラス）

長沼 信夫

この実習は自然地理的な立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。実習を通じて種々の資料の蒐集・整理，その結果から図表等の表現化，作成した図表からその読み方等を実施する。また野外調査の際に必要な技術的作業等の方法についても実習する予定である。

出席を重視し，平常点（レポート，図表等の提出物）で評価する。

〔参考書〕 谷岡武雄ほか『新訂地理実習』（大明堂）  
三野与吉編『自然地理調査法』（朝倉書店）

### 野外巡検 I

今朝洞 重美

北陸地方（金沢市，となみ平野，五箇山，能登半島方面）巡検を夏期休暇に実施する。

## 野外巡検 I

小池 一之

地理学、とくに地形学を中心とする野外実習法を学ぶ。本年はフィールドを福島県只見川流域とし、2日間は火砕物の流下機構、段丘地形、断層地形などを学び、1日は各人の自由テーマで自主巡検を行う。

〔巡検地〕 福島県只見川流域

〔日程〕 10月末ごろ

## 野外巡検 I

こも ぐち  
菱 口 善 美

目的：地域の変貌についての実態把握  
調査地：未定（ガイダンスの際に発表）

## 野外巡検 I

高 木 正 博

地域の実態調査をとおして、それぞれの地域が有する自然的・人文的な特長の一端を明らかにしたい。

現地では班別に行動し、各種の実測調査や聞き取り調査などを実施する。

調査地域は、4月の巡検ガイダンスの際に発表する。

## 野外巡検 I

西 村 嘉 助

初夏の数日間、東北地方の一地域を選び、終始徒歩で野外調査の基礎を訓練する。対象は主として自然地理学の問題である。地形学 I を受講する者でないと参加の意欲がない。

## 日本地誌 I

今 朝 洞 重 美

地誌学の本質を考察しつつ、「日本」、「日本各地方」の個性を追求する。

〔参考書〕 『日本の地域—新しい日本地誌—』  
（森北出版）

## 外国地誌 I

こも ぐち  
菱 口 善 美

本講義では、『地域』の概念について述べ、次に具体的地域区分の方法を吟味し、さらに北米その他の「地誌」を概説する。都市の発生的、地域論的立場に重点を置く。

## 経済地理学 I

土 谷 敏 治

経済現象を地理学の側面からとらえるために、1.立地論（経済立地論、工業立地論）、2.中心地理論、3.都市の地域構造に重点を置いて講義を行なう。

## 郷土地理学

長 野 寛

1. 国土面積の約 $\frac{1}{4}$ を占める山地の包蔵する山岳信仰文化の地域的特色を考察し、各自の郷土における山岳信仰を調査しレポートする。（前期）
2. 郷土の地域概念を理解するため、古代から現代に至る行政変化について学習し、各自で調査した成果をレポートする。（後期）

〔参考書〕 『山岳宗教史研究叢書』（名著出版）  
『地名大辞典』（角川書店）  
『日本歴史地名大系』（平凡社）

## 集落地理学

小 川 徹

居住の地理学という観点から、民家と村落構成の両側面について講義する。プリント・テキストは開講後指示する。巡検もその趣旨に沿って行うので、小川巡検を希望するものは、この科目を選択しておいて欲しい。

## 地形学 I

西 村 嘉 助

地理学の基礎的な部分を講義する。営力地形学から発達地形学に亘る解説を行う。

## 地 図 学

高 木 正 博

まず、地図の歴史をとおして、地図の重要性を認識する。つぎに、地図の作成・表現方法などのちがいによる多様な地図をもとに、解説、利用法について講ずる。

授業内容に応じて作図実習を伴うので、定規、コンパス、分度器を揃えておくこと。

## 交通地理学

生井澤 進

商品の流れ（貨物流）の変化について、この変化の要因となる港湾・道路等諸施設の変化ならびに情報システムの変化に焦点を当てて、現在の交通体系を理解してゆく。

〔教科書〕 講義の最初に指示する。

## 地理学総論

小 川 徹

詳細は開講直後に指示する。講義の趣旨は「地理を学ぶことは如何なることか」を考えてゆくことである。各自も、このテーマに沿って、考えてみて欲しい。

## 地理学総論

(前期) 中 村 和 郎  
(後期) 茭 口 善 美

「地理を学ぶとは如何なることか」を考えてゆく。各自もこのテーマを十分考えてみて欲しい。

夏休み前にも試験を実施するので注意すること。

〔参考書〕 高橋伸夫・中村和郎ほか編『地理学講座 1』(古今書院) ¥2,900

## 地理学総論

西 村 嘉 助

詳細は開講直後に指示する。「地理を学ぶとは如何なることか」を考えてゆくことである。各自も充分考えてほしい。

## 野外巡検Ⅱ

小 川 徹

巡検ふりわけガイダンス前に、掲示する。班編成して、現地調査をするので、4名の同志を予め組んで巡検ふりわけに臨んで欲しい。

## 野外巡検Ⅱ

桜 井 正 信

地域を指定して、人文学の立場で、研究調査をいたします。地域は巡検の講義のときに決定して、作業とともに詳にしていきます。

## 野外巡検Ⅱ

土 谷 敏 治

都市圏の形成、都市内部の地域構造、産業、都市間の結合、交通問題などに重点を置いて巡検を行なう。また、参加者は各自、上記の重点に則したテーマを設定して現地調査を行ない、調査結果をレポートとしてまとめ提出する。巡検地域はおって指示する。巡検日時は6月上旬の予定である。

## 野外巡検Ⅱ

中 村 和 郎

6月中旬に函館山周辺で実施する予定である。

## 野外巡検Ⅱ

長 沼 信 夫

次の要領で実施する予定であるが、詳細については申込時(ガイダンス4月14日)に報告する。

1. 巡検地域：鹿児島県喜界島
2. 巡検期日：昭和63年6月下旬、3泊4日で実施。
3. 巡検テーマ：自然環境と人々の生活。

## 野外巡検Ⅱ

長野 覚

海と平野と山岳の自然と人間生活のかかわりを、東北地方の日本海側について、男鹿半島・八郎潟・岩木山などを焦点に学習する。八郎潟干拓農村では簡略な現地調査を実習する予定。3泊4日、実施時期は未定。

## 野外巡検Ⅱ

早船元峰

教室の講義のみでは理解しがたい地理的事象（自然的・人文的）を、学生自らの現地での体験（観察・調査）を通じて理解させる。班別行動・現地集合・現地解散の予定。巡検地等は追って発表する。

## 日本地誌Ⅱ

宮口侗迪

この講義では、できるだけ広い世界の中で日本を理解する視点と、その日本がどういう地域から成立しているかという問題を共に扱う。具体的には、日本の村落景観の原型と風土、水田耕作の展開、山村の諸問題、北海道と沖縄をみる文化的視点といったところであるが、非日本的な世界にもふれる。

## 外国地誌Ⅱ

内藤正典

広い意味での地中海地域の地誌。

ヨーロッパとアジアの接点に位置するトルコから始めて、ヨーロッパ、そして中東地域を、人文地理学の視点からどのように理解していくかを考える。講義の性格上、出席を重視する。

## 経済地理学Ⅱ

生井澤 進

地方における生活活動の中心となる商業活動について、商店街形成という観点から分析、講義を行う。夏季休暇中に各自調査を行い、レポートを作成することを条件とする。

〔教科書・参考書〕 講義中にその都度指示する。

## 地形学Ⅱ

今泉俊文

“動かざること大地のごとし”と言われるが、変動帯に属する日本の地形は、活発な地殻変動のもとで形成されている。変動地形を中心に講義を行う。

〔参考書〕 貝塚爽平ほか編『写真と図でみる地形学』（東大出版会）  
笠原慶一ほか編『岩波講座 地球科学10』（岩波書店）

## 歴史地理学

桜井正信

歴史と地理を、実証と理論に基礎をおいて、総合的にみていきます。

## 人口地理学

土谷敏治

前半は、人口分布の研究に重点を置き、人口分布の特徴と統計的記述、都市内部の人口分布と人口移動、因子生態研究などについて講義を行なう。後半は、地域間人口移動の特色、人口移動とアクセシビリティ、人口移動モデルなどを中心に、都市システム研究の視点から講義を進める。

## 原書講読

梅原弘光

熱帯地域の農業に注目して、その人びとと環境との関係を考察する。

〔教科書〕 P.P. Courtenay, *Plantation Agriculture*, (G. Belln & Sons, Ltd., London, 1971) より抜すい。

## 地質学

小池一之

地質学の基礎を中心に講義を進め、後半は、地球科学全般にわたるトピックスを講義したい。内容は、(1)地球史、(2)岩石と地層、(3)海洋底、(4)古地磁気と大陸移動、(5)プレート・テクトニクスなどである。講義にはスライ



D・ビデオをまじえる予定である。

〔教科書〕 ホームズ著, 上田ほか訳『一般地質学Ⅲ』  
(東大出版会) ¥3,400

〔参考書〕 ホームズ著, 上田ほか訳『一般地質学Ⅰ・  
Ⅱ』(東大出版会) 各¥3,400  
貝塚ほか編『写真と図でみる地形学』  
(東大出版会) ¥4,200

## 土 壤 地 理 学

(前期) 長 沼 信 夫  
(後期) 漆 原 和 子

土壌の生成について解説し, 多くの土壌生成因子のうち, 特に時間, 気候, 地形について詳しく考察する。さらに人為によって, 土壌がどのように変わりつつあるのかも考察する。

〔教科書〕 『地形と土壌』〔新地学教育講座9〕  
(東海大学出版会)

## 気 候 学

(前期) 中 村 和 郎  
(後期) 小 川 肇

世界と日本各地の気候現象を通して, 気候学の基礎的諸概念を学ぶ。

夏休みの前にも試験を実施するので注意すること。

〔参考書〕 中村和郎・内嶋善兵衛・木村竜治『日本の気候』(岩波書店) ¥3,400  
松井 健・小川 肇『日本の気候』(平凡社) ¥3,000

## 海洋学及び陸水学

長 沼 信 夫

水を研究対象としている学問分野はいろいろあるが, ここでは自然地理学(水文学)の立場から水に関するテーマを選び講義する。また隣接分野における水の研究についても紹介する予定である。

〔教科書〕 『海洋と陸水』〔新地学教育講座10〕  
(東海大学出版会)

〔参考書〕 『水文学』〔自然地理学講座3〕  
(大明堂)  
『日本の水』〔環境と人間の科学4〕  
(三省堂)

## 環 境 地 理 学

早 船 元 峰

自然の人間への影響, 人間の自然へのはたらきかけについて, 土地利用・水利用を通じ歴史的観点をふまえて論じる。

## 日 本 地 誌 Ⅲ

中 島 義 一

歴史地理学の諸問題に重点をおいて講義する。下記の教科書のほか, 地図帳(高校生の時に使ったものでよい)を忘れずに持ってくること。

〔教科書〕 矢守一彦『空からみた歴史景観』  
(大明堂) ¥2,200

〔参考書〕 授業の際に紹介する。

## 外 国 地 誌 Ⅲ

梅 原 弘 光

東南アジアを対象として, 前半で地域全体の特性を概観, 後半で特定の一国を取上げて地域の特徴を具体的に検討する。

## 都 市 地 理 学

今 朝 洞 重 美

都市の地理学的研究とは具体的にはどのようなものか, 日本, 外国にテーマをとり学習する。

〔参考書〕 山鹿誠次『都市地理学』(大明堂)

## 計 量 地 理 学

土 谷 敏 治

地理学の研究に必要と考えられる計量的手法について解説する。学習した内容については課題を与え, レポートを作成することを原則とする。特に, コンピュータを使った実習を行なうので, 受講者は必ず電子計算機室利用の講習会を受け, 利用者登録をしておくこと。

〔参考書〕 奥野隆史著『計量地理学の基礎』(大明堂) ¥2,800

## 応用地理学 I

高木正博

自然環境の変貌について、災害や各種の人為的な改変との関係からとらえる。また、河川の治水・利水に関する問題を、地理学と他の研究分野を関連させてのべる。

〔参考書〕 西村嘉助編『応用地形学』（大明堂）  
大矢雅彦著『河川の開発と平野』（大明堂）

## 応用地理学 II

今野修平

応用地理学として、地域開発論の講義を行う。地域開発論の学的体系をのべる他、第四次全国総合開発計画および長期展望下の日本列島の将来や、地域開発政策の流れ等全般に亘る。

〔教科書〕 『2000年の日本』  
『日本21世紀の展望』  
『第四次全国総合開発計画』

## 文化地理学

こも ぐち  
菱 口 善 美

本講義では、まず文化地理学の中心的課題、すなわち(1)文化、(2)文化領域、(3)文化景観、(4)文化史(誌)、(5)文化生態について概観する。さらに内・外の研究事例を紹介しながら、文化地理学的手法による地域分析について議論する。

## 空中写真判読法及び測量学

小池一之

測量学の基礎的事項を中心に講義する。随時課題を出すので、かならず締切日までに提出すること(課題数は年間5-6)。また、対数、三角関数(数学I程度)の復習もしておくこと。実習も含まれる。

本年度は、自然地理の基礎となる写真判読法にも力を入れる予定である。

(1)誤差論 (2)角の測定 (3)距離測定 (4)水準測量  
(5)多角測量 (6)地形測量 (7)写真測量 (8)写真判読法  
(9)リモートセンシング

〔教科書〕 〔前期〕小田部和司『図解土木講座 測量学』（技報堂出版）¥2,800  
〔後期〕貝塚ほか編『写真と図でみる地形学』（東大出版会）¥4,200

## 地理学特講 I

長野 覚

高等学校・中学校の社会科地理教員の採用試験を受験する者を対象とする。指導内容は1学年以来、学習した地理学の教科内容を整理・集約することに重点を置く。

テキストはプリントを主体とするが、下記参考書も必備のものである。

〔参考書〕 『教育小六法』・学習指導要領・日本国勢図会・高校地理教科書・中学校社会科教科書・地図帳

## 地理学演習

小川 徹

卒業論文の指導を中心にする。およその日程であるが、春休みに調査することを前提とするので、この点について前年12月から個別にガイダンスを行う。その内容は(1)テーマ決定・題目の検討 (2)調査資料・調査方法の検討 (3)秋学期に調査結果の報告と論述の検討。以後この日程にしたがって、各自少なくとも3回報告の必要がある。この規定は厳密に実施する。

## 地理学演習

今朝洞 重 美

地理学の本質論の研究と地誌学および一般地理学(人文地理学)に関する卒業論文の演習を行う。

## 地理学演習

小池 一 之

前期：地理学調査方法(野外調査・文献調査)の習得、調査資料の分析法、データの統計処理などについて学ぶ。

後期：各人のテーマにそった具体的な指導を中心とする演習。

## 地理学演習

こも ぐち  
菱 口 善 美

ここでは4年生を対象とする卒業論文の作成の指導を行う。前期においては、各履修者の論文の主題に包含される問題点の指摘と研究方法について、後期には、実態調査にもとづく論文作成の技術的方法について重点をおく。

## 地理学演習

桜 井 正 信

地理学の演習を通じて、最終学生の成果をあげるよう努力します。また卒業論文の作成の指導もしたい。

## 地理学演習

高 木 正 博

卒業論文の作成指導を主体とする。まず、各自のテーマや、参考文献・資料の選択整理、現地調査の方法などを検討する。現地調査後は、各自その成果を発表し、討論のうえ論文作成へと導く。

## 地理学演習

土 谷 敏 治

前半は、各自の研究テーマに沿った論文の講読を通じ、卒業論文の作成法、調査方法、資料の収集・整理法の習得をする。後半は、研究・調査結果の中間報告を行ない、討論を重ねて論文完成をめざす。

## 地理学演習

中 村 和 郎

卒業論文の作成指導を中心に行う。テーマの決定、研究の進め方、文献収集とその読み方、資料の整理のし方、現地調査の方法、論文の書き方、口頭発表のし方などについて指導する。

## 地理学演習

長 沼 信 夫

卒業論文の作成指導を中心におこなう。前期は論文の書き方、文献資料の蒐集・整理・調査方法、文献紹介等についておこなう。後期は各自の卒論テーマによる調査・研究成果を報告してもらう。

出席を重視し、平常点で評価する。なお、前期・後期に各1回宿舎（総合報告・中間検討会）を行う予定である。

## 地理学演習

長 野 覚

卒業論文の作成を目標にして、前期は参考文献・資料収集・実施調査・成果の整理などの方法を指導する。後期は論文作成の進度に合わせて中間発表を行い、討論を重ねて内容を充実させ、完成までの指導をする。

卒業論文の提出後、論文内容の発表会を、一人15分程度で実施する。

## 地理学演習

西 村 嘉 助

卒業論文を作成する学生に対し、問題の設定・情報の収集・論理のたて方など、討論を主として指導する。

## 地理学演習

早 船 元 峰

卒業論文を作成する学生に対する演習である。前半には論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理等の方法について講じ、後半は卒業論文のテーマにしたがって調査研究した成果の発表（中間報告）や関連した論文の内容の紹介をさせる。

# 歴史学科

## 基礎教育科目

基礎歴史学(飯島 武次) .....	106
基礎歴史学(廣瀬 良弘) .....	106
基礎歴史学(渡辺 惇) .....	106

## 専門教育科目

史学概論(椽川 一朗) .....	106
日本史概説Ⅰ(古代・中世)(渡辺 直彦) .....	106
日本史概説Ⅱ(近世・近代)(木槻 哲夫) .....	106
東洋史概説Ⅰ(古代・中世)(阿部 肇一) .....	106
東洋史概説Ⅱ(近世・近代)(渡辺 惇) .....	107
西洋史概説Ⅰ(古代・中世)(椽川 一朗) .....	107
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)(青木 道彦) .....	107
考古学概説Ⅰ(日本)(倉田 芳郎) .....	107
考古学概説Ⅱ(外国)(飯島 武次) .....	107
日本史学史(南 和男) .....	107
東洋史学史(阿部 肇一) .....	107
西洋史学史(石川 澄雄) .....	107
考古学史(平井 尚志) .....	107
演習Ⅰ(杉山 博) .....	108
演習Ⅱ(杉山 博) .....	108
演習Ⅰ(所 理喜夫) .....	108
演習Ⅱ(所 理喜夫) .....	108
演習Ⅰ(廣瀬 良弘) .....	108
演習Ⅱ(廣瀬 良弘) .....	108
演習Ⅰ(南 和男) .....	108
演習Ⅱ(南 和男) .....	108
演習Ⅰ(山口 一之) .....	108
演習Ⅱ(山口 一之) .....	109
演習Ⅰ(渡辺 直彦) .....	109
演習Ⅱ(渡辺 直彦) .....	109
演習Ⅰ(阿部 肇一) .....	109
演習Ⅱ(阿部 肇一) .....	109
演習Ⅰ(渡辺 惇) .....	109
演習Ⅱ(渡辺 惇) .....	109
演習Ⅰ(石川 澄雄) .....	109
演習Ⅱ(石川 澄雄) .....	109
演習Ⅰ(椽川 一朗) .....	109
演習Ⅱ(椽川 一朗) .....	110
演習Ⅰ(飯島 武次) .....	110
演習Ⅱ(飯島 武次) .....	110
演習Ⅰ(加藤 晋平) .....	110
演習Ⅱ(加藤 晋平) .....	110
演習Ⅱ(倉田 芳郎) .....	110
日本史各説Ⅱ(杉山 博) .....	110

日本史各説Ⅲ(土肥 鑑高) .....	110
日本史各説Ⅳ(山口 一之) .....	110
東洋史各説Ⅰ(古代)(宇都木 章) .....	110
東洋史各説Ⅲ(中世)(町田 隆吉) .....	111
東洋史各説Ⅴ(近世)(吉田 寅) .....	111
東洋史各説Ⅶ(近・現代)(渡辺 惇) .....	111
東洋史各説Ⅷ(周辺史)(光嵐 督) .....	111
東洋史各説Ⅸ(周辺史)(岡本 敬二) .....	111
東洋史各説Ⅹ(周辺史)(片岡 一忠) .....	111
西洋史各説Ⅱ(中村 道雄) .....	111
西洋史各説Ⅳ(伏島 正義) .....	111
西洋各国史Ⅰ(青木 道彦) .....	112
西洋各国史Ⅱ(加納 格) .....	112
西洋各国史Ⅲ(椽川 一朗) .....	112
西洋各国史Ⅳ(石川 澄雄) .....	112
考古学各説Ⅰ(江坂 輝彌) .....	112
考古学各説Ⅱ(小林 達雄) .....	112
古文書学(久保田 真継) .....	112
古文書講読Ⅰ(久保田 真継) .....	112
古文書講読Ⅱ(有元 修一) .....	113
日本史特講Ⅰ(古代)(渡辺 直彦) .....	113
日本史特講Ⅱ(中世)(芥川 龍男) .....	113
日本史特講Ⅲ(中世)(杉山 博) .....	113
日本史特講Ⅳ(近世)(土肥 鑑高) .....	113
日本史特講Ⅴ(近世)(廣瀬 良弘) .....	113
日本史特講Ⅵ(近代)(南 和男) .....	113
日本史特講Ⅶ(近代)(山口 一之) .....	113
東洋史特講Ⅲ(古代)(宇都木 章) .....	113
東洋史特講Ⅵ(中世)(町田 隆吉) .....	113
東洋史特講Ⅷ(近世)(長瀬 守) .....	114
東洋史特講Ⅹ(近・現代)(渡辺 惇) .....	114
東洋史特講Ⅺ(近・現代)(吉田 寅) .....	114
東洋史特講Ⅻ(周辺史)(光嵐 督) .....	114
東洋史特講Ⅼ(周辺史)(岡本 敬二) .....	114
東洋史特講Ⅽ(周辺史)(片岡 一忠) .....	114
西洋史特講Ⅰ(伏島 正義) .....	114
西洋史特講Ⅱ(三小田 敏雄) .....	114
西洋史特講Ⅴ(中村 純) .....	114
考古学特講Ⅰ(高浜 秀) .....	115
考古学特講Ⅲ(飯島 武次) .....	115
日本仏教史Ⅱ(廣瀬 良弘) .....	115
日本文化史Ⅱ(有元 修一) .....	115
西洋文化史Ⅰ(椽川 一朗) .....	115
西洋文化史Ⅱ(三小田 敏雄) .....	115
考古発掘実習(寺社下 博) .....	115
考古学実習(写真)(斎藤 孝哉) .....	115
考古学実習(測量)(栗山 稔) .....	115
考古学実習(石器)(田中 英司) .....	116
考古学実習(土器)(酒井 清治) .....	116
地誌学(今朝洞 重美) .....	116
地誌学(長野 寛) .....	116



# 歴史学 科

## 基礎教育科目

### 基礎歴史学

飯島 武次

考古学より見た東洋の歴史について。この科目名は、「基礎歴史学」であるが、担当教員（飯島）が専門とする東洋考古学の講義を行なう。

### 基礎歴史学

廣瀬 良弘

歴史とは何か、なぜ歴史を学ぶのか、など歴史研究を行っていく上での基本的な問題をはじめとして、研究方法論や史料批判等について講述する。テキストはコピーして配布。ただし実費を徴収する。

### 基礎歴史学

渡辺 惇

歴史に対する基礎的な見方、考え方を養う上で、素材としてアジアの歴史（中国、インド、東南アジア、西アジア、内陸アジア）をとりあげ、これについて巾広く講義する。

〔教科書〕 特に定めず、プリント・資料を配布する。

## 専門教育科目

### 史学概論

椽川 一朗

歴史学的研究法とくに比較史的方法につき諸事例を挙げて講述する。

### 日本史概説Ⅰ（古代・中世）

渡辺 直彦

平安時代の諸様相について概観する。

〔教科書〕 『日本の歴史5 王朝の貴族』（中公文庫）（中央公論社）¥640

### 日本史概説Ⅱ（近世・近代）

木槻 哲夫

近世・近代にわたる日本社会の発展を概観しつつ、研究史にもふれ、併せて、新たな研究視角・問題点の発見に資するよう努めたい。

〔参考書〕 『地方史研究必携』（岩波書店）  
¥4,800

### 東洋史概説Ⅰ（古代・中世）

阿部 肇 一

東洋史とくに中国史を中心に、政治社会の変化、展開をのべ、併せて文化史にも及ぶ。大体唐末、宋代中頃までについて、説明してゆく。

〔教科書〕 『東洋史概説』（南雲堂深山社）  
¥1,500

## 東洋史概説Ⅱ（近世・近代）

渡辺 惇

元・明・清代の政治、対外関係、社会経済、文化等について、総合的に講義する。

〔教科書〕 特に定めない。

〔参考書〕 授業の中で指示する。

## 考古学概説Ⅱ（外国）

飯島 武次

東洋考古学の概説を講義する。

〔参考書〕 江上波夫監修『考古学ゼミナール』（山川出版社）1976年 ¥2,800

## 西洋史概説Ⅰ（古代・中世）

椽川 一朗

西洋古代より近代前期までの社会経済史および思想史を総合的に講述する。

## 日本史学史

南 和男

各時代の歴史の編修について考察し、あわせて史学史思想を検討したい。

〔参考書〕 坂本太郎『日本の修史と史学』（至文堂）

## 西洋史概説Ⅱ（近世・近代）

青木 道彦

ヨーロッパの近世初頭から現代に至る歩みを概観するが、必要な限りにおいてヨーロッパ中世にもふれて講義したい。中世においては必ずしも他の文化世界に対して優位にたつてはなかった西欧世界が、なぜ近代工業化の先頭にたつて、他の文化世界に強い衝撃を与えるようになったのかという問題を念頭において、受講して頂きたい。西洋史に関する平易な文献を指定し、読書レポートを提出させる課題を課す。4年生を除き、この課題を提出しない者には受験資格を与えないので、注意すること。

〔参考書〕 祇園寺信彦編『西洋史要綱』（御茶の水書房）¥1,200

大下・西川・服部・望田編『西洋の歴史』（近現代編）（ミネルヴァ書房）  
¥2,000

## 東洋史学史

阿部 肇一

東洋の歴史学の展開についてのべる。とくに日本における東洋史学も併せて講義する。

## 西洋史学史

石川 澄雄

西洋史学の発達を、文化史の動きをからませて概観する。1年で完結する短い講義であるから、受講者は、西洋史概説の知識を十分にこなして出席されたい。プリント併用の予定だが、授業をとおして参考書類を指示、説明する。

〔参考書〕 『西洋史概説』で使用するテキストでよいから、概説書を必ず持参すること。

## 考古学概説Ⅰ（日本）

倉田 芳郎

日本考古学研究のための基礎知識について講義する。年度第1週目の授業には、必ず出席してほしい。

## 考古学史

平井 尚志

先ず考古遺物、遺跡についての古記録をのべ、17、18世紀に入るや欧州では古典文化、中近東の遺跡、遺物への関心が高まり、時を同じくして日本でも石器類を採集し同好知識人間の意見開陳も初まった。大英博物館を始め欧州首都の博物館の創設、個人の収集品を中心とした

研究が考古学前史となる。19世紀に入り進化論に刺激され、地質学の発達と相まって方法論と目的をもった学問としての考古学が逐次定着した。

本講は主として極東シベリア、中国東北地区、モンゴルの1世紀間に亘る日本人、外人学者による調査研究業績をのべ、今日日本考古学が深い関心を寄せているこの地域の学史と現況に及ぶ講述を行う。

### 演習 I

杉山 博

前年に引続き『快元僧御記』をテキストとして戦国大名の領国支配の具体相を検討してみたい。

〔教科書〕 プリント使用。『快元僧御記』

### 演習 II

杉山 博

戦国期の諸相を追究し、あわせて卒業論文の指導を行う。

〔参考書〕 『日本の歴史11 戦国大名』〔中公文庫〕（中央公論社）¥480

### 演習 I

所 理喜夫

『東照宮御実紀』をテキストとして、江戸幕府創業史を追求する。テキストはプリントして配布する。

〔教科書〕 影写を配布する。

### 演習 II

所 理喜夫

受講者が専攻したい分野もしくは卒業論文題目につき発表させ、それとの関係において卒業論文作成の指導を行う。

〔参考書〕 受講者ごとに指示する。

### 演習 I

廣瀬 良弘

下記の史料を用いて近世幕藩体制社会の成立過程を考察し、併せて近世史料の読解力・分析力を養う。

〔教科書〕 『徳川実紀』と『本光国師日記』（金地院崇伝の日記）のコピーを配布する。

### 演習 II

廣瀬 良弘

近世史料を講読し、その読解力を養い、併せて受講者の研究発表を通じて卒業論文の指導を行う。

〔教科書〕 史料はコピーして配布。

### 演習 I

南 和男

幕末の都市研究を行う。本年度は「藤岡屋日記」「浮世の有様」等により、江戸を中心とした三都の生活実態ならびに社会経済史的研究を行う。

### 演習 II

南 和男

幕末の諸史料（『撰要求久録』等）を読みながら、諸問題について考察を加え、研究史を再検討する。

### 演習 I

山口 一之

毛筆書きの近代文書のコピーを使用し、史料の読解力と批判力をつけることに主眼を置き、一年間みっちり勉強するつもりである。教材については最初の時間に指示するが、下記の書物を用意して活用してもらいたい。

〔参考書〕 児玉幸多編『くずし字解読辞典』（普及版）（近藤出版社）¥2,000



演習Ⅱ

山口 一之

下記の書物を使用して研究発表と討論を行う。各人のこれまでの勉強の程を示す時間である。

〔教科書〕 筒井若水等編『法律学教材 日本憲法史』  
(東京大学出版会) ¥3,200

演習Ⅰ

渡辺 直彦

桓武天皇の延暦十五(796)年七月条から、順次史料を講読する。

〔教科書〕 『日本後紀』(吉川弘文館) ¥2,000

演習Ⅱ

渡辺 直彦

律令官制とその定員とを規定した「職員令」を講読する。

〔教科書〕 『令義解』(吉川弘文館) ¥3,200

演習Ⅰ

阿部 肇一

『二十二史劄記』趙翼選の初めの部分につき、講読及び、説明をし、併せて史料の扱い方について説明する。

〔教科書〕 コピーを配布する。

演習Ⅱ

阿部 肇一

『入唐求法巡礼行記』円仁撰につき、講読、説明を行い、併せて史料の扱い方につき研究する。

〔教科書〕 コピーを配布する。

演習Ⅰ

渡辺 惇

趙翼著『二十二史劄記』の明代の部分(漢文)を講読する。

〔教科書〕 プリントを配布する。

演習Ⅱ

渡辺 惇

范文瀾著『中国近代史』のアヘン戦争の部分(現代中国文)を講読する。

〔教科書〕 プリントを配布する。

演習Ⅰ

石川 澄雄

西洋史、3年。ドイツ語のテキスト輪読形式で進める。教材は開講時に指示する。山川出版社『世界史小辞典』のほか、できたら平凡社『カラー世界史百科』をも携行すること。(卒業論文作成のための予備指導を兼ねる。)

演習Ⅱ

石川 澄雄

卒業年次生の卒論指導を兼ねるので、該当者は必ず出席すること(出席重視)。古典の熟読を行う。

テキストは開講時に指示する。

演習Ⅰ

椽川 一朗

フランス思想史関係の原典講読。(卒業論文作成のための予備指導を兼ねる。)

演習 II

椽川 一朗

ルソー『民約論』（フランス語原典）の講読、および卒業論文作成の指導。

演習 II

倉田 芳郎

日本の弥生時代以降に関する考古学の報告書を1篇ずつ選ばせ、論評するか、あるいは資料を調べて補強させて、考古学の方法を身につけるように仕向けたい。あわせて、この時間を用いて、卒業論文作成の指導をする。年度第1週目の授業に必ず出席のこと。

演習 I

飯島 武次

『周禮』冬官、考工記の講読。

日本史各説 II

杉山 博

室町時代の諸様相を、検討してみたい。  
〔教科書〕 脇田晴子著『室町時代』（中公新書776）  
¥ 600

演習 II

飯島 武次

卒業論文の指導を兼ね、考古資料の調査研究を行なう。発表方法については、最初の授業の折りに指示する。

日本史各説 III

土肥 鑑高

江戸時代の元禄—天保期について、いわゆる三大改革を中心に講ずる。田沼時代や化政期についても再評価してゆきたい。  
〔教科書〕 『改革の虚像』（秀英出版）¥1,200

演習 I

加藤 晋平

Robin Dennell (1983) European Economic Prehistory. を講読する。講読資料は、授業時に配布する。

日本史各説 IV

山口 一之

資料を通じて近代日本の問題点を把握するということを中心とし、下記の書物を使用して勉強する。  
〔教科書〕 筒井若水等編『法律学教材 日本憲法史』（東京大学出版会）¥3,200

演習 II

加藤 晋平

先土器時代及び縄文時代における生業活動に関する各種論文を、受講生とともに講読する。

東洋史各説 I (古代)

宇都木 章

中国古代史  
殷周、秦漢、隋唐の各王朝の政治の特色を比較して、それぞれの王朝を成立せしめた歴史の流れについて考える。

### 東洋史各説Ⅲ（中世）

町田隆吉

魏普南北朝～隋唐時代の政治史・社会経済史について最近の研究成果をふまえて概観し、問題の所在を明らかにする。

### 東洋史各説Ⅴ（近世）

吉田寅

元・明・清時代における中国史の発展を概説的に講述する。なお歴史的考察と関連しつつ、史料の解説を行い、明・清時代史研究への導入とすることを期している。

〔教科書〕 史料プリントを配布する。

### 東洋史各説Ⅶ（近・現代）

渡辺惇

辛亥革命にいたる中国近代化の過程を、最近の研究をふまえて講義する。

〔教科書〕 特に定めない。

〔参考書〕 講義の中で紹介、指示する。

### 東洋史各説Ⅷ（周辺史）

光嶋督

古代中国の思想と共にアジアの思想を代表する古代印度の思想、それは古代印度のヴェーダ学よりはじまり、ブラーフマナ、二大叙事詩を経てプラーナに至り、現代の印度教を大成させた宗教思想であるが、この宗教思想の一支脈として、原始佛教を成立させ、この佛教思想が中国を経由することにより、中国の思想、哲学を取り入れ、更に、日本に伝来して日本人の人生観と交って今日の日本佛教と、その文化を形成して来た。この日本佛教の思想的原点となった印度の聖典とその神々について、文化史的に、思想史的に解説を進め、日本佛教思想に、また日本人の生活文化にどのように影響して来たかを探るものである。

〔教科書〕 光嶋督著『印度の聖典と神々』  
(成文堂)

### 東洋史各説Ⅸ（周辺史）

岡本敬二

政治的にも文化的にも東アジアの歴史世界に多大な影響を与えていた中国の唐朝が衰退すると、契丹族や女真族などの諸民族が抬頭して、新しい歴史の展開がみられた。やがて蒙古族によって、世界史的大帝国が建設され、東アジア歴史世界は大きく進転する。こうした問題について考察する。参考書は適時に紹介する。

### 東洋史各説Ⅹ（周辺史）

片岡一忠

中国周辺地域（なかでも西域）の歴史を中国の歴史との関連を中心に概説する。

### 西洋史各説Ⅱ

中村道雄

主としてアメリカ合衆国の歴史を考察する。西洋史専攻者のみでなく、日本史・東洋史専攻の学生諸君の受講を希望する。

〔教科書〕 有賀貞・大下尚一編『概説アメリカ史』  
(有斐閣) ¥1,800

〔参考書〕 ビーアド著『新版 アメリカ合衆国史』  
(岩波書店)

### 西洋史各説Ⅳ

伏島正義

中世史に興味がひかれる契機は、ある伝説的物語のもつ魅力に負うところが少なくない。本講ではそうした物語を選んでみたい。そして、そうした物語がある特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にどのような物語を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。文献、関係論文(邦文、英文)、史料などを読みつつ、演習形式により授業を進めたい。テキスト、文献等は授業時に指示する。

但し、受講生の希望により、必ずしも物語に限定されるものではない。

## 西洋各国史 I

青木道彦

「エリザベス1世とアルマダ戦争」をテーマとして、エリザベス1世時代の1570年代からその治世末期までの国内問題や国際関係を概観したい。この時代および1560年代までの英文年表を配布し、その中の問題点についてレポートを課する予定である。

〔参考書〕 植村雅彦『エリザベス1世』（教育社歴史新書）

## 西洋各国史 II

加納 格

ソ連（ソビエト社会主義共和国連邦）は、日本の隣邦であるにも拘らず、私達のもっている具体的知識が乏しい国である。いわゆる「近くて遠い国」の1つである。しかし、この国がヨーロッパ、アジアの歴史にもった関わりは深く、日本も良きにつけ、悪しきにつけこの国と相互に影響を与えてきた。そして現在も日本のおかれている国際環境は、この国との相互理解を求めている。講義ではそうした理解のために、この国のたどった歴史を近年のペレストロイカの動向にも注意を払いつつ、様々なエポックにおいてみていくことにしたい。

〔参考書〕 『世界各国史4 ロシア史』（山川出版社）¥2,800

## 西洋各国史 III

椽川 一朗

ミシュレ『フランス革命史』等の原典講読を中心に、フランス史を講述する。（二年度学生向き。）

〔教科書〕 桑原武夫等訳『世界の名著 第48巻 「ミシュレ」』（中央公論社）

## 西洋各国史 IV

石川 澄雄

主にドイツ史を専攻する学生に対して、独文によりドイツ文化の理解を深めたいと考える。ゼミ形式で進める。2、3年生のほか、4年生の出席をも期待する。教材は開講時に指示する。

## 考古学各説 I

江坂輝彌

農耕文化の起源、古代人が食料になる植物のほか、衣料、日常什器などに利用できる植物を広い地域に人為的に伝播させ利用した状況、また栽培、改良を行ったことなどについて、東アジアと日本を中心として講義を行う。

随時プリントを配布し、スライドを使用する。

〔参考書〕 講義の都度紹介する。

## 考古学各説 II

小林達雄

日本における旧石器文化と縄文文化の概観。①旧石器文化の内容、編年、自然環境。②土器の製作、使用の歴史的意義と縄文文化の開幕。③縄文土器の様式、形式、型式。④やきものとしての縄文土器の歴史。⑤縄文時代の集落、社会。⑥縄文時代の道具、（第一の道具と第二の道具）。⑦縄文時代の生業と行動スケジュール。⑧縄文文化の終焉。⑨続縄文文化。⑩縄文文化と現代文明。

〔参考書〕 小林達雄『日本の美術 145 縄文土器』（至文堂）

## 古文書学

久保田 真継

歴史を学ぶために必要不可欠な古文書についての基礎知識を概説する。できれば古文書講読Iとともに履習することががのぞましい。

〔参考書〕 『概説古文書学 古代・中世編』（吉川弘文館）¥2,800

## 古文書講読 I

久保田 真継

普段は兎角、活字などで読みがちな歴史資料としての古文書を、写真版で解読することにより、古文書に親しむことにつとめる。なおとくに中世古文書を中心に講読する。一応教科書を設定するが、随時コピーなども使用していきたい。

〔教科書〕 『演習古文書選（古代・中世編）』（吉川弘文館）¥1,400

〔参考書〕 『古文書解読字典』（柏書房）¥1,500

## 古文書講読Ⅱ

有 元 修 一

幕府・藩・地方・町方史料など、近世古文書の解読を行う。特に、接する機会が多い地方史料に重点をおく。

〔教科書〕 日本歴史学会編『演習古文書選（近世編）』（吉川弘文館）¥1,500

〔参考書〕 『古文書解読字典』（柏書房）¥2,500

## 日本史特講Ⅰ（古代）

渡 辺 直 彦

平安初期の政治や文化について、基本史料を解読しながら講述する。

〔教科書〕 『史料による日本の歩み 古代編』（吉川弘文館）¥2,800

## 日本史特講Ⅱ（中世）

芥 川 龍 男

「武士に関する諸問題」

表題にしたがって、中世武士団の成立・変質過程を多角的に考察する予定。受講に際しては、講義中に紹介する文献・史料等を積極的に読破し、レポートするようつとめてほしい。

特にテキスト・参考書は指定しない。

## 日本史特講Ⅲ（中世）

杉 山 博

戦国期の文書を使用して、戦国時代の諸相を追求する。

〔参考書〕 プリント使用。

## 日本史特講Ⅳ（近世）

土 肥 鑑 高

近世は「米遣い経済」といわれている。そこで、米を軸としてその流通→統制の過程を考えるとともに、「天下の台所」といわれる大坂の市場構造にもふれてゆきたい。

〔教科書〕 『米と江戸時代』（雄山閣出版）  
¥1,800  
『江戸の米屋』（吉川弘文館）  
¥1,200

## 日本史特講Ⅴ（近世）

廣 瀬 良 弘

本講座では、中世末期から近世前期にかけて何故に歴史上最多の寺院建立がみられたのか、また、近世仏教の特徴である寺請制度やその前提となったものは何であったかを考察し、さらに近世寺院僧侶の活動や村落社会とのかかわりについても考察を加えることにする。

〔参考書〕 授業中にプリントして配布する。

## 日本史特講Ⅵ（近代）

南 和 男

幕末における都市の諸問題や世相を、江戸を中心として考察する。

〔参考書〕 南 和男『幕末江戸社会の研究』（吉川弘文館）  
南 和男『維新前夜の江戸庶民』（歴史新書）（教育社）

## 日本史特講Ⅶ（近代）

山 口 一 之

近代日本の対外問題をとりあげて講義するつもりである。

## 東洋史特講Ⅲ（古代）

宇 都 木 章

中国古代の思想と社会

儒家思想の成立と展開を軸として、これに影響を及ぼした諸子百家の思想を検討し、その意義を当時の社会との関係において考察したい。

## 東洋史特講Ⅵ（中世）

町 田 隆 吉

魏晋南北朝時代、とりわけ五胡十六国～北魏時代の諸問題（国家構造・土地制度など）について具体的に史料に即して考察し、この時代の特徴を明らかにする。

### 東洋史特講Ⅷ(近世)

長瀬 守

宋・元時代の国際関係における政治・社会・文化現象について、文化摩擦論を軸として総合的に把握し、近代への準備期の性格を明らかにする。

〔参考書〕 長瀬 守共著『中国江南の稲作文化』  
(日本放送出版協会)  
小林高四郎『モンゴル史論考』  
(雄山閣)

### 東洋史特講Ⅹ(近・現代)

渡辺 惇

近代中国民衆結社史：近代中国における民衆の動きを理解する一環として、秘密結社(会党、帮会)をとりあげ、その発生、発展、組織の特色、時代背景等について講義する。

〔教科書〕 特に定めない。  
〔参考書〕 講義の中で紹介、指示する。

### 東洋史特講Ⅻ(近・現代)

吉田 寅

明・清時代以降の中国キリスト教史を、中国文化史の流れの上において講述する。特にヨーロッパ文化の中国流入および、それに対する中国人の対応を中心に考察する。なお、講義の展開と関連しつつ、史料の解説を行い、より深い研究への手引きとする。

〔教科書〕 史料プリントを配布する。

### 東洋史特講ⅫⅢ(周辺史)

光 嶋 督

チベット佛教史

チベットには古来民族宗教としてボン教があったが、七世紀の佛教伝来以後、ボン教と佛教との二百年に亘る確執の後ダルマ王の宗教弾圧に合い、以後百年間佛教ボン教共に姿をひそめるが、やがてその復興に当り、佛教ボン教両者の妥協と協力が成立して、ここに宗教復興運動が盛んとなり、また印度に対する回教徒軍の侵入により、印度を追われた印度後期密教の論師達が経典を背負ってチベット入りをし、後期印度密教を受け継ぎ、それにボン教の呪詛の行法を加えたチベット独特の佛教が成立し、更にそれに中国禅宗の要素が加わって、いわゆる喇嘛教と称せられるチベット佛教が成立する過程を追う。

### 東洋史特講ⅫⅣ(周辺史)

岡本 敬二

東北アジアにおける諸民族の間における経済的・文化的交通について、原史料を取り扱いながら、具体的に研究を進める。その際、歴史史料の取り扱いや基礎的な研究方法などについても、十分に考慮する。テキストは新しく作成する予定である。

### 東洋史特講ⅫⅤ(周辺史)

片岡 一忠

中国周辺地域に対する中国王朝の政策の特徴を、清朝の新疆(西域)に対する統治政策を例として考察する。本年度は清末省制時期を中心に検討する。

### 西洋史特講Ⅰ

伏島 正義

西洋史を専攻する学生諸君は、将来に備えて語学力を養うことが望まれる。この特講Ⅰでは、平易な英文をテキストとして、西洋史の概説的知識を身につけるよう、演習形式をとる。新2年生および昨年度履修できなかった西洋史専攻希望の3年生は必ず出席すること。テキストは第一時限目に指示する。

### 西洋史特講Ⅱ

三小田 敏雄

原始キリスト教から現代までのキリスト教を概説する。西洋史の講義と重複する部分は省略して、各時代のキリスト教の特色と問題点を明確にしてみたい。教科書および参考書は開講時に指示する。

### 西洋史特講Ⅴ

中村 純

古代ギリシアの歴史は、そこに固有の国家形態であるポリスの形成と発展、そして衰退の歴史に他ならない。このポリス社会の政治的・文化的側面について考える予定である。

〔教科書・参考書〕 開講時指示。

## 考古学特講 I

高 浜 秀

ハンガリーから中国の北方オルドス地方に至るユーラシア北方草原地帯では、紀元前1000年紀に青銅器時代から初期鉄器時代へ移行すると共に、紀元前8～7世紀頃、スキタイ系騎馬遊牧民文化、あるいは初期遊牧民文化と総称される一連の文化が興った。講義では、これらの文化を概観する。

## 考古学特講 III

飯 島 武 次

周文化の考古学的研究について。

## 日本仏教史 II

廣 瀬 良 弘

日本仏教史の流れを概観し、のちに中・近世にかけての仏教と当該期の社会・文化とのかかわりについて講述する。

〔参考書〕 参考史料は随時コピーして配布。

## 日本文化史 II

有 元 修 一

日本文化の多様な流れを概観するとともにその特色をあきらかにする。本年は特に中世後半から近世を中心とする。

〔参考書〕 家永三郎著『日本文化史 第2版』  
(岩波新書)

## 西洋文化史 I

椽 川 一 朗

西洋都市の歴史、とくにドイツ中世都市の歴史を、社会構造の面から考え、現代の都市問題の参考になるよう、講述する。

## 西洋文化史 II

三小田 敏 雄

今年度は中世ヨーロッパの文化を学んで行く。近年我国の歴史家にも中世ヨーロッパを専門とする人がふえ、中世を見直す機運が高まってきた。そして人々の生活や文化を通して中世を裏から解明する多くの好著が出版されている。しかし表の歴史、つまり政治・経済の歴史を抜きにしては裏の歴史も理解できない。教室ではその両面を関連させながら中世ヨーロッパを理解することを目的とする。

〔教科書〕 堀越孝一・三浦一郎『中世ヨーロッパ』  
〔教養文庫〕(社会思想社) ¥400  
木村尚三郎編『中世ヨーロッパ』  
(有斐閣新書) ¥800

## 考古発掘実習

寺社下 博

野外における考古発掘実習を行う。20日間以上参加することが必要である。年度始めの講義時間に必ず出席のこと。

〔教科書〕 文化庁文化財保護部『埋蔵文化財発掘調査の手びき』(財)国土地理協会)

## 考古学実習(写真)

齋 藤 孝 哉

写真撮影技術の基礎を、実際撮影に即した、より多くのスライド、印画プリント教材を用い、実習演習を交えながら解り易く講義する。主として、考古資料写真に必要と思われる技術を、小型カメラから大型カメラまで、基本的に理解出来るよう解説する。

1. 写真プロセスの基礎と写真用語。
2. 撮影技術と処理技術の基礎。
3. 考古資料写真撮影の基礎。
4. カラー写真撮影
5. 大型カメラの撮影その他

※ 授業時間以外に、日曜1日実習を、年間2～3日間実施する。

〔教科書〕 プリントテキスト配布。

## 考古学実習(測量)

栗 山 稔

遺跡調査等において必要となる測量の基礎知識と技術取得、特に後者に重点を置き講義・実習を行う。夏休み

に3～4日の集中実習に参加することが必要である。

〔教科書〕 檀原 毅著『測量の基礎』（山海堂）

### 考古学実習(石器)

田中英司

石器研究の基礎である石器の観察と石器実測図についての講義を行う。石器の研究史と実測図の歴史、石器製作と打撃の原理、投影法、表現法等の基本的知識と、それをふまえた実技を通して、考古資料の記録と観察法を学ぶ。

〔参考書〕 『図録石器の基本知識Ⅱ・先土器(下)』  
(柏書房) ¥2,000

### 考古学実習(土器)

酒井清治

出土遺物である「もの」の調査は考古学の基本であるとともに、その後の研究の基礎資料となる。出土遺物の一つである土器を通して、実測の目的および基礎技術、観察の方法などを理解できるようにする。

〔参考書〕 大井晴男『野外考古学』（東京大学出版会）  
『発掘調査の手びき』（国土地理協会）  
服部敬史『発掘と整理の知識』（東京美術）

### 地誌学

今朝洞重美

地誌学の本質を説明しつつ、日本地誌と外国地誌を講義する。

### 地誌学

長野 覚

世界的視野において地理学の発達・概念を理解したのち、現代世界の地域特色を、自然環境やそれと関連性をもつ人文現象について考察する。

後期には幾つかの国を対象に、その国の地誌を学習する。受講にさいしては、できるだけ地図帳を併用してほしい。

〔教科書〕 藤岡謙二郎共著『世界地誌』（改訂版）  
(大明堂)

### 地誌学

諏訪哲郎

地誌および地誌学の概要を述べたあと、具体例として中国を取り上げ、地誌の役割りと地誌学的研究の有効性を理解してもらおうと考えている。

〔教科書〕 諏訪哲郎編『現代中国の構図』（古今書院）

### 人文地理学概説

小林高寿

歴史学は時間の経過を追って、人間の作り出した社会構造と人間心理に迫ってゆくが、地理学は空間の中に人文現象と、人間の認識される範囲の自然現象を追求し、説明する。人文地理学は従って常に歴史現象と歴史学とに交錯しつつ、人文現象に対する学的究明を深め、拡大しつつ、空間のもつ意味を固定的にでなく、究明しようとする。それ故にそこで扱われる素材は多様となる。

かくの如くして、本講においては、人文地理学の多様性をしっかりと受けとめ、将来の教職の現場にあって、応用のきく学問を勉強させようとする。

環境としての自然の基礎的理解、歴史学と地理学の交錯分野にまで、講義の内容が及ぶのは必然である。

〔教科書〕 長谷川典夫『教養のための地理学トピックス』（大明堂）¥2,800

〔参考書〕 高校用地図帳（アトラス）と、二宮書店地理統計。

### 歴史地理学

桜井正信

歴史と地理を、実証と理論に基礎をおいて、総合的にみていきます。

### 哲学史

川戸好武

はじめに、古代ギリシャおよび中世の哲学の要点を簡単に述べた後で、ルネッサンス以後の近世哲学史を概説する。

〔教科書・参考書〕 授業の際に指示する。



## 歴史哲学

山下 太郎

歴史哲学は、歴史研究における意義、方法、目的、原理等を探究するものであり、実証的な歴史学の基礎をさぐる学問である。本講義はおおむね次のテーマに従って行ない、歴史の認識および存在についての基本的理解をえさせることを意図する。

### 第1章 歴史認識の問題

(1)批判主義(カント) (2)新カント派(ヴィンデルバン  
ト) (3)生の哲学(デールタイ) (4)実存哲学

### 第2章 歴史法則の問題

(1)終末論的史観(キリスト教) (2)進化論的史観(スペ  
ンサー) (3)弁証法的史観(ヘーゲル, マルクス)  
(4)実存主義史観(ヤスパース)

## 美術史概説

林 良一

中国の南北朝より朝鮮の三国時代を経て、わが国の飛鳥期の仏教彫刻にいたる様式的展開について講述する。各地の寺院遺跡や遺品などのカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

## 西域美術史

林 良一

アフガニスタンより東西のトルキスタンにいたる西域美術を、仏教美術の東伝を中心に、各地の遺跡および遺品について講述する。現地の遺構や遺品のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

〔教科書〕 林 良一著『ガンダーラ美術紀行』(時事通信社) ¥2,200

〔参考書〕 林 良一『シルクロード』(時事通信社)

## 仏教美術

林 良一

インドにおける古代初期よりガンダーラ期の仏像成立にいたるまでの展開および仏教美術の図像学について講述する。寺院の遺跡や仏菩薩等の尊像を、現地撮影のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

〔教科書〕 林 良一著『ガンダーラ美術紀行』(時事通信社) ¥2,200

〔参考書〕 林 良一『シルクロード』(時事通信社)

## 中国歴史文学

中村 璋八

中国の民族思想の中心的な陰陽五行説を集大成した五行大義を平易な解説をしながら、演習方式で読んで行く。この陰陽五行説は、儒教や道教など中国の文化の中で重要な位置を占めているだけでなく、日本にも夙に伝来し、奈良朝から江戸期に至るまでの陰陽道・仏教・神道・国文学・年間行事、民間信仰など多くの方面に大きな影響を及ぼし、現代においても暦・習俗の中に受け継がれている。そこで、国文学や日本史・東洋史を専攻する人々には欠かせない内容を含むものと思う。是非熟読されたい。

〔教科書〕 『五行大義校註』(汲古書院) ¥3,000

## ラテン語特講

(前期)野 島 利 彰  
(後期)佐 藤 玖 美 子

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパの言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、とくに文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。また平行して、やさしいラテン語で書かれた読書の講読も行いたいと思います。

〔教科書〕 『ラテン語入門』(駿河台出版社)

## 日本民俗学

渡 邊 欣 雄

私の民俗学という視野から、民俗学を論じ民俗学の扱う題材について紹介する。本講義は決して日本民俗学の概論講義ではないから、注意を要する。対象とする文化は主として日本本土ではなく、沖縄・台湾・香港・マレーシア等の南方であり、題材は宴・風水・鬼魂観・社会関係に及ぶ。

〔教科書〕 とくに用いず。

〔参考書〕 渡邊欣雄著『沖縄の社会組織と世界観』(新泉社) ¥8,000

渡邊欣雄著『沖縄の祭礼』(第一書房) ¥3,800

# 社会学科

## 基礎教育科目

社会学概論(坪井 健) .....	120
社会福祉原論(東條 光雅) .....	120
心理学概論(篠原 英壽) .....	120

## 専門教育科目

社会統計学(渡辺 裕子) .....	120
社会学史(安藤 喜久雄) .....	120
社会学方法論(金丸 由雄) .....	121
社会調査(川本 勝) .....	121
社会調査実習(川本 勝・坪井 健) .....	121
マスコミュニケーション(川本 勝) .....	121
産業社会学(安藤 喜久雄) .....	121
都市社会学(文屋 俊子) .....	121
農村社会学(文屋 俊子) .....	121
家族社会学(山根 常男) .....	122
法社会学(小林 弘人) .....	122
宗教社会学(藤井 正雄) .....	122
社会心理学(坪井 健) .....	122
社会病理学(中本 博通) .....	122
外書講読Ⅰ(金丸 由雄) .....	122
外書講読Ⅱ(坪井 健) .....	122
社会学特講Ⅰ(橋爪 敏) .....	122
社会学原論(渡辺 源樹) .....	123
図書館学Ⅰ(山崎 慶子) .....	123
図書館学Ⅱ(源 昌久) .....	123
社会福祉調査論(東條 光雅) .....	123
社会福祉援助技術総論(高橋 重宏) .....	123
社会福祉援助技術各論ⅡB (社会福祉調査技法)(小林 昭二) .....	123
法学(福祉)(小林 弘人) .....	124
社会福祉援助技術各論ⅠA (ケースワーク論)(高橋 重宏) .....	124
社会福祉援助技術各論ⅠB (グループワーク論)(松本 栄二) .....	124
社会福祉援助技術各論ⅡA (コミュニティ・ワーク論)(永田 幹夫) .....	124
リハビリテーション論(原田 信一) .....	124
社会福祉計画論(和田 敏明) .....	124
社会福祉運営論(永田 幹夫) .....	125
家族福祉論(山根 常男) .....	125
児童福祉論(高橋 重宏) .....	125
障害者福祉論(原田 信一) .....	125
老人福祉論(東條 光雅) .....	125
地域福祉論(永田 幹夫) .....	125

公の扶助論(伊藤 秀一) .....	126
医療福祉論(前期)(松本 栄二) (後期)(春見 静子) .....	126
婦人福祉論(林 千代) .....	126
保健福祉論(小林 隼) .....	126
社会福祉援助技術現場実習 (児童福祉施設・機関等)(高橋 重宏) .....	126
社会福祉援助技術現場実習 (老人福祉施設・機関等)(東條 光雅) .....	126
社会福祉援助技術現場実習 (障害児(者)施設・機関等)(伊藤 秀一) .....	126
社会福祉援助技術演習Ⅰ(児童・家族) (高橋 重宏) .....	126
社会福祉援助技術演習Ⅰ(老人) (東條 光雅) .....	127
社会福祉援助技術演習Ⅰ(障害児・者) (原田 信一) .....	127
社会福祉援助技術演習Ⅱ(児童・家族) (高橋 重宏) .....	127
社会福祉援助技術演習Ⅱ(老人) (東條 光雅) .....	127
社会福祉援助技術演習Ⅱ(障害児・者) (原田 信一) .....	127
社会福祉学特講Ⅰ(児童)(長谷川 重夫) .....	127
社会福祉学特講Ⅱ(老人)(長浜 恭子) .....	127
社会福祉学特講Ⅲ(障害児・者) (金子 勇) .....	127
社会福祉学特講Ⅳ(相談・援護) (伊藤 秀一) .....	127
社会保障論(近藤 功) .....	128
社会福祉発達史(林 千代) .....	128
社会福祉外書講読(伊藤 秀一) .....	128
海外社会福祉論(星野 貞一郎) .....	128
社会学(福祉)(星野 貞一郎) .....	128
心理学(福祉)(井上 孝代) .....	128
医学一般(小林 隼) .....	129
介護概論(佐藤 豊道) .....	129
社会福祉実習Ⅰ(伊藤 秀一) .....	129
障害児教育原論(井田 範美) .....	129
心理学史(萩野 源一) .....	129
心理統計学(篠原 英壽) .....	129
心理学実験(実習)(篠原 英壽・小野 浩一・ 谷口 泰富) .....	129
心理学研究法(小野 浩一) .....	129
基礎心理学Ⅰ(人格)(谷口 泰富) .....	130
基礎心理学Ⅱ(発達)(篠原 英壽) .....	130
基礎心理学Ⅲ(学習)(小野 浩一) .....	130
基礎心理学Ⅳ(社会)(水原 泰介) .....	130
基礎心理学Ⅴ(臨床)(中村 昭之) .....	130
心理学研究Ⅰ(実習)(萩野 源一) .....	130
心理学研究Ⅱ(実習)(水原 泰介) .....	130

心理学研究Ⅲ(実習)(中村 昭之) .....	130
心理学研究Ⅳ(実習)(篠原 英壽) .....	130
心理学研究Ⅴ(実習)(小野 浩一) .....	131
心理学研究Ⅵ(実習)(谷口 泰富) .....	131
生理心理学(谷口 泰富) .....	131
児童心理学(横山 剛) .....	131
産業心理学(大塚 秀治) .....	131
グループ・ダイナミックス(坂原 明) .....	131
カウンセリング(鈴木 順一) .....	132
心理検査法(森山 敏文) .....	132
禅心理学(脇本 平也) .....	132
心理学特講Ⅰ(佐々木 雄二) .....	132
心理学特講Ⅱ(佐々木 宏幹) .....	132
心理学特講Ⅲ(大塚 秀治) .....	132
精神医学(柴田 出) .....	132
社会政策(光岡 博美) .....	133
民法(青山 尚史) .....	133
労働法(佐藤 時次郎) .....	133
行政法(鷄徳 啓登) .....	133
経済原論(浅野 克巳) .....	133
青少年問題研究(和田 謙寿) .....	133

# 社 会 学 科

## 基礎教育科目

### 社会学概論

坪 井 健

社会学は、多くの人にとって初めて出会う学問である。「社会学とは何か?」。この問いに答えることは難かしいが、要は私たちの日常的な様々の社会経験を社会システムとの関連で理解するための知的枠組の1つであると言える。

この講義では、そうした点を考慮して社会の経験的な諸事象に対する社会学的な見方の獲得を主眼とし、当初は社会学の基礎的概念の理解に努め、その後、現代社会の諸現象を選択的に分析していく中で、社会学的分析の有効性を見極めていきたい。

〔教科書〕『新版社会学概論』『統計からみる社会学』(学文社)

### 社会福祉原論

東 條 光 雅

わが国の社会福祉に関する概論的な知識を持つということは、社会福祉従事者としては言うまでもないが、一国民として生活してゆく上でも非常に有益なことであると言える。

本講では、まず、社会福祉の概念整理から始め、その歴史的展開過程、福祉のしくみ、分野などについて論及し、社会福祉の諸制度の現状と今日的課題について、一応の体系的理解ができるようにつとめたい。

〔教科書〕 仲村優一著『社会福祉概論』(誠信書房) ¥1,500

〔参考書〕『国民の福祉の動向』〔昭和62年度〕(厚生統計協会)

### 心理学概論

篠 原 英 壽

この講座は基礎教育科目に組入れられているが、専門科目であるので、心理学の関与している問題を全般的に取上げたい。そこで、心理学とはどのような学問か。その研究方法・研究対象、及び意義について講義し、さらにこれまでの研究成果をもとに具体的事例に即して、上述したこととの関連を紹介したい。

〔教科書〕『心理学概説』(八千代出版)

## 専門教育科目

### 社会統計学

渡 辺 裕 子

近年、統計が用いられることはますます多くなってきているが、データの見方・使い方については、よく理解されているとはいえない。また、コンピュータの普及や統計計算用プログラム・パッケージの開発により、統計解析を行なうことは容易になったといえるが、それらの解析法の基本的考え方や算出の過程は、知らずに用いられることも増えている。本講義では、統計学の基礎的な知識を身につけるとともに、社会統計の読み方や使い方について学ぶ。

〔教科書〕 西平重喜『統計調査法』〔改訂版〕(培風館) ¥1,500

〔参考書〕 ザイゼン著、木村 定・安田三郎訳『数字で語る』(東洋経済新報社) ¥1,800

### 社会学史

安 藤 喜 久 雄

過去から現代に至る主要な社会学理論を概観するのみならず、社会学説の中にあって現代にも大きな影響を与えている主要な社会学理論について理解を深めながら講義を進める予定である。

〔教科書〕 新睦人 他著『社会学のあゆみ』（有斐閣新書）¥800

〔参考書〕 新睦人 他著『社会学のあゆみ—パートⅡ』（有斐閣選書）¥780

## 社会学方法論

金丸由雄

人間の情動的行為を考察する為に、社会学における行為論を検討し、情動的行為の構造を理解する為の行為モデルを提出し、現実の情動的行為の分析を試みる。

〔参考書〕 授業の過程でその都度指示する。

## 社会調査

川本 勝

社会調査は、社会的現実を科学的、実証的に把握、分析するための研究方法である。それは、直接現地調査によってデータを蒐集し、分析することに特色がある。

そこで、まず社会学理論と仮説と社会調査との関係を考察し、社会調査の手順にしたがって講義を進める。社会調査実習で具体的なテーマのもとに調査を実施するので、実習とのかねあいを配慮しながら、調査を実施する上で特に注意しなければならない点やデータ蒐集の技法、データの読み方、検定の仕方などを検討する。

## 社会調査実習

川本 勝・坪井 健

社会調査の技法をマスターすることを目的として、主として統計調査の実習を行う。まず社会調査の手順をひとつと理解した上で、調査の企画、設計、データの収集、集計、分析、報告書の作成の一連の作業を実施する。

データの集計及び解析には、コンピュータも併用する予定である。

尚、調査実習は、通常の講義科目とは異なり、実際の作業を通じて社会調査の技法を修得することが目的であるので、遅刻、欠席は厳しくチェックする。

〔参考書〕 その都度指示する。

## マスコミュニケーション

川本 勝

マス・コミュニケーションの生産過程から受容過程にいたるまでの主要なメカニズムを、これまでのマスコミ研究の成果、理論を紹介しながら考察し、マス・コミュニケーションの特質、社会的機能、効果や影響などを検

討する。

高度情報化社会といわれる現代、ニューメディアを含めて、マス・メディアが社会や人びとの社会生活とどのようなかかわりをもっているか、社会的に分析する。

〔参考書〕 竹内・児島編『現代マス・コミュニケーション論』（有斐閣）

川本 勝著『流行の社会心理』（勁草書房）¥2,300

## 産業社会学

安藤喜久雄

産業社会学の生成、発展について概観するとともに、以下のような主要な領域について解説し、そこでの諸問題が人間にとってどのような意味をもっているか考えてみたい。

序．産業社会学の生成、発展

1. 企業と経営組織
2. 職場の人間関係
3. 労働者の生活と意識
4. 労働組合
5. 労使関係
6. 産業と社会

〔教科書〕 本間康平 他著『産業社会学入門』（有斐閣新書）¥700

## 都市社会学

文屋俊子

都市社会学の形成と展開、都市化、都市的生活様式、都市の社会構造についてとりあげる。とくに現代日本の大都市におけるひとびとの生活様式について、最近の研究をとりあげ、議論したい。

参考文献等は、授業の際に適宜紹介する。

## 農村社会学

文屋俊子

現代の農村をとりまく環境は、さまざまな意味で大変厳しい状況にある。農村社会学の成り立ちも、以前の苦しい状況からその必要性が叫ばれたのであった。これまでの研究を振り返り、現実の状況を見ることで、農村社会の問題を考えていきたい。

参考文献等は、授業の際に適宜紹介する。

## 家族社会学

山根常男

1. 家族とは何か?
2. 結婚と家族の歴史
3. 現代の家族問題
  - a. 夫婦の問題
  - b. 子供の問題
  - c. 老人の問題
4. 家族の未来

〔教科書〕 『家族の論理』 (垣内出版) ¥2,600

〔参考書〕 『ゆれ動く現代家族』 (日本放送出版協会) ¥1,100

『家族と人格』 (家政教育社) ¥3,200

## 法社会学

小林弘人

前期は、法社会学の基礎理論(学説の説明が中心になる)の解説、後期は、法と社会の関連について、具体的なテーマを設定して講義する予定である。

その他、諸般のことがらについては、講義初日に説明する。

〔教科書〕 及川 伸著『法社会学入門』〔新版〕(法律文化社)

〔参考書〕 六本佳平著『法社会学』(有斐閣)

## 宗教社会学

藤井正雄

宗教社会学説の展開を把握し、最近の国際学会の場で論じられた統一テーマを中心にして、近・現代社会においてくりひろげられている宗教と社会、宗教と人間の関係の多様性の理解につとめる。

〔参考書〕 藤井正雄『現代人の信仰構造』(評論社) 1974年

井門富二夫編、藤井 他著『秩序への挑戦』〔講座・宗教学〕(東大出版会) 1978年

R・ロバートソン著、田丸徳善監訳『宗教の社会学』(川島書店) 1983年

## 社会心理学

坪井 健

社会心理学は、元来、社会学と心理学の境界領域にある現象を研究対象としてきた。従って、社会的アプローチと心理学的アプローチが並存しており、必ずしも統

一されたものになっていない。

本講義は、個人の心理(行動)に影響を与える社会的諸条件に関心を持つ心理学的アプローチにも留意しつつ、現実の社会における人々の心理(行動)に関心を持ち、社会過程を重視する社会的アプローチを基調にして、社会生活をしている人々の社会心理諸現象の分析的な解明を目的とした。

〔教科書〕 穴田義孝編『こころ・行動そして社会』(人間の科学社)

## 社会病理学

中本博通

人格の社会病理についての講義を行う。まず、社会病理とは何かを明らかにし、ついで、人格の社会病理(人格論、社会病理現象、一自殺、少年非行、犯罪、家出、浮浪、薬物中毒等)及び家族の社会病理(離婚、家庭内紛争、等)を論じたい。

〔教科書〕 中本博通著『人格の社会病理』(丸ノ内出版)

〔参考書〕 大橋 薫編『社会病理学』(有斐閣)

## 外書講読 I

金丸由雄

講読する英文は易しすぎても難しすぎてもいけない。又内容は参加者の興味と出来るだけ合致することが望ましいので、テキストはクラスの諸君と相談して決定する。

## 外書講読 II

坪井 健

外書講読 II は、原書(英文)の講読を通して社会的なものの方や考え方を深めることを目的とする。具体的には、いくつかの論文を輪読しながら、討議し、理解を深めていくことになるが、テキストは開講時に指示する。

## 社会学特講 I

橋爪 敏

本講では、政治社会的諸問題について取り扱うことになる。政治社会学は、政治現象について社会的アプローチを試みる一分野である。したがって、社会学の対象としての人間諸関係の政治的側面とそれ以外の社会的

諸側面との関連が問題となってくる。そこで、政治社会学とは何かを問うことを始め、大衆民主主義社会の状況、大衆とエリート、政治（社会）運動、政治的社会化等を問題としたい。“特講”と名づけられているが、講義という形式よりも、参加学生諸君の主体的研究を促す意味において、文献の講読ならびにディスカッションを中心として授業を行うことになる。

〔教科書〕 未定。

## 社会学原論

渡辺源樹

何よりも社会学は現実科学であるという視点をふまえ、つとめて人間の存在・行動の問題と関らしめながら、集団論・組織論などを中心として基礎理論にぞくする諸問題を講述するとともに、現代社会学の課題とその主要問題を体系的かつ具体的に講述する。

## 図書館学Ⅰ

山崎慶子

児童・生徒の学習活動や教養・趣味を豊かにするには教科書の他に各種の資料を必要とする。最も有効適切な資料は何か、どうしたらそれらをすべての生徒に提供できるか。増大する一方の出版物や各種の情報が溢れる現代社会において、それを選択し活用する力を高めるにはどうしたらよいか。また人間形成に役立つ読書のあり方などの追求を、教育の場の中心ともいべき学校図書館活動として考察していきたい。さらに生涯教育の場である公立図書館の使命や役割への理解を深めるようにしたい。

前期の講義内容は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」を、後期は「学校図書館の利用指導」と「読書指導」である。

〔教科書〕 図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』（学芸図書）

## 図書館学Ⅱ

源昌久

この講義においては、司書教諭の資格を修得する上で必要な諸科目の内、主として資料組織法（分類法・目録法）について論じる。前期には分類法、後期には目録法を講じ、各々の概念的フレーム・ワーク、基本的規則およびコンピュータとの関連等について言及する。開講時に詳しいシラバスおよび目録法の教科書を示す。

〔教科書〕 日本図書館協会分類委員会改訂（編集）『日本十進分類法 新訂8版』（日本図書館協会）

## 社会福祉調査論

東條光雅

本講義では、社会福祉の分野でなされる調査の特質をおさえた上で、調査ならびに統計に関する基本的な知識・技術について講じてゆく。

本科目は、「社会福祉調査実習」（本年休講）に結びつき、実習前教育としても位置づけられるものであるため、調査技法に関しても具体的に展開するつもりである。

〔教科書〕 開講時に指示する。

〔参考書〕 随時紹介する。

## 社会福祉援助技術総論

高橋重宏

今日社会福祉は、福祉サービスの提供者と利用者の間の対人的・非貨幣的支援活動のもつ比重が高まっている。本講義は、社会福祉実践の専門技術（skill）の基礎について学ぶことが中心となる。

具体的には、ソーシャルワークの基礎知識及び関連理論、歴史的展開過程、ソーシャルワーカーの専門性、現代社会におけるその独自の社会的機能等を明確化させつつ、ソーシャルワークについての入門的解説を中心に展開したい。さらに、臨床事例を用いながら、ソーシャルワーカーになるための基礎理解を深め、ソーシャルワーカーとしての専門職業的倫理観や基本的姿勢についても追求したい。

〔教科書〕 高橋重宏・宮崎俊策・定藤丈弘編著『ソーシャル・ワークを考える』（川島書店）

〔参考書〕 必要に応じて指示する。

## 社会福祉援助技術各論ⅡB （社会福祉調査技法）

小林昭二

この講義では社会福祉を考えてゆくのに必要な、調査と統計に関する知識と技法を説明する。

社会福祉に関する調査統計は、人口をはじめとし一般の世帯や、高齢者世帯、生活保護世帯、身体障害者等特定のニードを有するものなど、範囲がきわめて広い。

このような調査の実施や統計の分析が、どのようにして実証性と客観性を持ち得るかを、具体的に取扱う。

〔教科書〕 『厚生統計テキストブック』（厚生統計協会）

〔参考書〕 『国民の福祉の動向』（厚生統計協会）

## 法 学 (福祉)

小 林 弘 人

本講義は、教科書『社会福祉のための法入門』を使用して、憲法25条を具体化する社会福祉・社会保障に関する法を検討・整理・体系化することを目的とする。

その他、諸般のことがらについては、講義初日に説明する。

〔教科書〕 小林弘人編著『社会福祉のための法入門』  
(川島書店) ¥2,000

〔参考書〕 小川政亮著『社会事業法制』〔第2版〕  
(ミネルヴァ書房) ¥2,500

## 社会福祉援助技術各論ⅠA (ケースワーク論)

高 橋 重 宏

ソーシャルワーク実践の専門技術の1つであるソーシャル・ケースワークについて、まず、ケースワークの意義、定義、歴史的展開過程、原理、ソーシャル・トリートメント過程、関連理論などについて論及する。さらに、ケースワークの臨床事例を紹介し、ソーシャル・ケースワークとは何かが、一応体系的に理解できるようにつめたい。

なお、後期の臨床事例研究では、小グループでのディスカッション、発表など、学生の主体的参加を求めるので留意しておくこと。

〔教科書〕 久保絃章・高橋重宏編著『ケースワークを考える』(川島書店)  
仲村優一編『ケースワーク教室』  
(有斐閣)

## 社会福祉援助技術各論ⅠB (グループワーク論)

松 本 栄 二

社会福祉実践方法としてのグループワークについての基礎的知識と技術ならびに倫理性について考えてみる。講義の方法をとる以外に、映画、ロールプレー、事例検討などの方法もとり入れる。

資料の適時配布についてはコピー代実費徴収する。

〔参考書〕 『社会福祉援助技術』〔'88年版〕(全国社会福祉協議会刊)

## 社会福祉援助技術各論ⅡA (コミュニティ・ワーク論)

永 田 幹 夫

社会福祉援助技術各論ⅡAは社会福祉方法論の中で、コミュニティ・オーガニゼーションすなわち地域組織化活動と社会調査等、地域福祉方法論を指すものとされている。今日社会福祉改革期に当たり、方法論についても視座を変えて研究をすすめる時期にあるが、本講ではそうした問題にふれつつ、方法技術の理論的概要、発展過程および実践的適用のあり方について明らかにしていきたい。

〔教科書〕 改めて指示したい。

## リハビリテーション論

原 田 信 一

リハビリテーション領域のなかで、学問的にいちじるしく遅れをみせているのが、社会リハビリテーションであるといわれている。この分野は、内蔵する問題が広汎・多岐に亘っているばかりか、いずれも現実的で、しかも難解な福祉問題を抱えていることが、いちじるしく遅滞をもたらす原因になっているといわれる。そこで、本講義はとくに、社会リハビリテーションの基本問題をふまえ、社会・文化的環境を考察し、政策と実践の方法論、それらを支える隣接科学面ならびにリハビリテーションの国際的展望等について概説したい。

〔教科書〕 講義ノートによる。

〔参考書〕 随時指示する。

## 社会福祉計画論

和 田 敏 明

地域福祉を基調とする社会福祉の転換が、地方分権化社会福祉供給システムの多様化、責任主体の多元化を伴い進行している。こうした状況を踏まえ、社会福祉ニーズを社会福祉の組織・運営に的確に反映するとともに、広く市民の社会福祉への参加を促すことをねらいに社会福祉の計画化が要請されている。その内容は、処遇計画、社会資源の調達計画、社会計画のなかの社会福祉計画、行政計画、活動、行動計画等の社会福祉計画である。講義では、今日の焦点である「地域福祉計画」を中心に、その理論と方法及び具体的事例についての検討を行ないたい。

〔教科書〕 『地域福祉計画 理論と方法』(全国社会福祉協議会) ¥1,300



## 社会福祉運営論

永田 幹夫

社会福祉サービスの普遍化に伴ってその規模は急速に拡大・複雑化し、社会福祉の運営管理を包括的にとらえるソーシャル・アドミニストレーションの研究が注目され、重視されてきている。本講ではその概念成立に至る歴史的経過、手法技術、現代的課題及びこれらに関連して社会福祉政策、行政を含む今日の社会福祉実践上の問題点に迫ってみたいと思う。

〔教科書〕 改めて指示したい。

## 家族福祉論

山根 常男

1. 家族福祉の理論
  - a. 社会・家族・個人
  - b. 全体的・力動的・発生的・歴史的
  - c. 社会生態学的オリエンテーション

2. 社会の福祉と家族  
抵抗体としての家族

3. 個人の福祉と家族  
人格発達と家族

4. 家族力動の仮説

〔教科書〕 山根常男『家族と人格』（家政教育社）  
¥3,200

## 児童福祉論

高橋 重宏

現代社会における児童をめぐる社会的諸問題、児童福祉の概念、児童福祉の歩み、法律による児童福祉（児童福祉法等）、自発的な児童福祉活動、運動等について概説し、児童福祉サービスの現状と、現代的課題について、一応の体系的理解ができるようにつとめたい。

〔教科書〕 高橋重宏・江幡玲子編著『児童福祉を考える』（川島書店）¥1,700  
山根常男監修、本村 汎・高橋重宏編『家族と福祉の未来』（全国社会福祉協議会）¥2,000

〔参考書〕 全国社会福祉協議会編『1986・87年度版児童福祉年報』（全国社会福祉協議会）  
¥2,300

## 障害者福祉論

原田 信一

わが国の障害者福祉の発展過程をその淵源に溯りつつ体系的に講ずる。内容面では、人権の認識を基盤においた正当性のある障害者観、そして今後、激動化によって惹起が予測される障害者問題発生メカニズムを究明すると同時に、また、その対応方法、さらに政策、処遇のあり方などに加え、欧米先進諸国における障害者福祉との対比から、わが国の障害者福祉に見直しを必要とする新たな課題構築点などに重点をおき講じた。

〔教科書〕 星野・藤村・原田・井田編『障害福祉論入門』（改訂版）（有斐閣）

〔参考書〕 (1) 原田・春見・佐藤著『新しい社会福祉の理論』（高文堂）  
(2) 原田・吉田編『心身障害児（者）の心理・教育・福祉』（文化書房博文社）

## 老人福祉論

東條 光雅

人口の急速な高齢化が進む中、家族形態・機能の核家族化と相まって、老後問題に対する社会的関心が非常に高まっている。老後問題は、今後一層の深刻化が予想されるが、これに対処すべき老人福祉施策はまだ不十分な状況である。わが国においては、約半世紀後に超高齢化社会の到来が予測されるわけであるが、現状改善という視点からだけでなく、長期的な展望と広い視座から老人福祉対策の在り方を考えてゆくことが必要である。

本講では、老人福祉施策の歴史的変遷はもとより、現状認識を深め、今後の老人福祉サービスを考える上で重要な老人を取り巻く社会的諸状況の変化や、関連する制度・政策についても理解が得られるよう講じてゆきたい。

〔参考書〕 冷水 豊・浅野 仁・宮崎昭夫編『老人福祉』（海声社）¥1,400

## 地域福祉論

永田 幹夫

今日における急速な社会福祉改革の方向を示すものとして1970年代以降に登場したのが現代的意味での地域福祉論である。地域福祉の概念およびその支柱たる在宅福祉サービス提供システムの開発と地域組織化・福祉組織化等の方法論に関する基礎理論を実践動向に即して論究し、地域福祉の全容把握をはかりたい。

〔教科書・参考書〕 追って指示する。

## 公的扶助論

伊藤 秀一

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。

講義内容としては、上述した問題意識のもとに、以下の項目について講じていく予定である。

1. わが国の生活保護制度の動向
2. 海外の動向
3. 権利意識と福祉政策の推進
4. 貧困の測定

なお、テキスト等については開講時に指示する。

## 医療福祉論

(前期) 松本 栄二  
(後期) 春見 静子

具体的実践記録を資料として医療福祉 医療の場におけるソーシャルワークの側面と、保健・医療・福祉の三つの分野を通して制度の側面について特に、その社会的側面と共に、実践的スキルについて、その概念の明確化をめざした講義内容を計画している。

講義のなかで用いる事例など資料は実費徴収する。

## 婦人福祉論

林 千代

私は、婦人問題の視点から婦人福祉論を組立てているが、それは、性差別を根底に婦人の生存や生活が不安定化する局面、その解決へのプロセス、施策が主な内容になる。その状況として、主に母子家庭になった時(父子家庭とも関連)、売買春の問題(性と何か)、女と老い(老後問題の中で)が考えられる。どの場合も、女子労働との関連が深いので、女子労働をめぐるさまざまな問題を主軸において上記三者に焦点をあわせ講義する。

〔教科書〕 講義ノートによる。

〔参考書〕 随時紹介。

## 保健福祉論

小林 臻

戦後40年にわたって構築されてきた社会福祉の制度・施策と保健・医療の制度・諸事業等を今日的課題に沿って見直すとともに、本格的な高齢化社会の到来をみすえて、これら両者の一層の連携をはかり統合化をめざすためのためについて明らかにしてみたい。

〔教科書〕 講義開始時に指示する。

## 社会福祉援助技術現場実習 (児童福祉施設・機関等)

高橋 重宏

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。

具体的には「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル」にもとづいて展開することになる。

なお、本科目は、前年度末に学科が実施する試験に合格し、担当教員が許可した、児童・家族福祉分野を専攻する学生20人が履修できる。

## 社会福祉援助技術現場実習 (老人福祉施設・機関等)

東條 光雅

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。

具体的には「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル」に基づいて展開することになる。

なお、本実習は、前年度末に学科が実施した試験に合格し、かつ、担当教員が許可した、老人福祉分野ならびに福祉事務所等での実習を希望する学生が履修できる。履修定員は20人である。

## 社会福祉援助技術現場実習 (障害児(者)施設・機関等)

伊藤 秀一

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。実習の具体的展開内容は、「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル」に基づいて行うことになる。

なお、本実習は、前年度末に学科が実施した選考試験に合格し、かつ、担当教員が許可した、障害児・者福祉分野での実習を希望する学生が履修できる。履修定員は20人である。

## 社会福祉援助技術演習Ⅰ (児童・家族)

高橋 重宏

本演習は、「社会福祉士」国家試験受験資格取得の指定科目の一つである。

社会福祉士(ソーシャルワーカー)の業務は相談・援助が中心となる。そこで、社会福祉士として必要な対人援助技法の体得が演習Ⅰ、Ⅱの課題となる。

具体的な進め方は開講時に指示する。

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習」履修者で児童・家族福祉分野専攻の20人のみが履修可能である。

## 社会福祉援助技術演習Ⅰ (老人)

東 條 光 雅

本演習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。

社会福祉士の主要業務は相談・援助活動である。そのため、「援助技術演習Ⅰ」および「援助技術演習Ⅱ」では、そうした業務において基本的に必要とされる対人援助技術の修得に主眼が置かれる。

演習の具体的な進め方については、開講時に指示する。

なお、本演習は、「社会福祉援助技術現場実習」の履習者で、老人福祉分野ならびに福祉事務所等での実習を希望する学生（20名以内）が履修できる。

## 社会福祉援助技術演習Ⅰ (障害児・者)

原 田 信 一

本演習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。

社会福祉士の主要業務は相談・援助活動である。そのため、「援助技術演習Ⅰ」および「援助技術演習Ⅱ」では、そうした業務において基本的に必要とされる対人援助技術の修得に主眼が置かれる。

演習の具体的な進め方については、開講時に指示する。

なお、本演習は、「社会福祉援助技術現場実習」の履習者で、障害者福祉分野ならびに心身障害施設・障害者更生相談所等での実習を希望する学生（20名以内）が履修できる。

## 社会福祉援助技術演習Ⅱ (児童・家族)

高 橋 重 宏

本演習は、「社会福祉士」国家試験受験資格取得の指定科目の一つである。

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照。

## 社会福祉援助技術演習Ⅱ (老人)

東 條 光 雅

本演習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。

演習内容の概要については、「社会福祉援助技術演習Ⅰ」を参照せよ。

## 社会福祉援助技術演習Ⅱ (障害児・者)

原 田 信 一

本講が、社会福祉援助技術演習Ⅰとの連動を図りながら講じてゆくことは言うまでもないが、さらに加えて、

実践面の科目と連携しながら、より専門的視座から高次な内容で講ずる。即ち、総合的福祉企画、相談・援助、施設管理及び維持経営等々の方法などに亘る専門性資質の一端を備え得る内容をもって学び合う。

なお、本科目は、「社会福祉士」国家試験受験資格取得の指定科目の一つである。

〔教科書〕 講義ノートによる。(資料配布を行う)

〔参考書〕 随時指示する。

## 社会福祉学特講Ⅰ (児童)

長谷川 重 夫

社会福祉・児童福祉の発達史のなかで最古の歴史をもち、児童福祉の原型ともいわれ、いまも児童福祉体系の中の児童入所施設の中核的位置にある養護施設を中心に、施設養護全般並びに里親養護の理念、歴史および具体的な方法論等について講述したい。

後半では、ケース研究を加え、また施設現場を見学しながら、理論と実践についての統合的理解が深まるようにしたいと願っている。

〔教科書〕 特定のものは使用しない。

## 社会福祉学特講Ⅱ (老人)

長 浜 恭 子

- 高齢化社会問題と老人福祉施設
- 施設ケアの特質とその課題
- 施設ケアの実際

## 社会福祉学特講Ⅲ (障害児・者)

金 子 勇

日々の障害者福祉実践の中から導き出された身体障害者に対する専門的援助についての基本的な考え方及び諸技術（一般意味論、ケースワーク、カウンセリング、ゲシュタルト療法等）を障害者の様々な問題（生きがい、職業、結婚、人間関係、年金等）に沿って具体的に展開していくこととしたい。

また、日常業務に必要な基礎的知識及び技能についても併せ学習することとしたい。

## 社会福祉学特講Ⅳ (相談・援護)

伊 藤 秀 一

本講では、社会福祉行政の現業機関である福祉事務所などにおける社会福祉実践のあり方を、主として、事例をとおして検討する。

行政機関での実習を希望する学生にとっては、いわば導手的な手がかりが得られるように講じてゆきたい。

なお、テキスト等は開講時に教場において指示する。

## 社会保障論

近藤 功

社会保障は、憲法第25条に規定する国民の生存権の保障のための重要な政策体系であり、国政において、優れて高い地位を与えられている。

この社会保障について、欧米諸国を含め、歴史的発展過程、体系、財政、国際比較等を検討し、その問題点を明らかにする。

特に、わが国の社会保障について、その主要な部門としての所得保障（年金保険、公的扶助、児童手当等）、医療保障（健康保険等）その他について、制度の現状及び課題を講じる。

〔教科書〕 小沼 正・地主重美・保坂哲哉編『社会保障概論』（川島書店）

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 社会福祉発達史

林 千代

いつの時代にも、人々の生活の不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕 今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕 随時紹介。

## 社会福祉外書講読

伊藤 秀一

わが国が福祉切下げに当面している今日、英・北欧諸国の社会福祉、社会保障の動向には極めて強い関心を持たざるをえない。

本講では、英国の近年の社会福祉に関する論文を輪読しながら、討議し、国際的な視野を広めることに努めたい。

なお、テキスト等については開講時に指示する。

## 海外社会福祉論

星野 貞一郎

社会福祉を理解するためには、世界各国がそれぞれの国情に応じて発生させてきた社会福祉のすぐれた制度や活動を学ぶことが大切であることをふまえ、以下の海外諸国の社会福祉事情について講義することにした。

(1)イギリスの社会福祉、(2)西ドイツの社会福祉、(3)北欧諸国の社会福祉、(4)アメリカの社会福祉、(5)フランスの社会福祉、(6)オランダの社会福祉、(7)カナダの社会福祉、(8)アジア諸国の社会福祉等。

〔教科書〕 国際社会福祉協議会日本国委員会編『各国の社会福祉』（全国社会福祉協議会）  
¥1,500

## 社会学（福祉）

星野 貞一郎

社会福祉関係の専門職業を志す学生のための社会学講義を旨とした。そこで社会学の基礎的概念を応用してクライアント（個人）の理解からはじめて、社会福祉施設の一局面である小集団の吟味、家族の変容と扶養機能に焦点をあてながら、いま問われている家族福祉の視点を取り上げる。また社会福祉の組織とそこで働く人びとの問題を官僚制、専門職性にかかわらせて取り上げる。さらに地域社会の分析視角から地域福祉の枠組の整理ならびに保健と医療、解体地域の問題を取り上げ、そのうえ今日的な課題となっている生活福祉環境等の問題に社会学的にアプローチする。

〔教科書〕 星野貞一郎・渡辺武男編『福祉社会学』（ミネルヴァ書房）¥2,400

## 心理学（福祉）

井上 孝代

さまざまな心理的、社会的条件を有する個人と環境との相互作用に関する基礎的知識、および個人が社会環境との間により良い適応をもたらすに必要な具体的方法について講義する。

内容については、心理的、社会的問題の解決にあたって、地域社会の資源の活用などの環境的要因のみならず、クライアントのパーソナリティや動機、情緒的ニードといった人間行動の心理的要因や対人関係における技法—ケースワーク、グループワークなどの実際の技法を含むものである。

## 医学一般

小林 琢

長寿社会を迎え、各自が心身ともに健全なライフサイクルを送れるための、医学に基礎をおいた健康科学の考え方を述べ、さらに社会福祉専門職としての社会福祉士・介護福祉士に要求されると考えられる保健学・医学の専門的知識について講義する予定である。

〔教科書〕 講義開始時に指示する。

## 介護概論

佐藤 豊道

本講は、その内容を三部に大別する。

一部では「介護とは何か」を中心に、定義、歴史、介護観、職業倫理等について、事例を交えながら展開する。

二部では社会福祉士と介護福祉士にとっての「介護知識」の焦点のあてかたについて、講述する。また、看護や地域保健等との関連についても講述する。

三部では「介護技術の基礎的知識」に焦点をあてる。

〔教科書・参考書〕 未定。

## 社会福祉実習 I

伊藤 秀一

社会福祉実習は、社会福祉を学びソーシャルワーカーとしての専門性を修得していくために必要不可欠な科目である。したがって、社会福祉教育を実施している大学では、なんらかの形で実習教育が行われている。

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目である『社会福祉援助技術現場実習』につながる科目として位置づけられている。

なお、本実習の具体的な展開内容については開講時に説明する。

## 障害児教育原論

井田 範美

障害児教育の理念、目標、内容について健常児の教育と比較対照しながら論述する。しかし、障害児教育は障害種別により成立基盤、発展の過程は異なる。

そこで、障害児全般にわたる基本的知識として各障害、(視覚障害、聴覚障害、運動障害、病弱虚弱、知能障害情緒障害、等々)に関する諸概念ならびに教育の概要について講述する。さらに障害児教育の今日的課題として、学校、施設、家庭、社会の各面から障害児教育における諸問題について論述する。

〔参考書〕 佐藤泰正編『障害児教育概説』(学芸図書) ¥1,300

原田・吉田編『心身障害児(者)の心理・教育・福祉』(文化書房博文社) ¥2,800

井田範美『知能障害児の指導』(明治図書) ¥2,700

## 心理学史

萩野 源一

心理学の歴史について、特に科学心理学の成立とその発展に重点をおいて論述し、さらに現代心理学の動向に関して述べる。

〔参考書〕 今田 恵『心理学史』(岩波書店)

末永俊郎編『歴史と動向』〔講座心理学 1〕(東京大学出版会)

## 心理統計学

篠原 英壽

精神現象の測定に伴う問題点——精神現象の数量化と尺度化に関する問題点、統計的、推計的、処理方法の心理学への適用とその限界、心理学において工夫された測定法処理方法などについて説明したい。

〔参考書〕 随時示す。

## 心理学実験(実習)

篠原 英壽・小野 浩一  
谷口 泰富

心理学の各領域から基礎的な実験を選び、心理学における実験のデザインの組み方、実施方法、結果の処理法等を実習を通して理解してもらう。さらに、実験レポートの作成について指導する。

〔教科書〕 依田 新監修『基礎実験』〔心理学実験演習 I〕(金子書房)

吉岡一郎編著『心理学基礎実験手引』(北大路書房)

## 心理学研究法

小野 浩一

心理学における主要な研究法について概観する。その中で、心理学の方法全般にわたる根本的な問題、個々の技法の根底にある基本的な考え方や問題点を明らかにしながら、それぞれの具体的な手続き、また効用や限界について解説する。

## 基礎心理学Ⅰ（人格）

谷口泰富

人格（パーソナリティ）とは、個人の内部に存在する複雑で力動的な体制である。この講義は人格心理学の概論として、人格の本質論、形成発達論、諸々の人格理論の紹介、研究法の考察などを中心に進めてゆくつもりであるが、折りに触れて人格に関する興味あるトピックスを盛りこんでゆく予定である。

〔教科書〕 随時紹介する。

## 基礎心理学Ⅱ（発達）

篠原英壽

基礎心理学Ⅱにおいては、発達心理学を講述する。その内容は、心理学的成長の各位相である幼乳時期から生年期までを取扱う連続的過程としてのパーソナリティ発達に主眼を置きたい。

上述のことを特に、E. H. エリクソンの精神分析的理論、及び、J. ピアジェの認知理論を中心に取上げたい。

〔参考書〕 随時指示する。

## 基礎心理学Ⅲ（学習）

小野浩一

学習心理学の基礎的な理論ならびに手法について解説し、それらが現代の行動科学の中でどのように活用されているかについて概観する。さらに、人間を含む生物体の行動をコントロールしている変数について実験的行動分析の立場から吟味する。

教科書はとくに指定しないが、参考書および参考文献については講義の際に詳しく教示する。

## 基礎心理学Ⅳ（社会）

水原泰介

社会心理学研究における理論と実験の役割を解説することにより、社会心理学がどのような学問であるかの理解を深める。

〔参考書〕 水原泰介『社会心理学入門』（第2版）（東大出版会）

## 基礎心理学Ⅴ（臨床）

中村昭之

### 1. 臨床心理学人格理論（症状形成と治療）

- (1) 総論
- (2) カウンセリング
- (3) 精神分析
- (4) 森田療法
- (5) 内観療法
- (6) 行動療法
- (7) その他

## 心理学研究Ⅰ（実習）

萩野源一

具体的実験例を自ら閱讀しそれに関する簡単な実験を行うことにより、心理学の実験法を修得することを目的とする。本年度は主として認知心理学や知覚心理学、生理心理学などに関するものを主としてとりあげる。

参考書は課題に応じて指示する。

## 心理学研究Ⅱ（実習）

水原泰介

社会心理学の代表的な実験について、計画、実験、結果処理、研究報告書作成の実習をおこなう。

## 心理学研究Ⅲ（実習）

中村昭之

臨床心理学の各種理論の講義。下記文献の輪読心理テストその他の実習を行なう。

臨床実習の性格上、受講者の人数を最大15名に制限する。

〔文献〕 『Journal of Counseling』心理療法に関する内外の文献。

## 心理学研究Ⅳ（実習）

篠原英壽

心理学研究Ⅳは、これまで開講されていた実験実習（上級）が各領域ごとに分化されて開設されたものである。したがって本来ならば実験心理学の内容を備えるべ

きものである。しかし取扱う領域が発達心理学であるため、装置及び被験者等の関係上、実験的内容を実験的に行うことには問題もある。

そこで本年は、欧文の専門書及びジャーナルを精読し、その中で扱われている実験・調査研究の方法を習得し、追試可能なものを選択し、その方法に準拠して実験等を行いたい。

なお主たる参考書は下記のもので、そのコピーを用いる。

〔参考書〕 Readings in Child Development & Personality: Edited by P.H. Mussen, J.J. Conger, J.Kagan. Harper & Row, 1965

### 心理学研究 V (実習)

小野 浩一

心理学研究のプロセスを統一的に習得することを目的として、文献検索法、論文の読み方、実験デザインを組み方、実験の実施方法、結果のまとめ方、論文の書き方などを含めた総合的な実習を行う。前期は味覚学習、思考に関する代表的な研究をモデルとして、そこでなされた実験を追試するという形で進めるが、後期には受講者と相談の上適当なテーマを設定して実験を計画したいと考えている。

### 心理学研究 VI (実習)

谷口 泰富

ここでは主に、生理学的指標を用いた種々の測定を行う。実習内容については、初めの時間に説明する。

本講を受講する人は、予め、生理心理学を履修しておくことが望ましい。

〔参考書〕 随時紹介する。

### 生理心理学

谷口 泰富

統合的有機体としての人間の行動を明らかにするため、本講は、心理学と生理学の隣接するところから出発し、意識・学習・知覚・情動などの諸概念について考えてゆく。

〔参考書〕 随時紹介する。

### 児童心理学

横山 剛

ひとは、物理的環境・社会的環境との相互交渉を通して、その潜在的な可能性を実現してゆく。この発達の様相や発達メカニズム、それを促進する働きかけについて講義する。内容としては、言語の獲得と言語の機能の発達、記憶と理解の発達、文化と知的発達などを中心に進める。

〔教科書〕 未定。

### 産業心理学

大塚 秀治

産業心理学は様々な産業場面での心理学的諸問題を扱う応用心理学の一分野であり、心理学の全ての分野と密接な関係をもっている。ここではコンピュータに代表される人間-機械系のあり方を中心に (1)作業とは何か (2)作業環境と作業者の心理 (3)ヒューマン・エラーは何故生じるか、等を講義し時間が許せば、航空機事故の事例研究、職業適性検査の実施実習や、簡単な実験を行い理解を深める。

〔教科書〕 開講時に示す。

〔参考書〕 『心理学8(産業心理)』(有斐閣双書) 『情報処理心理学』(サイエンス) 『産業心理学』(恒星社厚生閣)

### グループ・ダイナミックス

坂原 明

社会生活において、有機体はそれぞれ様々な集団に属しているが、グループ・ダイナミックスは、そのような集団の力動的性質および集団の発生・展開・消滅を含む集団過程の法則を求めることを目的としている。講義では、特に社会生活に対して、従来の研究がどのような応用可能性を持っているかということを経典的な例を引きながら解説してゆきたい。

〔教科書〕 齊藤 勇編『対人社会心理学重要研究集 1 社会的勢力と集団組織の心理』(誠信書房)

〔参考書〕 三隅二不二・佐々木薫訳編『グループ・ダイナミックス I カートライトザンダー』(誠信書房)

## カウンセリング

鈴木 順一

カウンセリングにおけるPerson Centered Approachを確立したCarl Rogersの実践する「人間中心の教育」を現実化したい。カウンセリング・ロールプレイ、サイコ・ドラマ、ゲシュタルト・ワーク、エンカウンター等の体験学習を通じて、お互いのパーソナリティの理解と開発（自己実現）をめざす。

- 〔教科書〕 『カウンセラーへの道』（創元社）  
¥1,200
- 〔参考書〕 『暮しの中のカウンセリング』（有斐閣）  
『カウンセリングの理論』（誠信書房）  
『カウンセリング』（芸林書房）  
『新訂カウンセリング』（誠信書房）  
『エンカウンター』（誠信書房）  
『人間尊重の心理学』（創元社）  
『エンカウンター・グループ』（創元社）

## 心理検査法

森山 敏文

心理学な研究を進めていく場合のひとつの手段として、心理検査があるというのはいまでもない。狭義には、各種の質問紙法、投影法などがあり、広義に考えていくと、さまざまな実験器具を用いた方法や生理学的な測定法も含まれると思われる。講義では、前者に焦点をあて、さらに研究法としてよりも臨床の場面での実践に役立つような検査法について言及していきたい。この場合、各種検査法を実際に体験してもらい、そのような体験を基本にしなが、必要に応じてレポート作成をしてもらったり、ディスカッションなどができればよいのではないかと考えている。

〔教科書・参考書〕 必要に応じて紹介していく。

## 禅心理学

脇本 平也

関連の文献を読む。出欠をとり、文献読解の分担を課する。

## 心理学特講 I

佐々木 雄二

自律訓練法は、神経症や心身症の治療法として、あるいは教育効果を高めたり創造性を開発するための技法と

して、広く用いられるようになった。本講では、主要な心理療法について概観したあと、このような自律訓練法の理論と方法を学ぶ。

〔参考書〕 佐々木雄二『自律訓練法の実際』（創元社）¥980

## 心理学特講 II

佐々木 宏幹

日本を含む東アジア諸社会において、人生観・世界観の形成に宗教はどのようにかかわっているか、個人や社会の危機に宗教はどのような役割を果たしているか、また教祖的・カリスマ的人格とは何か、その影響は何か、などの諸問題について考察する。時おりスライドを使用する。

〔参考書〕 佐々木宏幹『憑霊とシャーマン』（東京大学出版会）¥1,800

## 心理学特講 III

大塚 秀治

現在コンピュータは心理学にとって必要不可欠なものである。コンピュータモデルは心理学の各領域にとり入れられつつあり、実験では刺激の生成、反応検出、時間制御、データ変換等に応用され、コンピュータ利用は必須のものとなりつつある。また統計解析等は心理学全般で利用されており活用の範囲はさらに拡大している。

本講座では①コンピュータの利用法を習得する②応用プログラム作成技術を習得する③実験への応用技術を習得する④心理学とコンピュータモデルの現状、人工知能研究の概要の理解、を目的とし、実習形式をとる。

受講にあたっては、欠席を許さないで注意を要する。また、期末試験は行なわれないが十数回のレポート課題（プログラミングを含む）の提出が求められる。なお実習機材の関係で第1回目の講義に出席しないものは履修届を行なっても受講できないので注意されたい。

〔参考書〕 開講時に示す。

## 精神医学

柴田 出

現代の厳しい現実社会で生きている現代人は、多くのストレスにさらされ、心を病む人も少なくない。しかし、現実の組織や集団に所属するからといって、全ての人が心の病いにおかされるわけではない。このように考えると、個人を取り囲む組織の問題だけに帰すわけにはいかず、個人の自我の成熟度も大きく関わっていることがわかる。演者はこのような観点に立って、個人の心の発達



過程を臨床例にあげながら述べていきたい。

とくに、コドモからオトナへの移行過程の時期であり、コドモとオトナが共存している青年期を中心に述べていくつもりである。

〔参考書〕『こころ自己分析』（有斐閣）¥1,300

## 社会政策

光岡博美

社会政策とは資本主義社会で発生する労働問題を体制の枠内で解決しようとする諸施策やイデオロギーの総体を表わす言葉として使用されている。本年度の講義では、社会政策の発祥の地であるドイツの社会政策思想、及び、それを受容した戦前日本の社会政策について説明する。また後期においては、賃金や労働条件が労使の自主的な団体交渉によって決定されるような労働問題処理の制度的枠組が成立した戦後の時代を対象とし、戦後日本における労使関係の史的展開についての講義を行うこととする。

〔参考書〕 教場で指示する。

## 民法

青山尚史

生活の基礎であり根源をなす家族生活を規律した親族法は、最も身近な法律である。講義では、夫婦・親子・親族を中心としつつ、民法全般の基礎知識をも加えるつもりである。すなわち、民法総則の簡単な説明、ついで物権と債権につき必要最少限度の説明、そして親族法に大部分の時間を充て、最後に時限の残余状況により相続法の概要を体系的に説明しようと考えている。

〔教科書〕 教場で指示する。

## 労働法

佐藤時次郎

労働法の全般に亘り、特に基本的な事項を中心に解説を施す。この場合、最近の重要判例等を取り上げて新しい動向等の把握に遺憾なからしめたいと考える。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## 行政法

鶏徳啓登

現代国家は、一般に福祉国家又は文化国家といわれるようになり社会問題も多くなっている。そして、例えば指紋押捺問題のような社会問題では、必ずといってよい

ほど行政のあり方が問われるのである。このような問題を考える場合に、行政に関する法令はどんなものであり、行政はどのように行われるのか、ということを経理的側面から考えてみることも、社会問題を客観的に考慮できるようにするための1つの方法であると思われる。

その意味で、「行政法」とはどのような法律であるのかを知っておくことは、公務員をめざす学生ばかりでなく、一般の学生にも、今後増々要求されてくるようになるだろうと思われる。

〔教科書〕『行政法の話』（第一法規）¥1,800

〔参考書〕 教場で説明致します。

## 経済原論

浅野克巳

現実の経済問題を念頭におきながら、現代経済学の基礎理論をできるかぎり平易に解説してゆきたい。

### I ミクロ経済学の理論

1. 消費者行動の理論
2. 企業行動の理論
3. 価格決定

### II マクロ経済学の理論

1. 経済循環と国民所得の概念
2. 国民所得の決定
3. 経済の変動と成長

### III 現代経済学の課題と方向

### IV 経済学の生成過程

〔教科書・参考書〕 最初の授業で説明します。

## 青少年問題研究

和田謙寿

校内暴力や家庭内暴力・いじめ、薬物乱用など、年々少年の不良化や犯罪が増加していることは誠になげかわしい次第である。国家や地方公共団体はこれに対応して万全の策をつくしているが、焼石に水の現状である。この種の問題は理論だけで済ませられるものではなく、実際の面からの考察が必要である。今年は特に中学校および高等学校の教師をめざす者、ならびに青少年指導者を志す人々を対象として、その理論と現実との両者をもつめて考察する事にする。更に生活指導教諭を希望する者は、青少年問題研究室の研修生として入室されるのも一方法として考えられるので、その旨を授業のはじめに申し込まれる事を希望する。

〔教科書〕 和田謙寿著『少年補導の研究』（全防連）¥1,200



# 他学部履修科目

(全学部・短大共通)

※ 他学部科目の講義内容が掲載されているが，受講できる科目は各学部・短大によって異なっている。(履修についての詳細は，「他学部科目の履修方法」を参照すること。)

# 目 次

禅学特講 I (原田 弘道) .....	1	ソビエト経済論 (山縣 弘志) .....	6
禅学特講 II (黒丸 寛之) .....	1	社会政策 (光岡 博美) .....	6
禅学特講 III (石井 修道) .....	1	国民所得論 (吉野 紀) .....	7
禅学特講 IV (鈴木 格禅) .....	1	中国経済論 (小杉 修二) .....	7
禅学思想史 (峰岸 孝哉) .....	1	アジア経済論 (小林 英夫) .....	7
哲学史 (中村 友太郎) .....	1	日本経済史 (古庄 正) .....	7
印度仏教史 (松本 史朗) .....	1	中小企業論 (三井 逸友) .....	7
中国仏教史 (佐藤 達玄) .....	2	財務会計論 (遠藤 孝) .....	7
日本仏教史 (山内 舜雄) .....	2	管理会計論 (中原 章吉) .....	8
日用經典 (櫻井 秀雄) .....	2	会計監査論 (飯岡 透) .....	8
仏教美術 (林 良一) .....	2	商業政策 (岩下 弘) .....	8
現代哲学概説 (山下 太郎) .....	2	貿易論 (古沢 紘造) .....	8
上代文学 (小野 寛) .....	2	マーケティング (曾我 信孝) .....	8
中世文学 (水原 一) .....	2	原価計算論 (加藤 利安) .....	8
近世文学 (渡辺 守邦) .....	2	労務管理論 (石井 脩二) .....	9
近代文学 (片岡 懋) .....	3	行政法 II (斉藤 寿) .....	9
中国文学 (中村 璋八) .....	3	民法 IV (1) (青山 尚史) .....	9
英文学特講 I (英文学16・17c.) (石原 孝哉) .....	3	民法 IV (2) (青山 尚史) .....	9
英文学特講 II (英文学18c.) (小林 亨) .....	3	比較憲法 (竹花 光範) .....	9
英文学特講 III (詩 19・20c.) (河崎 征俊) .....	3	地方自治法 (梅木 崇) .....	9
英文学特講 IV (小説 I 19c.) (中岡 洋) .....	3	経 済 法 (江上 勲) .....	10
英文学特講 V (小説 II 20c.) (飯島 淳秀) .....	3	国際関係論 (首藤 素子) .....	10
英文学特講 VI (批評 19・20c.) (丸小 哲雄) .....	3	西洋政治史 (浦田 早苗) .....	10
英米演劇特講 (落合 和昭) .....	4	宣伝広告論 (上條 末夫) .....	10
米文学特講 I (詩) (東 雄一郎) .....	4	比較社会構造論 (江上 勲) .....	10
米文学特講 III (小説 II) (山縣 敏夫) .....	4	経営学史 (北村 健之助) .....	10
時事英語 (大沢 一雄) .....	4	国際経営論 (武田 康) .....	10
地 質 学 (小池 一之) .....	4	経営統計 (後藤 儀一郎) .....	11
気 候 学 (前期) (中村 和郎) (後期) (小川 肇) .....	4	保険経営論 (石名坂 邦昭) .....	11
人口地理学 (上谷 敏治) .....	4	財務会計論 (久松 治夫) .....	11
応用地理学 I (高木 正博) .....	4	経営分析論 (片桐 伸夫) .....	11
都市地理学 (今朝洞 重美) .....	5	税務会計論 (高木 克己) .....	11
文化地理学 (荻口 善美) .....	5	国際経済論 (永田 智則) .....	11
日本仏教史 II (廣瀬 良弘) .....	5	商 業 史 (山田 勝) .....	11
日本史特講 VII (近代) (山口 一之) .....	5	国文講読 I (上代) (佐原 作美) .....	11
東洋史特講 X (近・現代) (渡辺 惇) .....	5	国文講読 II (中古) (鈴木 儀一) .....	12
西洋文化史 I (椋川 一期) .....	5	国文講読 III (中世) (岡崎 正) .....	12
考古学特講 III (飯島 武次) .....	5	国文講読 IV (近世) (清田 啓子) .....	12
歴史哲学 (山下 太郎) .....	5	国文講読 V (近・現代) (大室 英爾) .....	12
哲学史 (川戸 好武) .....	5	国文講読 V (近・現代) (田澤 英藏) .....	12
日本民俗学 (渡邊 欣雄) .....	6	国文特講 V (近・現代) (石割 透) .....	12
マスコミュニケーション (川本 勝) .....	6	英文タイプライティング II (竹内 美恵子) .....	12
産業社会学 (安藤 喜久雄) .....	6	時事英語 (岡本 誠) .....	12
都市社会学 (文屋 俊子) .....	6	計算機言語概論 (杉田 徹) .....	12
社会福祉発達史 (林 千代) .....	6	臨床放射線特講 I (本間 襄) .....	13
		応用計測学 (小林 久夫) .....	13

# 他学部履修科目

## 禅学特講Ⅰ

原田弘道

### 禅宗と公案

公案は禅宗における經典観と深いかわりをもつ。そこで公案の成立とその歴史的展開を通し、その意義と機能について考察する。

(1)公案の起源と歴史、看話禅の成立 (2)曹洞宗と公案 (3)公案の諸相、公案の意義と機能。以上の順序で講義を進める。

## 禅学特講Ⅱ

黒丸寛之

道元禅師の主著『正法眼蔵』を『永平広録』その他の著述との関連によって講読する。この講座では、必修科目としての『正法眼蔵』の講義内容とは異なり、出来るだけ多くの諸巻について、それぞれの撰述意義を学ぶことを目的とするので、1年間に20巻前後の解説を予定している。

## 禅学特講Ⅲ

石井修道

洪州宗(馬祖禅)と荷沢宗の違いを学ぶために、『斐休拾遺問』(『禅学研究』60号所収)を読む。圭峰宗密の禅の分類がもつ意味とその限界について考え、洪州宗の実態を探り、その後五家の最初に成立した沩仰宗について『祖堂集』を中心に学びたい。

〔教科書〕 プリントを使用する。

〔参考書〕 鎌田茂雄著『禅源諸詮集都序』(筑摩書房) ¥3,800

## 禅学特講Ⅳ

鈴木格禅

### 『見聞宝永記』講読

本書は通常『損翁老人見聞宝永記』と呼ばれる。損翁老人とは、仙台の泰心院に住した損翁宗益(1649~1708)のことである。損翁は面山瑞方(1683~1769)の師であ

り、面山の宗教的人格形成に頗る影響を与えた古聖である。面山が損翁に随侍したのは約二年間程にすぎないが、その間における損翁の法益を集録したのが本書である。従って本書は、損翁における面山の「随聞記」といってよく、内容は多岐にわたるが、その根底には、現代にもなお光輝を放つ洞門の宗教的志操が一貫して流れている。

本学年度は、前年度にひきつづき本書を講読し、学道の資助としたい。

〔教科書〕 『続曹洞全書(法語・歌頌)』p. 411~p. 445までをコピーすること。

## 禅学思想史

峰岸孝哉

禅学思想史の範囲はもとより広く考えられるが、本年は日本禅、とりわけ永平道元(1200~53)の流れを汲む曹洞教団の展開に注目し、そこにみられる教学・思想の歴史的な性格を跡付けてみたい。

〔教科書〕 『道元禅の歴史』〔講座道元Ⅱ〕(春秋社)

〔参考書〕 鈴木泰山『禅宗の地方発展』(吉川弘文館)

## 哲学史

中村友太郎

西洋の思想と文化は、ヘレニズムとヘブライズム、ギリシア哲学と聖書の信仰の結合の上に形成されてきた。ここではとくにキリスト教的な中世哲学の形成とその展開をあとづけることを主眼としたい。それは、神・自然・人間をめぐる理性の立場と信仰の立場との対決・調和・抗争の思想史という様相を呈するであろう。なお前期には、その背景となるギリシア哲学史を簡単に展望することから始めたい。

〔教科書〕 教場で指示する。

〔参考書〕 その都度指示する。

## 印度仏教史

松本史朗

インド仏教史を教団史・思想史の観点から概説しさらに個々の思想的問題について考察する。

- 〔教科書〕 『仏教史概説』（平楽寺書店）  
 〔参考書〕 平田 彰『インド仏教史』（上・下）  
 （春秋社）  
 奈良康明『仏教史Ⅰ』（山川出版社）

## 中国仏教史

佐藤達玄

中國民衆の仏教受容と、固有思想との関係を概観した上で、隋代より唐宋代に至る間の儒仏道三教の交渉史を中心に考察したい。

- 〔教科書〕 『仏教史概説——中国篇』（平楽寺書店）

## 日本仏教史

山内舜雄

下記の教科書に依り、上古より中世を経て、鎌倉仏教までを概説する。特に鎌倉新宗の発生母胎になった、中世は中古天台本覚法門を詳説する。

- 〔教科書〕 宇井伯寿著『日本仏教概史』（岩波書店）  
 は絶版となっているが、古本もあり、必要箇所のみをコピーしてもよい。

## 日用経典

櫻井秀雄

曹洞宗常用経典・祖典の解題、および回向文と各種論などに表われる文意の解明を通して、実践宗学の実態を究明する。

- 〔教科書〕 櫻井秀雄『曹洞宗回向文講義』¥700  
 『続曹洞宗回向文講義』¥700

## 仏教美術

林 良一

インドにおける古代初期よりガンダーラ期の仏像成立にいたるまでの展開および仏教美術の図像学について講述する。寺院の遺跡や仏菩薩等の尊像を、現地撮影のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

- 〔教科書〕 林 良一著『ガンダーラ美術紀行』（時事通信社）¥2,200  
 〔参考書〕 林 良一『シルクロード』（時事通信社）

## 現代哲学概説

山下太郎

西洋現代哲学の代表の一つは実存哲学である。その流れを解説し、とくにキルケゴール、ニーチェ、ハイデガー、ヤスパースの思想を中心として講義し、実存哲学における新しい人生観および世界観、社会観を明らかにしかねて宗教とのかかわりをも問題にしたい。実存哲学の背景としての近代思想の流れをも辿る意味で、テキストは山下著『実存哲学への道』を使用し、それに沿って説明する。

- 〔教科書〕 山下太郎著『実存哲学への道』（公論社）  
 ¥2,500

## 上代文学

小野 寛

『万葉集』をよむ。これは古代の日本人の心をよむことであり、古代の歴史をよむことである。『万葉集』をよむに当って、一首一首、諸本の本文の異同をたずね、その訓みを明らかにし、上代語およびその独自の語法をしらべ、作者の心をさぐり、その作品の背景となる歴史・風土・民俗などについても詳細にしらべながらよんでゆく。

- 〔教科書〕 小野 寛校注『万葉集抄』（笠間書院）  
 〔参考書〕 金井清一・小野 寛編『年表資料 上代文学史』（笠間書院）

## 中世文学

水原 一

中世を代表する軍記物語の巨編『太平記』を近世流布の版本の形（影印本）で読み、解釈・考証を通して、題材となった歴史事件や時代思潮・人物造型など種々の問題を考察する。

- 〔教科書〕 水原・長谷川編『版本太平記抄』（桜楓社）¥1,900

## 近世文学

渡辺守邦

近世の小説を、『伊曾保物語』から始めて『梅暦』まで読む。数多くの作品に触れてみることにともな、近世小説史の流れをも追ってみたい。

## 近代文学

片岡 懋

近代文学作品に現われた家の問題について、いろいろな作家の作品を通して考えてゆく。

## 中国文学

中村 璋 八

中国の民族思想の中心的な陰陽五行説を集大成した五行大義を平易な解説をしながら、演習方式で読んで行く。この陰陽五行説は、儒教や道教など中国の文化の中で重要な位置を占めているだけでなく、日本にも夙に伝来し、奈良朝から江戸期に至るまでの陰陽道・仏教・神道・国文学・年間行事、民間信仰など多くの方面に大きな影響を及ぼし、現代においても暦・習俗の中に受け継がれている。そこで、国文学や日本史・東洋史を専攻する人々には欠かせない内容を含むものと思う。是非熟読されたい。

〔教科書〕 『五行大義校註』(汲古書院) ¥3,000

## 英文学特講 I (英文学16・17c.)

石原 孝 哉

ルネッサンス期の英文学について講じる。中世のたそがれから近世の夜明けへの過渡期の文学を、過去と未来の両方に開かれたものとしてとらえ、文化のさまざまな方面から論じる。意欲的な学生の受講を望む。

〔教科書〕 『シェクスピア喜劇とロマンスの発展』(三修社)

## 英文学特講 II (英文学18c.)

小 林 亨

18世紀の主要な散文作家5、6名を取り上げ、絢爛と花開いたイギリス近代小説の特質を考察する。講義だけでなく出来る限り作品に接することをこの講座の特徴としたい。

〔教科書〕 教室にて指示する。

## 英文学特講 III (詩19・20c.)

河 崎 征 俊

19世紀のロマン派詩人について講義します。作品については、時々コピーを渡します。

〔教科書〕 高野正夫著『感性の宴』(篠崎書林) ¥2,800

〔参考書〕 未 定。

## 英文学特講IV (小説 I 19c.)

中 岡 洋

イギリス小説の代表的傑作*Jane Eyre*や*Wuthering Heights*を残したBrontë sistersについて、彼女たちの文学史的位相を見定め、彼女たちの生涯と芸術について詳述する。

〔教科書〕 中岡 洋著『エミリー・ブロンテ論』(国文学)

## 英文学特講 V (小説 II 20c.)

飯 島 淳 秀

小説の問題を中心に現代英吉利文学の20世紀的諸相について講義をする予定。特定のテキストは用いない。参考文献はそのつど伝える。前期及び後期にそれぞれ課題レポート(即ち単位レポート)の提出が求められる。他に教場テストが行われるばあいもある。出席は重視される。

## 英文学特講 VI (批評19・20c.)

丸 小 哲 雄

なぜある文学テキストにこだわり、なぜそれが面白いのかという主観的現実から出発して、批評文学は「文学とは何か」、「批評とは何か」、「人間とは何か」と問い続けつつ、その現実生きるために書かれる。しかるに、文学の現実的な諸問題に対応するためのさまざまな文学理論と方法を総動員して、批評文学の「楽市楽座」をひらきます。批評史にみられる批評的原理(現象学、解釈学、ロシア・フォルマリスト、新批評、原型批評、受容理論、構造主義批評、ポスト構造主義批評、フェミニズム批評など)のそれぞれの視角と死角を検討して、文学テキストに肉迫したい。

〔教科書〕 “A Reader's Guide to Contemporary Literary Theory” by Raman Selden (The Harvester press, 1985)

〔参考書〕 適宜に指示します。

## 英米演劇特講

落合和昭

過去2年間にわたって、ギリシャ悲劇の時代から現代にいたるまでの劇場史を考察してきたが、今年度は、ギリシャ悲劇の時代から現代にいたるまでの思潮に重点をおいて講義を進める予定である。

また、講義用のテキストとしては図や写真が数多く入っているアメリカの大学生用のテキストを用いる。課題としては、英文のテキストを読んでもらい、レポートは一回に原稿用紙二枚程度のものを年間十回ほど提出してもらおう。

## 米文学特講 I (詩)

東 雄一郎

主として20世紀、現代のアメリカ詩を扱う。勿論、アメリカ詩の流れを考察する場合に不可欠な存在である詩人達、Edgar Allan Poe, Walt Whitman, Emily Dickinson 等も扱うことは言うまでもない。実際、個別の詩人の代表作品を味読、鑑賞しながら講義をすすめていく。また、Edward Taylor にみられる Metaphysical Poetry の特質に関しては、イギリスの John Donne の作品に触れることにもなる。清教徒主義の内向性と開拓者精神の外向性を常に遍在させ、American Renaissance, Realism, Chicago Renaissance, Harlem Renaissance を展開させて行くアメリカの精神風土との関連の上から、Modernism と Post-Modernism を代表する詩人の個々の作品にあたるつもりである。

〔教科書〕 新倉俊一著『英詩の構造』（駿河台出版社）

〔参考書〕 開講時に指示します。

## 米文学特講 III (小説II)

山 縣 敏 夫

アメリカにおける黒人文化の歴史的発展を考察し、現代黒人文学にいたるまでの社会的変遷と文学とのかゝりあいについて研究する。

〔教科書〕 開講後指示する。

## 時事英語

大 沢 一 雄

時事英語の研究をおこなう。時事英語とは大まかにいうと、新聞、テレビ、ラジオ等のmass mediaすなわちマスコミで用いられる英語である。

## 地 質 学

小 池 一 之

地質学の基礎を中心に講義を進め、後半は、地球科学全般にわたるトピックスを講義したい。内容は、(1)地球史、(2)岩石と地層、(3)海洋底、(4)古地磁気と大陸移動、(5)プレート・テクトニクスなどである。講義にはスライド・ビデオをまじえる予定である。

〔教科書〕 ホームズ著、上田ほか訳『一般地質学Ⅲ』（東大出版会）¥3,400

〔参考書〕 ホームズ著、上田ほか訳『一般地質学Ⅰ・Ⅱ』（東大出版会）各¥3,400  
貝塚ほか編『写真と図でみる地形学』（東大出版会）¥4,200

## 気 候 学

(前期) 中 村 和 郎  
(後期) 小 川 肇

世界と日本各地の気候現象を通して、気候学の基礎的諸概念を学ぶ。

夏休みの前にも試験を実施するので注意すること。

〔参考書〕 中村和郎・内嶋喜兵衛・木村竜治『日本の気候』（岩波書店）¥3,400  
松井 健・小川 肇『日本の気候』（平凡社）¥3,000

## 人 口 地 理 学

土 谷 敏 治

前半は、人口分布の研究に重点を置き、人口分布の特徴と統計的記述、都市内部の人口分布と人口移動、因子生態研究などについて講義を行なう。後半は、地域間人口移動の特色、人口移動とアクセシビリティ、人口移動モデルなどを中心に、都市システム研究の観点から講義を進める。

## 応用地理学 I

高 木 正 博

自然環境の変貌について、災害や各種の人為的な改変との関係からとらえる。また、河川の治水・利水に関する問題を、地理学と他の研究分野を関連させてのべる。

〔参考書〕 西村嘉勲編『応用地形学』（大明堂）  
大矢雅彦著『河川の開発と平野』（大明堂）



## 都市地理学

今朝洞 重美

都市の地理学的研究とは具体的にはどのようなものか、日本、外国にテーマをとり学習する。

〔参考書〕 山鹿誠次『都市地理学』（大明堂）

## 文化地理学

茭口 善美

本講義では、まず文化地理学の中心的課題、すなわち(1)文化、(2)文化領域、(3)文化景観、(4)文化史(誌)、(5)文化生態について概観する。さらに内・外の研究事例を紹介しながら、文化地理学的手法による地域分析について議論する。

## 日本仏教史Ⅱ

廣瀬 良弘

日本仏教史の流れを概観し、のちに中・近世にかけての仏教と当該期の社会・文化とのかかわりについて講述する。

〔参考書〕 参考史料は随時コピーして配布。

## 日本史特講Ⅶ(近代)

山口 一之

近代日本の対外問題をとりあげて講義するつもりである。

## 東洋史特講Ⅹ(近・現代)

渡辺 惇

近代中国民衆結社史：近代中国における民衆の動きを理解する一環として、秘密結社(会党、帮会)をとりあげ、その発生、発展、組織の特色、時代背景等について講義する。

〔教科書〕 特に定めない。

〔参考書〕 講義の中で紹介、指示する。

## 西洋文化史Ⅰ

椽川 一朗

西洋都市の歴史、とくにドイツ中世都市の歴史を、社会構造の面から考え、現代の都市問題の参考になるよう、講述する。

## 考古学特講Ⅲ

飯島 武次

周文化の考古学的研究について。

## 歴史哲学

山下 太郎

歴史哲学は、歴史研究における意義、方法、目的、原理等を探究するものであり、実証的な歴史学の基礎をさぐる学問である。本講義はおおむね次のテーマに従って行ない、歴史の認識および存在についての基本的理解をえさせることを意図する。

### 第1章 歴史認識の問題

(1)批判主義(カント) (2)新カント派(ヴィンデルバント) (3)生の哲学(ディルタイ) (4)実存哲学

### 第2章 歴史法則の問題

(1)終末論的史観(キリスト教) (2)進化論的史観(スペンサー) (3)弁証法的史観(ヘーゲル、マルクス) (4)実存主義史観(ヤスパース)

## 哲学史

川戸 好武

はじめに、古代ギリシャおよび中世の哲学の要点を簡単に述べた後で、ルネッサンス以後の近世哲学史を概説する。

〔教科書・参考書〕 授業の際に指示する。

## 日本民俗学

渡邊 欣雄

私の民俗学という視野から、民俗学を論じ民俗学の扱う題材について紹介する。本講義は決して日本民俗学の概論講義ではないから、注意を要する。対象とする文化は主として日本本土ではなく、沖縄・台湾・香港・マレーシア等の南方であり、題材は宴・風水・鬼魂観・社会関係に及ぶ。

〔教科書〕 とくに用いず。

〔参考書〕 渡邊欣雄著『沖縄の社会組織と世界観』（新泉社）¥8,000  
渡邊欣雄著『沖縄の祭礼』（第一書房）¥3,800

## マスコミュニケーション

川本 勝

マス・コミュニケーションの生産過程から受容過程にいたるまでの主要なメカニズムを、これまでのマスコミ研究の成果、理論を紹介しながら考察し、マス・コミュニケーションの特質、社会的機能、効果や影響などを検討する。

高度情報化社会といわれる現代、ニューメディアを含めて、マス・メディアが社会や人びとの社会生活とどのようなかわりをもっているか、社会学的に分析する。

〔参考書〕 竹内・児島編『現代マス・コミュニケーション論』（有斐閣）

川本 勝著『流行の社会心理』（勁草書房）¥2,300

## 産業社会学

安藤 喜久雄

産業社会学の生成、発展について概観するとともに、以下のような主要な領域について解説し、そこでの諸問題が人間にとってどのような意味をもっているか考えてみたい。

序. 産業社会学の生成、発展

1. 企業と経営組織
2. 職場の人間関係
3. 労働者の生活と意識
4. 労働組合
5. 労使関係
6. 産業と社会

〔教科書〕 本間康平 他著『産業社会学入門』（有斐閣新書）¥700

## 都市社会学

文屋 俊子

都市社会学の形成と展開、都市化、都市的生活様式、都市の社会構造についてとりあげる。とくに現代日本の大都市におけるひとびとの生活様式について、最近の研究をとりあげ、議論したい。

参考文献等は、授業の際に適宜紹介する。

## 社会福祉発達史

林 千代

いつの時代にも、人々の生活の不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕 今岡 他編『社会福祉事業発達史』（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕 随時紹介。

## ソビエト経済論

山縣 弘志

ソ連邦は第12次五カ年計画期に入っているが、社会主義経済の前途は平坦ではない。80年代の情勢とソ連経済70年の歴史は、我々に常に社会主義の原点に立ち帰り、科学的なアプローチを心懸けることを要求している。

〔教科書〕 講義の中で指示する。

## 社会政策

光岡 博美

社会政策とは資本主義社会で発生する労働問題を体制の枠内で解決しようとする諸施策やイデオロギーの総体を表わす言葉として使用されている。本年度の講義では、社会政策の発祥の地であるドイツの社会政策思想、及び、それを受容した戦前日本の社会政策について説明する。また後期においては、賃金や労働条件が労使の自主的な団体交渉によって決定されるような労働問題処理の制度的枠組が成立した戦後の時代を対象とし、戦後日本における労使関係の史的展開についての講義を行うこととする。

〔参考書〕 教場で指示する。

## 国民所得論

吉野 紀

本講は現代マクロ経済理論の内容を経験的検証と具体的な政策への応用とに言及しつつ体系的に解説することを目的とする。主たる関心の対象は家計・企業等の集計部門であり、政府や海外部門を取り込んだ国民経済全体である。これら諸部門の経済活動水準がどのように決定され、また相互に影響し合うのかを解き明かすことによって、生きた経済現象を變貌して止まない姿としてとらえることができれば目的の過半は達成できたといえる。相互的関連の全体像を描くためにはIS-LM分析が教育的効果を依然持ち続けているので、早い時期にこれを扱い、徐々にこの枠を崩しながら現実の日本経済への応用力を高めてゆきたい。

## 中国経済論

小杉修二

現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」等々話題にこと欠かない状況である。

本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## アジア経済論

小林英夫

今年度は、戦後の日本とアジアの経済関係に焦点をあてその歴史的推移を論ずる。Ⅰ. 賠償過程、Ⅱ. 借款過程、Ⅲ. 直接企業進出の三つの時期に時期区分してその過程を追う。参考書は、追って指示する。

## 日本経済史

古庄 正

日本経済史の研究対象は広範であるが、本年度は産業革命期の諸問題を中心に講義してみたい。

講義要綱

- (1) 産業革命の本質と類型
- (2) 帝国主義世界体制の確立と経済政策
- (3) 産業革命の展開とその特質

- (4) 産業構造と外国貿易
- (5) 地主制の確立
- (6) 労働者階級の成立と初期労働運動
- (7) 植民地圏の確保と帝国主義への転化
- (8) 天皇制国家の確立
- (9) 独占段階への移行

〔参考書〕 石井寛治『日本経済史』（東大出版会）  
¥1,900

## 中小企業論

三井逸友

「中小企業」とは「マイナー」なものだという、日本の学生諸君に蔓延している『俗論』とは裏腹に、今や各国は挙げて国際的「中小企業フィーバー」の直中にある。その意味するところは何なのか、そして中小企業群の現実の存在とその状態はどのような理論的・現実的枠組から解明をされるべきなのか。ここでは、「分業関係の発展」と「競争と支配・管理」の展開を手掛かりとして、中小企業と大企業セクターとの経済的關係、中小企業群の集積と結合、「集中」と「過剰」のメカニズム、さらにこれらに対する「中小企業政策」の意味を解いていくことを講義のねらいとする。講義の中では、内外の豊富な話題・実態を盛り込んで説明していくつもりである。

〔教科書〕 巽・佐藤編『新・中小企業論を学ぶ』

（有斐閣）〔近刊〕

車戸 實編『中小企業論』（八千代出版）  
¥3,200

〔参考書〕 中小企業庁編『中小企業白書』（各年次）

## 財務会計論

遠藤 孝

会計学は狭義には財務会計論を指す。いいかえれば財務会計論は狭義会計学であり、会計学原理であるわけである。

一般に財務会計とは、企業活動—企業情報を、株主、債権者、労働組合など企業をとりまく利害関係者に報告・伝達する役割をはたす会計といわれている。この情報伝達の手段となるものが貸借対照表、損益計算書などの財務諸表であり、したがって財務会計論は財務諸表論としての性格をもっている。

いうまでもなく企業は社会的に重要な役割をはたしており、利害関係者も増大していて、社会性を高めている。したがってこれら企業の活動（情報）を伝達する財務会計についても、商法、税法、「企業会計原則」など種々の規制が加えられている。そしてこの社会的規制の内容によって財務会計の内容、性格は大きく変ることとなる。この講義では、財務会計とは何か（その社会的意味・

役割),これを規制する企業会計制度の構造,役割,各国会計制度との比較,会計計算の構造,貸借対照表,損益計算書,連結財務諸表などの財務諸表の性格,内容,またとくに商法改正動向などについて講義する。

参考書などは講義の最初の時間に発表する。

なお,本講義は他学部,他学科に公開しており,経済学部の他,とくに経営学部,法学部の商法専攻者の履修を期待している。

## 管 理 会 計 論

中 原 章 吉

会計学とは何かという考察の上で管理会計が財務会計との関連のうえでどのように位置づけられるのか。そして,管理会計とはどのような基礎のうえに成立しているものなのかを検討することから始めて,管理会計の内容に入っていく。とくにこの講義では企業における財務諸表分析と付加価値会計を内容としてとりあげていく。OAやメカトロニクスそして産業用ロボットによって第2の産業革命がさげばれているわが国の企業経営の中で,会計は,そして付加価値会計はどのように対応していくのか。また,欧米など諸外国の企業経営の中での会計の現状や歴史と,わが国との関連も考慮に入れて講義を展開していきたい。

〔教科書〕 中原章吉著『企業付加価値会計論』〔改訂版〕(中央経済社) ¥3,000

〔参考書〕 学年始めに指示する。

## 会 計 監 査 論

飯 岡 透

財務諸表監査の目的は,企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて監査人が意見を表明することであり,企業規模の拡大及び企業活動の複雑化に伴い,近年その役割はますます重要になっている。

本講義では,わが国をはじめ,英・米・西独の監査制度,監査役と会計監査人,監査証拠,個別財務諸表・連結財務諸表・中間財務諸表の監査手続,監査報告書などについて教授する。

さらに,時間が許せば,営業報告書,後発事象,粉飾決算,簡易監査などにも言及したい。

〔教科書〕 飯岡透著『株式会社会計監査論』(創成社) ¥2,900

〔参考書〕 飯岡透編『会計監査基本規則集』(創成社) ¥800

## 商 業 政 策

岩 下 弘

流通産業に対する公共政策について講義する。

〔教科書〕 久保村隆祐・吉村 寿編著『現代の流通政策』(千倉書房) ¥2,800

〔参考書〕 その都度指示する。

## 貿 易 論

古 沢 紘 造

日本の穀物自給率は33%で先進工業国中最低ですが,日本の工業品の輸出攻勢に起因する対米貿易の不均衡を是正するという理由で農産物のさらなる輸入を要求されています。一方東南アジアなどの発展途上国からは,日本は一次産品を主に輸入するだけで工業品を買ってこないという不満の声が高まっています。本講義ではこうした現代の日本の貿易問題,対外経済関係について取り上げ,日本と世界(欧米,第三世界)の経済的かかわりを深く掘り下げて考えてみることにしたいと思います。

〔参考書〕 授業の進度に合わせて,そのつど紹介したいと思います。

## マ ー ケ テ ィ ン グ

曾 我 信 孝

現代社会の矛盾点をマーケティングの側面から分析する。その展開は,1つめに矛盾点を明確にするための分析をする。2つめにその矛盾点がマーケティングとどう関連しているかを検討する。3つめにマーケティング政策が社会的にどのような影響を及ぼしているか,批判的な側面から考察する。4つめに勤労の消費がどのように収奪されているかを明確にする。

「矛盾点」は一応分配の不均衡に置いている。したがって,独占産業資本のみならず,独占商業資本の消費者支配のメカニズムも分析対象にする。

〔参考書〕 講義中に適宜紹介する。

## 原 価 計 算 論

加 藤 利 安

原価計算は企業会計の一領域を形成している。昨年度に続き本年度も,我が国の『原価計算基準』(原価計算制度)の内容を中心にして,原価計算の目的,役割,機能について講義するつもりである。またその際に,原価計算の発達や展開についてもできるだけふれることとす

る。試験は、中間と期末の2回行う予定である。講義はノートと以下の教科書、参考書を使用して行う。

〔教科書〕 津曲直躬著『原価計算論講義』（中央経済社）

〔参考書〕 諸井勝之助著『原価計算講義』（東大出版会）

## 労務管理論

石井 脩 二

周知のように近年の日本企業をとりまく経営環境は、つとにその複雑さをまし、とりわけ国際化や情報化・ソフト化と称される経済基調や体質の転換のなかでその生き残り戦略が真剣に模索されている。この講義では、重大な経営環境の変化のなかで生き残り戦略の要となる「人事・労務管理」の新たな展開方向を検討するつもりである。特に、日本企業の海外進出が活発化するなかで従来日本企業の競争力の源泉をなしているといわれてきたいわゆる「日本的経営」がどの程度の通用性をもちうるのか、また国内ではサービス経済化の波のなかでいかなる人事・労務管理が必要とされているのか、といった現在の諸問題を検討する。

〔教科書〕 未定。

〔参考書〕 島袋編著『労務管理』（中央経済社）  
¥2,300

## 行政法Ⅱ

斉藤 寿

行政法の各論として、各種の行政法領域ごとに、関係法令を類型化し、解釈学的にとらえるとともに、判例や事例研究を通して、行政法令の現実的機能にふれつつ、興味深い講義を続け、楽しく研究します。

主な内容としては、(1)行政組織法、(2)公務員法、(3)公物法・営造物法、(4)警察法、(5)統制法、(6)公企業法、(7)公用負担法、(8)財政法、などについて、学んでいきます。

そして、時間的に可能であれば、生活空間（環境）形成行政法などにも、およぶ予定です。これらの講義は、一年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

〔教科書〕 『現代行政法論』（勁草書房）、『行政法Ⅰ・Ⅱ』（評論社）など、拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

## 民法Ⅳ(1)

青山尚史

生活の基礎であり根源をなす家族生活を規律した親族法は、最も身近な法律である。講義では、夫婦・親子・親族を中心としつつ、民法全般の基礎知識をも加えるつもりである。すなわち、民法総則の簡単な説明、ついで物権と債権につき必要最少限度の説明、そして親族法に大部分の時間を充て、最後に時限の残余状況により相続法の概要を体系的に説明しようと考えている。

〔教科書〕 教場にて指示する。

## 民法Ⅳ(2)

青山尚史

民法Ⅳ-②は、相続法（民法典第5編882条～1044条）である。親族法が人間生活の基礎であり根源をなすところの種族保存の生活関係を直接規律する純粋身分法を中心とするのに対して、相続法は親族生活の裏づけをなす身分財産法が中心となる。民法第5編は、大別すると、相続法と遺言法そしてこの両者の調節機能を果たしている遺留分法とから成り立っている。

〔教科書〕 教場にて指示する。

## 比較憲法

竹花光範

本年度も、昨年度と同様、次の順序で講義を行う予定である。

1. 比較憲法学とは
2. 憲法概念と分類
3. 国体と元首（共和制と君主制、元首、国のシンボル等）
4. 統治の原理と構造（民主政治の基本原則、議院内閣制と大統領制、一院制と二院制、社会主義国における議会制度等）

〔教科書・参考書〕 講義の中で述べる。

## 地方自治法

梅木 崇

憲法および行政法との関連を重視しながら、地方自治法における主要な制度を解説する。また、地方自治の運営について、行政の実態と裁判所の判例をとりあげ、その理解を深める。本講の目的は、地方自治法そのものを理解させることよりも、地方自治行政という行政の具体化過程を通じて、わが国における行政権の行使に関する

基礎的なものの考えかたを学ぶとともに、統治の機構について、比較的詳細に考察する点にある。その際、諸種の公務員試験の問題についても説明するよう努める。  
〔教科書・参考書〕 開講にあたって指示する。

## 経済法

江上 勲

資本主義が高度化した段階の国民経済では、極度に多様化・分業化した機能を持つ経済主体間の調和は、古典的自由放任主義の経済政策によっては自動的に達成しがたくなる。経済法は、このような経済社会のなかで基本的に市場経済を維持しながら経済の流れに必要なに応じて国家が介入して全体の調和的発展をはかるための諸種の法から成る。本講座は、かかる経済法の中核をなす独占禁止法の意義を明らかにしたのち、その概要を説明する。講義に当っては基本的事項の理解に努める。

〔教科書〕 江上 勲『経済法・独占禁止法概論』  
(税務経理協会) ¥3,000

## 国際関係論

首藤 素子

最初に、20世紀になってから欧米諸国で関心の高まってきた国際関係研究の主要な研究史を概説する。

以後第1に、1950年代以降現在までの国際関係における行動主体の多様化についてできる限り具体的に現状分析をする。第2に、戦後日本の対外関係について、日米経済摩擦、東南アジア諸国に対する援助の2点を中心に、これもできる限り新しい資料をふまえながら問題の所在を理解できるようにしたい。第3に、現代の国際関係における紛争の問題について、とくに南北問題及び第3世界諸国における紛争と軍事化の構造をとりあげ、暴力と平和の問題に対する関心を深めるようにしたい。

〔教科書〕 細谷千博・白井久和編『国際政治の世界』〔増補改訂版〕(有信堂) ¥2,800

## 西洋政治史

浦田 早苗

「西欧の近代化はいかにしてなされたのか」という視点から18～20世紀初頭にかけてのイギリス、フランスを中心に考察する。イギリス議会政治の発展、変貌過程、フランス市民政治の成立、変遷過程は特に関心をもってながめていきたい。

〔教科書・参考書〕 開講後、追って指示する。

## 宣伝広告論

上 條 末 夫

政治宣伝と政治的コミュニケーションの問題を主として取り上げる。政治宣伝の理論、歴史、そして実際について、具体例によって説明する。現代は宣伝の時代ともいわれ、政治も宣伝やコミュニケーションがきわめて重要な役割をもっている。主権者としての国民は、これにどう対応していくべきか、あるいは社会人として、社会および個人の関係をどう調整していくべきか、という問題を解明していきたい。

〔参考書〕 その都度指示する。

## 比較社会構造論

江 上 勲

社会構造の概念は多様であるが、本講座は国民社会を構成する経済主体が機能的分業関係を持ちながらその間に発生する階級・階層関係のパターンであるとこれを理解し、第一部においては、資本主義機構のなかで新中間階級としてのホワイトカラーの発達が資本主義の安定化をもたらしていることを国際的・統計的に解明する。第二部においては、わが国の戦前の階級対立の発生原因と実情を回顧し、これと対比して戦後の民主化政策による階級対立の緩和と中間層意識の普及を実証的に明らかにする。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## 経営学史

北 村 健之助

ドイツ経営経済学(前史、成立、1・2・3次方法論争、現代の経営経済学)およびアメリカ経営学(成行管理、科学的管理法、管理過程論、行動科学的展開)等々の発展過程を現代経営学を軸に探り、経営学の基本問題に迫ることができればと思います。テキスト、参考書は一応下記に示しましたが、必要があればその都度他の参考書をもお薦めする積りです。

〔教科書〕 藤芳誠一『図説 経営学』(学文社)

## 国際経営論

武 田 康

国内経営と国際経営の相違に焦点をおき、直接投資に関する諸問題の理論的側面を探究するとともに、日米両国の多国籍化の類型を歴史的視点から比較し、総合商社をはじめ、日本型国際経営の特質の解明を内容とする講

義とする。

〔教科書〕 武田 康『国際経営の基礎的諸問題』  
(白桃書房) ¥2,900

## 経営統計

後藤 儀一郎

統計学、特に推測統計学の知識は経営学あるいは経済学の分野においても広く用いられている。統計学はもはや資料の収集とそれを表や図で表わすだけのものでない。不確実性と危険を含むあらゆる状況を理論的かつ組織的な方法で考察する。推測統計学の理論を学びながらそれらが実際においてどのように応用(例えば統計的品質管理、実験計画、線形計画等)されるかを、学習する。

〔参考書〕 吉野・後藤『現代統計解析』(芦書房)  
¥2,700

## 保険経営論

石名坂 邦昭

今日、日本経済は世界的な景気の停滞と貿易摩擦の激化から輸出の減少傾向となり、一方国内の個人消費、住宅投資、設備投資が伸び悩むなど景気回復に暗い材料が多い。こうした中において高齢化問題など企業が克服しなければならないリスクが山積されている。そこで本講義においてははかに各企業が企業危険に対処したらよいかといった観点から、リスク・マネジメントおよび保険を科学的にかつ実際の問題を取りあげながら行う。

〔教科書〕 石名坂邦昭『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房) ¥2,500

## 財務会計論

久松 治夫

わが国の財務会計を規制する三つの基本規定—「企業会計原則」「財務諸表規則」「商法計算書類規則」を相互に関連づけて、その基本原理と構造について講義を進める予定である。

〔教科書〕 山形休司著『財務会計総論』(中央経済社) ¥2,200

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 経営分析論

片桐 伸夫

経営分析の方法を大略、以下の要領で講義する予定ですが、特に伝統的、基本的方法である収益性、流動性の

分析にポイントを置きます。

1. 収益性分析
2. 流動性分析
3. 生産性分析
4. 成長性分析

〔教科書〕 開講の時指示します。

## 税務会計論

高木 克己

我々が社会生活を送って行く上で、一生逃れることが出来ないものに税の問題がある。その中で特に重要な位置を占めている法人税法を中心に講義を行う。法人税法の中心課題である課税所得計算の構造を明らかにし、企業会計と税務会計の考え方や処理の違いを、広範な事例を解説しながら講義を進めて行くが、随時、我々個人の日常的な問題である所得税法についてもふれていくことにする。なお、テキスト、参考書は開講時に指示する。

## 国際経済論

永田 智則

個々の経済主体が国境を越えておこなう経済活動は、国際経済における固有の相互依存と相互対立を生みだし、さまざまな国際経済現象をひきおこす。本講義ではこれら国際経済現象の解明の手がかりの修得を目的として、国際経済の基礎理論を簡潔かつ平明に提示する。

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 商業史

山田 勝

現代商業の生成過程を、貿易を中心に講義する。特に商人(社)を中心にすえ、現代商業との関連に留意しつつ行う。対象とする時代は欧米については16世紀以降、日本については19世紀中葉以降とする予定である。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## 国文講読 I (上代)

佐原 作美

『万葉集』を対象として講読を行なう。

〔教科書〕 土橋 寛編『作者別 万葉集』(桜楓社)  
¥1,600

## 国文講読Ⅱ(中古)

鈴木 儀一

『清少納言枕草子』を読む。平面的解釈にとどまらずに、時代・社会の背景をも講述し、生き生きとした人間像をさがし求めて見たい。

〔教科書〕 田中重太郎『校注・枕草子』(笠間書院)  
¥1,300

〔参考書〕 適宜指示する。

## 国文講読Ⅲ(中世)

岡崎 正

世阿弥は能の大成者としてだけでなく、すぐれた演劇論芸術論の確立に貢献した人として最近高い評価を得ている。『風姿花伝』を通して、その芸術論に接してみたい。

〔教科書〕 『風姿花伝』(岩波文庫)

## 国文講読Ⅳ(近世)

清田 啓子

江戸が上方の影響から脱して独自の文芸をもち始めてからの作品で、最も江戸的(都会的)と目される黄表紙を読んでみようと思う。山東京伝を中心に、恋川春町・朋誠堂喜三三などもとりあげる予定。

〔教科書〕 延広・山本『山東京伝』(桜楓社)  
¥2,000

## 国文講読Ⅴ(近・現代)

大室 英爾

近代詩のなかから主に透谷、藤村、独歩、晚翠、泣菫、有明らの作品を取りあげる。作品を丹念に読み、詩史上の流れや傾向を検討しつつ鑑賞を深めたい。

〔教科書〕 各種文庫及びプリントを使用。授業開始時に指示。

## 国文講読Ⅴ(近・現代)

田澤 英藏

近代詩の代表的作品を読む。近代詩の種々相に触れ、その流れを捉えることを意図する。

〔教科書〕 授業開始の時に指示する。

## 国文特講Ⅴ(近・現代)

石割 透

互いに深い関わりがあった谷崎潤一郎と芥川龍之介の小説の世界を検討していきたい。特にこの時間では、2人の初期・中期あたりまでの作品を扱かうことになろう。

〔教科書〕 『刺青・少年』(新潮文庫)  
『芥川龍之介全集1・2』(ちくま文庫)

## 英文タイプライティングⅡ

竹内 美恵子

一年次に習得した基礎の上に、レター・各文書を中心に実務的な内容を学んでいきます。プリントしたものを課題とし、一定の時間内に文書等の処理ができるように授業を進めていきます。なお、テキストは一年次に使用したものを用意して下さい。

## 時事英語

岡本 誠

その日の朝の英語ニュースを聞く。受講者はこれを機会に世の中の政治経済の動きにも関心をもつことが肝要。また当日は耳をよく掃除してくること。

〔教科書〕 テープ使用。

## 計算機言語概論

杉田 徹

高度情報化社会と呼ばれる二十一世紀の基盤技術のひとつにコンピュータが上げられる。その利用はあらゆる分野で急速に進められている。特に通信分野、医療関係の検査診断機器には、顕著なものがある。将来、診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基本知識は必要不可欠なものである。この講義ではパーソナルコンピュータの高級言語であるBASICを中心に、アルゴリズムの発想の習得とその活用を目標に授業を進める。講義は次のテーマで行なう。

1. コンピュータ言語の基本理論
2. BASIC言語
3. パーソナルコンピュータ(PC-9801)による実習

〔教科書〕 戸川隼人著『PC-9801 BASIC』  
(サイエンス社) ¥2,200



## 臨床放射線特論 I

本 間 襄

診療放射線技師として、わきまえてほしい外来医学用語、技術用語について講義する。

〔教科書〕 特に定めず。

## 応用計測学

小 林 久 夫

RIイメージング機器（シンチスキャナ，ガンマカメラ，ポジトロンカメラ），X線CT装置，MRI装置，超音波診断装置等核医学を中心とした医療機器のハードウェアについて概説する。

〔参考書〕 岩井喜典編『CTスキャナ』（コロナ社）  
竹中・長谷川『医用電子診断の基礎』（オーム社）  
小林利次『超音波診断の原理と演習』（金芳堂）



## 教職および資格講座

教 職 課 程

学校図書館司書教諭講座

博物館学講座

社会福祉主事講座  
社会福祉士基礎

社会教育主事講座

※ 上記の教職および資格講座授業科目の講義内容が掲載されているが、各学部において受講できる課程および講座は以下のとおりである。(履修についての詳細は、「教職課程・資格講座の履修要項」を参照すること。)

課 程 ・ 講 座 名	資 格 取 得 学 部
教 職 課 程	全 学 部
学校図書館司書教諭講座	全 学 部
博物館学講座	仏教学部・文学部
社会福祉主事講座 社会福祉士基礎	全 学 部
社会教育主事講座	全 学 部 (62年度より仏教学部も適用)



# 目 次

教育原理(磯野 昌蔵)……………	1	経済原論(小野 俊夫)……………	7
教育原理(上岡 安彦)……………	1	政治学原論(福岡 政行)……………	7
教育原理(北村 三子)……………	1	民法 I(山本 豊)……………	7
教育原理(坂本 信昭)……………	1	哲学特講 I(東洋)(篠原 壽雄)……………	7
教育原理(村山 輝吉)……………	1	哲学特講 II(西洋)(國嶋 一則)……………	8
青年心理学(大浜 幾久子)……………	1	宗教学特講 I(松田 文雄)……………	8
青年心理学(岸本 弘)……………	1	宗教学特講 II(脇本 平也)……………	8
青年心理学(牟田 悦子)……………	1	宗教学特講 III(洗 建)……………	8
青年心理学(渡辺 三和子)……………	2	教育史(磯野 昌蔵)……………	8
教育心理学(大浜 幾久子)……………	2	宗教教育(櫻井 秀雄)……………	8
教育心理学(改田 明子)……………	2	教育関係法規(荒牧 重人)……………	8
教育心理学(国眼 真理子)……………	2	教育法規研究(浪本 勝年)……………	8
教育心理学(中村 均)……………	2	教育評価(大浜 幾久子)……………	9
教育心理学(渡辺 三和子)……………	2	生活指導(秋山 達子)……………	9
道德教育の研究(上岡 安彦)……………	2	教育哲学(汐見 稔幸)……………	9
教育実習(上岡 安彦)……………	2	教育調査(鈴木 規夫)……………	9
教育実習(北村 三子)……………	3	現代社会の諸問題と教育(熊谷 一乗)……………	9
教育実習(坂本 信昭)……………	3	教育情報学(難波 和明)……………	9
教育実習(村山 輝吉)……………	3	図書館学 I(山崎 慶子)……………	9
国語科教育法(神谷 道倫)……………	3	図書館学 II(源 昌久)……………	10
書道科教育法(谷村 義雄)……………	3	博物館学 I(倉田 芳郎)……………	10
宗教科教育法(松本 皓一)……………	3	博物館学 II(堀越 正行)……………	10
英語科教育法(大沢 一雄)……………	3	博物館実習 I(館務)(倉田 芳郎・ 太田 喜美子)……………	10
社会科教育法(地理)(川合 元彦)……………	4	博物館実習 II(収集)(倉田 芳郎・所 理喜夫・ 葉貫 磨哉・太田 喜美子)……………	10
社会科教育法(地理)(中島 義一)……………	4	博物館実習 III(見学)(倉田 芳郎・ 太田 喜美子)……………	10
社会科教育法(歴史)(野呂 尚生)……………	4	視聴覚教育(赤堀 正直)……………	10
社会科教育法(長谷部 八朗)……………	4	日本文化史 II(有元 修一)……………	11
社会科教育法(谷敷 正光)……………	4	西洋文化史 I(椽川 一朗)……………	11
社会科教育法(大久保 治男)……………	4	西洋文化史 II(三小田 敏雄)……………	11
社会科教育法(橋爪 敏)……………	5	仏教美術(林 良一)……………	11
職業科教育法(谷敷 正光)……………	5	現代美術(宮崎 克己)……………	11
商業科教育法(谷敷 正光)……………	5	禅美術(海老根 聰郎)……………	11
商業実習(前田 幸一)……………	6	美術史概説(林 良一)……………	11
職業指導(山田 勇治)……………	6	西域美術史(林 良一)……………	11
産業概説(前田 幸一)……………	6	考古学概説 I(日本)(倉田 芳郎)……………	11
世界史概説(中村 道雄)……………	6	考古学概説 II(外国)(飯島 武次)……………	12
世界史概説(渡辺 惇)……………	6	考古学特講 I(高浜 秀)……………	12
日本史概説(芥川 龍男)……………	6	考古学特講 III(飯島 武次)……………	12
日本史概説(波田野 富信)……………	6	日本民俗学(渡邊 欣雄)……………	12
地誌学概説(今朝洞 重美)……………	6	仏教民俗学(和田 謙寿)……………	12
地誌学概説(長野 寛)……………	6	宗教人類学(佐々木 宏幹)……………	12
地誌学概説(諏訪 哲郎)……………	7	考古発掘実習(寺社下 博)……………	12
自然地理学概説(早船 元峰)……………	7		
人文地理学概説(小林 高寿)……………	7		
社会学原論(渡辺 源樹)……………	7		

社会福祉原論 (伊藤 秀一) .....	12
障害者福祉論 (原田 信一) .....	13
社会福祉援助技術現場実習 (児童福祉施設・機関等) (高橋 重宏) .....	13
社会福祉援助技術現場実習 (老人福祉施設・機関等) (東條 光雅) .....	13
社会福祉援助技術現場実習 (障害児(者)施設・機関等) (伊藤 秀一) .....	13
法 学 (福祉) (小林 弘人) .....	13
公的扶助論 (伊藤 秀一) .....	13
児童福祉論 (高橋 重宏) .....	13
老人福祉論 (東條 光雅) .....	14
社会保障論 (近藤 功) .....	14
地域福祉論 (永田 幹夫) .....	14
社会学 (福祉) (星野 貞一郎) .....	14
心理学 (福祉) (井上 孝代) .....	14
社会教育の基礎 (社会教育概論) (磯野 昌蔵) .....	14
社会教育計画 (村山 輝吉) .....	14
社会教育行政 (長澤 成次) .....	15
教育社会学 (熊谷 一乗) .....	15
社会心理学 (坪井 健) .....	15
社会教育施設 (村山 輝吉) .....	15
児童文化 (富田 博之) .....	15
青少年問題研究 (和田 謙寿) .....	15
青少年指導演習 (和田 謙寿) .....	16
社会教育実習 (上岡 安彦) .....	16
成人学習論 (長澤 成次) .....	16
婦人問題と社会教育 (西村 由美子) .....	16
企業内教育・職業訓練 (塩川 正人) .....	16
社会体育 I (古田 潤子) .....	16
社会体育 II (古田 潤子) .....	17

## 教育原理

磯野昌蔵

教育とは何か  
中等教育の歴史と問題  
学校教育の役割

## 12. 学びへの出発

- 〔教科書〕 田村皖司他『きょういく』ビジュアルノート（エイデル研究所）¥1,800  
〔参考書〕 教師養成研究会『教育原理』（学芸図書）¥950  
デューイ著，宮原誠一訳『学校と社会』（岩波文庫）¥200

## 教育原理

上岡安彦

『エミール』（上・中・下）を年間を通して読みます。次にそこで、でてくる問題について日本の現象を例として教育学的に考察します。

そして最後に原典に直接触れ，ルソーの音楽の音色を身体で感じることにします。

- 〔教科書〕 『エミール』（上・中・下）（岩波文庫）  
上 ¥550，中 ¥500，下 ¥500  
〔参考書〕 周郷 博『教育学講義』（柏樹社）  
¥1,800

## 教育原理

村山輝吉

主に下村湖人の著作などを手がかりとして，人間の発達と教育，文化，社会の関わりについて原理的考察をおこない，あわせて教育の制度，形態，内容，方法のもつ意味と問題を社会的歴史的な視座からアプローチしたい。

- 〔参考書〕 『下村湖人全集』（全10巻）（国土社）  
『教育の原理Ⅰ・Ⅱ』（東大出版会）

## 教育原理

北村三子

前半は，自分達が経験してきた学校教育の性格をより広い視野から捉え直すことをめざす。後半は，『エミール』を手掛りに，近代人の自己疎外の深さに思いを至し，ルソーとともにありうべき教育像を模索する。

- 〔教科書〕 ルソー『エミール』（岩波文庫）  
上 ¥550，中・下 ¥500

## 青年心理学

大浜幾久子

まず青年期に限らず一般に，人間の発達とは何か，について考察する。その上で青年期の様々な問題を取りあげ，それらに対する心理学的な分析の方法と最近の研究を紹介，解説していく。また性格テストなどの実習も行う。

## 青年心理学

岸本 弘

内外の青年心理学の研究業績を提示し，わが国の青少年をめぐる発達環境のゆがみについて考察したい。

- 〔教科書〕 『青年心理学』（くろしお出版）  
¥2,300  
〔参考書〕 『青少年期の特質と教育』（明治図書）  
¥3,200

## 教育原理

坂本信昭

下記のテーマを「問題」としてとりあげ，ともに考えていきます。

1. いま教育のめざすもの
2. ひとの適応・成長・発達
3. 家庭の役割・地域の働き
4. 人格をはぐくむ
5. 学校への期待
6. よりよい授業に向けて
7. 学習をふかめる
8. 教師を育てる
9. 教育制度をみなおす
10. 障害児とともに
11. 内なる差別を考える

## 青年心理学

牟田悦子

人間の発達の中で青年期がどのような意味をもつかを考えながら，青年期の様々な特徴を見ていく。また，現在の学校教育の中で問題になっている様々な事象に対して，各自が考え，自分なりの判断力をもつこともこの授業のねらいとしたい。

- 〔教科書〕 岸本 弘編著『青年心理学』（学文社）  
¥1,000

## 青年心理学

渡辺 三和子

大人でも子どもでもない中間的な存在の青年期は、人間の成長のなかで最も激動する時であり、それだけに中高生を理解するのは難しくまたおもしろい。前期はこの時期の特徴を概観する。後期はおもにこの時期の精神的な病理現象をとりあげ、そこから現代の中学校・高校教育のおかれている状況と問題点について考えていきたい。

〔参考書〕 笠原 嘉『青年期』（中公新書）

## 教育心理学

大浜 幾久子

前半では、発達心理学・学習心理学・人格心理学など現代心理学の諸分野の基礎理論のうち、教育にかかわるものを解説する。後半では、学校教育を中心に、教育の現場の様々な問題を取りあげ、教育心理学的な考え方と、それに関連した最近の心理学研究を紹介、解説していく。また知能テストなどの実習も行う。

## 教育心理学

改田 明子

教育心理学の基本的な問題について、理解し、学習する。また、必要に応じて、心理検査などを実際に行ない、学習の一助とする。

〔参考書〕 講義中に、そのつど紹介する。

## 教育心理学

国眼 眞理子

教育を学校教育に限定せずに、家庭、地域をも含めて心理学的にどのようなことを考慮する必要があるのかを考える。又、実際の教育現場で遭遇する青年期特有の病理現象や対人関係のあり方に関する理解を深める。

〔教科書〕 『教育心理学の世界』（福村出版）

¥1,800

## 教育心理学

中村 均

### 1. 発達

子どもはどのように大人になるか。子どもは大人とどう違うか。

### 2. 学習

どのような仕組で学習は起こるのか。学習を促進させるにはどうしたらよいか。

### 3. 知能・学力・創造性

### 4. 人格

一人一人の違いはどうとらえればよいか。

### 5. 適応

### 6. 学級集団

学級集団はどのような役割を果たすのか。

### 7. 教育評価

## 教育心理学

渡辺 三和子

学ぶことと成長すること、学習活動とは何か、生徒を理解する方法、さまざまな授業の型、集団としての学級、学習の評価等基本的な教育心理学の考え方を学ぶ。また教育の荒廃が語られる昨今、今日の学校教育の問題点を探り、教師としてめざすべき方向について考える。

〔参考書〕 北尾倫彦・速水敏彦『わかる授業の心理学』（有斐閣選書）

## 道徳教育の研究

上岡 安彦

道徳教育の基礎理解と課題研究を行う。

〔教科書〕 『道徳教育の研究』（改訂版）（学芸図書） ¥750

## 教育実習

上岡 安彦

### 事前指導

学校の教師としての仕事について講義

学習指導案作成実習

### 訪問指導

実習期間の研究授業参加

### 事後指導

デューイの『学校と社会』によって自分の教育実習の体験を吟味し、日本の教育を考えてみる。

〔教科書〕 『中学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局） ¥250

『高等学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局） ¥300

デューイ『学校と社会』（岩波文庫）

¥300



## 教育実習

北村三子

教育実習前は、実習に際しての注意や心構えなどを中心とする事前指導を行ない、実習後は、現場での体験を相互に交換し、深め合いつつ、学校教育の諸問題や教師の課題などについて考え合う。

## 教育実習

坂本信昭

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）に関する講義とビデオ教材「教育実習の日々」等を視聴し、教育実習の心得などについての事前準備指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、口頭報告、レポート作成一提出、グループ編成による授業（ディスカッション）を行い、教育への理解を深め、望ましい教師像について一緒に考えたいと思う。参考書は、下記以外にも授業で適宜紹介する。

- 〔参考書〕 大村はま『教えるということ』（共文社）  
¥ 480  
『中学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥ 250  
『高等学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥ 300  
田村皖司他『きょういく』ビジュアルノート（エイデル研究所）¥ 1,800

## 教育実習

村山輝吉

学生が教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めるよう、年間を通じて次の事項を取りあげる。

1. 教育実習の意義と心がまえ
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

## 国語科教育法

神谷道倫

前期は中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、あるいは教材に即したそれぞれの指導方法等について講義、後期は実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方・指導事項・方法等主に模擬授業の形態で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

- 〔教科書〕 『中学校・高等学校 国語科教育法（新編）』（桜楓社）¥ 1,200

## 書道科教育法

谷村義雄

文字を書くことは誰でもできることで決してむずかしいことではない。しかし、書は中国においては四千年の歴史があり、日本においても千数百年の歴史がある。この間にいろいろな書体が出来、そしていろいろな書法が生れた。書の芸術は悠遠の歴史の中で開花したもので、現在もまた現在の書が生れつつある。書を単なる文字記号と考える浅薄な思考に対して、書のもつ思想性、民族性を十分に理解して、書とは何かを改めて問いたずら授業にしたいと思う。教育法はどう教えるかではなく、なにを教えるべきかを探求する内容にしたい。

- 〔参考書〕 学習指導要領解説『芸術科』

## 宗教科教育法

松本皓一

宗教科教授法としての理論と実践上留意すべき諸問題を述べる。

- 〔教科書〕 特に指定せず。但し、講義中に教材として指定することがある。

## 英語科教育法

大沢一雄

多くの学者によって唱えられてきたいろいろな外国語教育法を検討し、わが国の英語教育において、どのような教授法を用いたらよいか、発音、語彙（い）、文法等の指導はどのようにしたらよいか、などを考える。講義は、ノートとプリントによっておこなう。

## 社会科教育法（地理）

川合元彦

社会科教育発足の背景を明らかにし、学習指導要領（社会）の変遷、社会科教育についての論争、学習指導上の諸課題などを考察し、現在進められている学習指導要領（社会）の改訂についてもとりあげる。

また、指導案の具体的な作成も行なう。

〔参考書〕 川合元彦著『生活の場の見方・考え方—地理教育演習—』（古今書院）

## 社会科教育法（地理）

中島義一

社会科（地理）教育の諸問題を講義し、後半は学生諸君に交代で壇上に立ってもらって授業演習を行う。下記教科書のほか、地図帳（高校用、中学用どちらでもよい）を忘れずに持ってくる。出席を重視する。遅刻や欠席の多い人は教師として不適格である。

〔教科書〕 山崎謙哉『新訂 地理教育の本質と実践』（古今書院）¥2,200

## 社会科教育法（歴史）

野呂肖生

「中・高等学校の現場で社会科の授業をするさいに役立つように」を目標とし、社会科教育（とくに歴史）の理論と実践を学ぶ。とくに個性を重視したい。

## 社会科教育法

長谷部 八朗

教育をめぐるさまざまな今日的課題にもふれながら、社会科教育のあり方をともに考えてみたい。

前期は、社会科の性格、目標、歴史などを検討し、後期では、指導計画、指導案、教材研究、教育評価といった具体的なテーマをとりあげる予定である。

より詳しい進め方については、最初の授業で述べる。

〔教科書・参考書〕 適宜指示する。

## 社会科教育法

谷敷正光

社会科は、民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者の育成をめざす上で、重要な使命を負って誕生した

教科であり、日本の将来を担ったと云っても過言ではない教科である。しかし、この社会科教育も、戦後日本資本主義発展とともに大きく変遷し、動揺を続けてきた。

したがって、しっかりと社会科教育を樹立するため、単なる教授方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼって充分検討してみたい。その上で、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。年間の授業計画は次の通りである。

①戦後日本資本主義の発展と教育、②教育の基本概念、③日本資本主義の発展と社会科教育、④社会科教育の基本概念、⑤中学校・高等学校の教育課程と社会科、⑥社会科の学習指導、⑦学習指導案の作成、⑧中学校社会科の目標・内容・取り扱い、⑨高等学校社会科の目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習の意義、⑫模擬授業を通じての社会科授業実践の研究、⑬社会科教師論、⑭教員採用試験の準備と今年度の採用について（教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。）

〔教科書〕 梶 哲夫『中等 社会科教育研究(1)』（高陵社）

遠山 啓『競争原理を超えて』（太郎次郎社）

〔参考書〕 矢川徳光『教育とは何か』（新日本出版新書）

無着成恭『山びこ学校』（角川文庫）  
その他、若干のルポ、小説、社会科の教科書、中学校・高等学校学習指導要領も使用する。

〔注 意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修（授業参観）などを行う予定である。視聴覚教室も使用するので、常に教場には注意しておくこと。

## 社会科教育法

大久保 治 男

現下山積する教育上の諸問題を意識しつつ、社会科の教科教育法のより効果的实践方法を探究する。学校教育における高校の「政治・経済」「現代社会」中学の「公民」など社会科系列の検定教科書や学習指導要領を分析しつつ社会科教育法の目標、構成、内容等について考究する。さらに具体的に指導計画、指導案、指導方法、教材研究、教育評価については、受講生をグループ別にし模擬教育実習を通じて実践させることで合目的教育方法を発見させるよう努める。OHP、スライド、8ミリ、ビデオ等視聴覚教育器械も使用しつつ一方的講義でなく受講生にも積極的に学習参加させ、将来の教師としての自覚や意欲を持たせ楽しい講義となるよう配慮する。

〔教科書〕 その都度指示する。  
〔参考書〕 『学習指導要領』（中学・高校の社会）  
各自が使用した社会関係の教科書。

## 社会科教育法

橋 爪 敏

社会科は、戦後の民主的諸改革の一環として、民主的な国民の形成を目的として設定された。したがって、単に知識の習得のみを目的とした教科ではなく、戦後教育の中心を成すものと位置付けられてきた。しかし、それも、現実の政治的状況のなかで紆余曲折し、また現在、再編が企図されつつある。そこで、社会科教師に求められる「資質」は他の教科のそれにも増して、厳しいものがあると言ってよからう。

この授業では、こうした点を踏まえた上で、社会科教師に必要な基礎的認識や知識を習得する事を目的とする。また、模擬授業等の機会を設けて“教えること”を、実際の体験を通して学習することとしたい。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## 職業科教育法

谷 敷 正 光

この免許の「職業科」（職業・家庭科）は、1958年に学習指導要領の改訂によって、「技術科」（技術・家庭科）が新設され、「技術科」が必修となり、これまで必修であった「職業科」は選択科目となり、現在に至っている。職業科目のことを先の中学校学習指導要領では、「農業、工業、商業、水産」と明記されていたが、今回の改訂により、「第2章第10節に示すその他特に必要な教科」となっている。

ところで、必修を従来の「職業科」から「技術科」へ変えた際、職業科担当教員にそのまま技術科を担当させ、「職業」の免許を「技術」の免許に切りかえることを文部省はしなかったため、「技術科」の多くの教員は、「職業」の免許で担当している。中学校社会科の教員採用が厳しくなっており、「職業」の免許も生きる可能性があるため、教員志望者は、「社会」と併わせて履修することが望ましい。

本講は、民主的で文化的な平和国家建設のための基礎的職業教育、人格の尊厳と人間の全能力の発達を中心とした人間形成のための職業教育を中心に授業を展開する。

〔教科書〕 授業で、必要な「資料」を配布する。

〔参考書〕 『講座現代技術と教育 8 技術教育の歴史と展望』（帝国地方行政学会）  
近藤大生『職業と教育』（福村出版）

## 商業科教育法

谷 敷 正 光

「産業教育」（職業教育）の一つである商業教育は、日本の資本主義をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にともなってめまぐるしく変遷してきた。そして、高度成長期の高校教育の「多様化」政策の破綻にともなって、商業教育は大きく軌道修正されさらに、先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、再び修正されようとしている。従って、本講は「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりと商業教育を樹立するため、この「教科法」を商業教育の単なる技術論に終らせることなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論、職業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。産業教育振興中央会や全国産業教育振興会連絡協議会などから「近年、産業高等学校の専門教科の教員の確保が困難を極めており」「教員養成に一層のお力添えをお願いいたします」との要請が私学協会に行われている（67年11月）ので、しっかりと勉強して欲しい。年間の授業計画は次の通りである。

①日本資本主義発展と教育・職業教育、②教育の基本概念、③職業教育、商業教育の概念、④高等学校における商業教育の現状と課題、⑤高等学校の教育課程、⑥商業科の教育課程、⑦商業科の学習指導、⑧学習指導案の作成、⑨商業教科・科目の個別目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習の意義、⑫模擬授業を通じての商業科授業実践の研究、⑬商業科教師論、⑭教員採用試験の準備と今年度の採用試験について（教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。）

〔教科書〕 田中義雄『商業科教育論』（多賀出版）  
矢川徳光『教育とは何か』（新日本新書）

〔参考書〕 竹内 宏『日本の学歴社会は変わる』（有斐閣）

田代三良『高校生』（岩波新書）

神田 修『学校からみた教育政策』（有斐閣）

その他、商業の教科書、高等学校学習指導要領、新聞の切り抜き、雑誌、ルポ、小説なども使用する。

〔注 意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修（授業参観）などを行う予定である。視聴覚教室も使用するので、常に教場には注意しておくこと。

## 商業実習

前田 幸一

商品取引における事務手続きについて勉強をしていく。  
〔教科書・参考書〕 講義の際指示する。

## 職業指導

山田 勇治

学校における進路指導とは、中学・高校の卒業時における就職や進学のみならず、個々の生徒の発達段階に応じて、その能力・適性等を伸ばし、生徒自ら望ましい進路を選択・決定させ、その後の職業生活において自己実現できるように指導し、援助する活動をいう。ところが現状では、学力などによる振り分けが横行し、本来あるべき進路指導には程遠い。

そこで、こういった学校進路指導の現状を文部省の実施した実態調査などによって明らかにしてみたい。

また、将来職業につくための準備教育、つまり職業教育についても講述する予定である。

〔教科書〕 山田勇治著『会計教育論』（創成社）  
¥1,300

〔参考書〕 近藤大生・有本 章編著『職業と教育—職業指導論—』（福村出版）¥1,500

## 産業概説

前田 幸一

日本の主要な諸産業を順次とりあげ、各産業についてその特性と歴史、現状と問題点を勉強していく。

〔参考書〕 宮沢健一・竹内 宏編『日本産業教室』（有斐閣）

日本興業銀行産業調査部編『日本産業読本』（東洋経済新報社）

## 世界史概説

中村 道雄

主にヨーロッパおよびアメリカ世界の歴史を概説する。参考書にはこの外高校時代の世界史教科書も利用される。

〔教科書〕 衣笠・田村・中村・廣實『概説西洋史』（東京創元社）

〔参考書〕 帝国書院編集部編『詳密世界史地図』（帝国書院）  
亀井・三上・林・堀末編『世界史年表』（吉川弘文館）

## 世界史概説

渡辺 惇

アジアの歴史を地域的に東アジア、東南アジア、南アジア（インド）、西アジア、内陸アジアに分け、それぞれの歴史的世界の風土、歴史展開の特色等について講義する。

〔教科書〕 特に定めず、プリント・資料を配布する。

## 日本史概説

芥川 龍男

中世に焦点をおいて講義する。講義の中で参考文献などを紹介するが、積極的に読破して欲しい。評価はレポートおよびテストなどを総合的に見て評価する。

教科書・参考書はとくに指定しない。開講時に詳細な注意事項を話します。

## 日本史概説

波田野 富信

時間数の関係から、日本史全般を各分野にわたって講ずることは不可能に近いから、日本の歴史の流れの中からそれぞれ重要事項をとりあげて理解してもらおう。従って各々がそれぞれに前もって予習をしてきて欲しい。

〔参考書〕 『新稿 日本史概論』（吉川弘文館）  
¥1,500

## 地誌学概説

今朝洞 重美

地誌学の本質を説明しつつ、日本地誌と外国地誌を講義する。

## 地誌学概説

長野 覚

世界的視野において地理学の発達・概念を理解したのち、現代世界の地域特色を、自然環境やそれと関連性をもつ人文現象について考察する。

後期には幾つかの国を対象に、その国の地誌を学習する。受講にさいしては、できるだけ地図帳を併用してほしい。

〔教科書〕 藤岡謙二郎共著『世界地誌』〔改訂版〕  
(大明堂)

## 地誌学概説

諏訪哲郎

地誌および地誌学の概要を述べたあと、具体例として中国を取り上げ、地誌の役割りと地誌学的研究の有効性を理解してもらおうと考えている。

〔教科書〕 諏訪哲郎編『現代中国の構図』(古今書院)

## 自然地理学概説

早船元峰

人間生活の舞台である大地の形成過程について講じ、人間と自然とのかかわりあいについて論じる。

さらに受講生に2.5万分の1、5万分の1の地形図を用意(10枚程度)させ、それらをもとに種々なる作業(土地利用図・切峰面図・帯状平行投影地形断面図等を作成)をさせてより一層の理解を深めさせる。トレース紙・方眼紙・色鉛筆・黒インク等各人用意すること。

## 人文地理学概説

小林高寿

歴史学は時間の経過を追って、人間の作り出した社会構造と人間心理に迫ってゆくが、地理学は空間の中に人文現象と、人間の認識される範囲の自然現象を追求し、説明する。人文地理学は従って常に歴史現象と歴史学とに交錯しつつ、人文現象に対する学的究明を深め、拡大しつつ、空間のもつ意味を固定的にでなく、究明しようとする。それ故にそこで扱われる素材は多様となる。

かくの如くして、本講においては、人文地理学の多様性をしっかりと受けとめ、将来の教職の現場にあって、応用のきく学問を勉強させようとする。

環境としての自然の基礎的理解、歴史学と地理学の交錯分野にまで、講義の内容が及ぶのは必然である。

〔教科書〕 長谷川典夫『教養のための地理学トピックス』(大明堂) ¥2,800

〔参考書〕 高校用地図帳(アトラス)と、二宮書店地理統計。

## 社会学原論

渡辺源樹

何よりも社会学は現実科学であるという視点をふまえ、つとめて人間の存在・行動の問題と関らしめながら、集

団論・組織論などを中心として基礎理論にぞくする諸問題を講述するとともに、現代社会学の課題とその主要問題を体系的かつ具体的に講述する。

## 経済原論

小野俊夫

いわゆる近代経済学の立場から、近年の学問的成果をも考慮し、現代経済学の基本を解説し、複雑な現代経済を理解しうる力を養うことを旨とする。

〔教科書〕 開講の際に指示する。

## 政治学原論

福岡政行

本講座は政治学全体の理論的位置づけを行うもので、多角的に分析を行う。

行政国家=福祉国家=大衆社会という今日の状況の下で、議会デモクラシーをどのように理解するのが重要なポイントになる。システム分析・文化論的アプローチ・社会化理論などを中心に、前期は理論的分析を中心に行う。

後期は、政治学のかかえる今日の課題について、応用科学としての政治学原論と考え、講義を進めてゆく。

〔教科書〕 『現代政治分析理論』(早大出版)

¥2,500 (その他追って指示。)

## 民法 I

山本豊

民法財産法の前半部分、すなわち民法総則と物権法についての概論的講義を行う。具体例や判例をできるだけ多く取り上げて説明するつもりであるが、受講に際しては、予めテキスト等で予習をしていただくことを期待したい。参考書等は開講時に指示する。

〔教科書〕 好美清光・米倉 明編『民法読本1』

(有斐閣) ¥1,600

## 哲学特講 I (東洋)

篠原壽雄

中国の哲学・東洋思想を理解しようとする、儒教・仏教、そして道教の学習は欠かせない。そこで前期は老荘の学と道教を学びたい。後期には墨子の非命、非儒などの精神が韓非子にいかにか受容されたかなどを中心に、先秦の人びとの心にあるものを探りたい。ついで荘子を

学び、併せて中国禅思想を考究したい。

〔教科書〕 『莊子』〔内篇冊〕（中公文庫）

### 哲学特講Ⅱ（西洋）

國嶋一則

人間は、何かを頼りとし支えとしなければ生きてゆけない。しかし日常、われわれは自己の人生の頼りとなり支えとなるものを自覚していない。それを自覚することは、自分がどのような生き方をしているのかを知ることである。つまり主義に拠り主張をもって生きることである。

歴史上の大きな主義を検討することによって、現代世界の有力な主義を明確にし、自己の持つべき主義を選択する手掛りとして。

〔参考書〕 その都度示す。

### 宗教学特講Ⅰ

松田文雄

——宗教思想および用語の概説——、特に教職単位であることを考慮し、宗教思想の潮流、および宗教思想史上の基本的用語を概説する。今年度は日本仏教を取り上げる。

〔参考書〕 随時指示する。

### 宗教学特講Ⅱ

脇本平也

——宗教学説史——経験科学としての宗教学の成立と展開を、問題中心に学説史的にあとづけてみる。

参考文献をその都度指示する。

### 宗教学特講Ⅲ

洗建

現代社会における宗教の問題、とりわけ政教関係の問題をとりあげる。国家と宗教の関係を規定する法制度とその価値規範、更に底流をなす宗教文化との関係について考察する。

〔参考書〕 適時指示する。

### 教育史

磯野昌蔵

わが国における青年期教育の発達を検討する。

### 宗教教育

櫻井秀雄

宗教教育の原理を究明し、できるだけ実証的な調査資料によって宗教意識をさぐり、これに対する具体的方法について考察し、家庭・学校・社会教育のそれぞれにおける宗教教育の意義と実際を研究する。

〔教科書〕 日本宗教学会「宗教と教育に関する委員会」編『宗教教育の理論と実際』（鈴木出版（株））1985.10 ￥5,800

### 教育関係法規

荒牧重人

現在さまざまな形態で生じている教育問題を視野に入れながら、憲法・教育基本法・学校教育法を中心に、教育関係法規を概説します。なお、年間プランは最初の講義のときに示す予定です。

〔参考書〕 『解説 教育六法』（昭和64年版）（三省堂）

### 教育法規研究

浪本勝年

現代の学校教育は、公的な制度によって高度に組織化されている。したがって、学校をよりよく理解するためには、どうしても教育に関する法規についての学習が不可欠となる。特に今年度は、教育職員免許法・教育公務員特例法の「改正」も予想されており、教員養成問題は、新たな事態を迎えることとなる。

この時間は、これから教職をめざす学生諸君が、ぜひとも身につけておくべき教育法規の基礎知識の修得に力点を置いて研究を進める。その際、現実の教育政策の動向（臨時教育審議会・教育職員養成審議会・教育課程審議会の答申など）にも注目しつつ学習する。したがって、結果として教員採用試験（選考）にも役立であろう。

〔教科書〕 浪本勝年著『教育内容行政の限界』（北樹出版）￥1,800  
志村欣一ほか編『ハンディ教育六法』（泰流社）￥1,000

〔参考書〕 兼子 仁・神田 修編『教育法規事典』  
(北樹出版) ¥2,000

## 教育評価

大 浜 幾久子

生徒の発達を正しく測定し、評価することは、本来、教師の教育実践の中で重要な仕事である。教師は、評価を通して、生徒のつまづきを発見し、自らの実践を反省する。また生徒も、評価を手がかりとして、以後の自分の学習の方向を考える。ところが、教育評価ということばから多くの人々がまず思い浮かべるのは、学力テスト・偏差値・通信簿・内申書等であり、これらは、大多数の父母・教師そして生徒にとって、今日の学校教育の矛盾の象徴として映っている。では、教育評価の本来の機能をとりもどすにはどうしたらよいのだろうか。教育評価の理論の歴史をたどり、また教育測定・評価の技法を実習を含めて学ぶことにより、この問題を考えていく。

〔参考書〕 ピアジェ、秋枝茂夫訳『教育の未来』  
(法政大学出版局) ¥1,300

## 生活指導

秋 山 達 子

現代のおとなたちが、おとなの合理的な考えで、子どもたちへの対策を考えれば考えるほど、結果は逆になるような気がします。

想像力も育てずに自立させられてしまう子どもたちは、自分の不満や抑圧された本能的衝動の結果を、既成の学問の理論を借りて説明し、その解釈ですべてを割り切って、その中に逃げこみ、実際に自分の心に問い直すことにしていないのではないのでしょうか。

〔参考書〕 秋山さと子『ユング心理学』(講談社現代新書)

## 教育哲学

汐 見 稔 幸

今年度も、講義参加者といっしょに何点か児童文学作品を読み合いたいと考えている。最近の子ども・青年の意識や要求の世界を深く知るためには、従来からの心理学だけでなく心の科学としての精神分析学や精神医学などからも学ばねばならないし、すぐれた文学、児童文学作品からも学ぶことが必要である。児童文学の批評はすでに多方面から行なわれているが、教育学の側からの批評は十分ではない。今年度の講義はその意味で児童文学作品の教育学的批評というテーマになろう。形式としてはゼミ形式を考えている。四年生が例年多いので、開き

方については参加者と相談して決めたい。  
テキストも一回目の授業で決める。

## 教育調査

鈴 木 規 夫

教育調査あるいは社会調査における基本的なプロセスを概説すると共に調査に不可欠なデータの解析法について分かり易く解説する。特に、身近な教育データを利用し、そのデータの分析を通して科学的思考を養い、分析の結果について独断的な判断に陥らないよう、データに対する理解を深め、データに接する際の謙虚な姿勢を養う。なお、パソコンを使った実習も含めていく。

## 現代社会の諸問題と教育

熊 谷 一 乗

現代の社会は、技術の革新、高度化にともなって激しく変化し、益々複雑化し、しかも緊急に解決を要する難問を次ぎから次ぎに引き起こしている。こうした社会の動向と問題は、教育の在り方に強く影響し、教育に新たな対応を迫ってくる。講義では、次ぎのようなテーマを設定して現代社会を特徴づける諸問題と教育との関係を検討する。

(1)ハイテク化と教育 (2)情報化と教育 (3)国際化と教育 (4)高齢化と教育 (5)環境問題と教育 (6)人権問題と教育 (7)女性の職場進出と教育 (8)競争社会(自由化)と教育 (9)社会変動と教育改革

〔教科書〕 講義要旨および資料のコピー配布。

〔参考書〕 教室で指示。

## 教育情報学

難 波 和 明

パソコンによる実習によってコンピュータはどのような道具かを紹介するとともに、CAI、CMI、コンピュータ・リテラシーなど、コンピュータと教育に関する話題を扱いながら、情報化時代の教育について考えていく。

## 図書館学 I

山 崎 慶 子

児童・生徒の学習活動や教養・趣味を豊かにするには教科書の他に各種の資料を必要とする。最も有効適切な資料は何か、どうしたらそれらをすべての生徒に提供できるか。増大する一方の出版物や各種の情報が溢れる現

代社会において、それを選択し活用する力を高めるにはどうしたらよいか。また人間形成に役立つ読書のあり方などの追求を、教育の場の中心ともいうべき学校図書館活動として考察していきたい。さらに生涯教育の場である公立図書館の使命や役割への理解を深めるようにしたい。

前期の講義内容は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」を、後期は「学校図書館の利用指導」と「読書指導」である。

〔教科書〕 図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』（学芸図書）

## 図書館学Ⅱ

源 昌 久

この講義においては、司書教諭の資格を修得する上で必要な諸科目の内、主として資料組織法（分類法・目録法）について論じる。前期には分類法、後期には目録法を講じ、各々の概念的フレーム・ワーク、基本的規則およびコンピュータとの関連等について言及する。開講時に詳しいシラバスおよび目録法の教科書を示す。

〔教科書〕 日本図書館協会分類委員会改訂〔編集〕  
『日本十進分類法 新訂8版』（日本図書館協会）

## 博物館学Ⅰ

倉 田 芳 郎

学芸員課程の必修科目であり、社会教育主事課程の選択必修科目でもある。「博物館実習Ⅲ（見学）」ならびに「実習Ⅳ（特講）」と有機的に関連をもたせるので、同年度に併せて受講していただきたい。また、後期は午後いっぱい使って見学を行うことになるので、時間割を組むうえで、各自研究してもらいたい。なるべく2～3年生の時に受けておくことが望ましい。4年生で受けると、学芸員資格を卒業時に取得するのは難しいかもしれない。本講義は博物館の基本のみを講ずるので、2単位である。社教主事の資格を取得しようとする方は、「博物館学Ⅱ」（2単位）も履修することが必要である。受講方法について、誤りの無いようにしたいので、4月第1週の時間は必ず出席すること。

## 博物館学Ⅱ

堀 越 正 行

博物館とはどのようなところなのかを、建物の維持・管理から多様な学芸員の仕事の内容や必要な能力まで、歴史系博物館の現場の体験を通した具体的な事例を

示しながら話をすすめ、博物館や学芸員のあるべき姿を考えていく。

## 博物館実習Ⅰ（館務）

倉 田 芳 郎・太 田 喜 美 子

博物館で10日間以上、学芸員の指導により実習を行なう。学芸員課程の必修科目である。この科目は学芸員課程の総仕上げでもあり、無条件に、誰でも履修できるわけではないので、年度第1週のこの科目の時間に必ず出席すること。欠席した場合は来年度履修することになる。

## 博物館実習Ⅱ（収集）

倉 田 芳 郎・所 理 喜 夫  
葉 貫 磨 哉・太 田 喜 美 子

学芸員課程の必修科目である。詳しくは、年度第1週の講義時間に話すので、必ず出席すること。実習の種類・時期は下記の予定である。このうちの、1つを履修すればよい。

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 考古学発掘調査 | 7月中旬から8月中旬 |
| (2) 民俗調査   | 8月下旬と2月中旬  |
| 3. 文書・石仏調査 | 9月下旬       |
| 4. 石仏調査    | 10月上旬      |
| 5. 遺跡分布調査  | 2月中下旬      |

## 博物館実習Ⅲ（見学）

倉 田 芳 郎・太 田 喜 美 子

学芸員課程の必修科目である。都内および都周辺の博物館を見学する。博物館・学芸員の使命・役割を識るためには教室の講義だけでは不足である。そのため、現場で学芸員の方のご講義を承り、博物館運営上の諸問題について考えたい。実習の組分けを決定する関係上、今年度履修しようとする学生は、必ず4月第1週に出席すること。

## 視聴覚教育

赤 堀 正 宜

学校教育や社会教育における視聴覚教材やコンピュータ通信等のニューメディアの利用について考える。

学校教育番組や社会教育番組の利用は、教育方法・内容の革新とつながり、教育工学の一部となっている。視聴覚教育の原理・具体的な利用方法、その教育的効果を明らかにしていく。

〔参考書〕 大内茂男・中野照海他編『視聴覚教育の理論と研究』（日本放送教育協会）



## 日本文化史Ⅱ

有元修一

日本文化の多様な流れを概観するとともにその特色をあきらかにする。本年は特に中世後半から近世を中心とする。

〔参考書〕 家永三郎著『日本文化史 第2版』  
(岩波新書)

## 西洋文化史Ⅰ

椽川一朗

西洋都市の歴史、とくにドイツ中世都市の歴史を、社会構造の面から考え、現代の都市問題の参考になるよう、講述する。

## 西洋文化史Ⅱ

三小田敏雄

今年度は中世ヨーロッパの文化を学んで行く。近年我国の歴史家にも中世ヨーロッパを専門とする人がふえ、中世を見直す機運が高まってきた。そして人々の生活や文化を通して中世を裏から解明する多くの好著が出版されている。しかし表の歴史、つまり政治・経済の歴史を抜きにしては裏の歴史も理解できない。教室ではその両面を関連させながら中世ヨーロッパを理解することを目的とする。

〔教科書〕 堀越孝一・三浦一郎『中世ヨーロッパ』  
〔教養文庫〕(社会思想社) ¥400  
木村尚三郎編『中世ヨーロッパ』  
(有斐閣新書) ¥800

## 仏教美術

林良一

インドにおける古代初期よりガンダーラ期の仏像成立にいたるまでの展開および仏教美術の図像学について講述する。寺院の遺跡や仏菩薩等の尊像を、現地撮影のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

〔教科書〕 林良一著『ガンダーラ美術紀行』(時事通信社) ¥2,200  
〔参考書〕 林良一『シルクロード』(時事通信社)

## 現代美術

宮崎克己

19世紀、20世紀の西洋絵画について、様々な角度から考える。絵画の造形表現の問題(色彩、空間など)、表現内容の問題(象徴性、思想など)、社会的問題(展覧会の形式、ジャーナリズムとの関係など)等を、代表的作品を選んで具体的に論ずる。

受講者には適宜、美術館、展覧会の見学、およびレポートの提出を要求する。

## 禅美術

海老根聰郎

日本の中世時代(鎌倉、南北朝、室町時代)の絵画の流れを述べる。(スライド使用)

## 美術史概説

林良一

中国の南北朝より朝鮮の三国時代を経て、わが国の飛鳥期の仏教彫刻にいたる様式的展開について講述する。各地の寺院遺跡や遺品などのカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

## 西域美術史

林良一

アフガニスタンより東西のトルキスタンにいたる西域美術を、仏教美術の東伝を中心に、各地の遺跡および遺品について講述する。現地の遺構や遺品のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

〔教科書〕 林良一著『ガンダーラ美術紀行』(時事通信社) ¥2,200

〔参考書〕 林良一『シルクロード』(時事通信社)

## 考古学概説Ⅰ(日本)

倉田芳郎

日本考古学研究のための基礎知識について講義する。年度第1週目の授業には、必ず出席してほしい。

## 考古学概説Ⅱ(外国)

飯島 武次

東洋考古学の概説を講義する。

〔参考書〕 江上波夫監修『考古学セミナー』  
(山川出版社) 1976年 ¥2,800

## 考古学特講Ⅰ

高浜 秀

ハンガリーから中国の北方オルドス地方に至るユーラシア北方草原地帯では、紀元前1000年紀に青銅器時代から初期鉄器時代へ移行すると共に、紀元前8～7世紀頃、スキタイ系騎馬遊牧民文化、あるいは初期遊牧民文化と総称される一連の文化が興った。講義では、これらの文化を概観する。

## 考古学特講Ⅲ

飯島 武次

周文化の考古学的研究について。

## 日本民俗学

渡邊 欣雄

私の民俗学という視野から、民俗学を論じ民俗学の扱う題材について紹介する。本講義は決して日本民俗学の概論講義ではないから、注意を要する。対象とする文化は主として日本本土ではなく、沖縄・台湾・香港・マレーシア等の南方であり、題材は宴・風水・鬼魂観・社会関係に及ぶ。

〔教科書〕 とくに用いず。

〔参考書〕 渡邊欣雄著『沖縄の社会組織と世界観』  
(新泉社) ¥8,000  
渡邊欣雄著『沖縄の祭礼』(第一書房)  
¥3,800

## 仏教民俗学

和田 謙寿

集会や通夜・法事などに臨んだ際、必ず仏事などに関する質問を受けることがある。葬送習俗や靈魂に関する事柄、法名のつけ方や焼香の仕方、墓の建て方や年忌供養のしきたり、時には寺院の成立とその発展過程、野ぼとけの由来や伝説など、その質問の内容も色々である。

このような時、相手に納得のつくような説明が出来たらさぞかし喜んでもらえる事であろう。このような時の心構えとして是非とも仏教民俗学の知識を身につけて置くことにしよう。住職をはじめ、郷土史や文化財の研究に従事しようとする者にとっては必須の学問であると言えるよう。

〔教科書〕 和田謙寿著『仏教葬送習俗の研究』(仏教民俗研究会発行) ¥2,300

〔参考書〕 和田謙寿著『仏教の地域発展』(仏教民俗研究会発行) ¥2,900

## 宗教人類学

佐々木 宏幹

アニミズム、アニマティズム、シャーマニズム、妖術、邪術、死霊・祖霊崇拜など宗教的諸形態をめぐる理論や学説を紹介するとともに、これら諸形態が、日本を含むアジア各地の現代の文化・社会のなかでどのような位置と役割をもっているかについて考察する。スライドを用い具体的に進める。

〔参考書〕 佐々木宏幹『シャーマニズム』(中央公論社) ¥520

## 考古発掘実習

寺社下 博

野外における考古発掘実習を行なう。20日間以上参加することが必要である。年度始めの講義時間に必ず出席のこと。

〔教科書〕 文化庁文化財保護部『埋蔵文化財発掘調査の手びき』(財団法人地理協会)

## 社会福祉原論

伊藤 秀一

本講では、受講生がこれから社会福祉を学ぶ者であることに留意しつつ、まず、社会福祉の概念を整理することから始めたい。

次いで、社会福祉の生成過程、制度的なしくみ、各分野の現状に論及する。

さらに、社会福祉の今日的課題を講述し、一応の体系的な把握に努めたい。

〔教科書〕 仲村優一著『社会福祉概論』(誠信書房)  
¥1,500

## 障害者福祉論

原田 信一

わが国の障害者福祉の発展過程をその淵源に溯りつつ体系的に講ずる。内容面では、人権の認識を基盤において正当性のある障害者観、そして今後、激動化によって惹起が予測される障害者問題発生メカニズムを究明すると同時に、また、その対応方法、さらに政策、処遇のあり方などに加え、欧米先進諸国における障害者福祉との対比から、わが国の障害者福祉に見直しを必要とする新たな課題構築点などに重点をおき講じたい。

〔教科書〕 星野・藤村・原田・井田編『障害福祉論入門』〔改訂版〕（有斐閣）

〔参考書〕 (1) 原田・春見・佐藤著『新しい社会福祉の理論』（高文堂）  
(2) 原田・吉田編『心身障害児（者）の心理・教育・福祉』（文化書房博文社）

## 社会福祉援助技術現場実習 （児童福祉施設・機関等）

高橋 重宏

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。

具体的には「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル」にもとづいて展開することになる。

なお、本科目は、前年度末に学科が実施する試験に合格し、担当教員が許可した、児童・家族福祉分野を専攻する学生20人が履修できる。

## 社会福祉援助技術現場実習 （老人福祉施設・機関等）

東條 光雅

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。

具体的には、「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル」に基づいて展開することになる。

なお、本実習は、前年度末に学科が実施した試験に合格し、かつ、担当教員が許可した、老人福祉分野ならびに福祉事務所等での実習を希望する学生が履修できる。履修定員は20人である。

## 社会福祉援助技術現場実習 （障害児（者）施設・機関等）

伊藤 秀一

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。実習の具体的展開内容は、「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指

導マニュアル」に基づいて行うことになる。

なお、本実習は、前年度末に学科が実施した選考試験に合格し、かつ、担当教員が許可した、障害児・者福祉分野での実習を希望する学生が履修できる。履修定員は20人である。

## 法 学（福祉）

小林 弘人

本講義は、教科書『社会福祉のための法入門』を使用して、憲法25条を具体化する社会福祉・社会保障に関する法を検討・整理・体系化することを目的とする。

その他、諸般のことがらについては、講義初日に説明する。

〔教科書〕 小林弘人編著『社会福祉のための法入門』（川島書店）¥2,000

〔参考書〕 小川政亮著『社会事業法制』（第2版）（ミネルヴァ書房）¥2,500

## 公的扶助論

伊藤 秀一

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。

講義内容としては、上述した問題意識のもとに、以下の項目について講じていく予定である。

1. わが国の生活保護制度の動向
2. 海外の動向
3. 権利意識と福祉政策の推進
4. 貧困の測定

なお、テキスト等については開講時に指示する。

## 児童福祉論

高橋 重宏

現代社会における児童をめぐる社会的諸問題、児童福祉の概念、児童福祉の歩み、法律による児童福祉（児童福祉法等）、自発的な児童福祉活動、運動等について概説し、児童福祉サービスの現状と、現代的課題について、一応の体系的理解ができるようにつとめた。

〔教科書〕 高橋重宏・江幡玲子編著『児童福祉を考える』（川島書店）¥1,700

山根常男監修、本村 汎・高橋重宏編『家族と福祉の未来』（全国社会福祉協議会）¥2,000

〔参考書〕 全国社会福祉協議会編『1986・87年度版児童福祉年報』（全国社会福祉協議会）¥2,300

## 老人福祉論

東 條 光 雅

人口の急速な高齢化が進む中、家族形態・機能の核家族化と相まって、老後問題に対する社会的関心が非常に高まっている。老後問題は、今後一層の深刻化が予想されるが、これに対処すべき老人福祉施策はまだ不十分な状況である。わが国においては、約半世紀後に超高齢化社会の到来が予測されるわけであるが、現状改善という視点からだけでなく、長期的な展望と広い視座から老人福祉対策の在り方を考えてゆくことが必要である。

本講では、老人福祉対策の歴史的変遷はもとより、現状認識を深め、今後の老人福祉サービスを考える上で重要な老人を取り巻く社会的諸状況の変化や、関連する制度・政策についても理解が得られるよう講じてゆきたい。

〔参考書〕 冷水 豊・浅野 仁・宮崎昭夫編『老人福祉』（海声社）¥1,400

## 社会保障論

近 藤 功

社会保障は、憲法第25条に規定する国民の生存権の保障のための重要な政策体系であり、国政において、優れて高い地位を与えられている。

この社会保障について、欧米諸国を含め、歴史的発展過程、体系、財政、国際比較等を検討し、その問題点を明らかにする。

特に、わが国の社会保障について、その主要な部門としての所得保障（年金保険、公的扶助、児童手当等）、医療保障（健康保険等）その他について、制度の現状及び課題を講じる。

〔教科書〕 小沼 正・地主重美・保坂哲哉編『社会保障概論』（川島書店）

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 地域福祉論

永 田 幹 夫

今日における急速な社会福祉改革の方向を示すものとして1970年代以降に登場したのが現代的意味での地域福祉論である。地域福祉の概念およびその主柱たる在宅福祉サービス提供システムの開発と地域組織化・福祉組織化等の方法論に関する基礎理論を実践動向に即して論究し、地域福祉の全容把握をはかりたい。

〔教科書・参考書〕 追って指示する。

## 社会学（福祉）

星 野 貞 一 郎

社会福祉関係の専門職業を志す学生のための社会学講義を旨したい。そこで社会学の基礎的概念を応用してクライアント（個人）の理解からはじめて、社会福祉施設の一局面である小集団の吟味、家族の変容と扶養機能に焦点をあてながら、いま問われている家族福祉の視点を取り上げる。また社会福祉の組織とそこで働く人びとの問題を官僚制、専門職性にかかわらせて取り上げる。さらに地域社会の分析視角から地域福祉の枠組の整理ならびに保健と医療、解体地域の問題を取り上げ、そのうえ今日的な課題となっている生活福祉環境等の問題に社会学的にアプローチする。

〔教科書〕 星野貞一郎・波辺武男編『福祉社会学』（ミネルヴァ書房）¥2,400

## 心理学（福祉）

井 上 孝 代

さまざまな心理的、社会的条件を有する個人と環境との相互作用に関する基礎的知識、および個人が社会環境との間により良い適応をもたらすに必要な具体的方法について講義する。

内容については、心理的、社会的問題の解決にあたって、地域社会の資源の活用などの環境的要因のみならず、クライアントのパーソナリティや動機、情緒的ニードといった人間行動の心理的要因や対人関係における技法——ケースワーク、グループワークなどの実際の技法を含むものである。

## 社会教育の基礎（社会教育概論）

磯 野 昌 蔵

社会教育とは何かを次の諸点から検討する。

- 社会教育制度
- 学校教育と社会教育
- 社会教育関係団体

## 社会教育計画

村 山 輝 吉

社会教育主事として社会教育計画を立てるに際して必要な事項について基礎的な理解を図る。社会教育の対象の理解と組織化、地域社会と社会教育、社会教育調査とデータの活用、社会教育事業計画、学習情報の提供と学

習相談、社会教育と広報・広聴、社会教育施設の経営、社会教育の評価等が主な内容となる。

〔教科書〕 碓井正久・倉内史郎編著『新社会教育』(学文社) ¥2,000

## 社会教育行政

長澤成次

戦後社会教育行政の基本を憲法・教育基本法そして社会教育法の構造的連関のもとで把えると共に、国民の学習・文化・スポーツ権を生涯にわたって保障する社会教育行政の今日的課題を考察する。

〔教科書〕 その都度指示する。

〔参考書〕 社会教育推進全国協議会編『改訂 社会教育ハンドブック』(エイデル研究所) 1984年  
小川利夫編『社会教育の法と行政』[講座現代社会教育IV] (亜紀書房) 1987年

## 教育社会学

熊谷一乗

教育は、社会の状態とダイナミックに深く連動して行われる人間形成のいとなみであり、それ自体、一つの社会現象である。多くの難問をかかえ複雑な様相をみせる現代の教育を正しく理解するためには、教育と経済・政治・文化・地域・家族などの社会事象との関係、教育が行われる過程の社会的力学、教育それ自体の社会的性質を充分に知ることが必要となる。そのような観点から次ぎのような事項について講義する。(1)子どもの発達と社会 (2)集団の力学と教育 (3)教育と政治・経済・地域との関係 (4)学校と子どもの発達。

〔教科書〕 熊谷一乗『子どもの発達と社会—教育社会学の基礎』(東信堂) ¥2,700

## 社会心理学

坪井健

社会心理学は、元来、社会学と心理学の境界領域にある現象を研究対象としてきた。従って、社会学のアプローチと心理学のアプローチが並存しており、必ずしも統一されたものになっていない。

本講義は、個人の心理(行動)に影響を与える社会的諸条件に関心を持つ心理学的アプローチにも留意しつつ、現実の社会における人々の心理(行動)に関心を持ち、社会過程を重視する社会学的アプローチを基調にして、社会生活をしている人々の社会心理諸現象の分析的な解明を目的としたい。

〔教科書〕 穴田義孝編『こころ・行動そして社会』(人間の科学社)

## 社会教育施設

村山輝吉

1. 社会教育施設とは何か
2. 社会教育施設にかかわる人々
3. 公民館
4. 図書館
5. 博物館
6. 社会体育施設
7. その他の社会教育施設・関連施設
8. 社会教育施設をめぐる動向と課題

〔参考書〕 小林文人編『公民館・図書館・博物館』[講座・現代社会教育 第6巻] (亜紀書房)

## 児童文化

富田博之

児童青少年の人間形成における「児童文化」の意義と役割、および主としてわが国の児童文化の成立過程(歴史)と現状を探り、併せて児童文化や社会教育の現場で働く人たちのための基礎的実習を行なう。

児童文化の歴史では、児童青少年のためのコミュニケーション・メディアの発達史を扱い、その現状では、現代文化における児童文化の実態と、児童青少年の生活や形成に及ぼす影響について考える。

実習では、身体とことばによる表現とコミュニケーションの方法の基礎を学習する。

〔参考書〕 日本演劇教育連盟編『もっと朗読を—美しい日本語のために』(晩成書房) ¥880

## 青少年問題研究

和田謙寿

校内暴力や家庭内暴力・いじめ、薬物乱用など、年々少年の不良化や犯罪が増加していることは誠になげかわしい次第である。国家や地方公共団体はこれに対応して万全の策をつくしているが、焼石に水の現状である。この種の問題は理論だけで済ませられるものではなく、実際の面からの考察が必要である。今年は特に中学校および高等学校の教師をめざす者、ならびに青少年指導者を志す人々を対象として、その理論と現実との両者をもつめて考察する事にする。更に生活指導教諭を希望する者は、青少年問題研究室の研修生として入室されるのも

一方法として考えられるので、その旨を授業のはじめに申し込まれる事を希望する。

〔教科書〕 和田謙寿著『少年補導の研究』（全防連）  
¥1,200

## 青少年指導演習

和田 謙 寿

将来、青少年指導者を希望する者、つまり、社会教育主事や社会福祉主事、少年指導委員・補導教諭などの業務に従事しようとする人々には是非とも必要な講座である。本年は少年の非行問題を中心に授業を展開して行きたいと思う。特に教師になった場合は専攻をした学問は当然のこと、受持ち生徒の生活指導にも多大の比重で尽くさねばならぬので、非行対策の問題は重要な課題となる。

更に少年の問題に興味を持ち、研究しようと心掛ける者は、青少年問題研究室の研修生として入室されるのも一つの方法であろう。

## 社会教育実習

上 岡 安 彦

事前指導

社会教育分野の活動について講義

実習期間

社会教育施設訪問指導

事後指導

ジェルピ『生涯教育』によって自分の社会教育実習の体験を吟味し、日本の教育を考えてみる。

〔教科書〕 『社会教育行政必携』（昭和64年度版）  
（第一法規）予価 ¥3,500  
ジェルピ『生涯教育』（東京創元社）  
¥1,500

## 成人学習論

長 澤 成 次

今日、我が国における生涯学習論の一環としての成人学習論は、生涯にわたる自己教育への権利の観点から積極的に構想されなければならないと同時に、臨教審教育改革のもとでの「生涯学習」概念の矛盾的性格も明らかにするものでなくてはならない。

本稿は、「学習権なくしては、人間的発達はありえない」とした第4回パリ国際成人教育会議の「学習権」宣言採択（1985年）の国際的動向もふまえて、成人学習論の今日的到達点と課題を明らかにする。なお、今、各地で実践されている自分史・生活史学習にも触れる。

〔参考書〕 小川利夫編『生涯学習と公民館』（亜紀書房）1987年  
横山 宏編『成人の学習としての自分史』（国土社）1987年

## 婦人問題と社会教育

西 村 由 美 子

性差別の問題としての「婦人問題」に、社会教育とのかかわりに注目しながらアプローチする。この問題の解決に学習が重要であるとされるのは何故か。現代日本の学習者たちはどのような問題状況におかれているのか。社会教育での学習は問題を解決しようのか等の諸点について、理論から実際の活動事例までを具体的に検討する。

〔参考書〕 随時指示する。

## 企業内教育・職業訓練

塩 川 正 人

「企業は人なり」と言われます。企業が今取り組んでいる最重要戦略のひとつが「企業人教育」です。その理由は、嵐の時代ともいえる現代を生き抜く道は、人づくりなしにありえないからです。

本講義は、各種の企業のさまざまな人の育て方を、実証的に学び、学生諸君に企業の生きた姿を紹介したい。

講師自身が経営教育コンサルタントとして、今実践している企業人教育の事例と理論を生かし、大学と企業の間には橋をかける講義を、討論や対話も入れて展開したい。

〔教科書〕 塩川正人著『MTS 総力経営』（日本能率協会）¥1,000

## 社会体育 I

古 田 潤 子

野口三千三氏の理論と方法論を基にして、私なりの考え方や方法を加味したものです。

“人間のからだはどうあるべきか” “いいからだとはどういうのか” “それにはどうしたらよいか”ということを動きを通じて考え、行動できるからだづくりを行います。

「社会体育 I・II」は必ず対で履修すること。

〔参考書〕 野口三千三『原初生命体としての人間』（三笠書房）¥980

## 社会体育Ⅱ

古田潤子

立つ・寝る・歩く等あらゆる姿勢に於て、地球の表面と接触しているからだの最下部に全体重を任せきることのできる能力と感覚を身につけます。

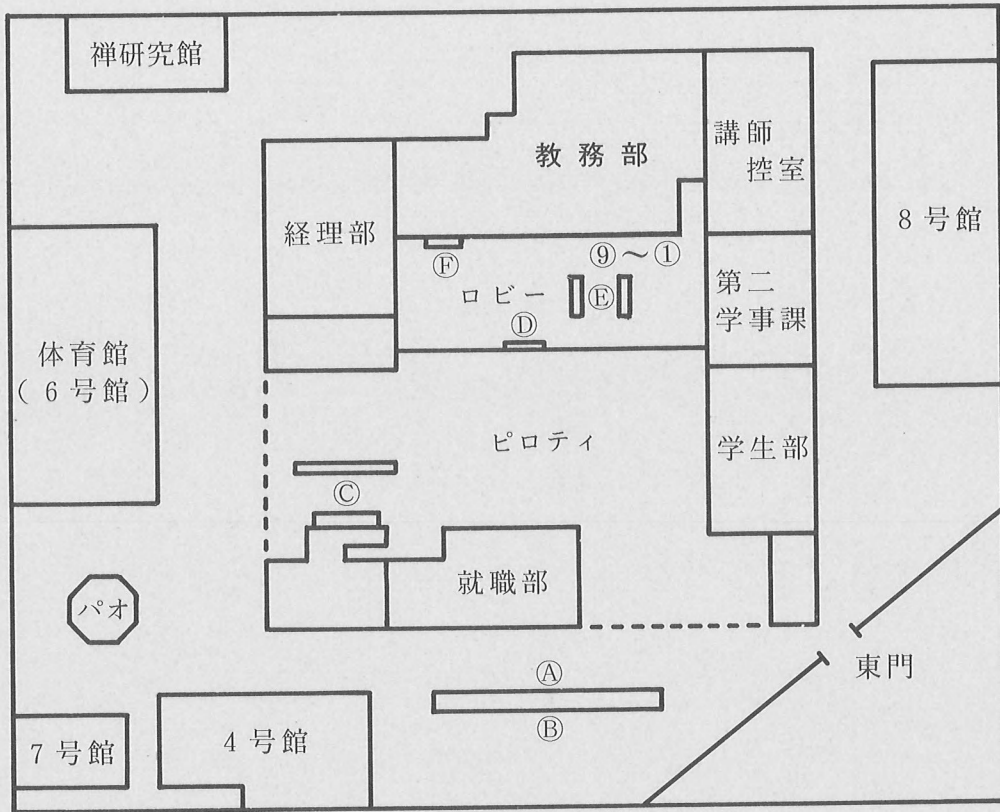
動きと呼吸との関係、人間の動きと道具との関係、効率のいい力の使い方……等について動きながらたしかめて自己発見していきます。

「社会体育Ⅰ・Ⅱ」は必ず対で履修すること。





## 教務部窓口（本部棟 1階）および掲示板案内



### ①教職課程

学校図書館司書教諭講座

### ②博物館学講座

社会福祉主事講座  
社会教育主事講座

### ④証明書（教務関係）申込受付・発行

＜健康診断書および在学証明書は学生部＞

※ 諸証明書申込用紙は経理部前にあります。

- ⑤諸届願（休学・復学・退学・死亡  
改氏名・本籍地変更・保証人変更）  
保証人住所変更・聴講

### ⑥大学院関係・留学生関係

学部演習（仏教学部・経済学部）  
法学部・経営学部  
卒業論文（仏教学部・文学部）

### ⑦時間割変更・休講・外国語指定届

卒業証書・転部転科

### ⑨履修・試験・成績・学業相談

### ①第1掲示板（表面）

公示・告示、学生部関係連絡事項、  
教務部関係（試験・教職・研究室等）連絡事項、  
その他

### ②第2掲示板（裏面）—臨時掲示板—

教務部関係連絡事項（12月～3月）、  
就職部関係連絡事項（9月～11月）

### ③第3掲示板—臨時掲示板—

教務部関係連絡事項（12月～3月）、  
就職部関係連絡事項（9月～11月）

### ④休講掲示板

### ⑤授業時間表カウンター

### ⑥大学院・留学生関係掲示板

